

栃木県埋蔵文化財調査報告第309集

高島遺跡群

－北関東自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査区－

下小屋原遺跡・高島館址

2008.3

栃木県教育委員会
(財)とちぎ生涯学習文化財団

た か し ま い せ き ぐ ん
高 島 遺 跡 群

－北関東自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査区－

し も こ や は ら い せ き た か し ま だ て あ と
下小屋原遺跡・高島館址

2008.3

栃 木 県 教 育 委 員 会
(財)とちぎ生涯学習文化財団



高島遺跡群航空写真（東上空より）



高島遺跡群 下小屋原遺跡・高島館址（東上空より）



下小屋原道跡B区全景合成写真（調査区上空より）



高島館址調査区全景（調査区上空より）

序

北関東自動車道は群馬・栃木・茨城の3県を東西に結ぶ高速道路で、北関東の産業・文化の交流の大動脈として計画されました。路線内に所在する遺跡については、関係機関との協議の結果、記録保存を目的とした発掘調査を実施することとなりました。

上三川町北部に位置する高島遺跡群には、下小屋原遺跡と高島館址の2遺跡の所在が確認されていました。今回の発掘調査の結果、下小屋原遺跡は古墳時代から平安時代の集落跡であること、高島館址では館の南西部の調査で、河川を堀のように利用していたことなどが確認され、地域の歴史を紐解くうえで、貴重な資料を得ることができました。

本報告書は、この発掘調査の成果をまとめたものです。本書が県民の皆様にとりまして郷土の歴史を理解する一助になるとともに、各方面において広くご活用いただければ幸いです。

最後になりましたが、発掘調査から報告書作成に至るまで、多くのご協力をいただきました東日本高速道路株式会社、上三川町教育委員会、栃木県県土整備部をはじめとする関係機関並びに関係各位に厚くお礼申し上げます。

平成20年3月

栃木県教育委員会

教育長 平 間 幸 男

例 言

1. 本書は栃木県河内郡上三川町大字西汗字高島に所在する高島遺跡群（下小屋原遺跡・高島館址）の発掘調査報告書である。遺跡の略号は「KM-TK」である。
なお遺跡名については、調査時から高島遺跡又は高島遺跡群として一部発表されてきたが、栃木県教育委員会事務局文化財課と上三川町教育委員会の遺跡名についての協議により今回報告名を遺跡名とする。
2. 発掘調査は北関東自動車道建設に伴う事前調査である。
3. 発掘調査は東日本高速道路株式会社（旧日本道路公団東京建設局）の委託事業であり、栃木県教育委員会事務局文化財課の指導により、財団法人とちぎ生涯学習文化財団埋蔵文化財センターが実施したものである。
4. 発掘調査から整理作業および報告書作成までの期間・担当者は下記の通りである。
平成13年度（確認調査） 平成14年2月4日～平成14年2月15日
（試掘調査） 平成14年2月18日～平成14年3月1日
（発掘調査） 平成14年3月1日～平成14年3月29日
主査 永岡 正美 主査 塚本 師也 主査 森口 尚史 主任 田代 己佳
平成14年度（発掘調査） 平成14年4月1日～平成14年7月31日
平成14年12月2日～平成15年3月31日
主査 永岡 正美 主査 塚本 師也 主査 森口 尚史
平成15年度（試掘調査） 平成15年8月18日～平成15年8月26日
主査 鈴木 泰浩
（整理作業） 平成15年4月1日～平成15年9月30日
主査 塚本 師也
平成16年度（整理作業） 平成16年4月1日～平成16年8月31日
主査 塚本 師也
平成19年度（整理作業・報告書作成作業） 平成19年10月1日～平成20年3月31日
北関東道路調査担当副主幹 初山 孝行
5. 本書の執筆と全ての編集は初山孝行が行った。
6. 国家座標の移設及び航空写真撮影、並びにモザイク写真作成は中央航業株式会社に委託した。
7. 本書に使用した写真について、遺構は各担当者が、遺物は初山孝行がそれぞれ撮影した。
8. 金属製品のX線撮影は、車塚哲久がおこなった。
9. 発掘調査・整理作業・報告書作成にあたっては、次の方々からご指導、ご協力を賜った。
東日本高速道路株式会社関東第二支社宇都宮工事事務所（旧日本道路公団東京建設局宇都宮工事事務所）、
栃木県教育委員会事務局文化財課、栃木県県土整備部（旧県土木部）交通政策課高速道路対策室、栃木県土地開発公社、上三川町教育委員
10. 本遺跡の出土遺物、資料類は財団法人とちぎ生涯学習文化財団埋蔵文化財センターに保管している。
11. 発掘調査参加者は次のとおりである（五十音順）。
（発掘調査員） 会沢嘉明・朝倉栄子・飯田国松・石川良子・石田静枝・稲尾 茂・鶴澤房子・大垣一子・大塚タマ子・加藤マツエ・古谷野茂三・川畑忠久・黒須エイ・黒須多喜子・小太刀千代子・小林ミナ・

齋藤近由・篠崎一美・鈴木ヨシ子・高岩勘治・高岩光江・高嶋一平・高橋平次・高山キイ・田崎照明・田崎信夫・手塚キイ・手塚吟子・寺内キヌ・寺内秀子・直井清之・中山 登・野沢トシ・野沢 充・林政子・福富 準・藤田俊雄・星野高雄・増渥京子・増渥三枝子・松本利夫・美野輪鋭二・宮本俊明・吉業一雄

12. 整理作業・報告書作成作業参加者は次のとおりである（五十音順）。

（整理作業員） 鮎川恵子・上野弘美・上野真知永・鶴澤房子・岡本 恵・小林由美子・鈴木節子・増渥幸枝・柳田宗子

（整理補助員） 石口優子・岡田陽子・蒲生光子・小林由美子・鶴見里子・元西幸子

凡 例

遺構

1. 遺構の名称については、以下のとおり略号で表した。堅穴住居跡：SI、掘立柱建物跡：SB、井戸跡：SE、土坑：SK、溝：SD、焼土跡：SX、他に掘立柱建物跡の柱穴と柱穴状小ピットについてはSとし、発掘調査時に遺構の種類にかかわらず01、02、03、…と通し番号を付けており、本報告でもこれを用いている。
2. 挿入図の方位は国家座標による座標北である。
3. 各遺構の縮尺率は原則として、溝（SD）：1/80、堅穴住居跡（SI）、掘立柱建物跡（SB）、方形土坑（近世以降）（SK）：1/60、カマド、井戸跡（SE）、土坑（SK）、柱穴状小ピット（S）：1/40である。
4. 遺構実測図に示した断面水準線は、海拔標高でmを表す。
5. 本文中で示した主軸とは、堅穴住居跡の場合、カマドを有する壁面に対し直交する軸線の角度である。また、カマドの無い堅穴住居跡や掘立柱建物跡、土坑は遺構の長辺が北辺に対し、それに直交する軸線の角度を示した。なお遺構内小ピット断面は、東西・南北を原則とする。
6. 土層注記表中の色調は、『新版標準土色帖』農林水産省農林水産技術会議事務局（1998）に拠った。

遺物

1. 実測図の縮尺は石器：3/4、縄文土器・輸入陶磁器・金属製品・石製紡錘車：1/2、石器・須恵器類・灰釉陶器・土師器・近世以降陶磁器・瓦・礫は1/4、大型の石器：1/6とした。
2. 遺物出土状況図中の遺物番号は、遺物実測図及び遺物観察表の番号と一致する。
3. 土器実測図の断面は須恵器が黒塗り、灰釉陶器は網かけとし、その他は白抜きとした。
4. 遺物観察表中の色調は、遺構6に同じ。
5. 遺構一覧表及び遺物観察表中の計測値は以下のとおりである。（ ） 残存値

目次

巻頭図版

序

例言

凡例

目次

遺構対称表

第Ⅰ章 調査の経緯	1
第1節 発掘調査に至る経緯	1
第2節 発掘調査の経過	5
第Ⅱ章 遺跡の環境	13
第1節 地理的環境	13
1 遺跡群の位置と地理的環境	13
2 遺跡群内の標準土層	14
第2節 歴史的環境	16
第Ⅲ章 下小屋原遺跡	19
第1節 遺跡の概要	19
第2節 遺構と遺物	22
1 竪穴住居跡	22
2 掘立柱建物跡	97
3 土坑	111
ア袋状土坑 イ陥し穴状土坑 ウその他の土坑 エ柱穴状ピット オ方形土坑	
4 井戸跡	161
5 焼土跡	166
6 溝跡	166
7 遺構外の出土遺物	174
ア縄文時代の出土遺物 イその他の時代の出土遺物	
第Ⅳ章 高島館址	177
第1節 遺跡の概要	177
第2節 遺構と遺物	178
1 竪穴住居跡	178
2 土坑	193
ア方形竪穴遺構 イその他の土坑	
3 溝跡	195
4 館跡関連遺構	196
ア旧河道(堀跡) イ切岸部	
5 遺構外の出土遺物	203

ア縄文時代の出土遺物 イその他の時代の出土遺物

第V章 調査の成果	208
第1節 下小屋原遺跡について	208
第2節 高島館址について	210

挿図目次

付 図 高島遺跡群 下小屋原遺跡B区遺構配置図	
第1図 北関東自動車道路線図	第37図 SI-06遺物出土状態実測図(1)
第2図 高島遺跡群 調査区位置図	第38図 SI-06遺物出土状態実測図(2)
第3図 高島遺跡群 平成13年度C区(平成15年度東端部) 確認調査トレンチ配置図	第39図 SI-06カマド遺物出土状態実測図
第4図 高島遺跡群 平成13年度A区(平成15年度A区 東端部)試掘トレンチ配置図	第40図 SI-06カマド実測図
第5図 地形図	第41図 SI-06出土遺物実測図(1)
第6図 標準土層図	第42図 SI-06出土遺物実測図(2)
第7図 高島遺跡群周辺の遺跡位置図	第43図 SI-07実測図
第8図 SI-01実測図(1)	第44図 SI-07カマド実測図
第9図 SI-01実測図(2)	第45図 SI-07遺物出土状態実測図
第10図 SI-01実測図(完掘図)	第46図 SI-07出土遺物実測図
第11図 SI-01遺物出土状態実測図(1)	第47図 SI-08実測図
第12図 SI-01カマド実測図・遺物出土状態実測図(2)	第48図 SI-08遺物出土状態実測図
第13図 SI-01出土遺物実測図(1)	第49図 SI-08出土遺物実測図
第14図 SI-01出土遺物実測図(2)	第50図 SI-501実測図(1)
第15図 SI-02実測図(1)	第51図 SI-501実測図(2)
第16図 SI-02実測図(2)	第52図 SI-501実測図(3)
第17図 SI-02カマド実測図	第53図 SI-501実測図(完掘図)
第18図 SI-02遺物出土状態実測図(1)	第54図 SI-501カマド実測図
第19図 SI-02遺物出土状態実測図(2)	第55図 SI-501遺物出土状態実測図(1)
第20図 SI-02出土遺物実測図	第56図 SI-501遺物出土状態実測図(2)
第21図 SI-03実測図・カマド実測図	第57図 SI-501出土遺物実測図(1)
第22図 SI-03出土遺物実測図	第58図 SI-501出土遺物実測図(2)
第23図 SI-04実測図(1)	第59図 SI-502実測図(1)
第24図 SI-04実測図(2)	第60図 SI-502実測図(2)
第25図 SI-04カマド実測図	第61図 SI-502実測図(3)
第26図 SI-04遺物出土状態実測図	第62図 SI-502竈状施設実測図
第27図 SI-04出土遺物実測図	第63図 SI-502実測図(完掘図)
第28図 SI-05実測図	第64図 SI-502カマド実測図
第29図 SI-05カマド実測図	第65図 SI-502遺物出土状態実測図
第30図 SI-05遺物出土状態実測図	第66図 SI-502出土遺物実測図(1)
第31図 SI-05出土遺物実測図(1)	第67図 SI-502出土遺物実測図(2)
第32図 SI-05出土遺物実測図(2)	第68図 SI-503実測図・カマド実測図
第33図 SI-06実測図(1)	第69図 SI-503遺物出土状態実測図
第34図 SI-06実測図(2)	第70図 SI-503出土遺物実測図
第35図 SI-06実測図(3)	第71図 SI-551実測図・カマド実測図
第36図 SI-06実測図(完掘図)	第72図 SI-551出土遺物実測図
	第73図 掘立柱建物跡(SB-163)実測図
	第74図 掘立柱建物跡(SB-163)柱穴土層断面図・柱痕平面図

第75図	掘立柱建物跡(SB-181)実測図・柱痕平面図	第123図	方形土坑(近世以降栽培根茎類貯蔵穴)実測図(7)
第76図	掘立柱建物跡(SB-209)実測図・柱痕平面図	第124図	方形土坑(近世以降栽培根茎類貯蔵穴)実測図(8)
第77図	掘立柱建物跡(SB-210)実測図	第125図	方形土坑(近世以降栽培根茎類貯蔵穴)実測図(9)
第78図	掘立柱建物跡(SB-210)柱穴土層断面図・ 柱痕平面図	第126図	方形土坑(近世以降栽培根茎類貯蔵穴)実測図(10)
第79図	掘立柱建物跡(SB-236)実測図	第127図	方形土坑(近世以降栽培根茎類貯蔵穴)実測図(11)
第80図	掘立柱建物跡(SB-236)柱穴土層断面図	第128図	井戸跡実測図(1)
第81図	掘立柱建物跡(SB-261)実測図(1)	第129図	井戸跡実測図(2)
第82図	掘立柱建物跡(SB-261)実測図(2)	第130図	焼土跡実測図
第83図	掘立柱建物跡(SB-261)柱穴土層断面図	第131図	溝跡実測図(1)
第84図	掘立柱建物跡(SB-315)実測図(1)	第132図	溝跡実測図(2)
第85図	掘立柱建物跡(SB-315)実測図(2)	第133図	溝跡実測図(3)
第86図	掘立柱建物跡(SB-315)柱穴土層断面図	第134図	溝跡実測図(4)
第87図	掘立柱建物跡(SB-384)実測図	第135図	SK21-22-28-322-380 SD-31-601 S-531出土遺物実測図
第88図	掘立柱建物跡(SB-384)柱穴土層断面図	第136図	下小屋原遺跡溝外出土遺物実測図(1)
第89図	掘立柱建物跡(SB-385)実測図	第137図	下小屋原遺跡溝外出土遺物実測図(2)
第90図	掘立柱建物跡(SB-385)柱穴土層断面図	第138図	下小屋原遺跡出土遺物(粘土塊)実測図
第91図	掘立柱建物跡(SB-386)実測図	第139図	高島館址遺構配置図
第92図	掘立柱建物跡(SB-386)柱穴土層断面図	第140図	SI-702実測図
第93図	掘立柱建物跡(SB-395)実測図(1)	第141図	SI-702遺物出土状態実測図
第94図	掘立柱建物跡(SB-395)実測図(2)	第142図	SI-702出土遺物実測図
第95図	掘立柱建物跡(SB-395)柱穴土層断面図	第143図	SI-704実測図・カマド実測図
第96図	陥し穴状土坑実測図(1)	第144図	SI-704出土遺物実測図
第97図	陥し穴状土坑実測図(2)	第145図	SI-705実測図・カマド実測図
第98図	土坑実測図(1)	第146図	SI-705出土遺物実測図
第99図	土坑実測図(2)	第147図	SI-707実測図・遺物出土状態実測図
第100図	土坑実測図(3)	第148図	SI-707カマド実測図
第101図	土坑実測図(4)	第149図	SI-707出土遺物実測図
第102図	土坑実測図(5)	第150図	SI-709-710実測図(1)
第103図	C区遺構実測図(1)	第151図	SI-710カマド実測図
第104図	C区遺構実測図(2)	第152図	SI-709-710実測図(2)
第105図	C区遺構実測図(3)	第153図	SI-709-710遺物出土状態実測図
第106図	柱穴状ピット実測図(1)	第154図	SI-709出土遺物実測図
第107図	柱穴状ピット実測図(2)	第155図	SI-710出土遺物実測図
第108図	柱穴状ピット実測図(3)	第156図	高島館址土坑・溝跡実測図
第109図	柱穴状ピット実測図(4)	第157図	SK-708出土遺物実測図
第110図	柱穴状ピット実測図(5)	第158図	SD-703出土遺物実測図
第111図	柱穴状ピット実測図(6)	第159図	高島館址旧河道位置図
第112図	柱穴状ピット(柱穴の可能性)実測図(1)	第160図	高島館址旧河道土層断面図
第113図	柱穴状ピット(柱穴の可能性)実測図(2)	第161図	高島館址台地部分・低地部分土層断面図(1)
第114図	柱穴状ピット(近世以降)実測図(1)	第162図	高島館址台地部分・低地部分土層断面図(2)
第115図	柱穴状ピット(近世以降)実測図(2)	第163図	高島館址台地部分・低地部分土層断面図(3)
第116図	柱穴状ピット(近世以降SD-30北辺)実測図(3)	第164図	高島館址旧河道出土遺物実測図
第117図	方形土坑(近世以降栽培根茎類貯蔵穴)実測図(1)	第165図	高島館址切岸部出土遺物実測図
第118図	方形土坑(近世以降栽培根茎類貯蔵穴)実測図(2)	第166図	高島館址遺構外出土遺物実測図(1)
第119図	方形土坑(近世以降栽培根茎類貯蔵穴)実測図(3)	第167図	高島館址遺構外出土遺物実測図(2)
第120図	方形土坑(近世以降栽培根茎類貯蔵穴)実測図(4)	第168図	高島館址出土遺物(粘土塊)実測図
第121図	方形土坑(近世以降栽培根茎類貯蔵穴)実測図(5)	第169図	高島館址の位置と実測図
第122図	方形土坑(近世以降栽培根茎類貯蔵穴)実測図(6)		

表目次

第1表	北関東自動車道埋蔵文化財発掘調査箇所一覧	第22表	柱穴状ピット(柱穴の可能性)一覧
第2表	高鳥遺跡群周辺の遺跡一覧	第23表	柱穴状ピット(近世以降)一覧
第3表	住居跡一覧	第24表	方形土坑(近世以降栽培根茎類貯蔵穴)一覧
第4表	掘立柱建物跡一覧	第25表	SK21-22-28-322-380SD-31-601
第5表	陥し穴状土坑一覧		S-531遺物観察表
第6表	土坑一覧	第26表	下小屋原遺跡遺構外出土遺物(1)観察表
第7表	井戸跡一覧	第27表	下小屋原遺跡遺構外出土遺物(2)観察表
第8表	溝跡一覧	第28表	下小屋原遺跡出土遺物(粘土塊)観察表
第9表	SI-01遺物観察表	第29表	SI-702遺物観察表
第10表	SI-02遺物観察表	第30表	SI-704遺物観察表
第11表	SI-03遺物観察表	第31表	SI-705遺物観察表
第12表	SI-04遺物観察表	第32表	SI-707遺物観察表
第13表	SI-05遺物観察表	第33表	SI-709遺物観察表
第14表	SI-06遺物観察表	第34表	SI-710遺物観察表
第15表	SI-07遺物観察表	第35表	SK-708遺物観察表
第16表	SI-08遺物観察表	第36表	SD-703遺物観察表
第17表	SI-501遺物観察表	第37表	高鳥館址旧河道出土遺物観察表
第18表	SI-502遺物観察表	第38表	高鳥館址切岸部遺物観察表
第19表	SI-503遺物観察表	第39表	高鳥館址遺構外出土遺物(1)観察表
第20表	SI-551遺物観察表	第40表	高鳥館址遺構外出土遺物(2)観察表
第21表	柱穴状ピット一覧	第41表	高鳥館址出土遺物(粘土塊)観察表

写真図版目次

図版一	下小屋原遺跡 遺構 SI-01完掘状況(南より) SI-01貯蔵穴周辺遺物出土状況(北より) SI-01北側遺物出土状況(南西より) SI-01完掘状況(南より) B区作業風景(西より)	図版四	下小屋原遺跡 遺構 SI-06カマド検出状況(南より) SI-06掘り方検出状況(南より) SI-07完掘状況(南より) SI-07遺物出土状況(南より) SI-07カマド流出部半載状況(南より) SI-07周辺の作業風景(西より)
図版二	下小屋原遺跡 遺構 SI-02完掘状況(南より) SI-02礫出土状況(南西より) SI-02P6遺物出土状況(北西より) SI-02掘り方検出状況(南より) SI-03カマド残り完掘状況(西より) SI-03掘り方検出状況(西より) SI-04カマド残り完掘状況(南より) SI-04遺物出土状況(東より)	図版五	下小屋原遺跡 遺構 SI-501完掘状況(南より) SI-501遺物出土状況(南より) SI-501N07館遺物出土状況(南東より) SI-501P2編物石出土状況(北より) SI-501カマド遺物出土状況(南より)
図版三	下小屋原遺跡 遺構 SI-04カマド遺物出土状況(南東より) SI-04N02-4遺物出土状況(東より) SI-04掘り方検出状況(南より) SI-05カマド残り完掘状況(南より) SI-05遺物出土状況(南より) SI-05カマド遺物出土状況(東より) SI-06カマド残り完掘状況(南より) SI-06周辺の作業風景(南より)	図版六	下小屋原遺跡 遺構 SI-501カマド検出状況(南より) SI-501掘り方検出状況(東より) SI-502完掘状況(東より) SI-502遺物出土状況(南より) SI-502カマド遺物出土状況(南より) SI-502カマド検出状況(南東より) SI-502完掘状況(南東より) SI-502棚施設検出状況(南より)

図版七	下小屋原遺跡 遺構 SI-503完掘状況(南より) SI-503遺物・焼土出土状況(南東より) SI-503掘り方検出状況(南より) SI-503周辺の作業風景(西より) SI-551完掘状況(西より) SI-551カマド検出状況(南西より) SB-163完掘状況(南より) SB-209完掘状況(南より)
図版八	下小屋原遺跡 遺構 SB-210完掘状況(南より) SB-210完掘状況(南より) SB-236完掘状況(南より) SB-261完掘状況(南より) SB-315完掘状況(南より)
図版九	下小屋原遺跡 遺構 SB-384完掘状況(南より) SB-386完掘状況(南より) SB-395完掘状況(南より) SE-206完掘状況(南西より) SE-299完掘状況(南より) SE-331完掘状況(南より) SE-400完掘状況(南より) SK-519周辺の作業風景(東より)
図版一〇	下小屋原遺跡 遺構 SK-305完掘状況(東より) SK-334完掘状況(南西より) SK-350完掘状況(西より) SK-627完掘状況(南東より) SK-678完掘状況(南より) SK-11完掘状況(南より) SK-12-13完掘状況(南より) SK-14~21完掘状況(南より)
図版一一	下小屋原遺跡 遺構 SK-55完掘状況(西より) SK-135完掘状況(南西より) SK-140完掘状況(南より) SK-177完掘状況(南より) SK-257完掘状況(南より) SK-270完掘状況(南東より) SK-306完掘状況(南より) SI-502周辺の作業風景(東より)
図版一二	下小屋原遺跡 遺構 SK-308完掘状況(南より) SK-330完掘状況(南より) SK-338完掘状況(南より) SK-382完掘状況(南より) SK-383完掘状況(南より) SK-418完掘状況(西より) SK-507・508完掘状況(南より) SK-642完掘状況(南より)

図版一三	下小屋原遺跡 遺構 SK-650-651完掘状況(南より) SD-30-31-522完掘状況(北西より) SD-73-74完掘状況(南東より) SD-242-363完掘状況(東より) SD-601完掘状況(西より) SK-22~26完掘状況(南より) C区標準土層 中村東小学校見学風景
図版一四	高島館址 遺構 高島館址全景(南より) 高島館址台地上調査区全景(南西上空より)
図版一五	高島館址 遺構 SI-702検出状況(西より) SI-704完掘状況(西より) SI-705完掘状況(南より) SI-707完掘状況(西より) SI-709-710完掘状況(南より) SK-706完掘状況(南東より) SK-708完掘状況(南より) SD-703完掘状況(東より)
図版一六	高島館址 遺構 切岸部確認状況(南東より) 高島館址調査前風景(西より) 旧河道土層(東より) 新河道土層(東より) 新旧河道間の地山残存部分の土層(東より)
図版一七	高島館址 遺構 切岸部南西部検出状況(北西より) 高島館址作業開始状況(西より) 切岸部浸食状況(西より) 切岸部浸食状況(西より) 切岸部南側断面状況(北西より)
図版一八	高島館址 遺構 平坦部造り出し状況(南西より) 平坦部造り出し・カッチング状況(東より) K~K'土層(東より) 平坦部造り出し検出状況(西より) 高島館址作業風景(東より)
図版一九	下小屋原遺跡 遺物 SI-01
図版二〇	下小屋原遺跡 遺物 SI-02-04
図版二一	下小屋原遺跡 遺物 SI-05-06
図版二二	下小屋原遺跡 遺物 SI-08-501-502
図版二三	下小屋原遺跡 遺物 SI-551 SD-32 鉄器 砥石 遺跡内出土遺物
図版二四	高島館址 遺物 SI-704-707-709-710 鉄器 遺跡内出土遺物

遺構一覧(対照表)

番号	遺構番号	遺跡・調査区	植別(時代)	遺構詳細	遺構表	遺構詳細	遺構表	遺構写真	遺構写真
1	SI-01	F小塚原 B区	住居跡	8~12	3	13・14	9	1	19
2	SI-02	F小塚原 B区	住居跡	15~19	3	20	10	2	20
3	SI-03	F小塚原 B区	住居跡	21	3	22	11	2	
4	SI-04	F小塚原 B区	住居跡	23~26	3	27	12	2・3	20・23
5	SI-05	F小塚原 B区	住居跡	28~30	3	31・32	13	3	21・23
6	SI-06	F小塚原 B区	住居跡	33~40	3	41・42	14	3・4	21・23
7	SI-07	F小塚原 B区	住居跡	43~45	3	46	15	4	23
8	SI-08	F小塚原 B区	住居跡	47・48	3	49	16	4	22
9	SK-11	F小塚原 B区	方形土境(近世以降貯蔵穴)	117	24			10	
10	SK-12	F小塚原 B区	方形土境(近世以降貯蔵穴)	98・117	24			10	
11	SK-13	F小塚原 B区	土境	117	24			10	
12	SK-14	F小塚原 B区	方形土境(近世以降貯蔵穴)	117	24			10	
13	SK-15	F小塚原 B区	方形土境(近世以降貯蔵穴)	117	24			10	
14	SK-16	F小塚原 B区	方形土境(近世以降貯蔵穴)	117	24			10	
15	SK-17	F小塚原 B区	方形土境(近世以降貯蔵穴)	117	24			10	
16	SK-18	F小塚原 B区	方形土境(近世以降貯蔵穴)	117	24			10	
17	SK-19	F小塚原 B区	方形土境(近世以降貯蔵穴)	106・117	24			10	
18	SK-20	F小塚原 B区	方形土境(近世以降貯蔵穴)	106・117	24			10	
19	SK-21	F小塚原 B区	方形土境(近世以降貯蔵穴)	106・117	24	135	25	10	
20	SK-22	F小塚原 B区	方形土境(近世以降貯蔵穴)	117	24	135	25	13	
21	SK-23	F小塚原 B区	方形土境(近世以降貯蔵穴)	106・117	24			13	
22	SK-24	F小塚原 B区	方形土境(近世以降貯蔵穴)	117	24			13	
23	SK-25	F小塚原 B区	方形土境(近世以降貯蔵穴)	117	24			13	
24	SK-26	F小塚原 B区	方形土境(近世以降貯蔵穴)	118	24			13	
25	SK-27	F小塚原 B区	方形土境(近世以降貯蔵穴)	118	24				
26	SK-28	F小塚原 B区	方形土境(近世以降貯蔵穴)	118	24	135	25		
27	SK-29	F小塚原 B区	方形土境(近世以降貯蔵穴)	118	24				
28	SD-30	F小塚原 B区	溝	131・132	8			13	
29	SD-31	F小塚原 B区	溝	131・132	8	135	25	13	23
30	SK-33	F小塚原 B区	方形土境(近世以降貯蔵穴)	118	24				
31	SK-34	F小塚原 B区	方形土境(近世以降貯蔵穴)	118	24				
32	SK-35	F小塚原 B区	方形土境(近世以降貯蔵穴)	118	24				
33	SK-36	F小塚原 B区	方形土境(近世以降貯蔵穴)	118	24				
34	SK-37	F小塚原 B区	方形土境(近世以降貯蔵穴)	119	24				
35	SK-38	F小塚原 B区	方形土境(近世以降貯蔵穴)	119	24				
36	SK-39	F小塚原 B区	方形土境(近世以降貯蔵穴)	119	24				
37	SK-40	F小塚原 B区	方形土境(近世以降貯蔵穴)	119	24				
38	SK-41	F小塚原 B区	方形土境(近世以降貯蔵穴)	119	24				
39	SK-42	F小塚原 B区	方形土境(近世以降貯蔵穴)	119	24				
40	SK-43	F小塚原 B区	方形土境(近世以降貯蔵穴)	119	24				
41	SK-44	F小塚原 B区	方形土境(近世以降貯蔵穴)	120	24				
42	SK-45	F小塚原 B区	方形土境(近世以降貯蔵穴)	119	24				
43	SK-46	F小塚原 B区	方形土境(近世以降貯蔵穴)	120	24				
44	SK-47	F小塚原 B区	方形土境(近世以降貯蔵穴)	120	24				
45	SK-48	F小塚原 B区	方形土境(近世以降貯蔵穴)	120	24				
	(S-49)	F小塚原 B区	SB-210の柱穴	77・78					
46	SK-50	F小塚原 B区	方形土境(近世以降貯蔵穴)	120	24				
47	SK-51	F小塚原 B区	方形土境(近世以降貯蔵穴)	120	24				
48	S-52	F小塚原 B区	柱穴状ピット	106	21・22				
49	S-53	F小塚原 B区	柱穴状ピット	106	21・22				
50	S-54	F小塚原 B区	柱穴状ピット(近世以降)	114	23				
51	SK-55	F小塚原 B区	土境	98	6			11	
52	S-56	F小塚原 B区	柱穴状ピット(近世以降)	114	23				
53	S-57	F小塚原 B区	柱穴状ピット	106	21・22				
54	S-58	F小塚原 B区	柱穴状ピット	106	21・22				
55	S-59	F小塚原 B区	柱穴状ピット	106	21・22				
56	S-60	F小塚原 B区	柱穴状ピット	106	21・22				
57	S-61	F小塚原 B区	柱穴状ピット	106	21・22				
58	S-62	F小塚原 B区	柱穴状ピット	106	21・22				
59	S-63	F小塚原 B区	柱穴状ピット(柱穴の可能性)	112					
60	S-64	F小塚原 B区	柱穴状ピット	106	21・22				
61	S-65	F小塚原 B区	柱穴状ピット	106	21・22				
62	S-66	F小塚原 B区	柱穴状ピット	106	21・22				
63	S-67	F小塚原 B区	柱穴状ピット	106	21・22				
64	S-68	F小塚原 B区	柱穴状ピット(柱穴の可能性)	112					
65	S-69	F小塚原 B区	柱穴状ピット	106	21・22				
66	S-70	F小塚原 B区	柱穴状ピット(柱穴の可能性)	112					
67	S-71	F小塚原 B区	柱穴状ピット	106	21・22				
68	S-72	F小塚原 B区	柱穴状ピット(柱穴の可能性)	112					
69	SD-73	F小塚原 B区	溝	133	8			13	
70	SD-74	F小塚原 B区	溝	133	8			13	
71	S-75	F小塚原 B区	柱穴状ピット(近世以降)	114	23				
72	S-76	F小塚原 B区	柱穴状ピット(近世以降)	114	23				
73	S-77	F小塚原 B区	柱穴状ピット(近世以降)	114	23				
74	S-78	F小塚原 B区	柱穴状ピット(近世以降)	114	23				
75	S-79	F小塚原 B区	柱穴状ピット(近世以降)	114	23				
76	S-79B	F小塚原 B区	柱穴状ピット(近世以降)	114	23				
77	S-80	F小塚原 B区	柱穴状ピット	106	21・22				
78	S-81	F小塚原 B区	柱穴状ピット(近世以降)	114	23				
79	S-82	F小塚原 B区	柱穴状ピット(柱穴の可能性)	112					
80	S-83	F小塚原 B区	柱穴状ピット	106	21・22				

番号	遺構番号	遺跡・調査区	種類(時代)	遺構埋没	遺構表	遺構埋没	遺構表	遺構写真	遺構写真
81	S-84	下小塚原 B区	柱穴状ピット	106	21				
82	S-85	下小塚原 B区	柱穴状ピット(近世以降)	116	23				
83	S-86	下小塚原 B区	柱穴状ピット(近世以降)	116	23				
84	S-87	下小塚原 B区	柱穴状ピット(近世以降)	116	23				
85	S-88	下小塚原 B区	柱穴状ピット(近世以降)	116	23				
86	S-89	下小塚原 B区	柱穴状ピット(近世以降)	116	23				
87	S-90	下小塚原 B区	柱穴状ピット(近世以降)	116	23				
88	S-91	下小塚原 B区	柱穴状ピット(近世以降)	116	23				
89	S-92	下小塚原 B区	柱穴状ピット(近世以降)	116	23				
90	S-93	下小塚原 B区	柱穴状ピット(近世以降)	116	23				
91	S-94	下小塚原 B区	柱穴状ピット(近世以降)	116	23				
92	S-95	下小塚原 B区	柱穴状ピット(近世以降)	116	23				
93	S-96	下小塚原 B区	柱穴状ピット(近世以降)	116	23				
94	S-97W	下小塚原 B区	柱穴状ピット(近世以降)	116・132	23				
95	S-97E	下小塚原 B区	柱穴状ピット(近世以降)	116・132	23				
96	SK-98	下小塚原 B区	方形土坑(近世以降野蔵穴)	120・131	24.0				
97	S-100	下小塚原 B区	柱穴状ピット(近世以降)	116	23				
98	S-101	下小塚原 B区	柱穴状ピット(近世以降)	116	23				
99	S-102	下小塚原 B区	柱穴状ピット(近世以降)	116	23				
100	S-103W	下小塚原 B区	柱穴状ピット(近世以降)	116	23				
101	S-103E	下小塚原 B区	柱穴状ピット(近世以降)	116	23				
102	S-104	下小塚原 B区	柱穴状ピット(近世以降)	116	23				
103	S-105	下小塚原 B区	柱穴状ピット(近世以降)	116	23				
104	S-106	下小塚原 B区	柱穴状ピット(近世以降)	116	23				
105	S-107	下小塚原 B区	柱穴状ピット(近世以降)	116	23				
106	S-108W	下小塚原 B区	柱穴状ピット(近世以降)	116	23				
107	S-108E	下小塚原 B区	柱穴状ピット(近世以降)	116	23				
108	S-109	下小塚原 B区	柱穴状ピット(近世以降)	114・116	23				
109	S-110	下小塚原 B区	柱穴状ピット(近世以降)	114・116	23				
110	S-111	下小塚原 B区	柱穴状ピット(柱穴の可能性)	112					
111	S-112	下小塚原 B区	柱穴状ピット(柱穴の可能性)	112					
112	S-113	下小塚原 B区	柱穴状ピット(柱穴の可能性)	112					
113	S-114	下小塚原 B区	柱穴状ピット(柱穴の可能性)	112					
114	S-115	下小塚原 B区	近現代の柱穴状ピット	114	23				
115	S-116	下小塚原 B区	柱穴状ピット	107	21				
116	S-117	下小塚原 B区	柱穴状ピット(柱穴の可能性)	112					
117	S-118	下小塚原 B区	柱穴状ピット	107	21				
118	S-119	下小塚原 B区	柱穴状ピット	107	21				
119	S-120	下小塚原 B区	柱穴状ピット	107	21				
120	S-121	下小塚原 B区	柱穴状ピット	107	21				
121	S-122	下小塚原 B区	柱穴状ピット	107	21				
122	S-123	下小塚原 B区	柱穴状ピット	107	21				
123	S-124	下小塚原 B区	柱穴状ピット	107	21				
124	S-125	下小塚原 B区	柱穴状ピット(柱穴の可能性)	112					
125	S-126	下小塚原 B区	柱穴状ピット(近世以降)	114	23				
126	S-127	下小塚原 B区	柱穴状ピット	107	21				
127	S-128	下小塚原 B区	柱穴状ピット	107	21				
128	S-129	下小塚原 B区	柱穴状ピット	107	21				
129	S-130	下小塚原 B区	柱穴状ピット	107	21				
130	SK-131	下小塚原 B区	方形土坑(近世以降野蔵穴)	119	24				
131	S-132	下小塚原 B区	柱穴状ピット	107	21				
132	S-133	下小塚原 B区	柱穴状ピット	107	21				
133	S-134	下小塚原 B区	柱穴状ピット(近世以降)	114	23				
134	SK-135	下小塚原 B区	土坑	98	6			11	
135	SK-136	下小塚原 B区	土坑	98	6				
136	S-137	下小塚原 B区	柱穴状ピット(近世以降)	114	23				
137	S-138	下小塚原 B区	柱穴状ピット(近世以降)	114	23				
138	S-139	下小塚原 B区	柱穴状ピット	107	21				
139	SK-140	下小塚原 B区	土坑	98	6			11	
	(S-141)	下小塚原 B区	SB-163の柱穴	73・74					
	(S-142)	下小塚原 B区	SB-163の柱穴	73・74					
140	S-143	下小塚原 B区	柱穴状ピット	107	21				
141	S-144	下小塚原 B区	柱穴状ピット(近世以降)	114	23				
	(S-145)	下小塚原 B区	SB-163の柱穴	73・74					
142	SK-146	下小塚原 B区	方形土坑(近世以降野蔵穴)	120	24				
	(S-147)	下小塚原 B区	SB-163の柱穴	73・74					
143	SK-148	下小塚原 B区	土坑	98	6				
144	S-149	下小塚原 B区	柱穴状ピット(柱穴の可能性)	112					
	(S-150)	下小塚原 B区	SB-163の柱穴	73・74					
	(S-151)	下小塚原 B区	SB-209の柱穴	76					
	(S-152)	下小塚原 B区	SB-181の柱穴	73					
145	S-153	下小塚原 B区	柱穴状ピット	107	21				
146	S-154	下小塚原 B区	柱穴状ピット	107	21				
147	S-155	下小塚原 B区	柱穴状ピット(柱穴の可能性)	112					
148	S-156	下小塚原 B区	柱穴状ピット	107	21				
	(S-157)	下小塚原 B区	SB-163の柱穴	73・74					
	(S-158)	下小塚原 B区	SB-163の柱穴	73・74					
	(S-159)	下小塚原 B区	SB-163の柱穴	73・74					
	(S-160)	下小塚原 B区	SB-163の柱穴	73・74					
	(S-161)	下小塚原 B区	SB-163の柱穴	73・74					
	(S-162)	下小塚原 B区	SB-163の柱穴	73・74					
149	SB-163	下小塚原 B区	竪立柱建物跡	73・74	4			7	
	(S-164)	下小塚原 B区	SB-210の柱穴	77・78					

番号	遺構番号	遺跡・調査区	種類(時代)	遺構深さ	遺構表	遺構厚	遺構表	遺構厚	遺構表
	(S-165)	下小塚原 B区	SB-210の柱穴	77・78					
	(S-166)	下小塚原 B区	SB-210の柱穴	77・78					
	(S-167)	下小塚原 B区	SB-210の柱穴	77・78					
150	S-168	下小塚原 B区	柱穴状ピット	108	21				
	(S-169)	下小塚原 B区	SB-210の柱穴	77・78					
	(S-170)	下小塚原 B区	SB-209の柱穴	76					
	(S-171)	下小塚原 B区	SB-209の柱穴	76					
151	S-172	下小塚原 B区	柱穴状ピット(柱穴の可能性)	112					
152	S-173	下小塚原 B区	柱穴状ピット	108	21				
	(S-174)	下小塚原 B区	SB-181の柱穴	75					
	(S-175)	下小塚原 B区	SB-181の柱穴	75					
	(S-176)	下小塚原 B区	SB-181の柱穴	75					
153	SK-177	下小塚原 B区	土坑	98	6			11	
154	SX-178	下小塚原 B区	礎土跡	130					
	(S-179)	下小塚原 B区	SB-163の柱穴	73・74					
	(S-180)	下小塚原 B区	SB-209の柱穴	76					
155	SB-181	下小塚原 B区	竪立柱建物跡	75	4				
	(S-182)	下小塚原 B区	SB-261の柱穴	81-83					
	(S-183)	下小塚原 B区	SB-209の柱穴	76					
	(S-184)	下小塚原 B区	SB-209の柱穴	76					
156	SK-185	下小塚原 B区	土坑	98	6				
	(S-186)	下小塚原 B区	SB-395の柱穴	93-95					
	(S-187)	下小塚原 B区	SB-395の柱穴	93-95					
	(S-188)	下小塚原 B区	SB-395の柱穴	93-95					
	(S-189)	下小塚原 B区	SB-395の柱穴	93-95					
	(S-190)	下小塚原 B区	SB-395の柱穴	93-95					
	(S-191)	下小塚原 B区	SB-395の柱穴	93-95					
	(S-192)	下小塚原 B区	SB-210の柱穴	77・78					
	(S-193)	下小塚原 B区	SB-261の柱穴	81-83					
	(S-194)	下小塚原 B区	SB-261の柱穴	81-83					
	(S-195)	下小塚原 B区	SB-261の柱穴	81-83					
	(S-196)	下小塚原 B区	SB-261の柱穴	81-83					
	(S-197)	下小塚原 B区	SB-261の柱穴	81-83					
157	S-198	下小塚原 B区	柱穴状ピット	108	21				
158	S-199	下小塚原 B区	柱穴状ピット	108	21				
159	S-200	下小塚原 B区	柱穴状ピット	108	21				
	(S-201)	下小塚原 B区	SB-261の柱穴	81-83					
	(S-202)	下小塚原 B区	SB-261の柱穴	81-83					
160	S-203	下小塚原 B区	柱穴状ピット(柱穴の可能性)	112					
	(S-204)	下小塚原 B区	SB-261の柱穴	81-83					
	(S-205)	下小塚原 B区	SB-210の柱穴	77・78					
161	SE-206	下小塚原 B区	井戸跡	128	7			9	
162	S-207	下小塚原 B区	柱穴状ピット	108	21				
	(S-208)	下小塚原 B区	SB-210の柱穴	77・78					
163	SB-209	下小塚原 B区	竪立柱建物跡	76	4			7	
164	SB-210	下小塚原 B区	竪立柱建物跡	77・78	4			8	
165	S-211	下小塚原 B区	柱穴状ピット	108	21				
	(S-212)	下小塚原 B区	SB-261の柱穴	81-83					
	(S-213)	下小塚原 B区	SB-261の柱穴	81-83					
	(S-214)	下小塚原 B区	SB-261の柱穴	81-83					
	(S-215)	下小塚原 B区	SB-261の柱穴	81-83					
	(S-216)	下小塚原 B区	SB-261の柱穴	81-83					
	(S-217)	下小塚原 B区	SB-261の柱穴	81-83					
	(S-218)	下小塚原 B区	SB-261の柱穴	81-83					
	(S-219)	下小塚原 B区	SB-261の柱穴	81-83					
166	SX-220	下小塚原 B区	礎土跡	130					
167	S-221	下小塚原 B区	柱穴状ピット	108	21				
168	S-222	下小塚原 B区	柱穴状ピット	108	21				
169	S-223	下小塚原 B区	柱穴状ピット	108	21				
170	S-224	下小塚原 B区	柱穴状ピット	108	21				
	(S-225)	下小塚原 B区	SB-261の柱穴	81-83					
	(S-226)	下小塚原 B区	SB-261の柱穴	81-83					
	(S-227)	下小塚原 B区	SB-236の柱穴	79・80					
	(S-228)	下小塚原 B区	SB-236の柱穴	79・80					
	(S-229)	下小塚原 B区	SB-236の柱穴	79・80					
	(S-230)	下小塚原 B区	SB-236の柱穴	79・80					
	(S-231)	下小塚原 B区	SB-236の柱穴	79・80					
	(S-232)	下小塚原 B区	SB-236の柱穴	79・80					
	(S-233)	下小塚原 B区	SB-236の柱穴	79・80					
	(S-234)	下小塚原 B区	SB-236の柱穴	79・80					
171	S-235	下小塚原 B区	柱穴状ピット	108	21				
172	SB-236	下小塚原 B区	竪立柱建物跡	79・80	4			8	
173	SK-238	下小塚原 B区	土坑	98	6				
174	SK-239	下小塚原 B区	土坑	99	6				
	(S-240)	下小塚原 B区	SB-395の柱穴	93-95					
175	S-241	下小塚原 B区	柱穴状ピット	108	21				
176	SD-242	下小塚原 B区	溝	8・113	8			13	
177	S-243	下小塚原 B区	柱穴状ピット(近世以降)	114	23				
	(S-244)	下小塚原 B区	SB-386の柱穴	91・92					
	(S-245)	下小塚原 B区	SB-386の柱穴	91・92					
	(S-246)	下小塚原 B区	SB-385の柱穴	89・90					
178	SK-247	下小塚原 B区	土坑	99	6				
	(S-248)	下小塚原 B区	SB-386の柱穴	91・92					

番号	遺構番号	遺跡・調査区	種類(時代)	遺構埋没	遺構表	遺物埋没	遺物表	遺構写真	遺物写真
	(S-249)	下小塚原 B区	SB-386の柱穴	91・92					
	(S-250)	下小塚原 B区	SB-386の柱穴	91・92					
179	S-251	下小塚原 B区	柱穴状遺構	108	21				
180	S-252	下小塚原 B区	柱穴状遺構	108	21				
181	S-253	下小塚原 B区	柱穴状遺構	109	21・22				
182	S-254	下小塚原 B区	柱穴状遺構	109	21・22				
183	S-255	下小塚原 B区	柱穴状遺構	109	21・22				
184	S-256	下小塚原 B区	柱穴状遺構	109	21・22				
185	SK-257	下小塚原 B区	土坑	99	6			11	
186	S-258	下小塚原 B区	柱穴状遺構	109	21・22				
187	S-259	下小塚原 B区	柱穴状遺構	109	21・22				
188	S-260	下小塚原 B区	柱穴状遺構	109	21・22				
189	SB-261	下小塚原 B区	竪立柱礎跡	81・83	4			8	
190	S-262	下小塚原 B区	柱穴状遺構	109	21・22				
191	S-263	下小塚原 B区	柱穴状遺構(柱穴の可能性)	112					
192	S-264	下小塚原 B区	柱穴状遺構	109	21・22				
193	S-265	下小塚原 B区	柱穴状遺構	109	21・22				
194	S-266	下小塚原 B区	柱穴状遺構	109	21・22				
	(S-267)	下小塚原 B区	SB-386の柱穴	91・92					
	(S-268)	下小塚原 B区	SB-386の柱穴	91・92					
195	S-269	下小塚原 B区	柱穴状遺構	109	21・22				
196	SK-270	下小塚原 B区	土坑	99	6			11	
	(S-271)	下小塚原 B区	SB-384の柱穴	87・88					
	(S-272)	下小塚原 B区	SB-384の柱穴	87・88					
	(S-273)	下小塚原 B区	SB-384の柱穴	87・88					
197	S-274	下小塚原 B区	柱穴状遺構	109	21・22				
198	S-275	下小塚原 B区	柱穴状遺構	109	21・22				
	(S-276)	下小塚原 B区	SB-384の柱穴	87・88					
	(S-277)	下小塚原 B区	SB-315の柱穴	84・86					
	(S-278)	下小塚原 B区	SB-315の柱穴	84・86					
	(S-279)	下小塚原 B区	SB-315の柱穴	84・86					
	(S-280)	下小塚原 B区	SB-315の柱穴	84・86					
	(S-281)	下小塚原 B区	SB-315の柱穴	84・86					
	(S-282)	下小塚原 B区	SB-315の柱穴	84・86					
	(S-283)	下小塚原 B区	SB-315の柱穴	84・86					
	(S-284)	下小塚原 B区	SB-315の柱穴	84・86					
	(S-285)	下小塚原 B区	SB-315の柱穴	84・86					
	(S-286)	下小塚原 B区	SB-315の柱穴	84・86					
	(S-287)	下小塚原 B区	SB-315の柱穴	84・86					
	(S-288)	下小塚原 B区	SB-315の柱穴	84・86					
199	SK-289	下小塚原 B区	土坑	99	6				
	(S-290)	下小塚原 B区	SB-385の柱穴	89・90					
200	S-291	下小塚原 B区	柱穴状遺構	89・90	21・22				
	(S-292)	下小塚原 B区	SB-385の柱穴	89・90					
	(S-293)	下小塚原 B区	SB-236の柱穴	79・80					
	(S-295)	下小塚原 B区	SB-236の柱穴	79・80					
	(S-296)	下小塚原 B区	SB-236の柱穴	79・80					
	(S-297)	下小塚原 B区	SB-236の柱穴	79・80					
	(S-298)	下小塚原 B区	SB-236の柱穴	79・80					
201	SB-299	下小塚原 B区	竪立柱礎跡	128	7			9	
	(S-300)	下小塚原 B区	SB-385の柱穴	89・90					
	(S-301)	下小塚原 B区	SB-385の柱穴	89・90					
	(S-302)	下小塚原 B区	SB-385の柱穴	89・90					
	(S-303)	下小塚原 B区	SB-385の柱穴	89・90					
202	S-304	下小塚原 B区	柱穴状遺構	109	21				
203	SK-305	下小塚原 B区	竪立穴状土坑	96	5			10	
204	SK-306	下小塚原 B区	土坑	99・123	6			11	
	(S-307)	下小塚原 B区	SB-385の柱穴	89・90					
205	SK-308	下小塚原 B区	土坑	99	6			12	
206	SK-309	下小塚原 B区	方形土坑(近世以降貯蔵穴)	120	24				
207	SK-310	下小塚原 B区	方形土坑(近世以降貯蔵穴)	120	24				
208	SK-311	下小塚原 B区	方形土坑(近世以降貯蔵穴)	121	24				
	(S-312)	下小塚原 B区	SB-385の柱穴	89・90					
	(S-313)	下小塚原 B区	SB-385の柱穴	89・90					
209	S-314	下小塚原 B区	柱穴状遺構	109	21				
210	SB-315	下小塚原 B区	竪立柱礎跡	84・86	4			8	
	(S-316)	下小塚原 B区	SB-315の柱穴	84・86					
211	SK-317	下小塚原 B区	方形土坑(近世以降貯蔵穴)	121	24				
	(S-318)	下小塚原 B区	SB-395の柱穴	93・95					
	(S-319)	下小塚原 B区	SB-395の柱穴	93・95					
212	SK-320	下小塚原 B区	方形土坑(近世以降貯蔵穴)	121	24				
213	SK-321	下小塚原 B区	方形土坑(近世以降貯蔵穴)	121	24				
214	SK-322	下小塚原 B区	方形土坑(近世以降貯蔵穴)	121	24		135	25	
215	SK-323	下小塚原 B区	方形土坑(近世以降貯蔵穴)	121	24				
	(S-324)	下小塚原 B区	SB-385の柱穴	89・90					
216	SK-325	下小塚原 B区	土坑	99・122	6				
217	SK-326	下小塚原 B区	方形土坑(近世以降貯蔵穴)	99・122	24				
218	SK-327	下小塚原 B区	方形土坑(近世以降貯蔵穴)	122	24				
219	SK-328	下小塚原 B区	方形土坑(近世以降貯蔵穴)	122	24				
220	SK-329	下小塚原 B区	方形土坑(近世以降貯蔵穴)	122	24				
221	SK-330	下小塚原 B区	土坑	100	6			12	
222	SB-331	下小塚原 B区	井戸跡	121・129	7			9	
223	SK-332	下小塚原 B区	方形土坑(近世以降貯蔵穴)	121・129	24				

番号	遺構番号	遺跡・調査区	種類(時代)	遺構埋没	遺構表	遺物埋没	遺物表	遺構写真	遺物写真
224	SK-333	F小塚原 B区	方形土坑(近世以降貯蔵穴)	121・129	24				
225	SK-334	F小塚原 B区	掘し穴状土坑	96	5			10	
226	SK-335	F小塚原 B区	方形土坑(近世以降貯蔵穴)	122	24				
227	SK-336	F小塚原 B区	方形土坑(近世以降貯蔵穴)	122	24				
228	S-337	F小塚原 B区	柱穴状びつ	109	21				
229	SK-338	F小塚原 B区	土坑	100	6			12	
230	SK-339	F小塚原 B区	方形土坑(近世以降貯蔵穴)	122	24				
231	S-340	F小塚原 B区	柱穴状びつ(近世以降)	114	23				
232	S-341	F小塚原 B区	柱穴状びつ	110	21				
233	S-342	F小塚原 B区	柱穴状びつ	110	21				
234	S-343	F小塚原 B区	柱穴状びつ	110	21				
235	S-344	F小塚原 B区	柱穴状びつ	110	21				
236	S-345	F小塚原 B区	柱穴状びつ	110	21				
	(S-346)	F小塚原 B区	SB-384の柱穴	87・88					
	(S-347)	F小塚原 B区	SB-384の柱穴	87・88					
237	SK-348	F小塚原 B区	方形土坑(近世以降貯蔵穴)	121	24				
238	SK-349	F小塚原 B区	方形土坑(近世以降貯蔵穴)	121	24				
239	SK-350	F小塚原 B区	掘し穴状土坑	97	5			10	
240	S-351	F小塚原 B区	柱穴状びつ	110	21				
	(S-352)	F小塚原 B区	SB-384の柱穴	87・88					
241	SK-353	F小塚原 B区	方形土坑(近世以降貯蔵穴)	122.0	24				
	(S-354)	F小塚原 B区	SB-384の柱穴	87・88					
	(S-355)	F小塚原 B区	SB-384の柱穴	87					
242	SK-356	F小塚原 B区	方形土坑(近世以降貯蔵穴)	134	24				
243	SK-357	F小塚原 B区	方形土坑(近世以降貯蔵穴)	122	24				
244	SK-358	F小塚原 B区	方形土坑(近世以降貯蔵穴)	123	24				
245	SK-359	F小塚原 B区	方形土坑(近世以降貯蔵穴)	109・122	24				
	(S-360)	F小塚原 B区	SB-386の柱穴	93-95					
	(S-361)	F小塚原 B区	SB-386の柱穴	93-95					
	(S-362)	F小塚原 B区	SB-386の柱穴	93-95					
246	SD-363	F小塚原 B区	溝	134	8			13	
247	SK-364	F小塚原 B区	方形土坑(近世以降貯蔵穴)	123	24				
248	SK-365	F小塚原 B区	方形土坑(近世以降貯蔵穴)	123	24				
249	SK-366	F小塚原 B区	方形土坑(近世以降貯蔵穴)	123	24				
250	SK-367	F小塚原 B区	方形土坑(近世以降貯蔵穴)	123	24				
251	SK-368	F小塚原 B区	方形土坑(近世以降貯蔵穴)	123	24				
252	SK-369	F小塚原 B区	方形土坑(近世以降貯蔵穴)	123	24				
253	SK-370	F小塚原 B区	方形土坑(近世以降貯蔵穴)	123	24				
254	SK-371	F小塚原 B区	方形土坑(近世以降貯蔵穴)	123	24				
255	SK-372	F小塚原 B区	方形土坑(近世以降貯蔵穴)	123	24				
256	SK-373a	F小塚原 B区	方形土坑(近世以降貯蔵穴)	123	24				
257	SK-373b	F小塚原 B区	方形土坑(近世以降貯蔵穴)	123	24				
258	SK-374	F小塚原 B区	方形土坑(近世以降貯蔵穴)	123	24				
259	SK-375	F小塚原 B区	方形土坑(近世以降貯蔵穴)	124	24				
260	SK-376	F小塚原 B区	方形土坑(近世以降貯蔵穴)	124	24				
261	SK-377	F小塚原 B区	方形土坑(近世以降貯蔵穴)	124	24				
262	SK-378	F小塚原 B区	方形土坑(近世以降貯蔵穴)	124	24				
263	SK-379	F小塚原 B区	方形土坑(近世以降貯蔵穴)	124	24				
264	SK-380	F小塚原 B区	方形土坑(近世以降貯蔵穴)	124	24	135	25		
265	SK-381	F小塚原 B区	方形土坑(近世以降貯蔵穴)	124	24				
266	SK-382	F小塚原 B区	土坑	100	6			12	
267	SK-383	F小塚原 B区	土坑	100	6			12	
268	SB-384	F小塚原 B区	掘立柱建物跡	87・88	4			9	
269	SB-385	F小塚原 B区	掘立柱建物跡	89・90	4				
270	SB-386	F小塚原 B区	掘立柱建物跡	91・92	4			9	
271	SK-387	F小塚原 B区	方形土坑(近世以降貯蔵穴)	112・124	24				
272	SK-388	F小塚原 B区	方形土坑(近世以降貯蔵穴)	125	24				
273	SK-389	F小塚原 B区	方形土坑(近世以降貯蔵穴)	125	24				
274	SK-390	F小塚原 B区	方形土坑(近世以降貯蔵穴)	125	24				
275	SK-391	F小塚原 B区	方形土坑(近世以降貯蔵穴)	125	24				
276	SK-392	F小塚原 B区	方形土坑(近世以降貯蔵穴)	125	24				
277	SK-393	F小塚原 B区	土坑	100	6				
	(S-394)	F小塚原 B区	SB-315の柱穴	84-86					
278	SB-395	F小塚原 B区	掘立柱建物跡	93-95	4			9	
279	S-396	F小塚原 B区	柱穴状びつ(穴の可能性がある)	112					
280	SK-397	F小塚原 B区	方形土坑(近世以降貯蔵穴)	125	24				
	(S-398)	F小塚原 B区	SB-386の柱穴	91・92					
	(S-399)	F小塚原 B区	SB-386の柱穴	91・92					
281	SE-400	F小塚原 B区	井戸跡	128	7			9	
282	SK-401	F小塚原 B区	方形土坑(近世以降貯蔵穴)	124	24				
	(S-402)	F小塚原 B区	SB-395の柱穴	93-95					
	(S-403)	F小塚原 B区	SB-395の柱穴	93-95					
	(S-404)	F小塚原 B区	SB-395の柱穴	93-95					
283	S-405	F小塚原 B区	柱穴状びつ	110	21				
284	SK-406	F小塚原 B区	方形土坑(近世以降貯蔵穴)	124	24				
285	SK-407	F小塚原 B区	方形土坑(近世以降貯蔵穴)	125	24				
286	SK-408	F小塚原 B区	方形土坑(近世以降貯蔵穴)	125	24				
287	SK-409	F小塚原 B区	方形土坑(近世以降貯蔵穴)	125	24				
288	SK-412	F小塚原 B区	方形土坑(近世以降貯蔵穴)	125	24				
289	S-414	F小塚原 B区	柱穴状びつ	110	21				
290	SK-415	F小塚原 B区	方形土坑(近世以降貯蔵穴)	23・125	24				
	(S-416)	F小塚原 B区	SB-385の柱穴	93-95					
	(S-417)	F小塚原 B区	SB-385の柱穴	93-95					

番号	遺構番号	遺跡・調査区	種類(時代)	遺構埋没	遺構表	遺物埋没	遺物表	遺構写真	遺物写真
291	SK-418	下小塚原 B区	土坑	101	6			12	
292	S-419	下小塚原 B区	柱穴状ピット	110	21				
293	S-420	下小塚原 B区	柱穴状ピット	110	21				
294	S-421	下小塚原 B区	柱穴状ピット	110	21				
295	S-422	下小塚原 B区	柱穴状ピット	110	21				
296	S-423	下小塚原 B区	柱穴状ピット	110	21				
297	SK-425	下小塚原 B区	方形土坑(近世以降貯蔵穴)	125	24				
	(S-426)	下小塚原 B区	SB-384の柱穴	87・88					
	(S-427)	下小塚原 B区	SB-384の柱穴	87・88					
	(S-428)	下小塚原 B区	SB-384の柱穴	87・88					
	(S-429)	下小塚原 B区	SB-384の柱穴	87・88					
	(S-430)	下小塚原 B区	SB-384の柱穴	87・88					
	(S-431)	下小塚原 B区	SB-384の柱穴	87・88					
	(S-432)	下小塚原 B区	SB-395の柱穴	93~95					
298	SK-433	下小塚原 B区	方形土坑(近世以降貯蔵穴)	125	24				
299	SK-434	下小塚原 B区	方形土坑(近世以降貯蔵穴)	125	24				
300	SK-435	下小塚原 B区	方形土坑(近世以降貯蔵穴)	126	24				
301	S-436	下小塚原 B区	柱穴状ピット(柱穴の可能性)	113					
302	S-437	下小塚原 B区	柱穴状ピット(柱穴の可能性)	113					
303	S-438	下小塚原 B区	柱穴状ピット(柱穴の可能性)	113					
304	S-439	下小塚原 B区	柱穴状ピット(柱穴の可能性)	113					
305	S-440	下小塚原 B区	柱穴状ピット	110	21				
306	S-441	下小塚原 B区	柱穴状ピット	110	21				
307	S-442	下小塚原 B区	柱穴状ピット	110	21				
308	S-443NW	下小塚原 B区	柱穴状ピット	110	21				
309	S-443SE	下小塚原 B区	柱穴状ピット	110	21				
310	S-444	下小塚原 B区	柱穴状ピット(柱穴の可能性)	113					
311	S-445	下小塚原 B区	柱穴状ピット(柱穴の可能性)	113					
	(S-446)	下小塚原 B区	SB-384の柱穴	87・88					
	(S-447)	下小塚原 B区	SB-384の柱穴	87・88					
312	S-448	下小塚原 B区	柱穴状ピット(柱穴の可能性)	113					
313	SI-501	下小塚原 B区	住居跡	50~56	3	57・58	17	5・6	22
314	SI-502	下小塚原 B区	住居跡	59~65	3	66・67	18	6	23
315	SI-503	下小塚原 B区	住居跡	68・69	3	70	19	7	22
316	SK-504	下小塚原 B区	方形土坑(近世以降貯蔵穴)	126	24				
317	SK-507	下小塚原 B区	土坑	101	6			12	
318	SK-508	下小塚原 B区	土坑	101	6			12	
319	SK-518	下小塚原 B区	土坑	101	6				
320	SK-519	下小塚原 B区	土坑	101	6			9	
321	SK-521a	下小塚原 B区	土坑	101	6				
322	SK-521b	下小塚原 B区	土坑	101	6				
323	SD-522	下小塚原 B区	溝	131	8			13	
324	SK-523	下小塚原 B区	方形土坑(近世以降貯蔵穴)	126	24				
325	SK-524	下小塚原 B区	方形土坑(近世以降貯蔵穴)	126	24				
326	SK-525	下小塚原 B区	方形土坑(近世以降貯蔵穴)	126	24				
327	SK-526	下小塚原 B区	方形土坑(近世以降貯蔵穴)	126	24				
328	SK-527	下小塚原 B区	土坑	101	6				
329	SK-528	下小塚原 B区	土坑	102	6				
330	SK-529	下小塚原 B区	方形土坑(近世以降貯蔵穴)	114・126	24				
331	S-530	下小塚原 B区	柱穴状ピット(近世以降)	114	23				
332	S-531	下小塚原 B区	柱穴状ピット(近世以降)	114	23	135	25		
333	SK-532	下小塚原 B区	方形土坑(近世以降貯蔵穴)	126	24				
334	S-533	下小塚原 B区	柱穴状ピット(近世以降)	114	23				
335	S-534	下小塚原 B区	柱穴状ピット	110	21				
336	S-535	下小塚原 B区	柱穴状ピット(近世以降)	114	23				
337	S-536	下小塚原 B区	柱穴状ピット(近世以降)	115	23				
338	S-537	下小塚原 B区	柱穴状ピット(近世以降)	115	23				
339	S-538	下小塚原 B区	柱穴状ピット(柱穴の可能性)	113					
340	S-539	下小塚原 B区	柱穴状ピット(近世以降)	115	23				
341	S-540	下小塚原 B区	柱穴状ピット(近世以降)	115	23				
342	S-541	下小塚原 B区	柱穴状ピット(柱穴の可能性)	113					
343	S-542	下小塚原 B区	柱穴状ピット(柱穴の可能性)	113					
344	S-543	下小塚原 B区	柱穴状ピット(近世以降)	115	23				
345	S-544	下小塚原 B区	柱穴状ピット(近世以降)	115	23				
346	S-545	下小塚原 B区	柱穴状ピット(近世以降)	115	23				
347	S-546	下小塚原 B区	柱穴状ピット(近世以降)	115	23				
348	S-547	下小塚原 B区	柱穴状ピット(柱穴の可能性)	113					
349	S-548	下小塚原 B区	柱穴状ピット(近世以降)	115	23				
350	S-549	下小塚原 B区	柱穴状ピット(近世以降)	115	23				
351	S-550	下小塚原 B区	柱穴状ピット(近世以降)	115	23				
352	SI-551	下小塚原 B区	住居跡	71	3	72	20	7	23
353	S-555	下小塚原 B区	柱穴状ピット	111	21				
354	S-556	下小塚原 B区	柱穴状ピット	111	21				
355	S-558	下小塚原 B区	柱穴状ピット	111	21				
356	S-559	下小塚原 B区	柱穴状ピット	111	21				
357	S-560	下小塚原 B区	柱穴状ピット	111	21				
358	S-561	下小塚原 B区	柱穴状ピット	111	21				
359	S-562	下小塚原 B区	柱穴状ピット	111	21				
360	S-564	下小塚原 B区	柱穴状ピット	110	21				
361	S-565	下小塚原 B区	柱穴状ピット	110	21				
362	S-566	下小塚原 B区	柱穴状ピット	110	21				
363	S-568	下小塚原 B区	柱穴状ピット	110	21				
364	S-569	下小塚原 B区	柱穴状ピット	110	21				

番号	遺構番号	遺跡・調査区	種類(時代)	遺構深	遺構表	遺物深	遺物表	遺構写真	遺物写真
365	SD-601	F小部屋 B区	溝	133	8	135	25	13	
366	S-602	F小部屋 B区	柱穴状ピット(近世以降)	115	23				
367	S-603	F小部屋 B区	柱穴状ピット(近世以降)	115	23				
368	S-605	F小部屋 B区	柱穴状ピット(近世以降)	115	23				
369	S-608	F小部屋 B区	柱穴状ピット(近世以降)	115	23				
370	SK-609	F小部屋 B区	方形土坑(近世以降貯蔵穴)	126	24				
371	S-610	F小部屋 B区	柱穴状ピット(近世以降)	115	23				
372	SK-614	F小部屋 B区	土坑	102	6				
373	S-617	F小部屋 B区	柱穴状ピット(近世以降)	115	23				
374	S-618	F小部屋 B区	柱穴状ピット(近世以降)	115	23				
375	S-619	F小部屋 B区	柱穴状ピット(近世以降)	115	23				
376	S-621	F小部屋 B区	柱穴状ピット(近世以降)	115	23				
377	S-622	F小部屋 B区	柱穴状ピット(近世以降)	115	23				
378	S-623	F小部屋 B区	柱穴状ピット(近世以降)	115	23				
379	SK-624	F小部屋 B区	方形土坑(近世以降貯蔵穴)	126	24				
380	SK-626	F小部屋 B区	方形土坑(近世以降貯蔵穴)	126	24				
381	SK-627	F小部屋 B区	陥し穴状土坑	97・126	5			10	
382	SK-629	F小部屋 B区	方形土坑(近世以降貯蔵穴)	126	24				
383	SK-630	F小部屋 B区	方形土坑(近世以降貯蔵穴)	127	24				
384	SK-634	F小部屋 B区	方形土坑(近世以降貯蔵穴)	127	24				
385	SK-635	F小部屋 B区	方形土坑(近世以降貯蔵穴)	127	24				
386	S-637	F小部屋 B区	柱穴状ピット	110	21・24				
387	S-640	F小部屋 B区	柱穴状ピット(近世以降)	115	23				
388	S-641	F小部屋 B区	柱穴状ピット(柱穴の可能性)	113					
389	SK-642	F小部屋 B区	土坑	102	6			12	
390	SK-647	F小部屋 B区	方形土坑(近世以降貯蔵穴)	127	24				
391	SK-650	F小部屋 B区	方形土坑(近世以降貯蔵穴)	127	24			13	
392	SK-651	F小部屋 B区	土坑	102	6			13	
393	SK-674	F小部屋 B区	方形土坑(近世以降貯蔵穴)	127	24				
394	SK-678	F小部屋 B区	陥し穴状土坑	97	5			10	
395	S-679	F小部屋 B区	柱穴状ピット(近世以降)	115	23				
396	S-683	F小部屋 B区	柱穴状ピット(柱穴の可能性)	113					
397	SK-684	F小部屋 B区	方形土坑(近世以降貯蔵穴)	127	24				
398	S-688	F小部屋 B区	柱穴状ピット(柱穴の可能性)	113					
399	SK-689	F小部屋 B区	方形土坑(近世以降貯蔵穴)	127	24				
400	SL-702	高島鉾址	住居跡	140・141	3	142	29	15	
401	SD-703	高島鉾址	溝	156	8	158		15	
402	SL-704	高島鉾址	住居跡	143	3	144	30	15	24
403	SL-705	高島鉾址	住居跡	145	3	146	31	15	
404	SK-706	高島鉾址	土坑	156	6			15	
405	SL-707	高島鉾址	住居跡	147・148	3	149	32	15	24
406	SK-708	高島鉾址	土坑	156	6	157	35	15	
407	SL-709	高島鉾址	住居跡	150・152・153	3	154	33	15	24
408	SL-710	高島鉾址	住居跡	150・153	3	155	34	15	24
409	SK-801	F小部屋 C区	竈状土坑	103	6				
410	SK-802	F小部屋 C区	方形土坑(近世以降貯蔵穴)	103	24				24
411	SK-803	F小部屋 C区	方形土坑(近世以降貯蔵穴)	103	24				
412	SK-804	F小部屋 C区	方形土坑(近世以降貯蔵穴)	103	24				
413	SK-805	F小部屋 C区	方形土坑(近世以降貯蔵穴)	103	24				
414	SK-811	F小部屋 C区	竈底状土坑	104	6				
415	SK-812	F小部屋 C区	方形土坑(近世以降貯蔵穴)	104	24				
416	SK-813	F小部屋 C区	円筒状土坑	104	6				
417	SK-814	F小部屋 C区	竈底状土坑	104	6				
418	SD-815	F小部屋 C区	円筒状土坑か溝	104	8				
419	SD-816	F小部屋 C区	円筒状土坑か溝	104	8				
420	SD-817	F小部屋 C区	円筒状土坑か溝	104	8				
421	SK-818	F小部屋 C区	方形土坑(近世以降貯蔵穴)	105	24				
422	SK-819	F小部屋 C区	円筒状小土坑	105	6				
423	SK-820	F小部屋 C区	竈底状土坑	105	6				
424	SK-821	F小部屋 C区	円筒状小土坑	105	6				
425	SK-822	F小部屋 C区	円筒状小土坑	105	6				
426	SK-823	F小部屋 C区	竈底状土坑	105	6				
427	SK-824	F小部屋 C区	竈底状土坑	105	6				
428	SK-825	F小部屋 C区	竈底状土坑	105	6				
429	SK-826	F小部屋 C区	竈底状土坑	105	6				

第Ⅰ章 調査の経緯

第1節 発掘調査に至る経緯

北関東自動車道(路線名「北関東自動車道高崎水戸線」)は、群馬県高崎市から茨城県ひたちなか市に至る延長約150kmの国土開発幹線自動車道である。群馬、栃木、茨城3県の主要都市並びに国際空港陸羽阿部港を結ぶとともに、上信越自動車道や中部横断自動車道と一体となり、東京から100km～150km圏を環状に結ぶ「関東環状道路」を形成する高速道路である。関東地方における高速道路網の強化により各主要都市の交流の促進や地域の総合的発展の基盤施設としての役割が期待されている。

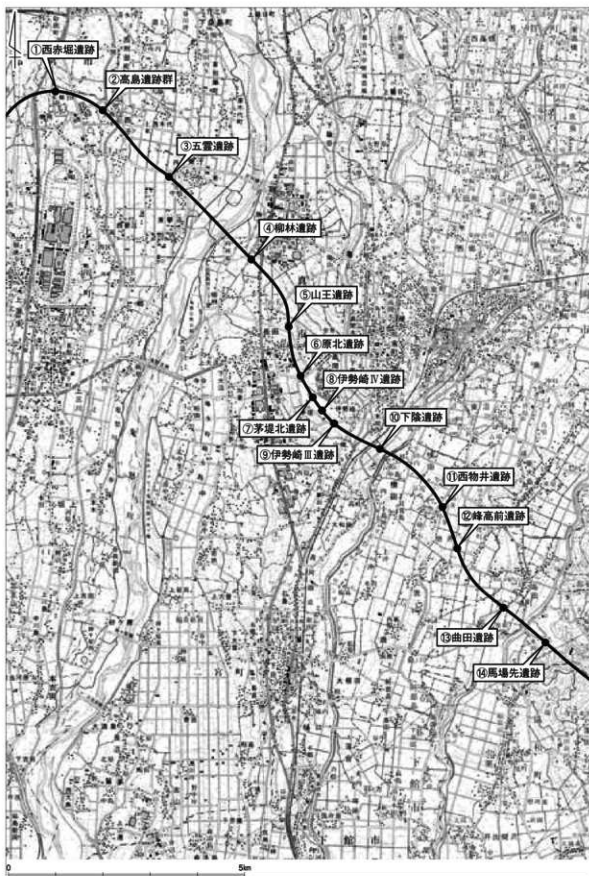
栃木県内は足利市、佐野市、岩舟町、栃木市、都賀町、壬生町、下野市、宇都宮市、上三川町、真岡市、二宮町の6市5町、約58kmを通過する。このうち、東北自動車道(栃木都賀J.C.T)から新4号国道(宇都宮上三川I.C)までの約19kmは優先着工区間とされ、平成12年7月27日に開通している。

東北自動車道重複区間及び優先着工区間の両側に位置する上三川～二宮間、足利～岩舟間においては平成3年2月8日都市計画決定、平成3年12月3日基本計画決定、平成8年12月27日整備計画決定をへて、群馬県境～足利は平成9年12月25日、真岡～茨城県境は平成10年4月8日にそれぞれ施行命令が出されている。

日本道路公団東京第一建設局(当時、以下公団)長は施工命令を受け、平成9年7月1日、栃木県土木部高速道路対策室(以下県高対室)を経由し県教育長あて路線内の埋蔵文化財について照会した。そこで栃木県教育委員会事務局文化課(以下県文化課、平成11年度より県文化財課)は、平成9年7月8日から18日にかけて所在調査を実施した。この調査により周知の埋蔵文化財包蔵地を中心に上三川～二宮間で14箇所、岩舟～足利間で18箇所の調査必要箇所が確認された。結果は平成10年3月18日付で公団局長あて回答され、あわせて県高対室長あて報告された。

これら調査必要箇所の取り扱いについて、県文化課、公団、県高対室による協議の結果、工事の影響を免れない範囲について記録保存のための発掘調査を実施することとなった。そのため、平成13年1月15日、公団局長、県教育長及び発掘主体者の財団法人とちぎ生涯学習文化財団(以下財団)理事長により「北関東自動車道(足利～岩舟、上三川～二宮)建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査の実施に関する協定書」(以下協定書)が締結された。この協定書において、上記の32箇所について現地発掘調査期間は平成18年3月まで、整理作業・報告書作成期間は平成19年3月まで、費用概算額は2,167,967,000円とされた。また、平成12年度は上三川～二宮間の柳林遺跡、西物井遺跡、峰高前遺跡について調査に着手することとなり、協定書に基づき公団局長及び財団理事長間で「埋蔵文化財発掘調査業務委託契約書」が締結され、北関東自動車道上三川～二宮間及び足利～岩舟間の発掘調査が開始された。

その後、財団は文化財課の指導のもとづき発掘調査業務を実施してきたところ、工事予定の変更や新たな埋蔵文化財包蔵地の確認等により協定書中全体実施計画等の見直しが必要となった。そのため、平成18年3月29日付、東日本高速道路株式会社(平成17年10月1日、日本道路公団の民営化に伴い設立；以下東日本高速)関東支社宇都宮工事事務所長、県教育長及び財団理事長により「北関東自動車道(足利～岩舟、上三川～二宮)建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査の実施に関する変更協定書(第1回変更)」が締結された。この協定においては新たに4箇所を加えた36箇所(第1～3表、壬生P、A建設新規に伴う都賀～上三川間、谷向遺跡を含む)について、現地発掘調査は平成23年3月まで、また整理作業、報告書作成は平



第1図 北関東自動車道路線図

第1表 北関東自動車道（上三川～二宮間）埋蔵文化財発掘調査箇所一覧

No	遺跡名	所在地	当初調査 対象面積 (㎡)	調査区分	調査面積 (㎡)	遺跡の概要
1	西赤堀遺跡 (18年度報告)	河内郡上三川町 西汗	27,100	発掘	24,260	平成13～15年度本調査。縄文時代住居跡1軒・古墳時代住居跡59軒・古墳2基など。
				確認	730	対象面積：5,000㎡
2	高島遺跡群 (当報告書)	河内郡上三川町 西汗	29,000	発掘	10,500	平成13・14年度本調査。古墳～平安時代住居跡18軒・掘立柱建物跡11棟など。
				確認	930	対象面積：8,300㎡
				試掘	1,085	対象面積：17,100㎡
3	五雲遺跡	河内郡上三川町 東汗	10,400	発掘	9,385	平成14・15年度本調査。古墳～平安時代住居跡19軒・溝跡30条など。
				試掘	1,266	対象面積：10,400㎡
4	柳林遺跡	真岡市 柳林・亀山	9,200	試掘	369	平成12年度試掘調査（対象面積：9,200㎡） 遺構なし。
5	山王遺跡	真岡市長田	11,000	試掘	1,018	平成14・16年度試掘調査（対象面積：11,000㎡） 遺構なし。
6	原北遺跡	真岡市西高岡木	6,600	発掘	1,500	平成15年度本調査。時期不明の溝2条。
				試掘	570	対象面積：5,900㎡
7	茅堤北遺跡	真岡市伊勢崎	3,300	試掘	804	平成14年度試掘調査（対象面積：3,300㎡） 遺構なし。
8	伊勢崎Ⅳ遺跡	真岡市伊勢崎	7,900	試掘	620	平成14年度試掘調査（対象面積：7,900㎡） 遺構なし。
9	伊勢崎Ⅲ遺跡	真岡市伊勢崎	10,500	発掘	8,100	平成15年度本調査。旧石器時代遺物ブロック・古墳～平安時代住居跡3軒など。
				確認	404	対象面積：2,700㎡
10	下除遺跡	真岡市八木岡	64,700	発掘	41,183	平成13・14・17・18年度本調査。縄文時代住居跡5軒・古墳～平安時代住居跡8軒・古墳2基・中世遺構約5,000基など。
				試掘	2,822	対象面積：37,476㎡
11	西物井遺跡	芳賀郡二宮町 物井	26,800	発掘	26,350	平成13～17年度本調査。古墳～平安時代住居跡73軒・方形周溝遺構9基・中近世土坑等約320基・溝104条・ピット約1500基など。
				確認	1,047	対象面積：6,900㎡
12	峰高前遺跡 (19年度報告)	芳賀郡二宮町 物井	17,600	発掘	13,780	平成13～15・17年度本調査。古墳～平安時代住居跡105軒・掘立柱建物跡22棟・溝27条・井戸状遺構47基など。
				確認	2,097	対象面積：22,900㎡
13	曲田遺跡	芳賀郡二宮町 高田	22,150	発掘	28,310	平成13～16年度本調査。古墳時代住居跡34軒・古墳2基など。
				確認	2,592	対象面積：22,150㎡
14	馬場先遺跡	芳賀郡二宮町 水戸部	10,600	発掘	10,600	平成15年度本調査。奈良・平安時代住居跡5軒など。
				試掘	530	対象面積：9,000㎡

成24年3月までの期間、費用概算額は3,302,692,000円と変更された。

なお、平成19年3月には、上三川～二宮間における14箇所の現地発掘調査が全て終了した。また、平成20年3月までには足利～岩舟間及び都賀～上三川間における22箇所の現地発掘調査が終了する予定である。整理報告書作成作業は総ての遺跡について平成23年度までに刊行する予定である。

高島遺跡群は上三川町西汗に所在する周知の埋蔵文化財包蔵地（県遺跡番号4367・下小屋原遺跡・高島館址）である。発掘調査については、平成13年度に確認調査、試掘調査と一部本発掘調査を開始し、平成14年度に路線内の状況に併せ前後4ヶ月の合計8ヶ月間の本調査を実施、15年度に一部調査区内に残っていた未調査区の試掘調査を行い、断続的となったが現地の発掘調査を終了した。整理・報告書作成作業については、平成15年度及び平成16年度の各々上半期に整理作業、平成19年度下半期に整理・報告書作成を実施した。

第1章 調査の経緯

調査組織

平成12年度

理蔵文化財センター所長	山内 正吉	
管理部長	中田 清	
管理部管理担当	板井 恭子	
主幹兼調査部長	大金 宣亮	
大規模調査班班長	楠本 澄朗	
調査部北関東道路調査担当総括	藤田 典夫	
主査 鈴木 元	主査 塚本 師也	主査 尾藤 敏雄
主任 谷中 隆	主任 安永 真一	主任 亀田 幸久
技師 安藤 美保	技師 平久保直希	技師 合田恵美子
嘱託調査員	大島美智子	

平成13年度

組織文化財センター所長	望月 守	
管理部長	中田 清	
管理部管理担当	板井 恭子	
主幹兼調査部長	大金 宣亮	
大規模調査班班長	楠本 澄朗	
北関東道路調査担当総括	藤田 典夫	
主査 水岡 正美	主査 賀川 倫夫	主査 塚本 師也
主査 進藤 敏雄	主査 森口 尚志	主任 仲山 英樹
主任 田代 己佳	主任 安永 真一	主任 池田 敏宏
主事 横田 正宏	技師 合田恵美子	主事 吉村 英子
調査補助員	玉橋さやか 帯 陽子	

平成14年度

理蔵文化財センター所長	望月 守	
管理部長	中田 清	
管理部管理担当	板井 恭子	
主幹兼調査部長	大金 宣亮	
大規模調査班班長	楠本 澄朗	
北関東道路調査担当総括	藤田 典夫	
主査 水岡 正美	主査 賀川 倫夫	主査 塚本 師也
主査 森口 尚志	主査 仲山 英樹	主査 西田 知生
主任 安永 真一	主任 田代 己佳	主任 江原 英
主任 池田 敏宏	主任 亀田 幸久	主任 塚田 浩久
主任 横田 桂	技師 合田恵美子	主事 吉村 英子
嘱託調査員	平山 紋子 (7/1～3/31)	
調査補助員	玉橋さやか 平山 紋子 (4/1～6/30)	

平成15年度

理蔵文化財センター所長	藤原 洋	
管理部長	中田 清	
管理部管理担当	板井 恭子	
主幹兼調査部長兼大規模調査班班長	楠本 澄朗	
北関東道路調査担当総括	藤田 典夫	
主査 芹澤 清八	主査 賀川 倫夫	主査 塚本 師也
主査 森口 尚志	主査 鈴木 泰浩	主査 西田 知生
主任 田代 己佳	主任 池田 敏宏	主任 亀田 幸久
主任 横田 桂	技師 合田恵美子	主事 吉村 英子
嘱託調査員	平山 紋子 (4/1～8/31)	
調査補助員	玉橋さやか 鈴木 芳英 平山 紋子 (9/1～3/31)	

平成16年度

理蔵文化財センター所長	藤原 洋	
管理部長	大田 原博	
管理部管理担当	板井 恭子	
主幹兼調査部長兼大規模調査班班長	楠本 澄朗	
北関東道路調査担当係長	藤田 典夫	
主査 芹澤 清八	主査 塚本 師也	主査 西田 知生
主査 中村 享史	主任 田代 己佳	主任 池田 敏宏
主任 横田 桂	主任 吉田 智	技師 合田恵美子
調査補助員	玉橋さやか 平山 紋子	鈴木 芳英

平成17年度

理蔵文化財センター所長	藤原 洋	
管理部長	大田原 博	
管理部管理担当	板井 恭子	
主幹兼調査部長	楠本 澄朗	
大規模調査班班長兼北関東道路調査担当リーダー	川原 由典	
主査 芹澤 清八	主査 椎名 聡	主査 仲山 英樹
主査 西田 知生	主査 中村 享史	主査 田代 己佳
主査 江原 英	主任 池田 敏宏	主任 横田 桂
主任 吉田 智	主任 宮田 宣浩	主任 合田恵美子
嘱託調査員	玉橋さやか 鈴木 芳英	
調査補助員	平山 紋子 村田 沙織	

平成18年度

蔵文化財センター所長		藤原 洋			
管理部長		大田原 博			
管理部管理担当		板井 恭子			
調査部長		川原 由典			
北関東道路調査担当副主幹		初山 孝行			
主査	進藤 敏雄	主査	椎名 聡	主査	仲山 英樹
主査	中村 享史	主査	伊藤 信二	主査	高野 欽哉
主査	田代 己佳	主査	江原 英	主任	磯 寿人
主任	亀田 幸久	主任	横田 桂	主任	吉田 智
主任	宮田 宣浩	主任	合田恵美子	主事	峰崎 武昭
調査嘱託員	玉橋さやか	鈴木 芳英	田村 雅樹		
調査補助員	村田 沙織	長濱 健一			

平成19年度

理蔵文化財センター所長	藤原 洋			
管理部長	安西 和雄			
管理部管理担当	板井 恭子			
調査部長	川原 由典			
北関東道路調査担当副主幹	初山 孝行			
主査 仲山 英樹	主査 藤原 浩恵	主査 田代 己佳		
主査 池田 敏宏	主任 合田恵美子	主任 峰崎 武昭		
調査嘱託員	田村 雅樹			

第2節 発掘調査の経過

高島遺跡群の発掘調査については、調査を開始するにあたり、地形や現在の土地利用状況から、調査区域を東側からA・B・C区（第2図）と分割した。また各区の遺物散布状況及び県市町の遺跡確認状況から、B区とA区西地区台地部分については本調査、A区東地区から西地区に延びる江川右岸の低地部分約17,100㎡については試掘調査、C区の約8,300㎡については確認調査を実施し、以後の埋蔵文化財の取り扱いを決定することとなった。以下、年度毎に発掘調査の経過を記す。

遺跡名について

遺跡名については、地元字名が「高島」と呼称されているが、B・C区は宇都宮市側から広がる県道跡台帳（4367）下小屋原遺跡範囲内となっていた。またC区については遺跡範囲内ではあるが、取り扱いについては確認調査の結果によることとなった。

A区西地区台地部分については高島館址とされているが、河川改修もあり調査区内に館址が続いているのか、また、東地区については西地区と低地を挟み別台地となることから、C区同様試掘調査後に取り扱いを決定することとなった。

以上の状況から、調査区全体を高島遺跡群として取り扱い、発掘調査後に各地区の取り扱いが決定後、遺跡名称を協議することとなる。このことから調査結果を基に、県教育委員会事務局文化財課と上三川町教育委員会の協議により、B区を下小屋原遺跡、A区西地区を高島館址として取り扱うこととなった。

このため本報告書においても高島遺跡群（下小屋原遺跡・高島館址）として、調査結果を報告するものがある。

平成13年度

確認調査（第3図）

平成14年1月4日～平成14年2月15日 調査対象面8,300㎡・調査面積930㎡（11.2%）

高島遺跡群の発掘調査については、平成14年1月より調査準備を行い、2月よりC区の現地調査を開始した。C区については、路線方向に沿って幅2mのトレンチを6本設定し、重機を用いて掘り下げた。ローム面までの深さは0.3～0.9mで、現地地形はほぼ平坦であるが、旧地形は北東側から南西に向かい徐々に傾斜していたものと考えられた。調査の結果、遺物の出土は無く、遺構は近現代と思われる土坑11基、溝3条、方形土坑（近世以降貯蔵穴＝所謂芋穴）2基であり、遺跡としての広がりは無かった。

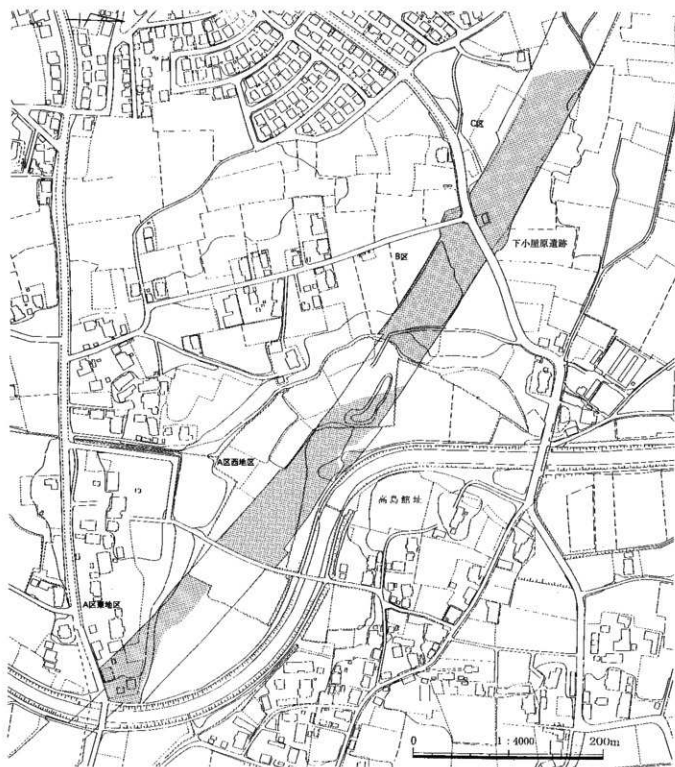
なおC区南西部の宅地部分（約1,575㎡）の調査については、宅地撤去後に実施することとなった。

試掘調査（第4図）

平成14年2月18日～平成14年3月1日 調査対象面14,100㎡・調査面積868㎡（6.2%）

確認調査に引き続き、A区の試掘調査を実施した。なおA区については、南西側から江川の低地に張り出す台地端部の東地区と高島館址に関係する西地区に分けられる。更に西地区については、館址部分南端と思われる台地上、旧河川の跡と考えられる畦畔が確認できる台地直下の低地部分、その東側の低地部分とに分けて調査をおこなった。

（東地区） この台地の比高は低地から約1mである。等高線に直交する方向で4本のトレンチ（No1～4）を設定し、重機で掘削を行った。台地から低地への地形変換点の土層観察に重点を置いたが、台地部周囲の排水路と雑木の密生により、台地部分のみの土層観察となってしまった。



第2図 高島遺跡群 調査区位置図

調査の結果、台地部であったがローム層は確認されず、トレンチ下層はシルト質の粘土層であった。このためローム降灰期には低地であったことが判る。また上層は所謂黒ボク土であり、縄文時代以降に乾燥地となったと思われる（第6図）。遺構、遺物は全く確認されなかったため、調査は終了となる。

なお調査区東端部の宅地部分については、宅地撤去後に調査を実施することとなった。

（低地部分） 調査については、路線の方向に沿って3本のトレンチ（No5～7）を設定し、重機で掘削を行った。

調査の結果、土層では水田耕作に由来する上層以下はシルト質の粘土層であった。後の高島館址台地端部で確認されるが、このシルト質の粘土層は赤城鹿沼テフラ（通称「鹿沼土」）の下に形成されており、江川の沖積作用ではなく、赤城鹿沼テフラ降灰（約32,000年前）以前に古鬼怒川の沖積作用によって形成されたと考えられるため、従前より低地であったことが窺える。またこの地区では、旧江川の河道跡は確認されなかった。遺構は全く発見されなかったが、遺物は台地からの流れ込みと思われる縄文土器・土師器・陶磁器の小破片が若干出土している。この中で、17C代と思われる磁器の小片（第167図）が確認されたことは重要であった。

（台地直下の低地部分） この地区の江川については、昭和60年頃に河川改修が行われ河道が現在の位置に付け替えられていること、台地端部に沿うよう畦畔が巡る部分が認められ、旧河道との関係が予測されることから、旧河道の軌跡を把握することを目的とした。まず旧河道の軌跡と思われるラインに直交するよう台地部分から放射状にトレンチ（No8～17）を設定し、重機で掘削を行った。なおNo10トレンチについては、台地から低地への土層の連続を確認するため、一部台地部分までトレンチを延ばし調査を行った。

調査の結果、南半部のNo9・10トレンチで旧河道が2本、北半部のNo14・16トレンチ及び南端のNo8で旧河道1本が確認された。外側となるNo12・13・15・17トレンチでは、旧河道の痕跡は確認されなかった。すなわち、台地北西部に南流する1本の旧河道があり、台地に沿って東方に流れを変え、台地南東側では2本に分かれ、南端部分では再度1本となることが判明した。また台地部に接する内側の旧河道の覆土には近年の空き缶等が含まれており、河川改修時の埋め戻しも併せて確認できた。

以上のことから、館に関連して自然流路の利用又は付け替えを行っていることが推察された。

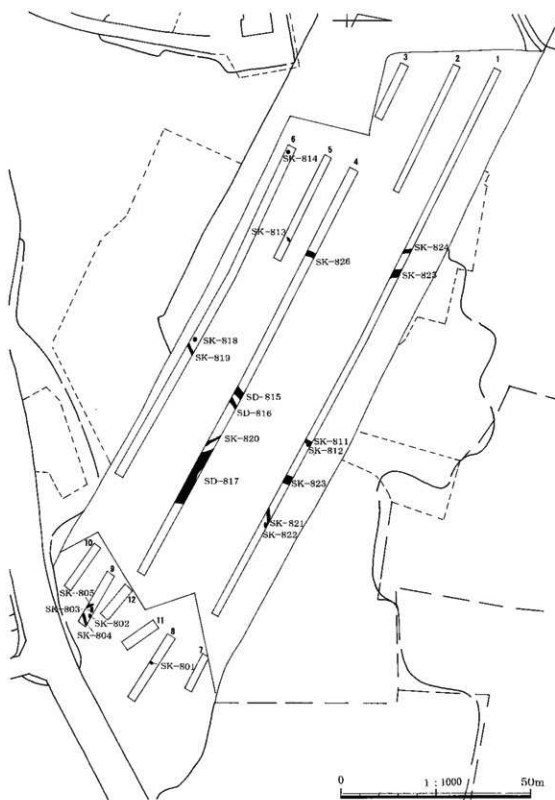
（台地上） この地区は「高島館址」とされる地区の南東端部にあたる。調査前には樫などの大木も存在し、重機で抜根作業を行うと遺構面を激しく攪乱してしまうため手掘りによる調査とした。トレンチは本調査時の基本ラインとなる部分の脇に沿って幅1mのトレンチを設定し掘削した。表土層からローム面までは約0.2～0.4mの深さであり、須恵器・土師器等が出土した。

調査の結果、前述したNo10トレンチの台地端部においてシルト質粘土層上面に赤城鹿沼テフラが堆積しているため、台地が宝木面相当であることが確認された。このシルト質の粘土層は低地部、台地部分とも同様に存在し、赤城鹿沼テフラ降灰以前の古鬼怒川の沖積作用によって形成されたことが判った（第162図）。このため赤城鹿沼テフラ降灰期もしくはそれ以降、江川の浸食作用が始まり、低地が形成されたと考えられた。またNo10トレンチでは中世の方形堅穴遺構と思われる遺構も確認され、館址との関連も想定された。他に古墳時代～平安時代の遺構と遺物が存在することも判明した。

以上より、この台地上から台地直下の低地部分については高島館址関連範囲として本調査を実施することとなる。

本調査（第2図）

平成14年3月1日～平成14年3月29日 調査対象面6,800㎡、調査面積4,736㎡（70%）



第3図 高島遺跡群 平成13年度C区（平成15年度東端部）確認調査トレンチ配置図

確認調査、試掘調査終了後、B区の調査区南東端の台地際宅地部分と北西部の調査用プレハブ用地を除いた中央部分から本調査を開始した。なお残地部分の調査については、宅地撤去後に併せて実施することとなった。

調査については、先ず部分的に調査区内を深掘りし、遺構確認面までの土層を観察した。調査区内については、標準土層図（第7図）のC区土層に類似する。ただしB区南東端部については、台地部から低地部への移行する土層となることが次年度の調査で判明した。表土除去については全面重機により行ったが、竪穴建物跡についてはⅡ層下面（暗褐色土層）で確認できた。しかし多数存在する小ピット等については確認が困難なため、竪穴建物跡等大形の遺構が確認されない地区はローム層上面まで掘り下げた。その後、一部遺構確認作業を開始し年度を終了した。表土除去段階での出土遺物は、縄文土器片少量、須恵器・土師器片が収納箱約1箱分であった。

平成14年度

本調査（第2図・付図）

本年度の調査については宅地撤去の問題もあり、B区中央部を平成13年度からの継続として前半期に、B区両端の残地部分と高島館址となるC区台地上から台地直下の低地部分に掛けての地区を後半期にそれぞれ本調査として実施した。

前半期 B区中央部（平成13年度からの継続）

平成14年4月1日～平成14年7月31日

後半期 B区残地部分 調査面積2,064㎡、C区台地上～台地直下の低地部分 調査面積3,700㎡

平成14年12月2日～平成15年3月31日

前半期（B区中央部）本地区については前年度からの継続であり、遺構確認作業から調査を再開した。その後、遺構配置図を作成し順次遺構の調査を行った。なお遺構確認については未確認の遺構が出ないよう作業を進めたため、本調査区の遺構については完全に調査を実施することができたと考えている。

最後に調査区全景の航空写真撮影の後、調査区の埋め戻し、調査事務所の撤去を行い終了とした。

後半期（B区両端の残地部分）宅地の撤去も完了したため、B区両端部より調査を再開した。両地区とも前回同様重機により表土除去を行った。

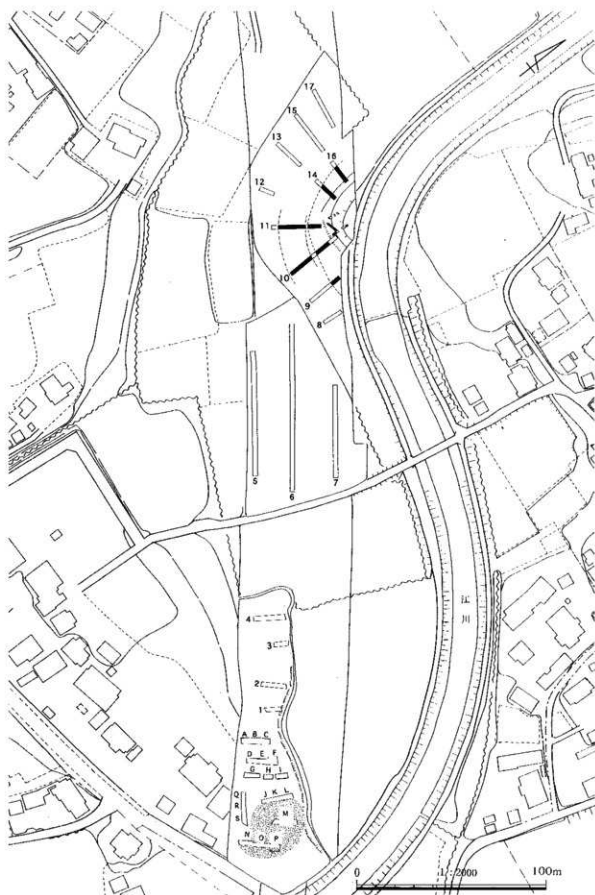
B区北西部の遺構確認面については、中央部・C区とはほぼ同レベルのため、調査方法も同様に進めることができた。遺構の検出状況については中央部よりも密度が薄くなるが、北西の調査区際まで竪穴建物が出たため、居住域としての範囲を特定することができなかった。

B区の調査区南東端部については、台地から低地へと移行する地区のため黒色土層が厚くなり、ローム層は上面のハードローム層は見えたらず、その下層となる一部粘土化したローム面での確認作業となった（第7図）。遺構については竪穴建物等の検出はなく、居住域としては前回調査区内で終了しているものと考えられた。

B区全体では、古墳時代から平安時代の住居跡12軒、掘立柱建物跡11棟、陥し穴状土坑5基、土坑34基、井戸跡4基、溝8条、柱穴状ピット101基、柱穴の可能性のあるピット31基、近現代と思われる柱穴状ピット72基、方形土坑（近世以降栽培根茎類貯蔵穴）所謂芋穴とおもわれる遺構122基を調査した。

高島館址関連の調査区

試掘調査の結果を踏まえ、C区は台地上から台地直下の低地部分の本調査を年明けの平成15年1月より



第4図 高島遺跡群 平成13年度A区(平成15年度A区東端部)試掘トレンチ配置図

開始した。なお調査については、調査体制から最初に低地部分を調査し、その後台地上の地区と順次実施した。

(台地直下の低地部分) 前年の試掘調査から、旧河道の存在が明らかとなっていること、また台地直下では2本に分かれていることが確認されているため、高島館址との関係を解明することに主眼を置いた。

調査については、まず試掘調査時と同方向にトレンチを設定し土層断面で旧河道を把握した後、面的に旧河道の覆土を除去した。

調査の結果、外側の自然流路の流れを台地直下に付け替えていること、また台地縁辺部を大幅に削り、ほぼ垂直な壁や平坦面を造り出していることが明らかとなり、「高島館址」の可能性が高くなった。他に自然流路の底面には砂礫層が形成されていたが、付け替えた河道の底面は粘土層の地山であることも確認された。

(台地上地区) 続いて台地上の調査を行った。調査地区も館址内の可能性が高いため、土層観察用ベルトを設定した後、表土層から人力で掘り下げることとした。しかし黒色土層中での遺構は確認されず、表土下約0.4m前後でローム層上面となるため、ローム層上面で遺構確認を行った。

調査の結果、館址に関連すると思われる遺構は方形堅穴状遺構1基にとどまった。他に古墳時代から平安時代の住居跡6軒、土坑2基、溝1条が確認され、中世以前にもこの台地上は集落として利用されていたことも確認された。遺物総量は須恵器・土師器を中心に収納箱で約50箱分となった。

最後に後半期調査区全域の航空写真撮影の後、調査区の埋め戻しを行い終了となった。

確認調査(第3図)

C区南西部の宅地部分については宅地の撤去が完了したため、B区後半期の本調査と併せて、平成15年1月に実施した(調査面積は平成13年度調査面積に含まれる)。この地区は、町道を隔ててB区で発掘調査が進んでいる古墳時代～平安時代の集落範囲が延びているかが注目された。

発掘調査については、前回同様路線方向に沿って幅2mのトレンチを4本設定し、重機を用いて掘り下げた。調査の結果、図示し得なかったが縄文時代中期の土器片が出土した断面が円筒形の土坑(袋状土坑)が確認されたため、トレンチを周囲に2本(No11・12トレンチ)増設し発掘調査を行った。しかし調査の結果、この地区では縄文時代の土坑1基の他は方形土坑(近世以降貯蔵穴)4基が確認されたのみであった。このことから古墳時代～平安時代の集落範囲はC区まで広がらないことと、記録保存を要する埋蔵文化財は縄文時代の土坑以外には無いと判断されC区の発掘調査を終了した。この結果、古墳時代～平安時代の集落範囲はB区内に収まるため、以下B区のみを下小屋原遺跡として取り扱うこととなる。

平成15年度

試掘調査(第4図)

平成15年8月18日～平成15年8月26日 調査対象面3,000㎡、調査面積217㎡(7.2%)

(A区東地区東端部の宅地部分) 宅地の撤去が完了したため、幅2mのトレンチ7本(トレンチ内をグリッド状にA～Sに区画)を設定し、重機で掘削を行った。しかし若干の縄文土器の小片が見られたのみで、遺構は全く確認されなかった。今回調査により、高島遺跡群の現地調査は完了した。

整理作業 平成15年4月1日～平成15年9月30日

整理作業は北関東自動車道発掘調査事務所内で行った。本年度の整理作業は、平成13～14年度に実施した発掘調査に係る基礎整理作業として、記録類の整理を中心に行った。主な作業は以下の通りである。

- ・ 遺物洗浄、注記作業(平成13～14年度分 コンテナ約50箱)

- ・ 遺物接合作業（接合土器約400個体分）
- ・ 写真及び写真台帳整理（平成13～14年度分 フィルム250本分）
- ・ 図面及び図面台帳整理・修正作業（平成13～14年度分 約500枚）
- ・ 遺物実測（実測必要遺物約400個体分の約70個体分）
- ・ 遺構図面仮レイアウト（約150枚）

平成16年度

整理作業 平成16年4月1日～平成16年8月31日

今年度も引き続き、北関東自動車道発掘調査事務所内で整理作業を実施した。作業内容は以下の通りである。

- ・ 遺物実測（実測必要遺物約400個体分終了）
- ・ 遺物接合作業（接合土器約400個体分終了）
- ・ 遺物観察表作成（遺物実測約400個体分終了）
- ・ 遺構一覧表作成

平成19年度

整理・報告書作成 平成19年10月1日～平成20年3月31日

平成19年度は、北関東自動車道発掘調査事務所を平成18年度に撤去したため、本里蔵文化財センター内で平成17～18年度中断していた業務を再開し、調査報告書を刊行した。

- ・ 遺構トレース作業（図面約500枚分）
- ・ 遺物トレース作業（遺物約400個体分）
- ・ 遺構図版作成（遺構総数430基分—約140枚）
- ・ 遺物図版作成（遺物約400個体分—約40枚）
- ・ 遺構写真図版作成（遺構総数430基分—約20頁分）
- ・ 遺物写真図版作成（遺物約300個体分—約10頁分）
- ・ 原稿執筆・編集



写真・遺物図版作成状況



遺構図版作成状況

第Ⅱ章 遺跡の環境

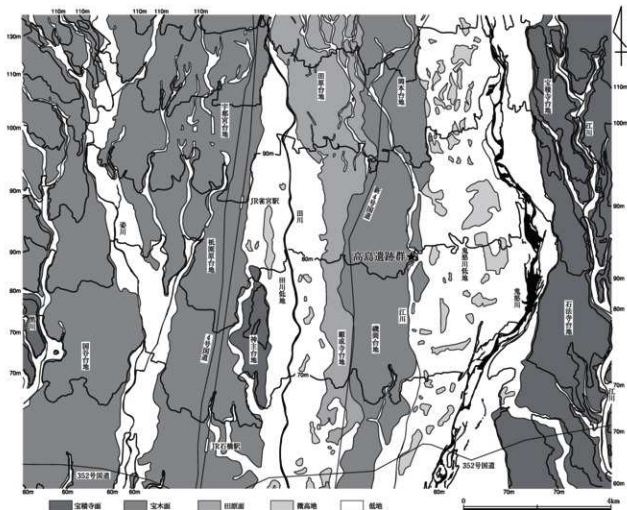
第1節 地理的環境

1 遺跡の位置と地理的環境（第5図）

高島遺跡群は、宇都宮市南東部と境を接する上三川町大字西汗地内に所在する。現在の上三川町市街地から北約6km、従来からの田園とコナラやブナなどの平地林が存在し、田園風景が残る地域である。

上三川町の地形は鬼怒川によってつくられた低地部分（鬼怒川低地）、鬼怒川・田川に挟まれた台地部分（岡本・田原台地面）、田川によってつくられた低地部分（田川低地）、田川・姿川に挟まれた台地部分（宝木台地面）に分けられる。

本遺跡群は岡本台地東縁部を南流してくる江川が鬼怒川低地へと流れを進める台地東端部で、江川の右岸に下小屋原遺跡、左岸に高島館址が各々位置する。標高は約80～82mであり、周辺低地との比高は2～4mである。ここから本県最大の河川である鬼怒川までは低地が広がる。その低地幅は東方約3.5kmである。



第5図 地形図

下小屋原遺跡については、西側が岡本台地から田原台地へと移り田川低地へとつながるが、田原台地面から田川低地面に位置する東谷地区には笹塚古墳をはじめとする古墳時代中期から後期にかけての遺跡が集中する地域であり、本遺跡の集落と関連が深いものと思われる。

高島館址については、館跡の西から南側を江川に、東側を鬼怒川低地の自然要害によって守られていた又は防禦施設として利用していたと考えられる。

2 遺跡群内の標準土層 (第6図)

高島遺跡群の分布する地形を巨視的にみると岡本台地面の丘陵上に位置している。しかし微視的にみると西側の下小屋原遺跡は平坦な台地上に位置し、東側の高島館址は北西から南東方向へと南流する江川を挟み、南へ張り出す台地上である。このように今回の調査区は北西から南東方向に長く、立地にも差異が認められることから、各調査区の基本層序をおさえ、その特徴を比較してみることにする。

以下に示した標準土層は、A区-1としたものがA区東地区の台地部分、A区-2としたものが高島館址の台地部分、A区-3としたものが高島館址の台地から低地へ移る台地南端部分、B区としたものがB区の台地から低地へ移る台地東端部分、C区としたものがC区台地上で調査区の北端部分の5地点をそれぞれ深掘りし、観察したものである。

C区の台地上から確認する。第Ⅰ層については、畑の耕作土又は旧表土層関連の土層である。第Ⅱ層については、主に台地上の土層に見られる黒色土層であり、第Ⅲ～Ⅴ層がローム層関連の土層となる。C区については基本的にこれらの土層が確認され、遺構掘り込み面は第Ⅱ層下面であった。

B区については基本的にC区から続く台地のため、低地へ移る台地東端部分の観察である。斜面地のためローム層上面の第Ⅱ層が厚く堆積し、下層で赤城鹿沼テフラ関連の土層第Ⅵ・Ⅶ層が確認された。このため第Ⅱ層～第Ⅶ層間に見られる第⑥層関連の土層は、C区の第Ⅲ～Ⅴ層のロームが一部粘土化した土層と考えられた。

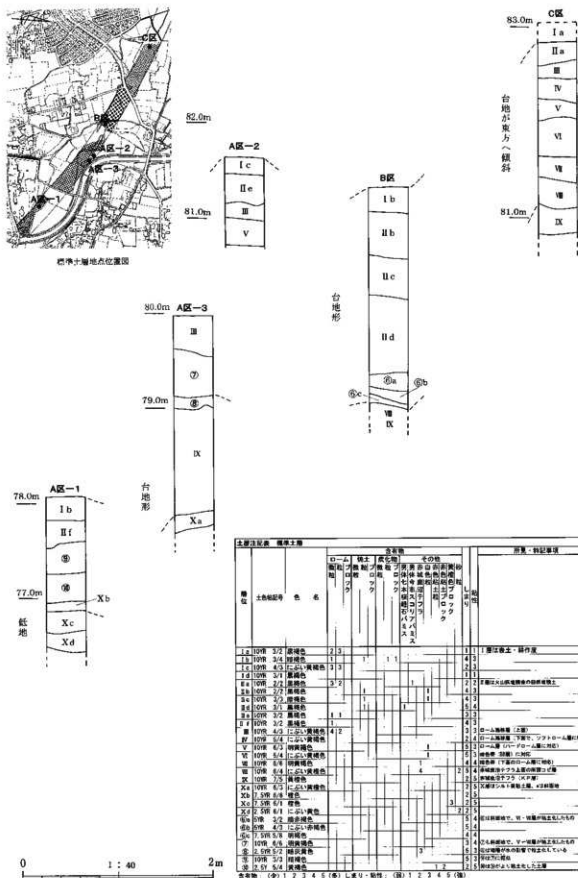
A区-2については、B・C区とは江川を挟んだ対岸の台地上であるがC区の基本土層と類似する。しかし流れ出たものかC区第Ⅳ層に対応すると思われるソフトローム層は確認されなかった。

A区-3の高島館址の台地から低地への地点では、館造作時の削平のためと考えられるが台地上の第Ⅰ・Ⅱ層の表土層・黒色土層が確認されなかった。また第Ⅲ層のソフトローム層と第Ⅳ層の赤城鹿沼テフラは確認されたが、その間のローム層はB区標準土層同様に一部粘土化した土層であった。下層については、B・C区の標準土層では不明であった第Ⅳ層の下が第Ⅴ層シルト質粘土層であることが確認された。このことにより、台地が宝木面相当であり、赤城鹿沼テフラ降灰以前の古鬼怒川の沖積作用によって形成されたと推定された。その後赤城鹿沼テフラ降灰期又はそれ以降ローム層の堆積により台地の形成と江川の浸食作用によって台地間の低地も造り出され、現在の地形になったものと考えられる。

A区-1では、A区-3の標準土層同様下層は一部粘土化した土層とシルト質粘土層であったが、上層で他の地点で確認された第Ⅲ・Ⅳ層に相当するローム層が確認されなかった。これらからローム降灰期には低地であり、上層が所謂黒ボク土であることから、縄文時代以降に乾燥地となっていたものと思われる。

参考文献

- ・ 経済企画庁総合開発局国土調査課 1960 『土地分類基本調査 地形・表層地形・土壌調査 宇都宮市』
- ・ 栃木県企画部土地対策課 1984 『土地分類基本調査 壬生』
- ・ 藤田直也 2002 『東谷・中島地区遺跡群2 砂田遺跡(1区・2区・3区)』 栃木県埋蔵文化財調査報告第265集 栃木県教育委員会 (財)栃木県文化振興事業団



第6圖 標準土層圖

第2節 歴史的環境

縄文時代の遺物も若干出土しているが、高島遺跡群の主な遺構の時期は、下小屋原遺跡が古墳時代後期～平安時代、高島館址が下小屋原遺跡と同時代の古墳時代後期～平安時代と館址が確認できる中世後半と言える。このため遺跡群の時期に併せて周辺の遺跡を概観する。

周辺地区では、まず古墳時代前期の遺跡や古墳として、権現山北遺跡・大日塚古墳・愛宕塚古墳・権現山古墳などが田川右岸の茂原地区に見られる。

その後、古墳時代の中期以降、田川左岸の東谷地区に笹塚古墳・鶴舞塚古墳・双子塚古墳等の東谷古墳群が形成される。なかでも笹塚古墳は、茂原地区の前期古墳群に続く田川流域の有力勢力の墓と考えられている大型の前方後円墳である。笹塚古墳の所在する東谷地区には、古墳中期以降杉村遺跡のように居館跡も含む集落がこの地域に形成された。

古墳時代後期には、中期と比べ遺跡数の増加と共に分布範囲も拡大傾向を示す。田川両岸の段丘面は継続・発展して遺跡が設けられ、更に東方へ分布範囲は拡大する。特に岡本・磯岡大地への進出が進む。(杉村遺跡と沖積低地を挟んだ田原台地上に磯岡遺跡の集落が営まれる。磯岡遺跡では古墳時代後期の集落が確認されている。本遺跡群の西に位置する西赤堀遺跡の集落の前段階の集落と考えられ、沖積地から始まった土地の開発も台地上へと徐々に及んでいった様が窺える。)他に高尾神社古墳と高霊神社古墳などの一部古墳(群)が、それまで確認されなかった鬼怒川低地にも存在が認められ、集落や生産基盤もこの時期には鬼怒川低地の一部に形成されたことが考えられる。また7世紀代の古墳とされるものに成願寺遺跡の方墳3基と円墳4基、西赤堀遺跡の前方後円墳2基、及び終末期とされる下栗大塚古墳があり、本遺跡群のこの時期の集落との関係も注目される。

一方、奈良時代に入ると西側約2km付近に上神主・茂原遺跡から延びてきた東山道が北上する。隣接する西赤堀遺跡では8世紀後半から9世紀初頭の堅穴住居跡、井戸等の他、大形の掘立柱建物跡9棟が確認されており、郷に関わる中心的建物群の可能性も指摘されている。関連が注目されるところである。

中世後半、特に戦国末期における上三川町東部から宇都宮市南東部にかけての鬼怒川低地に分布する城館跡(居館・居宅等)は、分布図内に約1～2kmの至近距離に所在する。これらの城館跡は比較規模が小さく、防衛的な性格よりは各々が館周辺低地の農業経営が主であったものと考えられる。

またこの城館跡の配置の中で高島館跡は現宇都宮市と上三川の境であり、鬼怒川低地面ではなく台地縁辺部に位置し台地側も含め領域としていたと考えられるなど重要な位置を占めていたことが推定される。

以上のように、本遺跡群は古墳時代中期から後期に大きな動きが看られる地域の外縁部で、郷に関わる遺跡と考えられる西赤堀遺跡に接する位置であることと、城館跡の分布等から中世後期～近世の村落の大きさも推察されるなど注目された。

参考文献

- ・ 上三川町史編纂委員会 1979 『上三川町史 資料編 原始・古代・中世』上三川町
- ・ 宇都宮市教育委員会 1997 『宇都宮市遺跡地図』宇都宮市
- ・ 塚原孝一 1999 『東谷・中島地区遺跡群No.1 磯岡遺跡(Ⅰ区)』栃木県埋蔵文化財調査報告第229集 栃木県教育委員会 (財)栃木県文化振興事業団



第7図 高島遺跡群周辺の遺跡位置図

第2表 高島遺跡群周辺の遺跡一覧

No	遺 跡 名	No	遺 跡 名	No	遺 跡 名
1	高島遺跡群	48	鶴飛内遺跡	103	西沼遺跡
2	陽南1丁目遺跡	49	大山館跡	104	内野遺跡
3	本村遺跡	50	木田遺跡	105	古屋原高塚群
4	西原境遺跡	51	栗館跡	106	不動堂遺跡
5	並松遺跡	52	十ヶ屋敷遺跡	107	平塚原根岸遺跡
6	台内手遺跡	53	三日月神社古墳群	108	板橋古墳
7	江曾島北原遺跡	54	久部浅間山古墳	109	権現山遺跡
8	間道遺跡	55	石井城跡	110	杉村遺跡
9	江曾島北原南遺跡	56	久部愛宕塚古墳群	111	西赤堀遺跡
10	大山祇神社古墳		久部愛宕塚古墳(1号墳)	112	下小屋原遺跡
11	大房林遺跡	57	東川田城	113	高島館跡
12	城南三丁目遺跡	58	下栗大塚古墳	114	南浦遺跡
13	城南三丁目南遺跡	59	下栗金仏塚遺跡	115	高麗神社古墳(西木代1号墳)
14	宮の内遺跡	60	大塚神社古墳群	116	双子塚古墳
15	十里木古墳	61	追金仏塚	117	原遺跡
16	綾女塚古墳	62	石井久保田古墳群	118	原古墳群
17	雀宮東浦遺跡	63	赤沢遺跡	119	磯岡遺跡
18	雀宮東遺跡	64	菅谷遺跡	120	笹塚古墳
19	牛塚東遺跡	65	大久保台山遺跡	121	鶴舞塚古墳
20	牛塚古墳	66	天王山遺跡	122	百目鬼遺跡
21	宇都宮機器南遺跡	67	猿山東原遺跡	123	松の塚古墳
22	多功神社古墳群	68	東原古墳群	124	上石田遺跡
23	茂原北原遺跡	69	さるやま城遺跡	125	権現塚古墳群
24	権現山北遺跡	70	西原庚申塚	126	車塚古墳群
25	権現山古墳群 権現山古墳	71	柿木坂遺跡	127	磯岡B遺跡
26	大日塚古墳	72	高尾神社古墳	128	屋敷東浦愛宕塚古墳(磯岡-西汗3号墳)
27	愛宕塚東遺跡	73	桑島城跡	129	西赤堀東遺跡
28	愛宕塚古墳群	74	猿山遺跡	130	狐塚古墳(磯岡-西汗2号墳)
29	愛宕塚古墳	75	瑞穂野田遺跡	131	西赤堀南遺跡
30	西の前遺跡	76	桑島台古墳群	132	石田館跡
31	前畑遺跡	77	根木西台古墳群	133	西田遺跡
32	西下谷田遺跡	78	根本遺跡	134	五丁免遺跡
33	小倉遺跡	79	下桑島西原古墳群	135	願成寺遺跡
34	江面遺跡	80	南原古墳	136	仏沼遺跡
35	茂原向原遺跡	81	飯塚古墳	137	西林ノ内遺跡
36	上神主・茂原遺跡・茂原城跡	82	砂田遺跡		上郷の古墳群
37	後志郎遺跡	83	砂田嶋遺跡		愛宕神社古墳(上郷1号古墳)
38	向原遺跡	84	砂田東遺跡	138	笹塚古墳(上郷2号墳)
39	向原南遺跡	85	上横田A遺跡		上郷狐塚古墳(上郷3号墳)
	神主古墳群	86	大岡台遺跡		長塚古墳(大山D20号墳)
	浅間神社古墳(神主1号墳)	87	藤原遺跡	139	中館跡
	狐塚古墳(神主5号墳)	88	成瀬寺遺跡	140	上藩生遺跡
	後志郎古墳(神主7号墳)	89	成瀬寺北遺跡	141	大野遺跡
	下原古墳(神主20号墳)	90	砂田純沼遺跡	142	西原遺跡
40	後志郎東遺跡	91	中島笹塚遺跡(中島笹塚古墳群を含む)	143	柏内遺跡・落合館址
41	上ノ原遺跡	92	西洲部西原遺跡	144	上藩生の古墳群・藩生館址
42	殿山遺跡	93	琴平塚古墳群		十三塚古墳(上藩生1号墳)
43	大山遺跡	94	大岡高塚群	145	島田遺跡
44	澤市遺跡	95	中道遺跡	146	上郷遺跡
45	新出遺跡	96	小屋原遺跡	147	八龍塚古墳(上三川1号墳)
	大山古墳群	97	榎戸遺跡	148	上三川城跡
	五社神社古墳(大山1号墳)	98	後高塚遺跡	149	大町遺跡
46	大山狐塚古墳(大山9号墳)	99	赤沢高塚群	150	刑部城跡
	新田古墳(大山13号墳)	100	芋内遺跡	151	上館址
	長塚古墳(大山D20号墳)	101	立野遺跡	152	下館址
47	多功遺跡	102	磯岡北遺跡(磯岡北古墳群を含む)		

第三章 下小屋原遺跡

第1節 遺跡の概要

下小屋原遺跡（付図）は高島遺跡群のB区であり、岡本・磯岡台地の東縁部に江川の右岸に立地する。発掘調査は北関東道路の路線に沿って東西方向に約160m、南北方向に幅約50mの範囲を対象として行った。

第3表 住居跡一覧

番号	遺構名	調査区	平面形	規模 (m)		主軸方向	主柱穴	貯蔵穴	周 溝	カマド位置	出土遺物	備 考
				東西	南北							
1	SI-01	下小屋原B区	隅丸長方形	6.00	5.26	N-10°-W	4	北西隅	全周	北壁中央	須恵器杯・蓋、土師器杯・蓋、他	
2	SI-02	下小屋原B区	隅丸長方形	4.96	4.67	N-5°-E	4	北西隅	北壁部を除く東西両壁部	北壁中央やや東側	灰釉陶器長頸瓶・須恵器高台付杯等	
3	SI-03	下小屋原B区	隅丸長方形	3.10	2.80	E-3°-S				東壁中央やや南側	須恵器杯、土師器蓋、他	
4	SI-04	下小屋原B区	隅丸長方形	4.35	4.75	N-15°-W	4		全周	北壁中央やや東側	須恵器高台付杯・杯・紡錘車、他	
5	SI-05	下小屋原B区	隅丸長方形	4.05	3.15	N-5°-E	4	北西隅	ほぼ全周	北壁中央やや東側	須恵器高台付杯・杯・蓋、土師器蓋、他	
6	SI-06	下小屋原B区	隅丸長方形	6.00	6.02	N-11°-E	4		北東・南東隅を除き全周	北壁中央やや東側	須恵器高台付杯・杯・蓋、土師器蓋、他	立替え・拡張
7	SI-07	下小屋原B区	隅丸長方形	5.74	3.06	N-5°-E				北壁中央やや東側	須恵器蓋、土師器杯、他	
8	SI-08	下小屋原B区 (隅丸方形)	(隅丸方形)	3.30	3.72	N-14°-W					須恵器杯・蓋・土師器杯・蓋、他	SK-550と重複
9	SI-501	下小屋原B区	隅丸台形	5.80	4.80	N-24°-E (4.8)				北壁中央	土師器杯・高杯・蓋、他	立替え・拡張
10	SI-502	下小屋原B区	隅丸方形	5.74	5.72	N-6.5°-E	4		北東辺を除き全周	北壁中央	須恵器高台付杯・蓋、土師器蓋、他	立替え
11	SI-503	下小屋原B区	隅丸長方形	3.80	3.20	N-4°-W				北壁中央やや東側	須恵器蓋、土師器蓋、他	
12	SI-501	下小屋原B区 (隅丸台形)	(隅丸台形)	3.72	3.60	N-4°-E				北壁中央	土師器杯・蓋	
13	SI-702	高島館址	上面(不正形) 下面(隅丸方形)	2.90 2.90	4.80 4.80	N-45°-W N-12°-W					須恵器壺片 土師器蓋	遺構の重複
14	SI-704	高島館址	不整形円形	2.30	2.65	N-0°-E					須恵器杯・土師器杯・土師器蓋	壁状遺構
15	SI-705	高島館址	隅丸長方形	2.85	2.56	E-18°-N				東壁中央やや南側	土師器杯・蓋	SI-703と重複
16	SI-707	高島館址	隅丸長方形	3.10	2.00	E-11°-S				東壁中央やや南側	須恵器高台付杯・杯・蓋、土師器蓋、他	
17	SI-709	高島館址	(隅丸長方形)	5.30	3.20	N-13°-W					須恵器長頸瓶、土師器杯・壺・他	SI-710と重複
18	SI-710	高島館址	(隅丸方形)	2.42	2.38	N-1°-E				西壁中央やや北側	土師器杯・壺・他	壁状遺構

第4表 掘立柱建物跡一覧

番号	遺構名	調査区	建物方向	規模 (m)			主軸方向	備 考
				間 敷	長 尺	短 尺		
1	SB-163	下小屋原B区	南 北 棟	3間×2間	6.93	4.20	N-2°-E	掘立柱建物
2	SB-181	下小屋原B区		1間×1間	2.60	2.60	N-3°-E	掘立柱建物
3	SB-209	下小屋原B区	南 北 棟	1間×2間	2.80	2.80	N-1°-E	掘立柱建物
4	SB-210	下小屋原B区		2間×2間	3.80	3.80	N-9°-E	掘立柱建物
5	SB-236	下小屋原B区	南 北 棟	3間×2間	8.10	4.20	N-1°-E	掘立柱建物
6	SB-261	下小屋原B区	南 北 棟	2間×2間	5.80	4.00	N-1°-E	掘立柱建物
7	SB-315	下小屋原B区	南 北 棟	3間×2間	7.20	4.80	N-6°-E	掘立柱建物
8	SB-384	下小屋原B区		2間×2間	3.80	3.80	N-2°-E	掘立柱建物
9	SB-385	下小屋原B区	南 北 棟	3間×2間	6.30	4.80	N-5°-E	掘立柱建物
10	SB-386	下小屋原B区		(2間×2間)	5.40	5.40	N-4°-E	掘立柱建物
11	SB-395	下小屋原B区	南 北 棟	2間×2間	10.20	4.20	N-6°-E	掘立柱建物・南側に広がる

第5表 陥し穴状土坑一覧

番号	通称名	調査区	確認面 (m)			底面 (m)			深度 (m)	底面ビット	長軸方向	備 考 (形跡・断面形状・覆土等)
			平面形	長径	短径	平面形	長径	短径				
1	SK-305	下小屋原B区	楕円形	1.36	1.14	隅丸長方形	0.86	0.46	1.16	1	N-42°-W	自然増殖、底面埋め戻し
2	SK-334	下小屋原B区	長楕円形	2.00	1.42	長楕円形	1.57	0.88	0.69		N-30°-W	自然増殖
3	SK-350	下小屋原B区	長楕円形	(1.04)	(1.04)	隅丸長方形	(0.78)	0.65	(1.18)	1	E-11°-N	急激な自然増殖
4	SK-627	下小屋原B区	長楕円形	1.40	0.94	隅丸長方形	0.85	0.38	1.01		N-45°-E	自然増殖
5	SK-678	下小屋原B区	不整形円形	1.58	1.12	隅丸長方形	0.82	0.5	1.12		E-4°-S	自然増殖

第6表 土坑一覧

番号	通称名	調査区	確認面 (m)			断面形	深度 (m)	覆 土	備 考
			平面形	長径	短径				
1	SK-13	下小屋原B区	円形	1.00	0.98	鍋底状	0.19	自然増殖	
2	SK-55	下小屋原B区	円形	0.76	0.47	逆台形状	0.45	自然増殖	
3	SK-135	下小屋原B区	円形	1.30	1.12	逆台形状	0.43	自然増殖	
4	SK-136	下小屋原B区	不整形	1.10	1.04	逆台形状	0.23	自然増殖	ビット状土坑の重複
5	SK-140	下小屋原B区	楕円形	0.74	0.64	鍋底状	0.27	自然増殖	
6	SK-148	下小屋原B区	楕円形	0.70	0.64	鍋底状	0.26	自然増殖	
7	SK-177	下小屋原B区	不整形円形	0.91	0.84	鍋底状	0.29	自然増殖	
8	SK-185	下小屋原B区	不整形円形	0.90	0.85	鍋底状	0.19	自然増殖	
9	SK-238	下小屋原B区	不整形	1.14	1.00	鍋底状	0.31	自然増殖	
10	SK-239	下小屋原B区	不整形	1.00	0.90	鍋底状	0.34	自然増殖	
11	SK-247	下小屋原B区	円形	1.15	0.95	鍋底状	0.52	自然増殖	木根による覆乱
12	SK-257	下小屋原B区	不整形円形	0.86	0.80	逆台形状	0.16	自然増殖	
13	SK-270	下小屋原B区	楕円形	2.10	1.65	逆台形状	0.70	人為的増殖	
14	SK-289	下小屋原B区	不整形円形	0.92	0.83	鍋底状	0.20	自然増殖	
15	SK-306	下小屋原B区	円形	(0.82)	0.77	鍋底状	0.15	自然増殖	
16	SK-308	下小屋原B区	不整形円形	1.07	0.94	逆台形状	0.38	自然増殖	
17	SK-325	下小屋原B区	楕円形	(0.80)	0.82	鍋底状	0.16	自然増殖	SK-326と重複
18	SK-330	下小屋原B区	方形	1.85	1.63	逆台形状	0.65	人為的増殖	底面中央にビット状窪み
19	SK-336	下小屋原B区	不整形円形	1.92	1.65	逆台形状	0.50	人為的増殖	底面中央にビット状窪み
20	SK-382	下小屋原B区	方形	1.75	1.25	長靴状	0.31	人為的増殖	三方に披り込み
21	SK-383	下小屋原B区	不整形円形	1.50	1.15	逆台形状	0.70	人為的増殖	底面中央にビット状窪み
22	SK-393	下小屋原B区	(不整形円形)	(0.74)	(0.34)	鍋底状	0.11	自然増殖	SK-359と重複
23	SK-418	下小屋原B区	不整形円形	1.21	1.13	鍋底状	0.22	人為的増殖	
24	SK-507	下小屋原B区	不整形円形	0.85	0.78	鍋底状	(0.10)	人為的増殖	土坑中央にビットの覆乱
25	SK-508	下小屋原B区	楕円形	0.88	0.81	逆円錐形状	0.55	人為的増殖	
26	SK-518	下小屋原B区	不整形	(0.74)	0.62	鍋底状	0.18	自然増殖	
27	SK-519	下小屋原B区	不整形円形	0.70	0.62	逆円錐形状	0.31	人為的増殖	
28	SK-521a	下小屋原B区	(方形)	(1.60)	(0.44)	舟柱状	0.75	人為的増殖	SI-501と重複
29	SK-521b	下小屋原B区	(方形)	(0.85)	(0.17)	舟柱状	0.83	人為的増殖	SI-501と重複
30	SK-527	下小屋原B区	(不整形円形)	(1.25)	(1.25)	逆台形状	0.20	自然増殖	
31	SK-528	下小屋原B区	(不整形円形)	(0.38)	0.44	鍋底状	0.13	人為的増殖	
32	SK-614	下小屋原B区	不整形	1.58	1.10	鍋底状	0.26	人為的増殖	
33	SK-642	下小屋原B区	長楕円形	1.80	1.30	鍋底状	0.60	人為的増殖	
34	SK-651	下小屋原B区	(不整形円形)	0.55	0.19	逆台形状	0.14	自然増殖	SK-650と重複
35	SK-706	高島野地	楕円形	0.97	0.76	鍋底状	0.38	自然増殖	
36	SK-708	高島野地	(隅丸方形)	(1.70)	2.10	円筒形状	0.76	人為的増殖	方形型穴通溝
37	SK-801	下小屋原C区	円形	1.28	1.10	鍋状	0.78	自然増殖	破状土坑
38	SK-811	下小屋原C区		(0.78)		鍋底状	0.38	自然増殖	SK-812と重複
39	SK-813	下小屋原C区		(0.94)		円筒形状	0.26	人為的増殖	
40	SK-814	下小屋原C区		(1.46)		鍋底状	0.24	人為的増殖	
41	SK-819	下小屋原C区			(0.58)	円筒形状	0.22	人為的増殖	
42	SK-820	下小屋原C区			(1.62)	鍋底状	0.37	自然増殖	
43	SK-821	下小屋原C区			(0.49)	円筒形状	0.12	人為的増殖	
44	SK-822	下小屋原C区		(0.84)		円筒形状	0.18	自然増殖	
45	SK-823	下小屋原C区			(3.28)	鍋底状	0.48	自然増殖	
46	SK-824	下小屋原C区			(0.36)	鍋底状	0.42	人為的増殖	
47	SK-825	下小屋原C区			(2.44)	鍋底状	0.72	自然増殖	通溝の重複も想定される
48	SK-826	下小屋原C区			(1.08)	鍋底状	0.28	人為的増殖	柱状ビットの重複

調査区の標高は、調査区西側で約83.0m、東側で約82.0mと現地形では僅かに東に向かって傾斜を示すが、旧地形のローム層上面を見ると調査区東端部は低地へと落ち込む地形を示す。調査区内は以前畑地・ゴボウ耕作が行われており、耕作機（トレンチャー）によりローム層面まで攪乱が著しかった。

C区確認調査の結果と遺構の分布から本遺跡の範囲を推定すると、西側は調査区西端部まで、東側は低地落ち際の東端部までと東西方向は本調査区内で収まるが、南北方向については台地の東縁辺部に沿って延びるものと思われる。

以下、調査の結果検出された遺構と遺物を記す。

縄文時代の遺構としてC区東端で袋状土坑1基の存在を確認したが、本遺跡内での確認は無く、遺物として打製石斧・石鏃が出土した。他に時期は不明だが当該期と考えられる遺構に、陥し穴状土坑5基が存在する。古墳時代後期～平安時代では、住居跡12軒が確認され、遺物として土師器、須恵器の他に灰釉陶器、鉄製品（紡錘車、刀子、鎌等）が出土した。その他時期は不明だが、遺構としては掘立柱建物跡11棟、土坑45基、井戸跡4基、焼土跡2基、溝11条、単独の遺構とは考えられないが柱穴状ピット等204基、近世以降の貯蔵穴（栽培根基類の貯蔵穴＝所謂芋穴）128基を調査した。

第7表 井戸跡一覧

番号	遺構名	調査区	横断面 (m)			残存深度 (m)	断面形	覆土	備 考
			平面形	長さ	口径				
1	SE-206	下小屋原B区	円形	1.72	1.50	1.00 + α	ロート状	人為的堆積	円筒状盛り込みの周囲に溝状の盛り込み
2	SE-299	下小屋原B区	円形	0.78	0.72	1.00 + α	円筒状	人為的堆積	
3	SE-331	下小屋原B区	円形	(1.72)	(1.62)	1.30 + α	ロート状	人為的堆積	SK-332等に切られる
4	SE-400	下小屋原B区	円形	1.58	1.45	1.30 + α	ロート状	人為的堆積	

第8表 溝跡一覧

番号	遺構名	調査区	幅 (m)		残存深度 (m)	長さ (m)	断面形	備 考
			横断面	底面				
1	SD-30	下小屋原B区	1.12 ~ 1.58	0.16 ~ 0.40	0.30 ~ 0.70	56.0 + α	V字～溝研縮状	SD-31と重複
2	SD-31	下小屋原B区	1.80 ~ 2.08	0.16 ~ 0.24	0.28 ~ 0.58	56.0 + α	V字状	SD-30を切る
3	SD-73	下小屋原B区	0.35 ~ 0.88	0.08 ~ 0.30	0.24 ~ 0.38	14.0 + α	V字状	
4	SD-74	下小屋原B区	0.30 ~ 0.42	0.08 ~ 0.28	0.07 ~ 0.12	12.0 + α	U字状～逆台形状	
5	SD-242	下小屋原B区	1.28 ~ 2.40	0.50 ~ 0.80	1.10 ~ 1.45	57.0 + α	逆台形状～溝研縮状	SD-363を切る
6	SD-363	下小屋原B区	0.40 ~ 0.68	0.20 ~ 0.45	0.05 ~ 0.22	43.0 + α	U字状	SD-242と重複
7	SD-522	下小屋原B区	0.56 ~ 1.04	0.12 ~ 0.40	0.13 ~ 0.25	25.0 + α	V字状	SD-30・31と並行する
8	SD-601	下小屋原B区	0.50 ~ 1.45	0.16 ~ 0.25	0.50 ~ 0.70	20.0 + α	V字～溝研縮状	
9	SD-703	高島館址	0.42 ~ 0.80	0.18 ~ 0.44	0.28 ~ 0.40	16.0 + α	U字状～逆台形状	SI-705を切る
10	SD-815	下小屋原C区	(1.58)	(0.32)	(0.88)		V字状	
11	SD-816	下小屋原C区	(0.98)	(0.18)	(0.42 ~ 0.56)		V字状	
12	SD-817	下小屋原C区	[0.32 ~ 1.7 + α]	[0.14 ~ 0.26]	(0.18 ~ 0.56)		V字～溝研縮状	横断面の重複

第2節 遺構と遺物

1 竪穴住居跡

B区

SI-01 (第8～12図 第3表 図版一)

位置 中央からやや南西寄りのI～J12グリッドで、北7.2mにSI-502が、東12mにSI-02が位置する。

位置 SD-242に切られる。規模 東西6.0m、南北5.26m。平面形 若干東西に長い隅丸長方形である。

主軸方向 N-10°-W。覆土 6・7層は貼床、壁溝の埋土で、住居跡は主に1～3層の黒色土、黒褐色土の自然堆積である。壁 42～44cmで、床面から直線的に立ち上がる。床 貼床でほぼ平坦に整えられている。

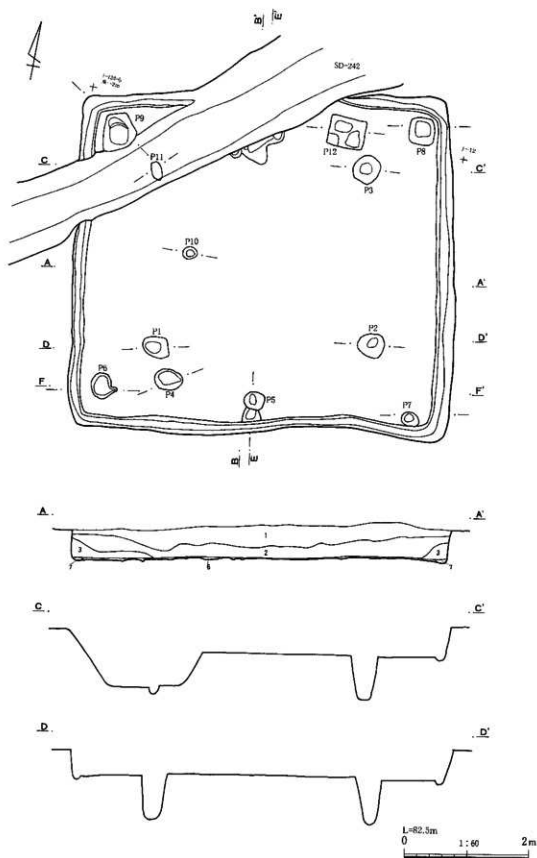
柱穴 主柱穴はP1～3・11の4本であるが、11はSD-242に切られ柱穴の底面のみの確認である。他の3本は柱痕跡が認められた。住居跡の各コーナーから確認されたP6～8は、浅いが支柱穴と思われる。入口ピット 南壁際のはほぼ中央で2段に掘り込まれているが、柱痕跡は確認されなかった。貯蔵穴 北壁際のカマド東側に位置する。ローム土を主とする覆土のため、埋め戻されていると思われる。壁溝 幅19～30cm、深さ3～11cmで、ほぼ全周する。掘方 南東及び南西コーナーが不正形に浅く掘り込まれ、7層で埋め戻されている。カマド 北壁中央部に構築されていたと思われるが、SD-242に切られ前面の掘り込みが確認されたのみで、詳細は不明。

遺物 (第13・14図 第9表 図版一九)

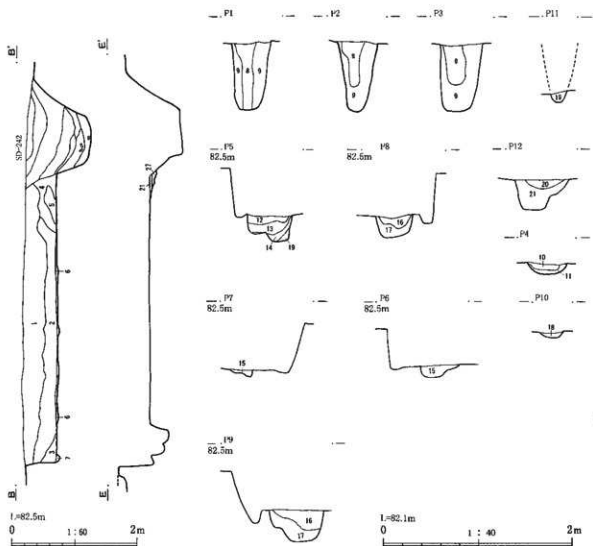
覆土の1層下面から2層上面と貯蔵穴周辺の床面を中心に、須恵器高台付坏、蓋、土師器坏、鉢、壺、甕、編み物石が出土した。特に貯蔵穴周辺の床面からは5・6・14の坏、15の鉢、16の壺、22の甕が、北西コーナー近くの床面直上で19の甕が出土している。6C代の遺物が多く出土しているが、住居跡は6C末～7C前半の時期が考えられる。

SI-02 (第15～19図 第3表 図版二)

位置 中央からやや西寄りのK～L12グリッドで、南西3.8mにSB-163、東7.8mにSB-210、西12mにSI-01が位置する。規模 東西4.55m、南北4.87m。平面形 若干南北に長い隅丸長方形である。主軸方向 N-5°-E。覆土 7・8層は貼床、壁溝の埋土で、住居跡は主に1～5層の黒色土、黒褐色土の自然堆積である。壁 59～69cmで、床面からやや外傾して立ち上がる。床 貼床で、ほぼ平坦に整えられており、主柱穴内側に硬化面が看られる。柱穴 主柱穴はP1～4本である。入口ピット 南壁際やや東寄りに位置する。貯蔵穴 北東の壁際でカマド東側に位置する。覆土上面に焼土、炭化物が多く含まれるため、住居廃棄時に開口していたものと思われる。壁溝 北壁を除く東西南の3壁際で確認された。幅7～18cm、深さ3～5cmである。掘方 各コーナーが不正形に浅く掘り込まれ、8層で埋め戻されている。カマド 北壁中央からやや東寄りに構築され、概ね馬蹄形である。規模は全長1.38m、幅は1.17mと大きい。壁外長31cmとU字状に浅く掘り込まれ、煙道部の立ち上がりは急である。底面は煙道部立ち上り部まで浅く掘り込まれ、暗褐色土で埋め戻しを行なっている。また袖部底面は貼床下面まで達するため、貼床を施す前にカマドは構築されたものと思われる。なお天井部が崩落した状態で検出されたが、カマド内面は全面が良く火を受けた状態であった。袖の付け根ラインで火床のほぼ中央部から、支脚に使用された自然礫が出土した。礫の上面には17の甕片が礫を覆うように載せられていた。



第8図 SI-01実測図(1)



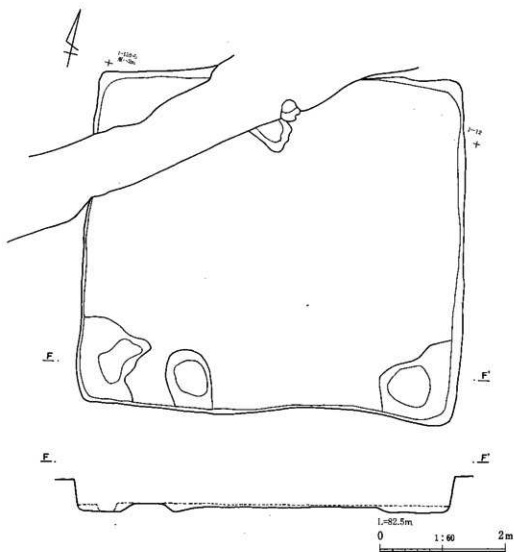
土層分布図 S1-01													
層別	土色・土質記号	色名	土層										
			土質										
			ローム	粘土	砂	礫	土炭化物	その他	土層	土質	土層	土質	
1	10R	2/1	黒色	5	1		1					4	3
2	10R	5/1	黒褐色	2	3	1		1				2	3
3	10R	2/2	黒褐色	1	2	1						3	3
4	10R	2/2	黒褐色	5	1		3	2	1			3	2
5	10R	4/3	にぶい黄褐色	5	3	3	2	3				4	3
6	10R	5/6	黄褐色	4	4	4		1	2			5	3
7	10R	4/2	にぶい黄褐色	2	2			4				4	3
8	10R	2/3	黄褐色	2	3	1						1	5
9	10R	5/6	黄褐色	3	4							2	4
10	10R	2/2	黒褐色	1	2	1		1					4
11	10R	2/3	黄褐色	2	3							2	3
12	10R	2/2	黒褐色	4	2							3	3
13	10R	5/4	にぶい黄褐色	4	4	2						4	3
14	10R	5/6	黄褐色	2	4							4	4

注：(少) 1 2 3 4 5 (多) 1 2 3 4 5 (土質) 1 2 3 4 5 (土層) 1 2 3 4 5 (土質)

土層分布図 S1-01												
層別	土色・土質記号	色名	土層							土質	土層	土質
			土層									
			ローム	粘土	砂	礫	炭化物	その他				
15	10R	2/2	黒褐色	5	3			1	1		4	4
16	10R	3/2	黒褐色	4	2			1	1		3	3
17	10R	5/4	にぶい黄褐色	4	4	2					4	3
18	10R	2/1	黒褐色	1							4	5
19	10R	4/4	褐色	5	5					1	2	4
20	10R	3/2	黒褐色	2	2	3	1	2	1	2	3	3
21	10R	4/4	褐色	1		2	1	2	1		4	3
22	10R	3/2	黒褐色	3		2	1	2	1		4	3
23	10R	4/6	褐色			3	4	2	2		4	2
24	10R	3/1	黒褐色	3	3					2	4	3
25	10R	5/6	黄褐色	4	4	5				2	1	3
26	10R	5/4	にぶい黄褐色	1	3	1				2	1	3
27	10R	5/2	黄褐色	4	4	1				1	3	3
28	10R	6/6	黄褐色	5	5	5				4	4	2

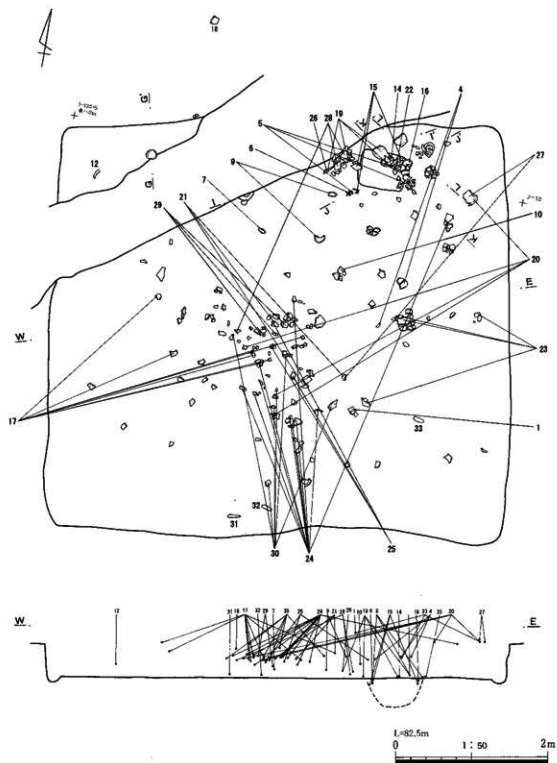
含有率：(少) 1 2 3 4 5 (多) 1 2 3 4 5 (土質)：(少) 1 2 3 4 5 (土層)：(少) 1 2 3 4 5 (土質)

第9図 S1-01実測図(2)

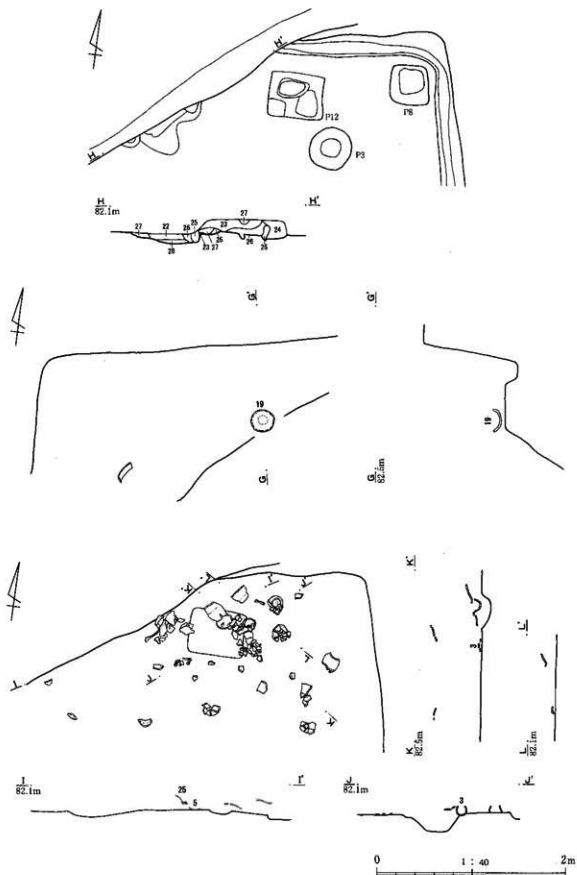


ピット名	開口部径		深さ		ピット名	開口部径		深さ					
P 1	0.40	×	0.33	m	0.69	P 8	0.42	×	0.41	m	0.23	m	
P 2	0.43	×	0.39	m	0.75	m	P 9	0.55	×	0.50	m	0.32	m
P 3	0.45	×	0.45	m	0.69	m	P10	0.23	×	0.20	m	0.07	m
P 4	0.46	×	0.34	m	0.12	m	P11	0.31	×	0.16	m		
P 5	0.47	×	0.32	m	0.27	m				推定床面からの深さ		0.62	m
P 6	0.42	×	0.33	m	0.20	m				残存部からの深さ		0.10	m
P 7	0.30	×	0.27	m	0.12	m	P12	0.57	×	0.48	m	0.33	m

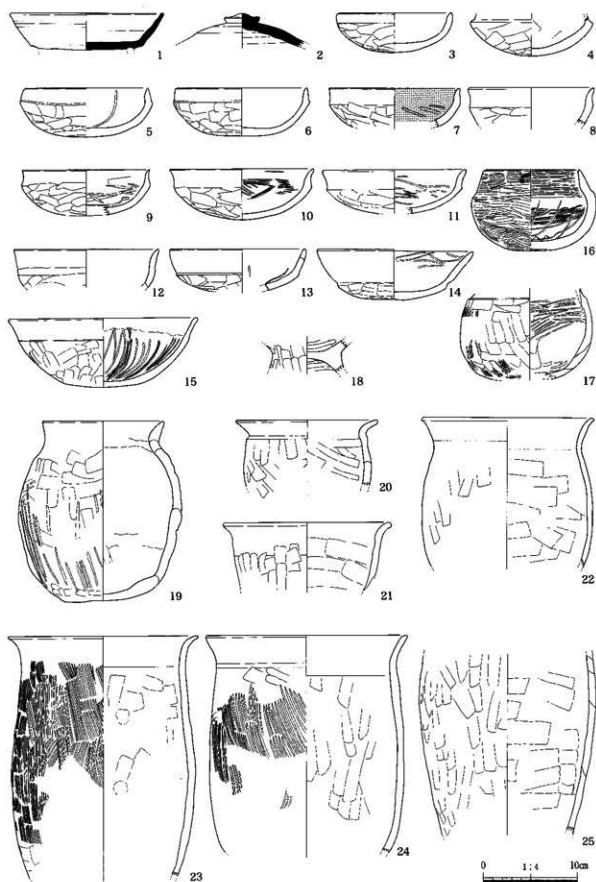
第10図 SI-01実測図（完掘図）



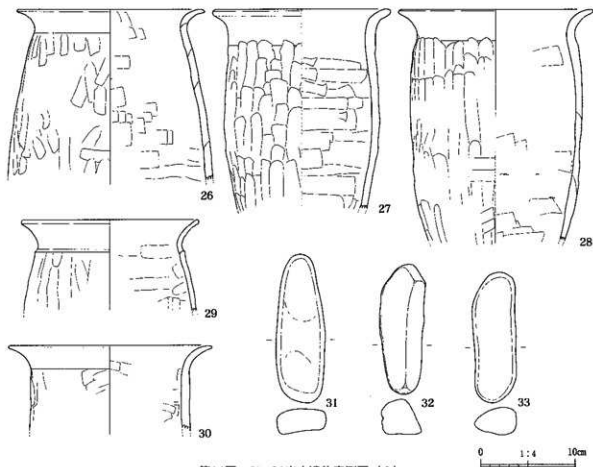
第11図 SI-01遺物出土状態実測図(1)



第12図 SI-01カマド実測図・遺物出土状態実測図(2)



第13図 SI-01出土遺物実測図(1)



第14図 SI-01出土遺物実測図(2)

遺物(第20図 第10表 図版二〇)

覆土と床面から、灰軸陶器長頸壺、須恵器高台付杯、土師器杯、埴、甕、編み物石が出土した。貯蔵穴内からは5の須恵器高台付杯が、P6から7の杯と30の編み物石が、P3のほぼ底面から根固め石に利用された物が19・21の編み物石が出土した。他に覆土中より10個の編み物石が出土している。遺物には若干の時間差があるように思われるが、住居跡は8C前半の時期が考えられる。

SI-03(第21図 第3表 図版二)

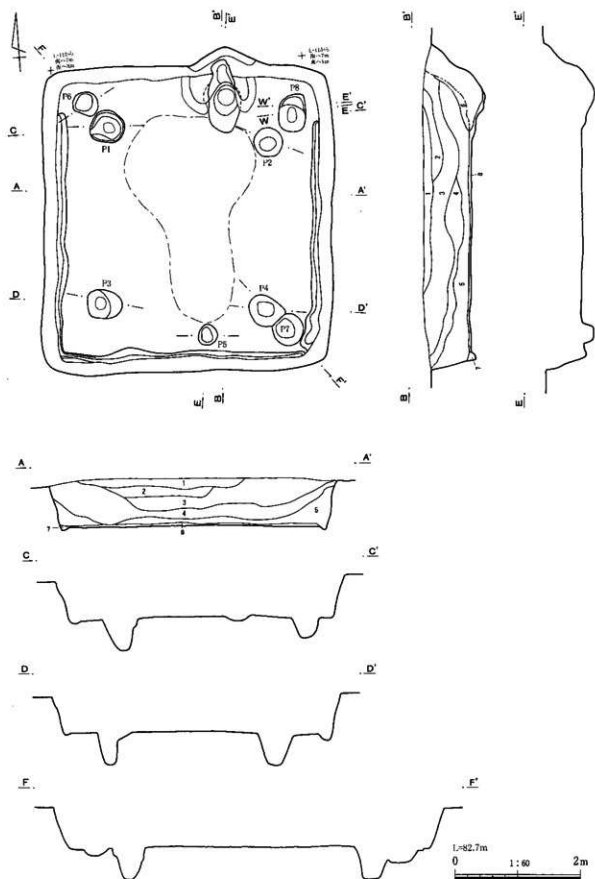
位置 中央部から北側のO10~11グリッドで、南17.2mにSI-05が位置する。重複遺構 SB-395と重複するが新旧は不明。規模 東西3.1m、南北2.8m。平面形 東西に長い隅丸長方形である。主軸方向E-3°-S。覆土 3層の自然堆積である。壁 掘り込みは浅く9~21cmで、床面から外傾して立ち上がる。床 硬化面はみられず、やや凹凸がある。柱穴 西壁際のP2と北東コーナー際のP3が確認されたが、浅く柱穴とは思われない。P1は重複するSB-395の柱穴と考えられる。入口ピット 柱穴が確認されていないため、カマド正面西壁際のP2が入口ピットになるのかは不明である。貯蔵穴・壁溝 検出されなかった。カマド 北壁中央から東寄りに構築され、概ね馬蹄形である。残存状態が悪く、袖部はローム土と粘土の混土層であったと思われるものが一部残存していた。底面は床面から南北1.2m、東西0.84mの範囲で、深さ約4cm程度掘り込まれ、黒色土で埋め戻されていた。壁外には35cm U字状に掘り込まれ、煙道部の立ち上がりは緩やかである。覆土は粘土に焼土・炭化物が混在しているもので、天井部・袖部等構築材が崩落したものと思われる。燃焼部、火床部等は明確に確認されなかった。

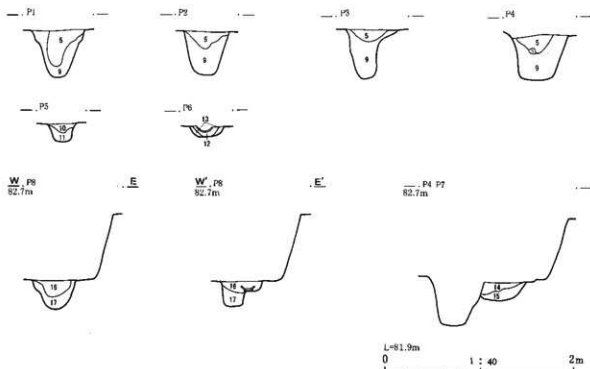
第9表 S I - 01 遺物観察表

番号	材質器種	寸法 (cm)	残存率	特 徴	色調焼成	備考
1	須恵器	推定口径: (16.0) 器 高: 3.9 高台付環 底 径: (10.2)	1/6 残存 高台部欠損	左廻りのロクロ水挽き、底部回転糸切り	10YR 6/1 褐色 焼成良好	三義窯産
2	須恵器	残存高: (3.1)	筒み部の大部分 及び天蓋部の 3/4 残存	右廻りのロクロ水挽き	10YR 6/1 褐色 焼成良好	益子窯産
3	土師器	口 径: 12.0 器 高: 4.2	一部欠損	外: 口縁部横ナデ、胴部横位・斜位の笠ケズリ 内: 横位のナデ	7.5YR 7/6 褐色 焼成やや良好	内外面に漆処理 の痕跡あり、内 面の摩耗が激し い
4	土師器	器 高: 4.3 最大径: (13.0)	口辺部欠損 口縁部下位～胴 部上位 1/4 残存、胴部下位 ～底部完形	外: 口縁部横ナデ、胴部横位・斜位のケズリ 内: 横位のナデ	10YR 5/2 灰黄褐色 焼成良好	
5	土師器	推定口径: (13.0) 器 高: 5.2 最大径: (14.0)	1/2 残存	外: 口縁部横ナデ、胴部横位の笠ケズリ 内: 横位のナデ整形後、放射状のミガキ	7.5YR 7/6 褐色 7.5YR 5/3 にふい褐色 焼成やや良好	
6	土師器	口 径: (13.8) 器 高: 5.0	口縁部～胴部 中位 1/3 残存、胴部下位 ～底部はば完形	外: 口縁部横ナデ、胴部横位・斜位の笠ケズリ 内: 横位のナデ	10YR 6/4 にふい黄褐色 焼成良好	
7	土師器	推定口径: (13.6) 残存高: (4.1) 最大径: (13.8)	口縁部～胴部 下位 1/3 残存	外: 口縁部横ナデ、胴部縦位・斜位の笠ケズリ 内: 横位のナデ整形後、斜位のミガキ・黒色処理	10YR 4/2 灰黄褐色 焼成良好	
8	土師器	口 径: (13.2) 残存高: (4.0)	口縁部～胴部 上位 1/4 残存	外: 口縁部横ナデ、胴部横位の笠ケズリ 内: 口縁部～胴部横位のナデ	10YR 7/3 にふい黄褐色 10YR 5/2 灰黄褐色 焼成やや良好	
9	土師器	口 径: 13.6 残存高: (4.8)	3/4 残存	外: 口縁部横ナデ、胴部縦位・横位の笠ケズリ 内: ナデ整形後、横位の疎らなミガキ	7.5YR 7/6 褐色 7.5YR 5/3 にふい褐色 焼成比較的良 好	
10	土師器	口 径: 15.0 器 高: 5.4	3/4 残存	外: 口縁部横ナデ、胴部横位の笠ケズリ 内: 横位、斜位のミガキ	10YR 6/4 にふい黄褐色 10YR 5/4 にふい黄褐色 焼成良好	内面に摩耗が激 しい
11	土師器	推定口径: (15.2) 残存高: (4.7)	口縁部～胴部 下位 1/5 残存	外: 口縁部横ナデ、胴部横位・斜位の笠ケズリ 内: 横位のナデ整形後、横方向のミガキ	7.5YR 6/6 褐色 焼成良好	内外面にひび割 れ補修のために 粘土を貼付した 痕跡あり
12	土師器	推定口径: (15.4) 残存高: (4.1) 底 径: ()	口縁部～胴部 中位 1/4 残存	外: 口縁部横ナデ、胴部横位・斜位の笠ケズリ 内: 横位のナデ整形	10YR 6/4 にふい黄褐色 焼成良好	
13	土師器	推定口径: (14.2) 残存高: (4.5)	口縁部～胴部 下位 1/5 残存	外: 口縁部横ナデ、胴部縦位・斜位の笠ケズリ 内: 横位のナデ整形後、放射状のミガキ	7.5YR 7/6 褐色 焼成良好	
14	土師器	口 径: 16.5 器 高: 5.3	ほぼ完形	外: 口縁部横ナデ、胴部は横位、縦位の笠ケズリ 内: 横ナデ、口縁は横ナデ後横位の疎らなミガキ	10YR 4/1 褐色 10YR 7/2 にふい黄褐色	内外面とも器面 が荒れ
15	土師器	口 径: 20.0 器 高: 7.3	口縁部 2/5 欠損 胴部下位～底部 1/4 欠損	外: 口縁部横ナデ、胴部は横位、縦位の笠ケズリ 内: 口縁部横ナデ後、放射状のミガキ	10YR 6/6 褐色 焼成良好	口縁部内面直下 1～2 cm の器面 が剥落
16	土師器	口 径: 10.0 器 高: 8.4 最大径: 13.0 底 径: 3.5	完形	外: 横位のミガキ (口縁部は横位の笠ナデ後ミガキ) 内: 口縁部横ナデ後横位のミガキ、胴部は横位のミガキ 後、放射状のミガキ	10YR 7/3 にふい黄褐色 10YR 2/1 黒色 焼成良好	

番号	材質器種	寸法 (cm)	残存率	特 徴	色調焼成	備考
17	土師器 埴丸底	最大径 : 14.0 残存高 : (9.5)	口縁部欠損 胴部 4/5 残存 底部欠損	外: 口縁部横ナデ、胴部上位丁寧な横篋ケズリ、胴部中位縦位の篋ナデ、胴部下位～底部は篋ケズリ後ミガキ 内: 口縁部～胴部中位はナデ整形後横位のミガキ 胴部下位斜位のケズリ	7.5YR 6/6 褐色 焼成良好	
18	土師器 台付甕	接合部径 : 7.2 残存高 : (2.2)	接合部のみ全周 残存	外: 縦位・横位の篋ケズリ 内: ナデ	5YR 4/6 赤褐色 焼成良好	
19	土師器 甕	口 径 : 12.6 器 高 : 19.1 底 径 : 8.5	胴部中位 1/3 欠損	外: 口縁部横ナデ、胴部は横位・縦位の篋ケズリの後、部分的に縦位のミガキ 内: 入念なナデ	10YR 6/4 にふい黄褐色 10YR 5/3 にふい黄褐色 焼成やや良好	丸底気味の平底、外面下半の約半周にスガ付着
20	土師器 甕	推定口径 : (15.0) 残存高 : (8.5)	口縁部 1/2 胴部上位 2/3 残存	外: 口縁部横ナデ、胴部縦位・斜位の篋ケズリ 内: 口縁部横ナデ、胴部横位・斜位の篋ナデ	10YR 6/4 にふい黄褐色 10YR 2/1 黒色 焼成やや良好	口縁部内面の横の直上部にスレ
21	土師器 甕	口 径 : 17.6 残存高 : (7.0)	口縁部～胴部 上位のみ残存	外: 口縁部横ナデ、胴部縦位の篋ケズリ 内: 横位の篋ナデ	7.5YR 7/6 褐色 良好	
22	土師器 甕	推定口径 : (18.4) 括弧部推定径 : (15.8) 推定最大径 : (18.2) 残存高 : (15.8)	口縁部～胴部 1/2 残存	外: 口縁部横ナデ、胴部縦位・斜位の篋ケズリ 内: 口縁部横ナデ、胴部横位の篋ナデ	5YR 6/6 褐色	
23	土師器 甕	推定口径 : (20.0) 括弧部推定径 : (17.4) 残存高 : (25.6)	口縁部 1/8 胴部～胴部上位 3/4 残存 胴部下位 1/8 残存	外: 口縁部横ナデ、胴部上位～中位縦位 (上→下) のハケ目、胴部下位横位の篋ケズリ 内: 口縁部横ナデ、胴部縦位 (上→下)、横位の篋ナデ一部指図区画あり	10YR 6/3 にふい黄褐色 焼成良好	
24	土師器 甕	推定口径 : (21.3) 残存高 : (23.0)	口縁部、胴部 1/4 残存 胴部上位 1/2 残存	外: 口縁部横ナデ、胴部はナデ整形後中位以下に縦位のハケ目、胴部下位はハケ目をナデ消し 内: 口縁部横ナデ、胴部縦位の篋ナデ	10YR 6/4 にふい黄褐色	
25	土師器 甕	推定最大径 : (18.8) 残存高 : (19.0)	胴部中位のみ 1/2 残存	外: 縦位 (下→上) の篋ケズリ 内: 横位の篋ナデ	10YR 7/4 にふい黄褐色 焼成やや良好	
26	土師器 甕	推定口径 : (19.8) 最大径 : (21.6) 残存高 : (17.6)	口縁部～胴部 中位 1/4 残存	外: 口縁部横ナデ、胴部縦位・横位の篋ケズリ 内: 口縁部横ナデ、胴部篋ナデ、工具区画が僅かに残る	10YR 5/3 にふい黄褐色 10YR 3/1 黒褐色 焼成やや良好	外面スガ付着
27	土師器 甕	推定口径 : (18.2) 残存高 : (21.0)	口縁部～胴部 下位 1/5 残存	外: 口縁部横ナデ、胴部縦位の篋ケズリ 内: 横ナデ	7.5YR 5/6 明褐色 焼成良好	
28	土師器 甕	口 径 : 20.7 括弧部径 : 16.7 残存高 : (24.5)	底部のみ欠損	外: 口縁部横ナデ後、胴部上半縦位 (上→下) の篋ケズリ 胴部下半縦位 (上→下) 横位の篋ケズリ 内: 横位の篋ナデ	5YR 6/6 褐色 焼成良好	内面に一部輪模み痕
29	土師器 甕	推定口径 : (18.2) 残存高 : (21.0)	口縁部 1/4 胴部上位 1/6 残存	外: 口縁部横ナデ、胴部縦位の篋ケズリ 内: 横位の篋ナデ	10YR 7/4 にふい黄褐色 焼成良好	
30	土師器 甕	推定口径 : (21.5) 残存高 : (9.0)	接合部のみ全周 残存	外: 口縁部横ナデ、胴部縦位・横位の篋ケズリ 内: 口縁部横ナデ、胴部横位の篋ナデ	10YR 7/3 にふい黄褐色 焼成良好	
31	編み物石	長 さ : 15.7 幅 : 5.2 厚 さ : 2.5 重 量 (g) : 341.9	完形	自然礫をそのまま利用 砂岩		
32	編み物石	長 さ : 15.7 幅 : 4.7 厚 さ : 3.7 重 量 (g) : 352.2	完形	自然礫をそのまま利用 安山岩		
33	編み物石	長 さ : 13.8 幅 : 4.4 厚 さ : 2.9 重 量 (g) : 275.7	完形	自然礫をそのまま利用 安山岩		

* ロク口水洗き一製作状態の上方面





土層注記表 S1-02									
層位	土色・土質記号	色	土層注記					深さ(m)	備考
			ローム	粘土	砂	礫	その他		
1	10YR 3/2	黒褐色	1	1				4.2	
2	10YR 4/2	黒褐色	2	2				3.2	
3	10YR 3/1	黒褐色	2	2				3.2	
4	10YR 4/2	黒褐色	2	2				4.2	
5	10YR 2/1	黒色	1	1				3.2	
6	10YR 5/4	黄褐色	2	2	2	2	1	1	3.2
7	10YR 2/1	黒色	1	1			1	1	2.2
8	10YR 3/2	黒褐色	2	2			1	1	4.4
9	10YR 4/4	褐色	4	4	5			3.2	

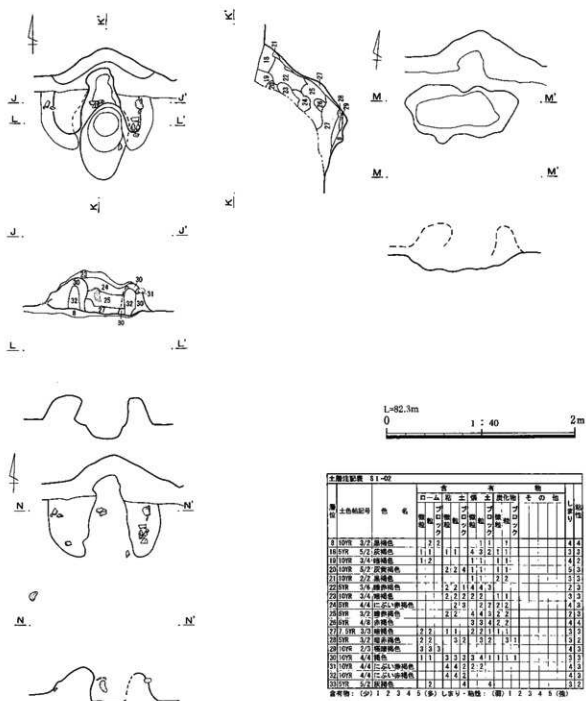
含有物：(少) 1 2 3 4 5 (多) L 番号・記号：(図) 1 2 3 4 5 (他)

土層注記表 S1-02									
層位	土色・土質記号	色	土層注記					深さ(m)	備考
			ローム	粘土	砂	礫	その他		
10	10YR 3/2	黒褐色	2	2				3.2	
11	10YR 3/1	黒褐色	2	2				4.4	
12	10YR 3/2	黒褐色	2	2				3.2	
13	10YR 3/4	黒褐色	4	4				2.2	
14	10YR 4/2	黒褐色	2	2				3.2	
15	10YR 4/4	褐色	4	4				3.2	
16	10YR 4/3	褐色	2	2	2	2	2	3.2	
17	10YR 4/4	褐色	5	5				2.2	

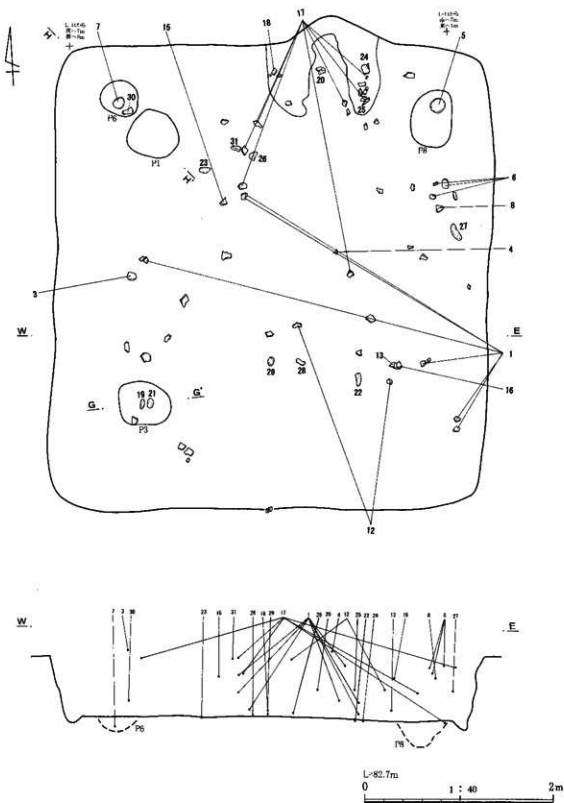
含有物：(少) 1 2 3 4 5 (多) L 番号・記号：(図) 1 2 3 4 5 (他)

ピット名	開口部径		深さ		ピット名	開口部径		深さ	
P1	0.55	×	0.50	m	P5	0.35	×	0.30	m
P2	0.46	×	0.46	m	P6	0.41	×	0.35	m
P3	0.55	×	0.45	m	P7	0.50	×	0.47	m
P4	0.56	×	0.45	m	P8	0.60	×	0.44	m

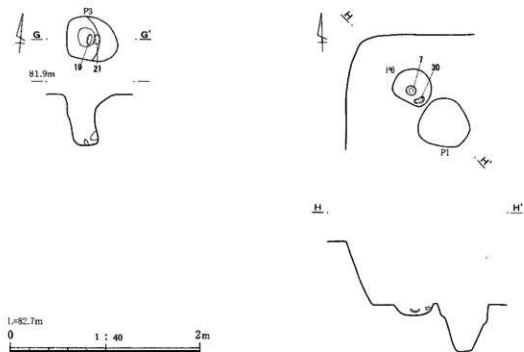
第16図 SI-02実測図(2)



第17図 SI-02カマド実測図



第18図 SI-02遺物出土状態実測図(1)



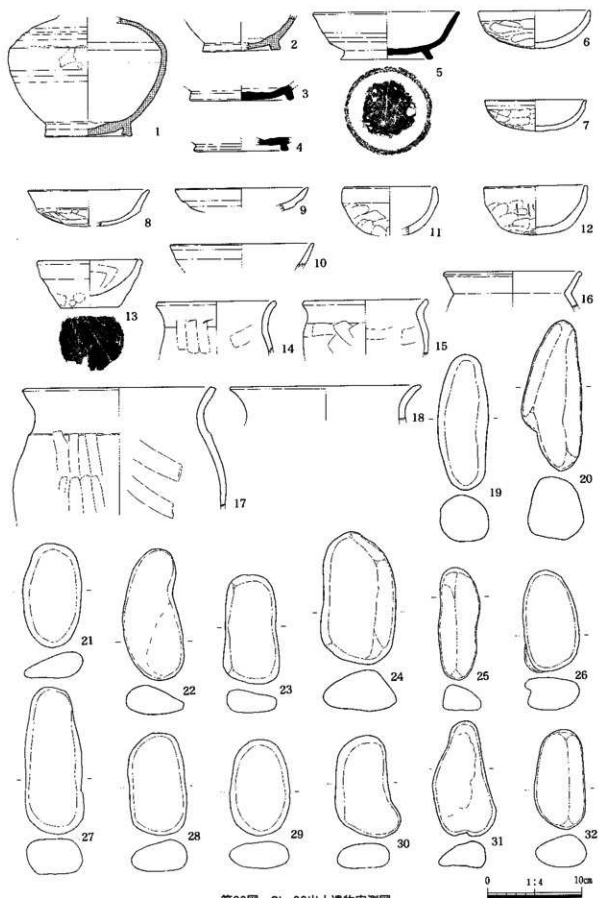
第19図 SI-02遺物出土状態実測図(2)

遺物(第22図 第11表)

遺物は少なく、須恵器坏、土師器甕、脚部等が出土した。2の坏はカマド前面、3の甕はカマド袖部上面の覆土中から出土している。遺物量は少ないが、住居跡は9C代の時期かと思われる。

SI-04(第23～26図 第3表 図版二・三)

位置 中央からやや東寄りのR12グリッドで、南西5.0mにSI-05・9.5mにSI-06が、南東8.2mにSI-08が位置する。**重複遺構** SB-385に切られる。**規模** 東西4.35m、南北4.75m。**平面形** 南北に若干長い隅丸長方形である。**主軸方向** N-15°-W。**覆土** 住居跡廃棄後、カマドの自然崩落と伴に1～7層を主とした黒色土、黒褐色土の自然堆積である。**壁** 30～40cmで、床面からやや外傾ぎみに立ち上がる。なおカマド東側の北壁は、周溝から奥に約20cm離れる。**床** 貼床でほぼ平坦に整えられている。床面直上の特に北側では炭化材が、北西コーナー壁際からは焼土が多量に出土しており、焼失家屋と思われる。**柱穴** 主柱穴はP1・4・7・8の4本であり、P7からは柱痕跡が認められた。西壁際のP2については浅く小さいが、主柱穴同様覆土上面に住居跡第一次堆積である3・4層が確認されたため、廃棄時には望んでいたものと考えられた。**入口ピット** 南壁際のほぼ中央にあるP5であり、他の柱穴同様廃棄時には望んでいたと思われる。柱痕跡は確認されなかった。**貯蔵穴** 検出されなかった。**壁溝** 幅5～20cm、深さ4～13cmで、全周するが、前述したようにカマド東側の北壁からは約20cm離れるため、床面と同レベルで何らかのスペースが設けられていたとも考えられた。**掘方** 中央部から周囲の壁際にかけて浅く下げられたくらいの掘方で、ローム土、ロームブロック、黒色土の混土層で埋め戻されている。カマド 北壁中央からやや東寄りに構築され、概ね馬蹄形である。規模は全長1.2m、幅は1.0m、壁外長は60cmでU字状に掘り込まれている。煙道部の立ち上がりは急である。底面は浅く掘り込まれ、奥壁までは黄褐色土で埋め戻されている。天井部



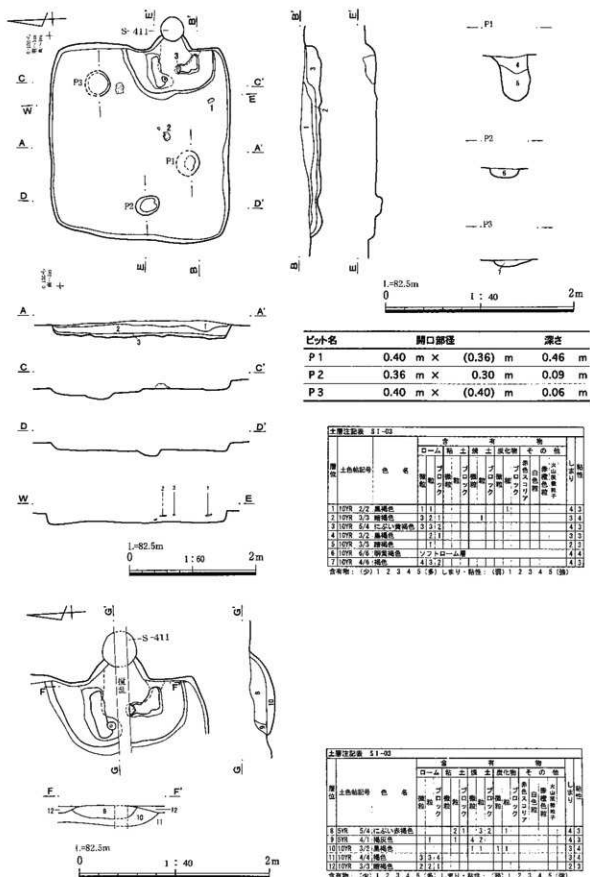
第20図 SI-02出土遺物実測図

第10表 SI-02遺物観察表

番号	材質器種	寸法 (cm)	残存率	特 徴	色調焼成	備考
1	灰釉陶器	推定最大径 : (16.0) 残存高 : (12.6) 長径 : 9.0	胴部上半 1/2 胴部下半 1/3 残存 底部完形	口クロ水洗き、外面片部より上位に施釉、内面は底部に釉薬が釉着	7.5YR 7/1 明褐色 焼成良好	猿枝窯産
2	須恵器	残存高 : (3.0) 高台部径 : (8.2)	胴部下位～底部 1/4 残存	口クロ水洗き	7.5YR 7/1 明褐色 焼成良好	内面は底部のみに釉薬がかかる 東海地域産
3	須恵器	残存高 : (1.7) 高台部径 : (11.0)	底部 1/3 残存	口クロ水洗き、底部回転糸切り、高台貼附後調整	2.5Y 6/2 灰黄色 焼成良好	胎土内が酸化 産地不明
4	須恵器	残存高 : (1.3) 高台部径 : (10.0)	底部 1/12 残存	口クロ水洗き、底部回転糸切り、高台貼附後調整	5Y 6/2 灰色 焼成良好	産地不明
5	高台付杯	口 径 : 15.2 器 高 : 5.0 底 径 : 9.8	口縁部欠損	左回りに水洗き、底面に斜方向に交差する直線状の施記号あり、笠切り離し、高台貼附後調整	2.5Y 7/1 灰白色 焼成良好	底面に施記号あり；内外面とも 胴部上半が酸化 高台の一部が酸化 益子窯産
6	土師器 杯	推定口径 : (11.8) 器 高 : 4.0	口縁部～底部 1/2 残存	外：口縁部横ナデ、胴部横位・斜位の笠ケズリ 内：横ナデ	5YR 4/6 赤褐色 7.5YR 5/8 明褐色 焼成良好	
7	土師器 杯	口 径 : 10.8 器 高 : 3.3	ほぼ完形	外：口縁部横ナデ後、胴部横位の笠ナデ 内：横ナデ、1周ナデた後、口縁方向に抜いている	10YR 7/4 にぶい黄褐色 10YR 4/1 褐色 焼成良好	内外面に一部塗 処理痕
8	土師器 杯	推定口径 : (12.8) 残存高 : (3.8)	口縁部～底部 1/3 残存	外：口縁部横ナデ、胴部横位・斜位の笠ケズリ 内：横ナデ	10YR 6/3 にぶい黄褐色 10YR 4/2 灰黄褐色 焼成良好	
9	土師器 杯	推定口径 : (14.0) 残存高 : (2.4) 底 径 : 6.0	口縁部～胴部 上位 1/8 残存	外：横ナデ 内：横ナデ	10YR 7/3 にぶい黄褐色 焼成良好	
10	土師器 杯	推定口径 : (15.0) 残存高 : (2.4) 底 径 : 6.0	口縁部～胴部 上位 1/4 残存	外：横ナデ 内：横ナデ	7.5YR 6/4 にぶい褐色 焼成良好	内面塗処理痕
11	土師器 碗	推定口径 : (9.6) 残存高 : (5.1)	口縁部～胴部 下位 1/4 残存	外：口縁部横ナデ、胴部横位・斜位の笠ナデ 内：横ナデ	10YR 4/2 灰黄褐色 7.5YR 5/8 明褐色 焼成良好	内外面塗処理痕
12	土師器 碗	推定口径 : (10.8) 残存高 : (5.2) 底 径 : 6.0	口縁部～底部 1/4 残存	外：口縁部横ナデ、胴部横位・斜位の笠ナデ 内：横ナデ	7.5YR 5/6 明褐色 焼成良好	内面塗処理痕
13	土師器 杯	推定口径 : (10.8) 器 高 : 5.0 底 径 : 6.0	口縁部胴部 下位一部残存 底部 4/5 残存	外：口縁部横ナデ、胴部指頭圧痕、横ナデあり 内：横ナデ	7.5YR 7/6 褐色 焼成良好	底面に木葉痕あり
14	土師器 壺	推定口径 : (12.4) 残存高 : (5.5)	口縁部～胴部 上位 1/12 残存	外：口縁部横ナデ後、胴部縦位の笠ナデ (笠を抜いた際の端部の圧痕が口縁部にあり) 内：横位・斜位の笠ナデ	7.5YR 6/6 褐色 焼成良好	
15	土師器 壺	推定口径 : (13.0) 残存高 : (5.8)	口縁部～胴部 上位 1/6 残存	外：口縁部横ナデ後、胴部に横位・斜位の笠ケズリ 内：横位の笠ナデ	7.5YR 4/4 褐色 焼成良好	胴部表面が剥落
16	土師器 壺	推定口径 : (14.4) 残存高 : (3.8)	口縁部 1/10 残存	外：横ナデ 内：横ナデ	10YR 4/3 にぶい黄褐色 焼成良好	
17	土師器 壺	推定口径 : (20.4) (最大径) (22.5) 口部残存高 : (5.8) 胴部残存高 : (8.0)	口縁部、胴部 上位各々 1/6 残存	外：口縁部横ナデ後、胴部上位笠ケズリ、胴部中位笠ナデ 内：口縁部横ナデ、胴部斜位の笠ナデ	10YR 3/2 黒褐色 焼成良好	内外面にス付 着

番号	材質器種	寸法 (cm)	残存率	特 徴	色調焼成	備考
18	土師器 甕	推定口径 : (20.2) 残存高 : (3.6)	口縁部 1/8 残存	外 : 横ナデ 内 : 横ナデ	7.5YR 2/1 黒色 5YR 4/6 赤褐色 焼成良好	
19	編み物石	長さ : 14.4 幅 : 5.2 厚さ : 4.9 重量 (g) : 527.3	完形	自然礫をそのまま利用 安山岩		
20	編み物石	長さ : 16.0 幅 : 6.0 厚さ : 6.7 重量 (g) : 820.1	完形	自然礫をそのまま利用 安山岩		
21	編み物石	長さ : 11.0 幅 : 6.2 厚さ : 2.7 重量 (g) : 267.7	完形	自然礫をそのまま利用 安山岩		
22	編み物石	長さ : 13.9 幅 : 6.1 厚さ : 3.1 重量 (g) : 329.5	完形	自然礫をそのまま利用 安山岩		
23	編み物石	長さ : 11.6 幅 : 5.2 厚さ : 2.5 重量 (g) : 263.0	完形	自然礫をそのまま利用 安山岩		
24	編み物石	長さ : 13.8 幅 : 7.8 厚さ : 4.4 重量 (g) : 674.7	完形	自然礫をそのまま利用 安山岩		
25	編み物石	長さ : 11.9 幅 : 4.6 厚さ : 2.8 重量 (g) : 199.6	完形	自然礫をそのまま利用 流紋岩		
26	編み物石	長さ : 10.8 幅 : 5.8 厚さ : 3.4 重量 (g) : 313.2	完形	自然礫をそのまま利用 安山岩		
27	編み物石	長さ : 15.6 幅 : 5.9 厚さ : 3.7 重量 (g) : 561.0	完形	自然礫をそのまま利用 安山岩		
28	編み物石	長さ : 10.8 幅 : 5.8 厚さ : 3.3 重量 (g) : 317.2	完形	自然礫をそのまま利用 安山岩		
29	編み物石	長さ : 10.2 幅 : 6.3 厚さ : 2.8 重量 (g) : 264.8	完形	自然礫をそのまま利用 安山岩		
30	編み物石	長さ : 10.7 幅 : 5.5 厚さ : 2.6 重量 (g) : 259.7	完形	自然礫をそのまま利用 安山岩		
31	編み物石	長さ : 11.8 幅 : 5.0 厚さ : 2.9 重量 (g) : 244.8	完形	自然礫をそのまま利用 安山岩		
32	編み物石	長さ : 10.6 幅 : 5.4 厚さ : 3.4 重量 (g) : 288.7	完形	自然礫をそのまま利用 安山岩		

*ロクロ水抜き一製作状態の上方観



第21図 SI-03実測図・カマド実測図



第22図 SI-03出土遺物実測図

第11図 SI-03遺物観察表

番号	材質器種	寸法 (cm)	残存率	特 徴	色賦焼成	備考
1	須恵器 坏	推定口径: (12.6) 残存高: (3.8)	口縁部～胴部 下位 1/4 残存	左回りのロクロ水挽き	10YR 5/2 灰青褐色 焼成良好	やや酸化している 三湾窯産
2	須恵器 坏	残存高: (2.0) 底 径: 6.8	底部が完形、 胴部下位はぼ 残存	左回りのロクロ水挽き、底部回転糸切り	5YR 6/6 褐色 焼成良好	底部回転糸切り 痕あり 酸化している 産地不明
3	土師器 甕	推定口径: (12.6) 残存高: (8.5) 推定最大径: (13.4)	口縁部～胴部 下位 1/3 残存	外: 口縁部横ナデ後、胴部上位に横位の笠ケズリ、胴部 中位以下は斜位の笠ケズリ 内: 口縁部横ナデ、胴部笠ナデ	7.5YR 5/6 褐色 焼成良好	胴部の厚さ 3mm と薄手
4	土師器 高台付甕 胴部	口 径: () 残存高: (1.8) 推定胴部径: (9.0)	胴部下 1/5 残存	外: 横ナデ 内: 横ナデ	7.5YR 5/4 にぶい褐色 焼成良好	

*ロクロ水挽き一製作状態の上方面

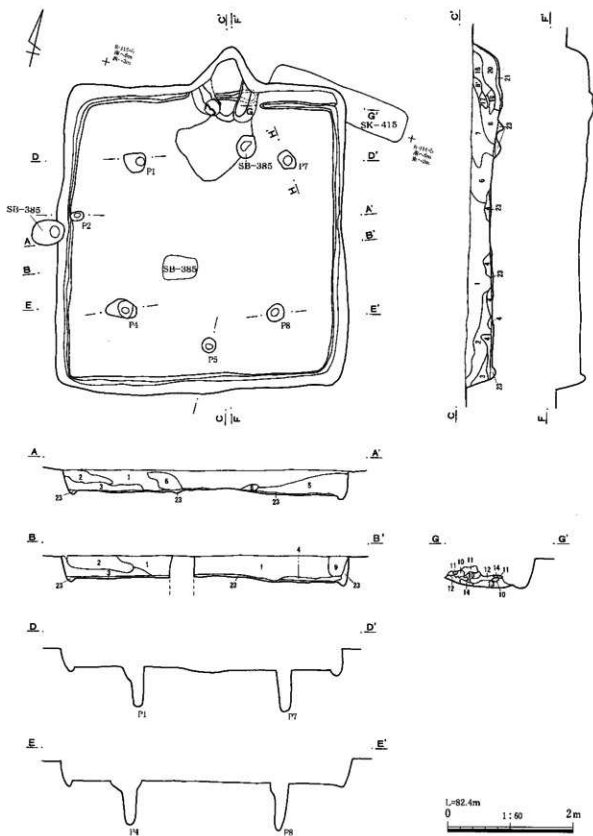
が崩落した状態で検出されたが、両袖部は残存していた。カマド内面は全面良く火を受けた状態であり、火床部から煙道部に入った20層の覆土が看られる。また内部の中央部付近の20層下面から輪積痕の看られる筒状の甕胴部が出土しており、支脚に使用された物と思われる。

遺物 (第27図 第12表 図版二〇・二三)

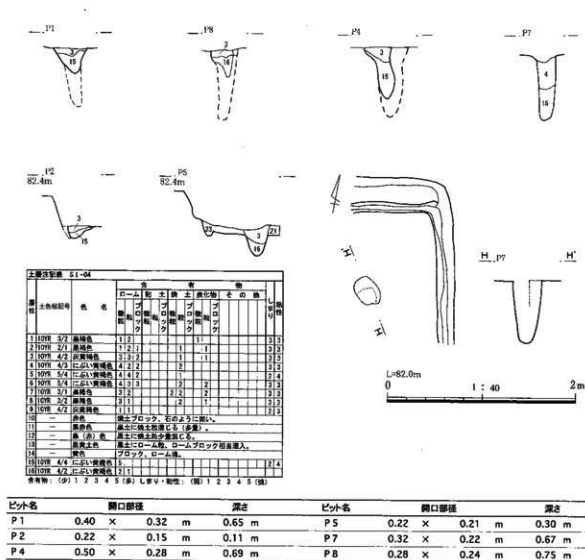
出土量は多くないが、床面直上やカマド崩落直後に廃棄されたと思われる物が多く、須恵器坏、高台付皿、高台付坏、土師器坏、甕、編み物石の他、石製紡錘車1点と不明だが鉄製品の柱状の破片が出土した。特にカマド東側の床面からは2・4の須恵器坏と高台付坏が重なった状態で出土している。他に覆土中の出土であるが、5の須恵器高台付外面体部下端に「上」の刻書が確認された。一部時期の異なる土器も看られるが、住居跡の時期は概ね9Cと思われる。

SI-05 (第28～30図 第3表 図版三)

位置 中央からやや東寄りのP～Q12グリッドで、南3.2mにSI-06が、北西0.5mにSK-334が位置する。
規模 東西4.05m、南北3.15m。平面形 東西に長い隅丸長方形である。主軸方向 N-5°-E。覆土 主に1・2層の黒色土、黒褐色土の自然堆積である。壁 16～25cmで、床面からほぼ直線的に立ち上がる。
床 4層のローム土、ロームブロックの混土層で平坦に貼床を整えている。柱穴 主柱穴と思われるピットは無く、南壁際に浅く小さいP1～3が存在するのみである。入口ピット 南壁際の中央から東寄り、カマド正面の位置に浅い掘り込みのP3がある。貯蔵穴 カマド東側の北東コーナーに不整形で浅いP4が存在するが、貯蔵穴として掘られたものか不明であった。壁溝 幅3～14cm、深さ2～11cmで、ほぼ全周する。
掘方 全体が2～8cmと浅く掘り込まれ、4層で埋め戻されている。カマド 北壁中央から東寄りに構築され、概ね馬蹄形である。規模は全長0.82m、幅は1.27m、壁外長は60cmでU字状に掘り込まれている。煙



第23図 SI-04実測図(1)



第24図 SI-04実測図(2)

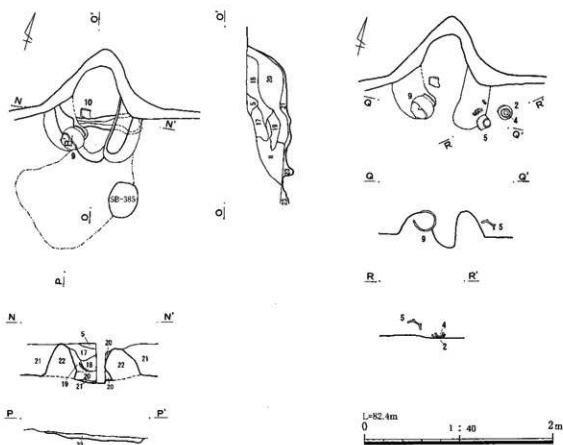
道部の立ち上がりは緩やかである。底面は最深30cm掘り込まれ、暗褐色土で埋め戻されている。残存状態は悪く、袖部の一部が残存していた。

遺物 (第31・32図 第13表 図版二・二三)

住居跡廃棄後時間をおかず廃棄された物か、カマド上面から中央部の床面よりやや浮きの状態で、灰輪陶器の耳皿、須恵器杯、甕、土師器杯、甕、砥石が出土した。完形品は少なく、破片の状態での出土が多い。須恵器、土師器の年代から住居跡は9C後半～10Cと思われる。

SI-06 (第33～40図 第3表 図版三・四)

位置 中央からやや南西のP13グリッドで、北3.2mにSI-05が、南3.8mにSI-07が位置する。規模 東西6.6m、南北6.82m。平面形 若干南北に長い隅丸長方形である。主軸方向 N-11°-E。覆土 5層は貼床で、住居跡は主に1～4層の黒色土、褐色土の自然堆積である。壁 45～60cmで、床面からほぼ直線的に立ち上がる。床 貼床ではほぼ平坦に整えられているが、北壁は北側へ拡張されている。柱穴 拡張後の

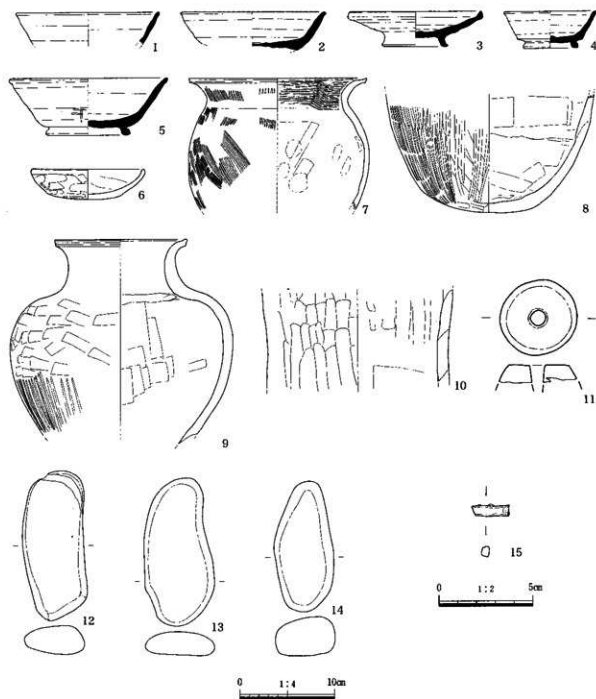


土層発掘記 51-04									
層位	土層記号	色	地	備考	ローム	粘土	土	炭化層	その他
8	10R	3/2	黒褐色	1	1	1	1		
12	10R	3/2	黒褐色	1	1	1	1		
18	10R	4/6	褐色	1	1	1	1		
19	10R	4/2	灰黄色	1	1	1	1		
含有物: (砂) 1 2 3 4 5 (多) L: 灰土・粘土: (鉄) 1 2 3 4 5 (多)									

土層発掘記 51-04									
層位	土層記号	色	地	備考	ローム	粘土	土	炭化層	その他
20	10R	3/2	黒褐色	1	1	1	1	1	1
21	10R	5/6	黄褐色	1	1	1	1	1	1
22	10R	4/6	褐色	1	1	1	1	1	1
23	10R	6/6	灰黄色	1	1	1	1	1	1
含有物: (砂) 1 2 3 4 5 (多) L: 灰土・粘土: (鉄) 1 2 3 4 5 (多)									

第25図 SI-04カマド実測図

主柱穴はP1～4の4本であるが、P1・4には新旧が看られ、各々外側へと立替されている。P2については、南西側にP5が確認されたが、立替か支柱穴かは不明である。拡張前については、貼床除去後にP2の南からP13が、P3の南からP15が、P4の南からP14が各々確認された。P1の南からは検出されなため平面形がやや不整形となるが、P1・P13～15が主柱穴であったと考えられる。また拡張後の東側主柱穴P3・4の間、中央やや北側に小さなピットだがP10が存在する。拡張前については西側主柱穴P1・13の間で、P10同様に中央やや北側にP17が存在した。これらは、支柱又は間仕切り等に用いられたとも考えられる。入口ピット 南壁際のほぼ中央で、P7・8と、やや西側にP6が確認された。新旧及び組み合わせは不明だが、P7・8は埋め戻されている。壁溝 幅12～26cm、深さ1～8cmで、北壁際と東壁際では、拡張前後の新旧2本が確認された。各々カマド東側から北東コーナーに掛けてと南東コーナー付近では中断する。掘方 各南コーナー付近が不正形に浅く掘り込まれ、5層のローム土・ロームブロックを主体

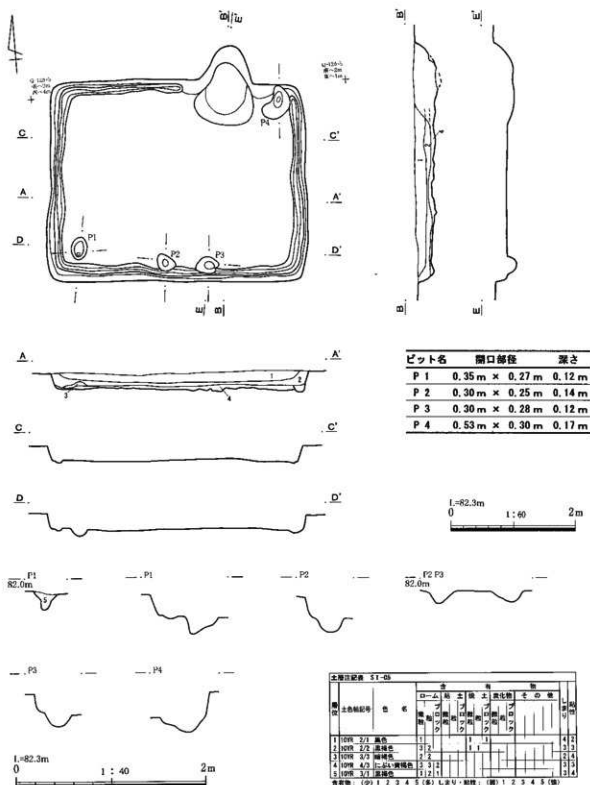


第27図 SI-04出土遺物実測図

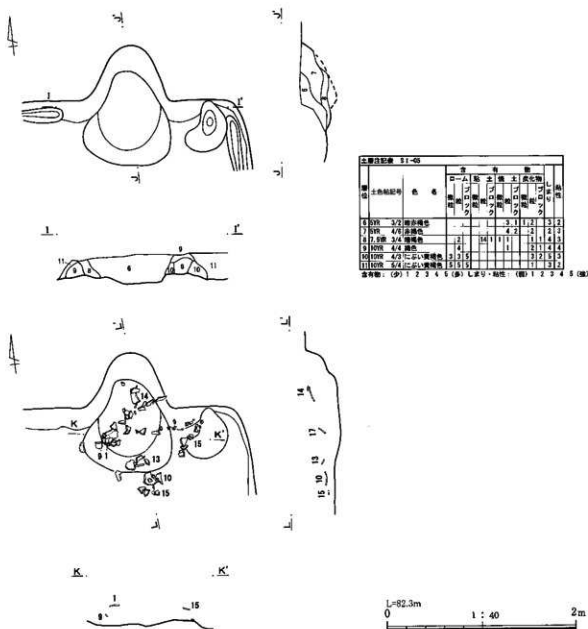
第12表 SI-04遺物観察表

番号	材質器種	寸法 (cm)	残存率	特 徴	色調焼成	備考
1	須恵器 坏	推定口径: (15.0) 残存高: (3.4) 底 径	口縁部～胴部 中位 1/6 残存	ロク口水洗き	5Y 7/1 灰白色 焼成良好	三義窯産
2	須恵器 坏	口 径: 15.0 残存高: (4.0) 底 径	口縁部が一部 欠損、 底部欠損	右回りのロク口水洗き	10YR 5/2 灰黄褐色 焼成良好	胴部内面にター ル状の付着物あり 三義窯産
3	須恵器 高台付皿	口 径: 13.8 器 高: 3.7 高台付高: 7.0	口縁部一部欠損	右回りのロク口水洗き、寛切り難し、高台貼附後調整	5Y 5/1 灰色 焼成良好	益子窯産
4	須恵器 高台付杯	口 径: 9.8 器 高: 4.0 底 径: 6.0 高台付径: 5.8	完形	右回りのロク口水洗き、寛切り難し、高台貼附後調整	7.5Y 5/1 灰色 焼成良好	益子窯産
5	須恵器 高台付杯	口 径: 16.6 器 高: 6.1 底 径: 9.2 高台付径: 8.8	口縁部一部欠損	右回りのロク口水洗き、寛切り難し、高台貼附後調整 「上」の字の刻書あり	2.5Y 7/2 灰黄色 7.5YR 7/6 褐色 焼成やや良好	内面に炭化物付 着 部分的に酸化 益子窯産
6	土師器 坏	口 径: 11.8 器 高: 3.2	口縁部～胴部 上位 1/5 欠損	内: 横ナデ、正置の状態では左回りにナデ付け、上方に抜 いている	7.5YR 5/3 にぶい褐色 7.5YR 4/3 褐色 焼成良好	
7	土師器 甕	口 径: 18.6 括れ部径: 14.8 最大径: 19.0 残存高: (13.9)	口縁一部、胴部 下半欠損	外: 口縁部は縦位の櫛歯状工具による条線文文後、横 ナデ、胴部は縦位・斜位の櫛歯状工具による条線文 施文後、ナデ整形 内: 口縁部は横位の櫛歯状工具による条線文施文後、横 ナデ、胴部は蓋ナデ (成形時の指頭圧痕による凹凸 あり)	5YR 6/8 褐色 焼成良好	
8	土師器 甕	最大径: (22.0) 残存高: (12.5)	胴部下位～底部 残存	外: 斜位の蓋ケズリ後、縦位の入念なミガキ 内: 横位の蓋ナデ	2.5YR 5/8 明赤褐色 焼成良好	残存部上位の内 外面にススが付 着、内面に輪積 み痕を残す
9	土師器 甕	口 径: 14.0 括れ部径: 11.4 最大径: 23.4 残存高: (21.5)	胴部中位以下 欠損 口縁一部欠損	外: 口縁部横ナデ、胴部上半横位・斜位の蓋ケズリ、 部下半はケズリの後、縦位のミガキ 内: 口縁部横ナデ、括れ部直下に接合時の輪積みが残 り、この部分蓋ケズリ、以下幅広い工具による横ナ デ	10YR 5/4 にぶい黄褐色 7.5YR 5/6 明褐色 焼成やや良好	使用時の加熱の ためか、器面が 摩耗
10	土師器 甕	推定最大径: (20.2) 残存高: (10.2)	胴部中位 1/6 残存	外: 縦位の蓋ケズリ 内: 縦位・横位の蓋ナデ	7.5YR 5/4 にぶい褐色 焼成良好	外面スス付着内 面に輪積み痕が 残る
11	結縄車	長 さ: (4.0) 幅: (4.0) 厚 さ: (1.0) 重 量 (g): (19.1)	下半部欠損	滑石を研磨して作製		
12	編み物石	長 さ: 15.5 幅: 6.4 厚 さ: 3.0 重 量 (g): 535.7	完形	自然礫をそのまま利用 安山岩		
13	編み物石	長 さ: 15.7 幅: 7.4 厚 さ: 2.5 重 量 (g): 455.2	底部欠損	滑石を研磨して作製 安山岩		
14	編み物石	長 さ: 13.8 幅: 6.3 厚 さ: 4.1 重 量 (g): 494.9	底部欠損	滑石を研磨して作製 礫岩		
15	鉄製品 不明	長 さ: (2.0) 厚 さ: 0.4		残存部は断面やや台形状の柱状を示す		

* ロク口水洗き一製作状態の上方観

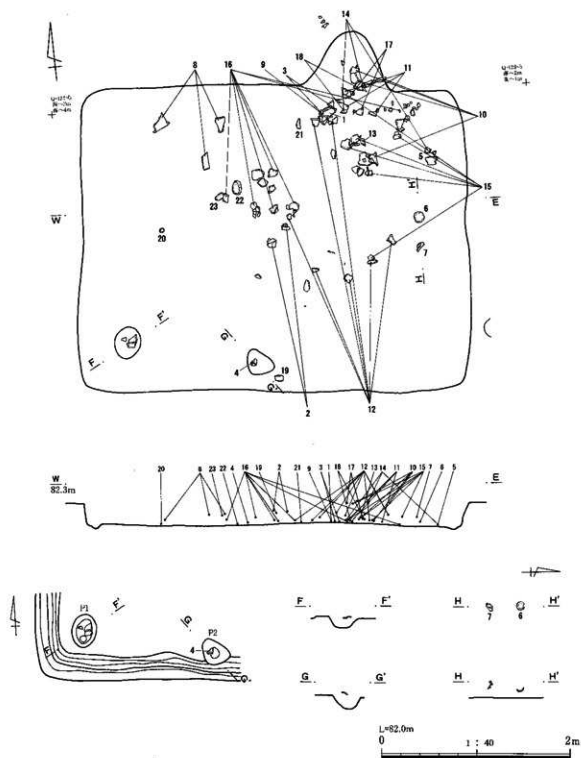


第28図 SI-05実測図

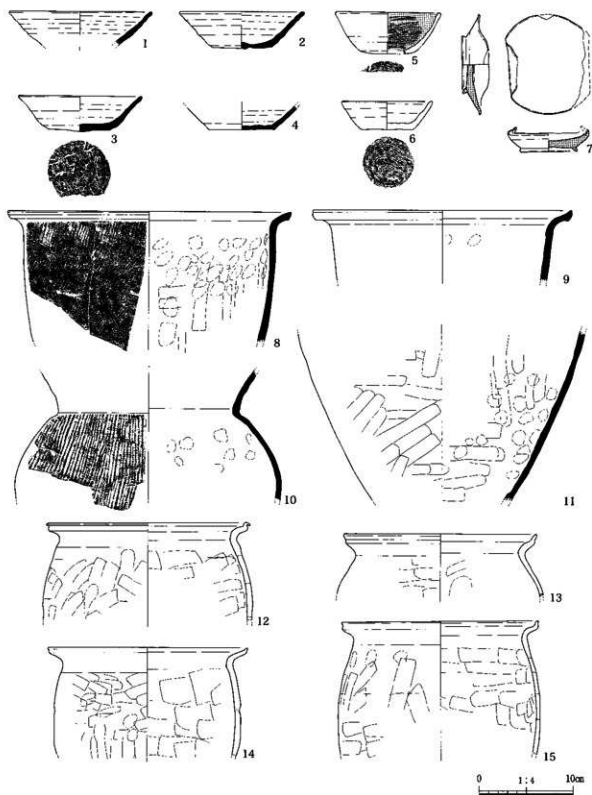


第29図 SI-05カマド実測図

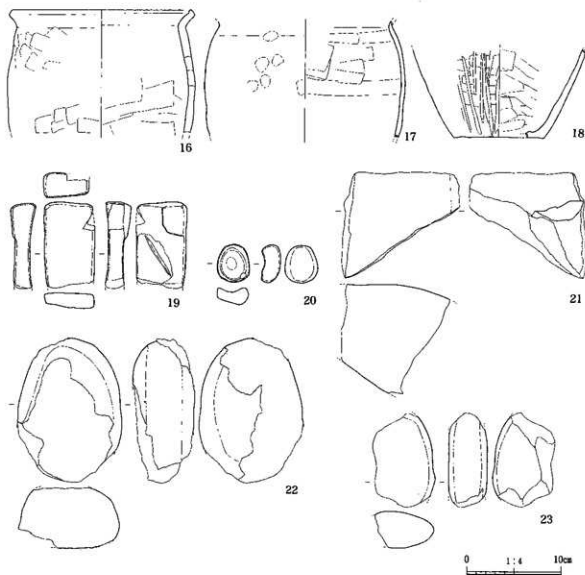
とする土で埋め戻されている。カマド 北壁中央からやや東寄り、概ね馬蹄形である。拡張後も同じ場所やや北側にずらし作り替えが行われた。規模は拡張前の掘りも含み、全長2.58m、幅は0.94m、壁外長は1.2mでU字状に掘り込まれている。煙道部の立ち上がりは、ややなだらかである。底面は床面から約20cm掘り込まれ、奥壁までは5・30層の黄褐色土で埋め戻されている。残存状態は悪く、両袖部は確認されず、崩落した天井部の一部が確認された。東壁際の土層では、埋め戻しの土層上面に住居跡の第1次堆積の土層が看られるが、中央の土層では埋め戻しの土層上面に火床部から天井部内側の土層と、天井部の粘土主体の土層があり、その後自然堆積が始まっている。カマド前面と両袖部の構築材を中心に取り去られたものと思われる。なお拡張後の北壁で、カマド両側にP11・12が設けられている。カマド周囲の天井部を持ち上げたものと思われる。



第30図 SI-05遺物出土状態実測図



第31図 SI-05出土遺物実測図(1)



第32図 SI-05出土遺物実測図(2)

遺物(第41・42図 第14表 図版二・二三)

覆土全面からの須恵器高台付坏、坏、蓋、長頸壺・壺の破片、土師器坏、壺、鉄器、編み物石が出土した。特にカマド上面と周辺から土師器の壺が多く出土している。また南東コーナーの床面直上から27・30・33の編み物石がまとまって出土している。他に3の須恵器坏胴部外面に「十」のヘラ記号が看られる。鉄器は覆土中からであるが、刀子、刀子片、不明鉄製品、鉄滓等が出土している。土師器壺にやや古いものも看られ、7C後半～8C前半とも思われるが、住居跡の時期は8C中頃と考えたい。

SI-07(第43～45図 第3表 図版四)

位置 中央から南西寄りのP15グリッドで、北4.0mにSI-06が、西2.6mにSB-236が位置する。重複遺構 住居跡北壁が近世以降の方形土坑SK-409に切られる。規模 東西5.74m、南北3.06m。平面形 東西に長い隅丸長方形である。主軸方向 N-5°-E。覆土 8層は貼床で、住居跡は1～7層の黒色土、黒

第13表 SI-05遺物観察表

番号	材質器種	寸法 (cm)	残存率	特 徴	色調焼成	備考
1	須恵器 坏	推定口径：(15.2) 残存高：(3.5)	口縁部～胴部 中位 1/8 残存	右回りのロクロ水洗き	2.5Y 6/2 灰黄色 焼成良好	一部酸化している 常陸地城産
2	須恵器 坏	口径：13.0 器高：3.9 底部推定径：(6.6)	口縁部～胴部 中位 1/3、 胴部中位～底部 1/2 残存	右回りのロクロ水洗き、底部回転並切り	2.5Y 7/1 灰白色 焼成良好	内外面にスガ付着 埴子窯産
3	須恵器 坏	推定口径：(13.0) 残存高：(3.7) 底径：6.6	口縁部一部残存 胴部中位～下位 2/3 残存 底部変形	右回りのロクロ水洗き、底部回転並切り ほぼ一直線の筈記号あり	2.5Y 6/1 黄灰色 焼成良好	埴子窯産
4	須恵器 坏	残存高：(2.5) 底部推定径：(6.9)	胴部中位～底部 1/3 残存	左回りのロクロ水洗き、底部静止並切り	10YR 7/4 にぶい黄褐色 焼成良好	酸化している
5	土師器 坏	推定口径：(10.8) 器高：4.4 推定底径：(5.0)	口縁部～底部 外縁 1/5 残存	右回りのロクロ水洗き、底部回転並切り 内面は横位の筈ミガキ後黒色処理	7.5YR 7/6 褐色 焼成良好	内面黒色処理
6	土師器 坏	口径：9.4 器高：3.0 底径：5.2	ほぼ変形	右回りのロクロ水洗き、底部回転並切り	7.5YR 7/6 褐色 焼成良好	
7	灰釉陶器 耳皿	推定口径：(10.6) 推定短径：(8.1) 残存高：(2.3)	折り返し 欠損	左回りのロクロ水洗き後、口縁の両端を折り曲げている 底部回転並切り後、高台貼し、糸切り痕をナデ消している 内面と、折り返し部はほぼ全面を施釉 外面は内面の釉が流れる程度	2.5Y 8/2 灰白色 焼成良好	猿轡窯 黒瓦 14 号式
8	須恵器 壺	推定口径：(29.9) 器高：(26.6) 残存高：(13.7)	口縁部～胴部 1/4 残存	外：ロクロ変形後、平行叩き目 内：指頭圧痕後、縦位（下→上）の筈ナデ	2.5Y 6/2 灰黄色 焼成良好	胎土内部は酸化している 常陸地城産
9	須恵器 壺	推定口径：(27.2) 残存高：(7.5)	口縁部 1/8 残存	外：口縁部横ナデ、胴部叩き 内：横ナデ、胴部上位に指頭圧痕が通る	10YR 7/3 にぶい黄褐色 焼成良好	酸化している 常陸地城産
10	須恵器 壺	器高推定径：(19.1) 推定最大径：(27.3) 残存高：(13.9)	口縁部下位～胴部 上位 2/3 残存	外：口縁部ロクロによる変形、胴部格子目状の叩き目 内：口縁部ロクロによる変形、胴部指頭圧痕後、横位の筈ナデ	10YR 2/1 黒色 焼成やや良好	全体的に酸化している 新治窯産
11	須恵器 壺	推定最大径：(30.4) 残存高：(18.0)	胴部中位～下位 1/4 残存	外：上半部は縦位、横位、斜位の筈ナデ、下半部は横位、斜位の筈ナデ 内：指頭圧痕を明確に残す、縦位（下→上）、横位の筈ナデ	7.5YR 6/4 にぶい褐色 焼成良好	産地不明
12	土師器 壺	推定口径：(20.9) 器高推定径：(18.6) 推定最大径：(22.3) 残存高：(10.3)	口縁部～胴部 上位 1/2 残存	外：口縁部横ナデ、胴部は縦位、斜位の筈ナデ 内：口縁部横ナデ、胴部横位の筈ナデ	7.5YR 5/3 にぶい褐色 焼成良好	
13	土師器 壺	推定口径：(20.4) 器高推定径：(18.0) 残存高：(6.7)	口縁部～胴部 中位 1/8 残存	外：口縁部横ナデ、胴部横位の筈ナデ 内：口縁部横ナデ、胴部筈ナデ	7.5YR 5/3 にぶい褐色 焼成良好	
14	土師器 壺	推定口径：(21.0) 器高推定径：(18.1) 最大径：(19.6)	口縁部～胴部 中位 1/5 残存	外：胴部下半位（下→上）筈ナデ後、胴部上半横位、斜位の筈ナデ、口縁部横ナデ（胴部上半筈ナデ後） 内：口縁部横ナデ、胴部筈ナデ	7.5YR 6/4 にぶい褐色 焼成良好	
15	土師器 壺	口径：20.6 器高推定径：18.2 最大径：21.0 残存高：(14.1)	口縁部～胴部 中位 3/5 残存	外：口縁部横ナデ、胴部は縦位、斜位、横位の筈ナデ、胴部上位に指頭圧痕が通る 内：口縁部横ナデ後、胴部横位の筈ナデ	7.5YR 5/3 にぶい褐色 焼成良好	
16	土師器 壺	推定口径：(18.8) 器高推定径：(17.8) 推定最大径：(19.8) 残存高：(13.0)	口縁部～胴部 中位 1/4 残存	外：口縁部横ナデ後、胴部上位に横位、斜位の筈ナデ、胴部中位に横位の筈ナデ 内：口縁部横ナデ、胴部中位横位の筈ナデ	7.5YR 6/6 褐色 焼成良好	外面に粘土付着
17	土師器 壺	器高推定径：(18.0) 最大径：(21.0) 残存高：(12.1)	胴部上位～中 最大径：中位 1/5 残存	外：口縁部横ナデ、胴部は指頭圧痕のほか、摩耗のため調整痕不明 内：口縁部横ナデ、胴部横位の横ナデ	10YR 4/3 にぶい黄褐色 焼成良好	内外面にスガ付着、外面に粘土付着
18	土師器 壺	残存高：(9.6) 底部推定径：(9.5)	胴部下位 1/8 残存	外：横位の筈ナデ後、縦位（下→上）の筈ミガキ 内：横位、斜位の筈ナデ	5YR 6/4 にぶい赤褐色 焼成良好	
19	砥石	長さ：(9.1) 最大幅：5.4 最大厚：2.7 表面欠損 重量 (g)：(140.7)	長軸上の 1/2 と裏面の 2/3 表面欠損	各面とも使用により、平滑になっている、広い裏表面は研ぎ減りが見られる、尖ったものを研いだと思われる、線状の列痕あり 凝灰岩		

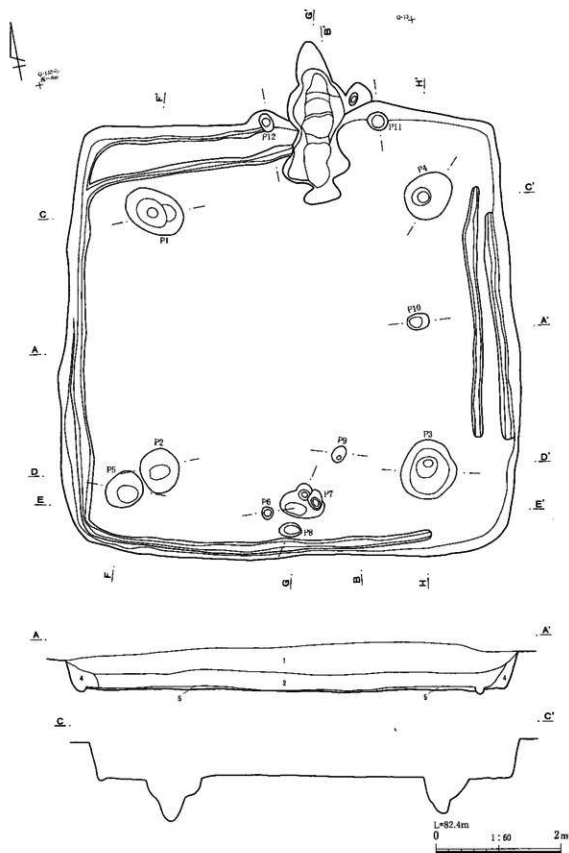
番号	材質器種	寸法 (cm)	残存率	特 徴	色調焼成	備考
20	礫	長さ : 5.0 幅 : 3.3 厚さ : 1.8 重量 (g) : 36.1	完形	片面が窪んだ自然の小礫 安山岩		
21	石器 台石	長さ : (11.1) 最大幅 : (12.6) 最大厚 : (11.9) 重量 (g) : (1450.0)	表裏面を僅かに 残し、大部分欠 損	自然礫を利用し、機能面が平滑になったと思われるが、 大部分が欠損しており、詳細は不明 流紋岩		
22	石器 磨石	長さ : (15.2) 最大幅 : (10.6) 最大厚 : (6.4) 重量 (g) : (1261.4)	表裏面、長軸上 の両端、片側の 原礫面剥落	自然礫を利用 礫岩		
23	石器 台石	長さ : (10.0) 幅 : (6.2) 厚さ : 3.9 重量 (g) : (252.8)	外縁部 1/4 残存	多孔質の安山岩		

* ロクロ水抜き一製作状態の上方面

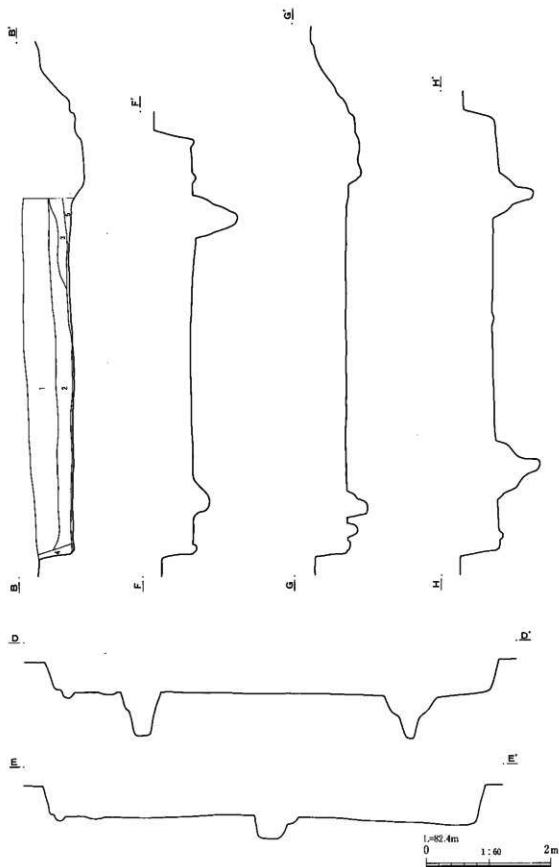
褐色土の自然堆積であり、東側から堆積が始まったと思われる。また中央部付近には住居廃棄後、人為的に廃棄されたものか、ローム土・焼土・炭化物を含む黄褐色土が凸状に堆積している。壁 47～58cmと残りは良く、床面から直線的に立ち上がる。床 薄い貼床でほぼ平坦に整えられている。柱穴 柱穴と思われるビットの検出は無かった。入口ビット カマド正面の南壁際に P 1 が存在する。掘方 特に掘方と言えるほどの掘り込みは確認されなかった。カマド 北壁中央からやや東寄りに構築され、概ね馬蹄形である。壁より北側が攪乱を受け、壁外への掘り込みは不明であるが、規模は屋内で0.8m、幅は1.16mである。煙道部への立ち上がりは緩やかである。底面は浅く掘り込まれ、奥壁まで黒色土で埋め戻されている。残存状態は悪く、天井部が崩落した状態で袖部も一部残存するのみである。カマド内面では、埋め戻しの黒色土上面に火床が残り、天井部が崩落している。

遺物（第46図 第15表 図版二三）

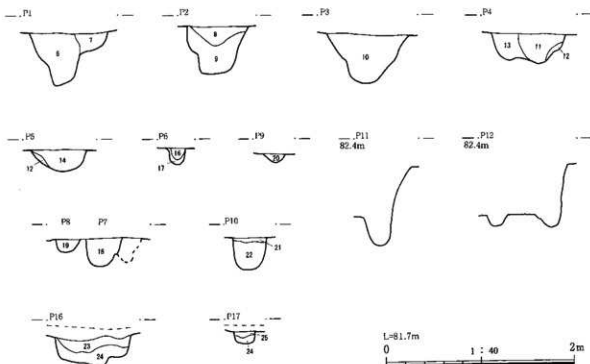
出土遺物は少なく、覆土中より須恵器甕片、土師器坏、甕片が出土した。特に北壁際の床面から 1 の土師器坏と、東壁際の床面直上から 9～13 の編み物石が出土している。遺物が少ないため、住居跡の時期は 7 C 後半～ 8 C 初頭と考えておきたい。



第33図 SI-06実測図(1)



第34図 SI-06実測図(2)

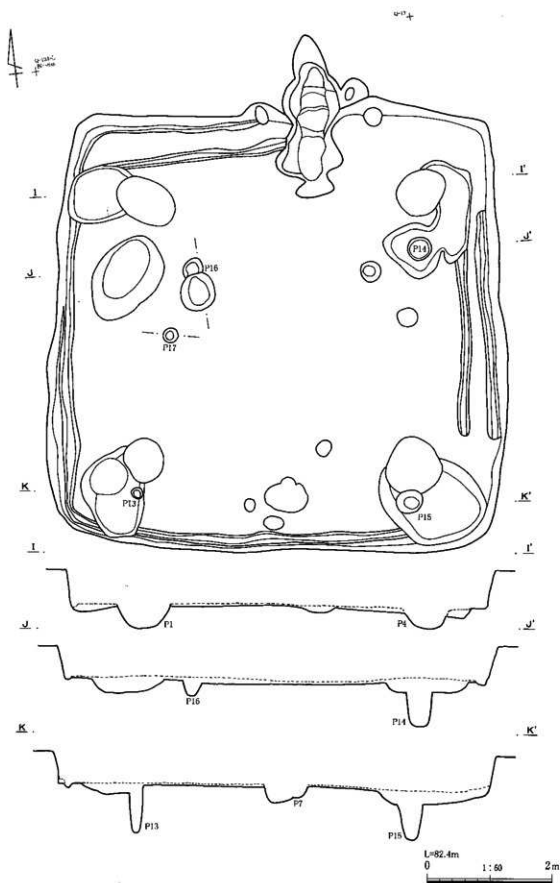


ピット名	開口部径	深さ	ピット名	開口部径	深さ
P1	0.96 × 0.64 m	0.73 m	P10	0.34 × 0.29 m	0.37 m
P2	0.70 × 0.60 m	0.71 m	P11	0.30 × 0.28 m	0.30 m
P3	0.95 × 0.85 m	0.70 m	P12	0.30 × 0.18 m	0.15 m
P4	0.80 × 0.67 m	0.57 m	P13	0.19 × 0.17 m	0.70 m
P5	0.64 × 0.54 m	0.26 m	P14	0.37 × 0.37 m	0.55 m
P6	0.20 × 0.17 m	0.21 m	P15	0.41 × 0.38 m	0.57 m
P7	0.70 × 0.41 m	0.34 m	P16	0.82 × 0.55 m	0.35 m
P8	0.35 × 0.24 m	0.17 m	P17	0.24 × 0.24 m	0.14 m
P9	0.28 × 0.20 m	0.13 m			

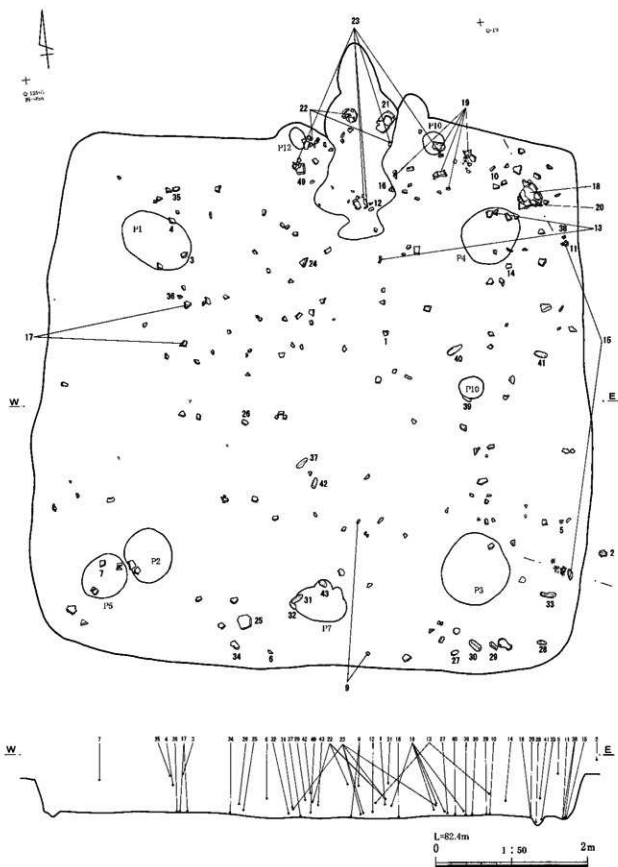
土層注記 51-06		土層注記 51-06									
層位	土色記号	色	名	砂	粘	土	質	土	質	土	質
1	10R	3/2	黄褐色	1	1	1	1	1	1	1	1
2	10R	2/3	黄褐色	2	2	2	2	2	2	2	2
3	10R	4/4	褐色	3	3	3	3	3	3	3	3
4	10R	4/6	褐色	4	4	4	4	4	4	4	4
5	10R	5/6	黄褐色	5	5	5	5	5	5	5	5
6	10R	4/3	にがい黄褐色	6	6	6	6	6	6	6	6
7	10R	4/3	にがい黄褐色	7	7	7	7	7	7	7	7
8	10R	3/2	黄褐色	8	8	8	8	8	8	8	8
9	10R	4/3	にがい黄褐色	9	9	9	9	9	9	9	9
10	10R	4/3	にがい黄褐色	10	10	10	10	10	10	10	10
11	10R	3/4	黄褐色	11	11	11	11	11	11	11	11
12	10R	4/4	褐色	12	12	12	12	12	12	12	12
13	10R	4/4	褐色	13	13	13	13	13	13	13	13

土層注記 51-06		土層注記 51-06									
層位	土色記号	色	名	砂	粘	土	質	土	質	土	質
14	10R	5/6	黄褐色	14	14	14	14	14	14	14	14
15	10R	3/1	黄褐色	15	15	15	15	15	15	15	15
16	10R	2/3	黄褐色	16	16	16	16	16	16	16	16
17	10R	4/3	にがい黄褐色	17	17	17	17	17	17	17	17
18	10R	4/3	にがい黄褐色	18	18	18	18	18	18	18	18
19	10R	4/3	にがい黄褐色	19	19	19	19	19	19	19	19
20	10R	4/3	にがい黄褐色	20	20	20	20	20	20	20	20
21	10R	3/2	黄褐色	21	21	21	21	21	21	21	21
22	10R	4/3	にがい黄褐色	22	22	22	22	22	22	22	22
23	10R	4/4	褐色	23	23	23	23	23	23	23	23
24	10R	4/6	褐色	24	24	24	24	24	24	24	24
25	10R	3/2	黄褐色	25	25	25	25	25	25	25	25

第35図 SI-06実測図(3)



第36図 SI-06実測図（完掘図）

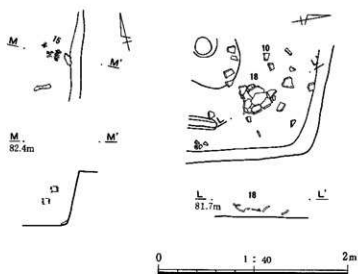


第37図 SI-06遺物出土状態実測図(1)

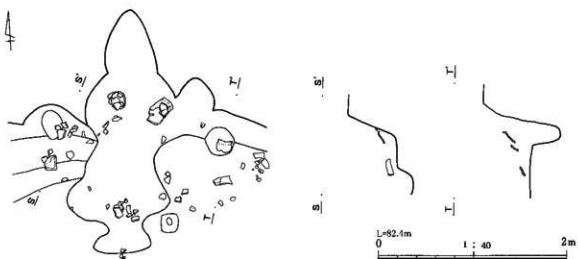
第14表 SI-06遺物観察表

番号	材質器種	寸法 (cm)	残存率	特 徴	色調焼成	備考
1	須恵器	推定口径: (16.6) 残存高: (3.3) 底面推定径: (9.2)	口縁部～底部 1/8 残存	右回りのロクロ水挽き、底部回転糸切り、高台貼付部に、予めロクロを回転させて芯線を引いている	2.5Y 8/1 灰白色 焼成良好	高台剥落 産地不明
2	須恵器	残存高: (2.0) 底 径: 5.0	胴部下位 1/2 残存 底部 3/4 残存	ロクロ水挽き、底部回転糸切り	5YR 7/8 褐色 焼成良好	酸化している 産地不明
3	須恵器	推定口径: (13.4) 残存高: (4.3)	口縁部～胴部 下位 1/5 残存	右回りのロクロ水挽き、 外面に「十」字状の笠記号	5YR 7/1 灰白色 焼成良好	胴部外面に笠記号 埴子窯産
4	須恵器	推定口径: (15.8) 器 高: 5.2 底面推定径: (9.1)	口縁部～底部 1/4 残存	右回りのロクロ水挽き、底部回転笠切り後、高台貼附		東海地域産
5	須恵器	残存高: (1.9) 底面推定径: (8.8)	底部一部残存	ロクロ水挽き	2.5Y 6/1 黄灰色 焼成良好	底面に一部自然輪 埴子窯産
6	須恵器	推定口径: (10.2) 残存高: (1.2)	口縁部 1/4 残存	ロクロ水挽き	5Y 6/1 灰色 焼成良好	産地不明
7	須恵器	残存高: (6.5)	胴部一部残存	外: 平行叩き目 内: 青海波文	5Y 6/1 灰色 焼成良好	外面に自然輪 産地不明
8	土師器	残存高: (4.0)	胴部一部残存	外: 縦位のハケ目 内: 横位の笠ナデ	7.5YR 7/6 褐色 焼成良好	
9	須恵器	直 径: (14.2) 残存高: (2.6)	天井部欠損、 以下 1/4 残存	ロクロ水挽き	5Y 6/1 灰色 焼成良好	外面に自然輪 埴子窯産
10	土師器	推定口径: (13.2) 残存高: (3.7)	口縁部～胴部 下位 1/5 残存	外: 胴部笠ケズリ後、口縁部横ナデ 内: 横ナデ	7.5YR 7/4 にぶい褐色 焼成良好	内外面漆処理
11	土師器	推定口径: (10.9) 器 高: 4.6 底面推定径: (7.0)	口縁部～底部 1/3 残存	外: 口縁部横ナデ、胴部横位の笠ケズリ 内: 横ナデ	7.5YR 7/6 褐色 焼成良好	内外面漆処理
12	土師器	推定口径: (17.5) 残存高: (3.8)	口縁部～底部 1/4 残存	外: 口縁部横ナデ後、胴部横位の笠ナデ 内: 横ナデ後、横位の笠ミガキ	7.5YR 7/6 褐色 焼成良好	
13	土師器	推定口径: (18.9) 残存高: (4.0)	口縁部～胴部 下位 1/8 残存	外: 横位の笠ケズリ後、横位の笠ミガキ 内: 横ナデ後、横位の笠ミガキ	7.5YR 6/6 褐色 焼成良好	
14	土師器	推定口径: (17.8) 残存高: (3.6)	口縁部～胴部 下位 1/8 残存	外: 口縁部横ナデ、胴部横位の笠ケズリ 内: 横ナデ後、縦位のまばらなミガキ	10YR 7/3 にぶい黄褐色 焼成良好	内面漆処理
15	土師器	推定口径: (13.4) 残存高: (9.0) 底面推定径: (3.6)	口縁部～底部 外縁 1/8 残存	外: 口縁部横ナデ、体部横位のケズリ 内: 横ナデ	7.5YR 7/6 褐色 焼成良好	
16	土師器	残存高: (2.0) 底 径: 6.1	胴部下位～底部のみ残存	外: 横方向の不規則なミガキ 内: 胴部下位は口縁と同軸線のミガキ、その後、底部を 単方向に折り返しならみミガキ		
17	土師器	推定口径: (13.2) 残存高: (6.7)	口縁部～胴部 下位 1/4 残存	外: 口縁部横ナデ、胴部横位、斜位の笠ナデ 内: 横ナデ	5YR 7/6 褐色 焼成良好	
18	土師器	推定口径: (16.9) 底面推定径: (15.2) 推定最大径: (21.3) 残存高: (14.2)	口縁部～胴部上 位 1/4、胴部上 ～中位 1/5 残存	外: 口縁部横ナデ後、胴部に横位、斜位の笠ケズリ 内: 口縁部横ナデ、胴部横位、縦位の笠ナデ	10YR 2/1 黒褐色 焼成良好	
19	土師器	口 径: 16.7 括れ部位: 16.2 推定最大径: (19.1) 残存高: (15.0)	口縁部～胴部 上位完形、胴部 中～下位 1/2 残存	外: 口縁部横ナデ後、胴部縦位の笠ケズリ 内: 口縁部横ナデ後、胴部横位、斜位の笠ナデ	5YR 6/6 褐色 焼成良好	
20	土師器	推定口径: (18.4) 括れ部推定径: (16.4) 残存高: (6.9)	口縁部～胴部 上位 1/4 残存	外: 口縁部横ナデ、胴部上位横位の笠ナデ、笠ケズリ 内: 口縁部横ナデ、胴部上位横位の笠ナデ	10YR 6/3 にぶい黄褐色 焼成良好	
21	土師器	口 径: 19.0 括れ部位: 14.8 残存高: (21.9)	底部のみ欠損	外: 口縁部横ナデ、胴部上～中位は縦位、横位のハケ目 胴部下位は縦位 (下→上) の笠ケズリ 内: 口縁部横ナデ、横位のハケ目、胴部横位、斜位のハケ目	10YR 6/4 にぶい黄褐色 焼成良好	

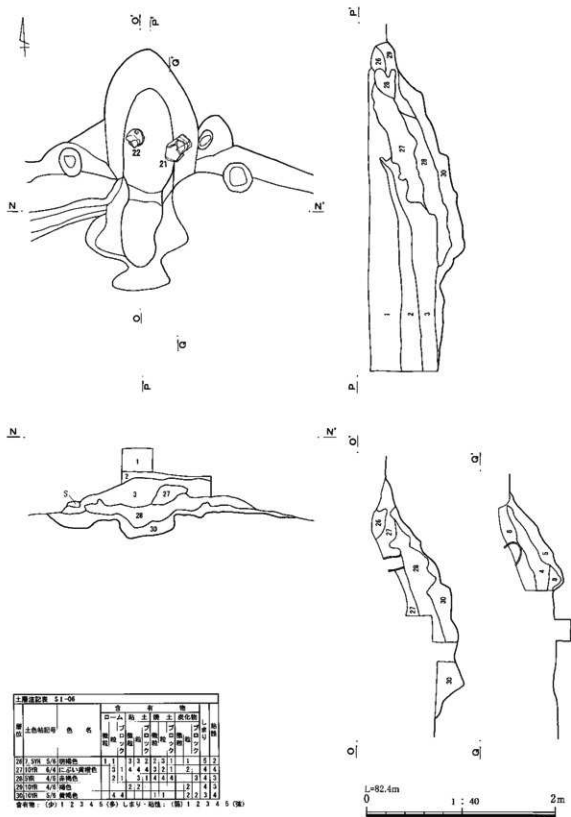
番号	材質器種	寸法 (cm)	残存率	特 徴	色調焼成	備考
22	土師器 甕	口 径 : 19.0 括れ部径 : 15.8 部 高 : 29.0 底 径 : 7.6	胴部下位 1/3 欠損	外: 口縁部横ナデ後、体部縦位 (下→上) の筥ケズリ 内: 口縁部横ナデ後、体部横位の筥ナデ	5YR 4/6 赤褐色 焼成良好	底部は平坦ではない、胴部下位が歪んでいる
23	土師器 甕	推定口径 : (19.8) 残存高 : (11.1)	口縁部～胴部 上位 1/4、胴部 中位 1/8 残存	外: 口縁部横ナデ後、胴部縦位 (下→上) の筥ケズリ 内: 胴部縦位、横位、斜位の筥ナデ後、口縁部横位の横ナデ	10YR 6/4 にぶい褐色 焼成良好	
24	土師器 甕	推定口径 : (20.6) 括れ部推定径 : (17.1) 残存高 : (5.8)	口縁部～胴部 上位 1/5 残存	外: 口縁部横ナデ後、胴部縦位 (上→下) の筥ケズリ 内: 胴部斜位の筥ナデ後、口縁部横ナデ	7.5YR 5/3 にぶい褐色 焼成良好	胴部内面にスス付着
25	土師器 甕	括れ部推定 : (20.8) 残存高 : (11.3)	口縁部下位～胴部 中位 1/5 残存	外: 口縁部横ナデ後、胴部縦位の筥ケズリ 内: 口縁部横ナデ後、胴部横位、斜位の筥ナデ	2.5YR 5/4 にぶい赤褐色 焼成良好	
26	砥石	長 さ : (7.8) 最大幅 : 4.9 最大厚 : 5.2 重 量 (g) : (177.6)	長軸上の約 1/2 を欠損	各面とも使用により、平滑になっている、広い表裏面は研ぎ減りがみられる 凝灰岩		被熱している
27	編み物石	長 さ : (8.2) 幅 : (5.0) 厚 さ : (4.0) 重 量 (g) : (231.9)	長軸上の一端を 欠損	自然礫をそのまま利用 礫岩		
28	編み物石	長 さ : 13.1 幅 : 5.2 厚 さ : 4.0 重 量 (g) : 396.3	完形	自然礫をそのまま利用 安山岩		
29	編み物石	長 さ : 14.4 幅 : 5.2 厚 さ : 3.1 重 量 (g) : 448.7	完形	自然礫をそのまま利用 安山岩		
30	編み物石	長 さ : 17.7 幅 : 4.9 厚 さ : 3.8 重 量 (g) : 593.5	完形	自然礫をそのまま利用 ヒン岩		
31	編み物石	長 さ : 16.8 幅 : 7.2 厚 さ : 2.8 重 量 (g) : 618.3	完形	自然礫をそのまま利用 安山岩		
32	編み物石	長 さ : 14.9 幅 : 7.1 厚 さ : 3.0 重 量 (g) : (555.4)	一部欠損	自然礫をそのまま利用 安山岩		
33	編み物石	長 さ : 17.2 幅 : 4.2 厚 さ : 4.1 重 量 (g) : 399.8	完形	表面の剥落した自然礫をそのまま利用 フォルフエルス		松葉状の列紋がみられるホルンフェルス (所謂松葉石) を使用
34	編み物石	長 さ : 12.5 幅 : 6.0 厚 さ : 2.3 重 量 (g) : 306.7	完形	自然礫をそのまま利用 安山岩		
35	編み物石	長 さ : (10.2) 幅 : 6.0 厚 さ : 4.2 重 量 (g) : (346.7)	長軸方向の両端 を欠損	自然礫をそのまま利用 礫岩		
36	編み物石	長 さ : 10.2 幅 : 4.3 厚 さ : 4.1 重 量 (g) : 311.1	完形	自然礫をそのまま利用 安山岩		
37	編み物石	長 さ : 17.3 幅 : 5.8 厚 さ : 4.1 重 量 (g) : 563.7	完形	自然礫をそのまま利用 安山岩		
38	編み物石	長 さ : (10.7) 幅 : 4.8 厚 さ : 3.5 重 量 (g) : (301.4)	長軸方向の一端 を欠損	自然礫をそのまま利用 礫岩		



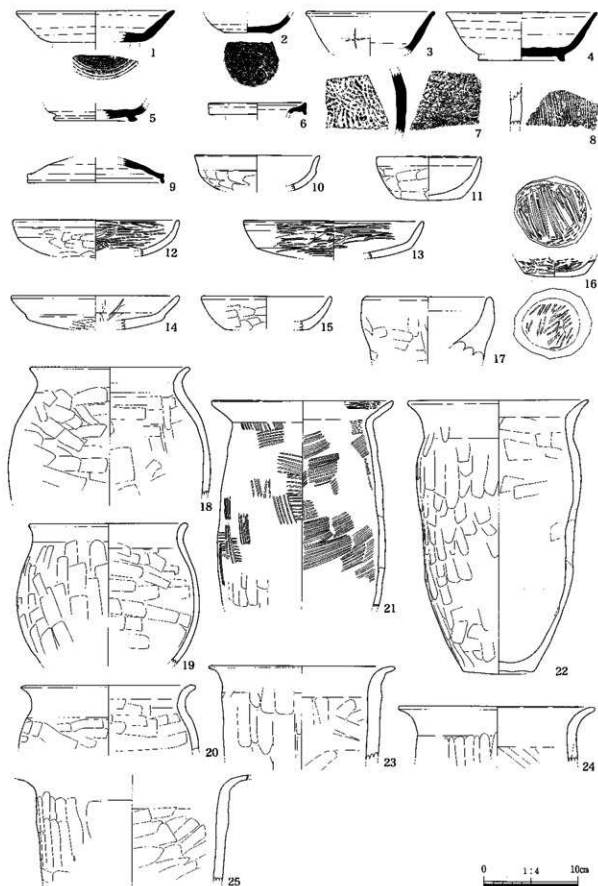
第38図 SI-06遺物出土状態実測図(2)



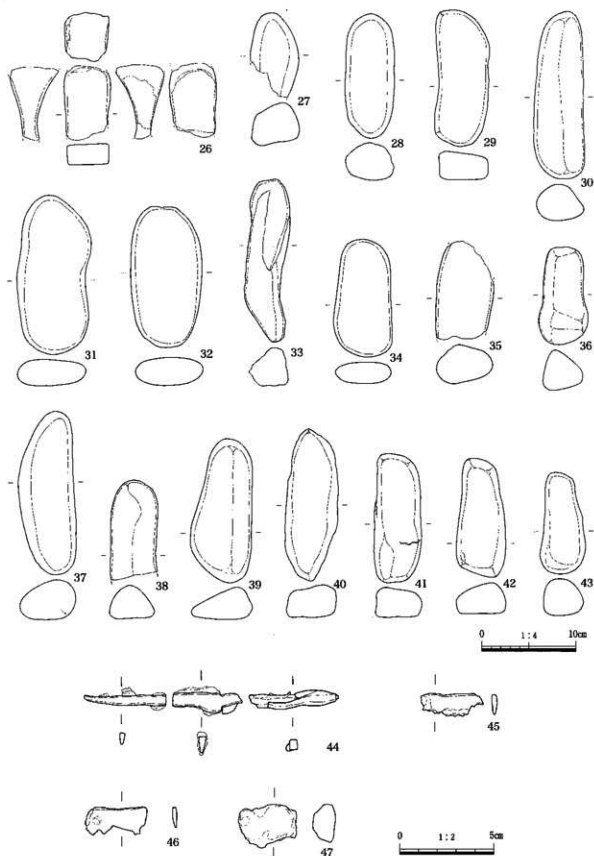
第39図 SI-06カマド遺物出土状態実測図



第40図 SI-06カマド実測図



第41図 SI-06出土遺物実測図(1)



第42図 SI-06出土遺物実測図(2)

番号	材質器種	寸法 (cm)	残存率	特 徴	色調焼成	備考
39	編み物石	長さ : 15.2 幅 : 6.4 厚さ : 3.4 重量 (g) : 473.9	完形	自然礫をそのまま利用 安山岩		
40	編み物石	長さ : 16.0 幅 : 5.0 厚さ : 3.7 重量 (g) : 506.4	完形	自然礫をそのまま利用 雲母安山岩		
41	編み物石	長さ : 13.5 幅 : 5.0 厚さ : 3.2 重量 (g) : 377.9	完形	自然礫をそのまま利用 フォルンフェルス		
42	編み物石	長さ : 12.6 幅 : 5.3 厚さ : 3.5 重量 (g) : 343.3	完形	自然礫をそのまま利用 安山岩		
43	編み物石	長さ : 10.7 幅 : 4.2 厚さ : 3.9 重量 (g) : 264.9	完形	自然礫をそのまま利用 フォルンフェルス		
44	鉄製品 刀子	長さ : (12.7) 刃 幅 : 0.4 茎 幅 : 0.5 茎厚さ : 0.4	刃部から茎部 残存	3つに分かれているが、同一の刀子と思われる、茎部に 木質部分が一部残る		
45	鉄製品 刀子	長さ : (3.2) 刃 幅 : 1.1 茎 幅 : 0.7	刃部から茎部 一部残存	刃部から茎部の破片		
46	鉄製品 不明	長さ : (3.2) 幅 : 1.1		器面に棒状部分の付着と思われる痕跡が残る		
47	鉄滓	長さ : 3.0 幅 : 2.3 厚さ : 1.2 重量 (g) : 11.0	完形	小鍛冶滓、表面にガラス質の発泡部分と一部錆が浮き出 ているため、鉄の部分が残存しているものと思われる		

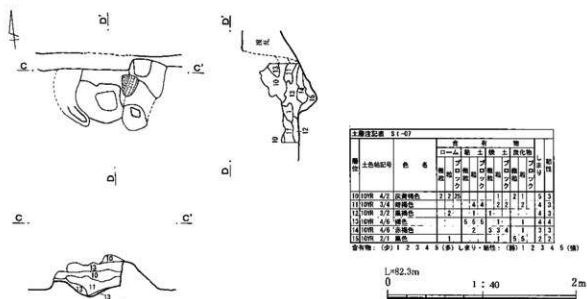
*ロクロ水焼き一制作状態の上方面

SI-08 (第47・48図 第3表 図版四)

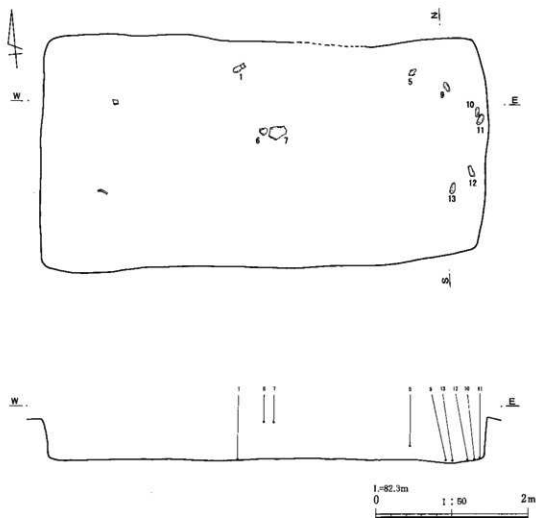
位置 中央から東寄りのS14グリッドで、西3mにSB-384、11.2mにSI-06が、北西8.2mにSI-04が位置する。重複遺構 SK-350の陥し穴状土坑を切っている。規模 東側は一部調査区外となり、東西は調査区内で(3.2)m、南北3.72mであった。平面形 隅丸方形と思われる。主軸方向 N-14°-W。覆土 住居跡は主に1層の暗褐色土の自然堆積で覆われるが、床面上面にはローム土主体の層が看られ、一部埋め戻しが行われたと思われる。住居跡掘り込み面は、標準土層のⅡ層に対応する層上面で確認された。壁 27～63cmで、床面からやや外傾しながら立ち上がる。床 若干凹凸は残るものの、ほぼ平坦である。柱穴 中央から南西寄りと思われる位置にP1が確認されたのみで不明であるが、P1は径が約30cm、深さ1.36mと深い掘り方である。入口ピット、貯蔵穴、壁溝は検出されていない。カマドについても不明。

遺物 (第49図 第16表 図版二二)

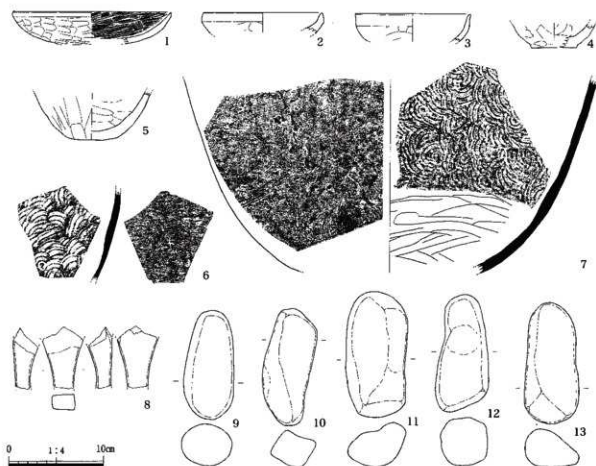
出土遺物は小量であり、主に自然堆積の1層中から須恵器杯、蓋、壺、土師器杯、埴、甕、編み物石が出土した。唯一南西コーナーの床面から、内側にヘラ記号が刻まれた3の蓋が出土している。また11・12の甕片については、外面にハケ目が施されている。住居跡の時期については、7C後半～8C前半の時期としておきたい。



第44図 SI-07カマド実測図



第45図 SI-07遺物出土状態実測図



第46図 SI-07出土遺物実測図

SI-501 (第50～56図 第3表 図版五・六)

位置 中央から北西端のG11グリッドで、西1mにSI-551が、東7.6mにSI-502が位置する。**重複遺構** SK-521a・bに切られる。**規模** 東西5.6m、南北4.8m。**平面形** 北と西壁が南と東壁よりも若干長い隅丸台形である。**主軸方向** N-24°-E。**覆土** 3層は貼床で、住居跡は主に1・2層の黒褐色土、褐色土の自然堆積である。**壁** 22～34cmで、床面からほぼ直線的に立ち上がる。**床** 貼床でほぼ平坦に整えられている。**柱穴** 拡張又は立て替えが行われたと思われ、旧住居の主柱穴はP2・4・19の4本、新住居の主柱穴はP1・10・11・17の4本と推定される。柱穴の配置平面形は、住居跡の外形とは対照的に、新旧共に東壁方向に広がる。なおカマド周囲の小ピットは、本住居跡北側で検出されている小ピット同様後生のものと思われる。**入口ピット** 旧住居のものは南側柱穴間の貼床下で検出されたP26かP7が、新住居にはP7か南壁際のP5が対応すると思われる。**貯蔵穴** 北壁際のP9と思われるが、P9は遺物の出土状態から住居廃棄時まで開口していたことが確認された。なお貯蔵穴の作り替え等の新旧は確認できなかった。**壁溝** 検出されなかった。**掘方** 明確な掘方は無く、全体が数cm下げられ3層で貼床を施しているが、南東コーナーのP6と北西コーナーのP8は不正形の浅い掘り込みと思われる。カマド 北壁中央部に構築され、概ね馬蹄形である。規模は全長1.2m、幅は1.18m、壁外長は32cmでU字状に掘り込まれている。煙道部の立ち上がりは急である。底面は浅く掘り込まれ3層黄褐色土で、奥壁の煙道部立ち上がり部は31層の褐色土

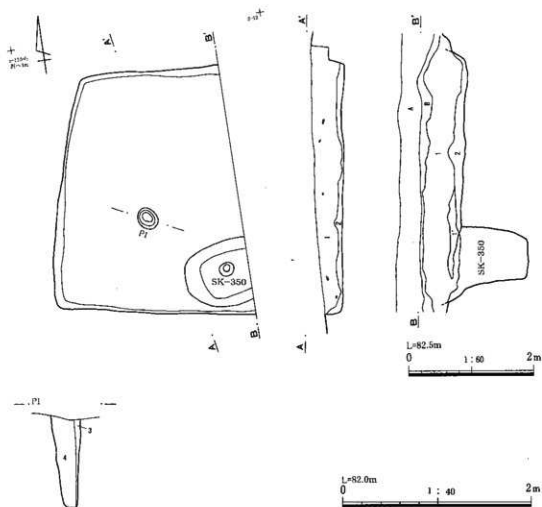
第15図 SI-07遺物観察表

番号	材質器種	寸法 (cm)	残存率	特 徴	色調焼成	備考
1	土師器 坏	推定口径：(16.7) 残存高：(3.3)	口縁部～胴部 下位 1/4 残存	外：胴部横位の筥ケズリ後、口縁部横ナデ 内：横位、斜位の密なミガキ	5YR 6/6 褐色 焼成良好	
2	土師器 坏	推定口径：(12.4) 残存高：(2.2)	口縁部～胴部 1/2 残存	外：口縁部横ナデ、胴部横位の筥ケズリ 内：横ナデ	7.5YR 6/4 にぶい褐色 焼成良好	内外面漆処理
3	土師器 坏	推定口径：(12.2) 残存高：(2.9)	口縁部～胴部 一部残存	外：口縁部横ナデ、胴部横位の筥ケズリ 内：横ナデ	7.5YR 7/6 褐色 焼成良好	内面漆処理
4	土師器 甕	残存高：(2.6) 底部推定径：(4.8)	胴部下位～底 部 1/2 残存	外：横位、斜位の筥ナデ 内：横位、斜位の筥ナデ	10YR 7/4 にぶい黄褐色 焼成良好	
5	土師器 甕	残存高：(5.0) 底部推定径：(5.0)	胴部下位～底 部約 1/5 残存	外：胴部縦位（上→下）の筥ケズリ 内：横位の筥ナデ	10YR 7/4 にぶい黄褐色 焼成良好	
6	須恵器 甕	残存高：(9.6)	胴部一部残存	外：平行叩き目をナデ消している 内：青海波文	7.5Y 5/1 灰色 焼成良好	産地不明
7	須恵器 甕	推定最大径：(43.7) 残存高：(20.4)	胴部一部残存	外：ナデ変形（内面青海波文から判断して、叩き目をナ デ消していると思われる） 内：上半部青海波文、下半部横位の筥ケズリ	5Y 5/1 灰色 焼成良好	産地不明
8	磁石	長 さ：(6.6) 最大幅：(4.4) 最大厚：(2.5) 重 量 (g)：(53.9)	長軸上の両端を 欠損、全体の 1/2 が残存	各面とも使用により、平滑になっている。表裏面と両側 面は研ぎ減りがみられる 凝灰岩		
9	編み物石	長 さ：11.5 幅：5.3 厚 さ：4.5 重 量 (g)：383.1	完形	自然礫をそのまま利用 安山岩		
10	編み物石	長 さ：12.4 幅：4.8 厚 さ：3.9 重 量 (g)：299.7	完形	自然礫をそのまま利用 礫岩		
11	編み物石	長 さ：13.3 幅：6.3 厚 さ：4.7 重 量 (g)：575.4	完形	自然礫をそのまま利用 安山岩		
12	編み物石	長 さ：12.6 幅：5.5 厚 さ：5.2 重 量 (g)：505.8	完形	自然礫をそのまま利用 安山岩		
13	編み物石	長 さ：12.8 幅：5.8 厚 さ：3.1 重 量 (g)：447.9	完形	自然礫をそのまま利用 安山岩		

で各々埋め戻されている。天井部が崩落した状態で検出されたが、その下の29層は火床部から煙道部に堆積していた覆土と思われる。また支脚に用いられたと思われる10の土師器鉢が、この層に倒立した状態で埋められていた。両袖部は攪乱も激しく、下部近くのみが残存していた。

遺物（第57・58図 第17表 図版二二）

出土遺物は、床面から覆土の2層上面を中心に土師器坏、高坏、鉢、甕、編み物石が出土した。特に貯蔵穴内から4の坏、その周囲から2の坏と12の甕が、カマド東側から8の高坏脚部と13の甕が出土している。またそれらの近くの覆土中から一筆だが内面に墨書のある1の坏が出土している。他に編み物石であるが、P6覆土から南壁際より16～23が、P5上面から南壁際より24～27・29がまとまって出土している。6C代と思われる遺物もみられるが、住居跡の時期は7C中葉～後葉を考えたい。



ピット名	開口部径	深さ
P1	0.36 m × 0.28 m	1.36 m

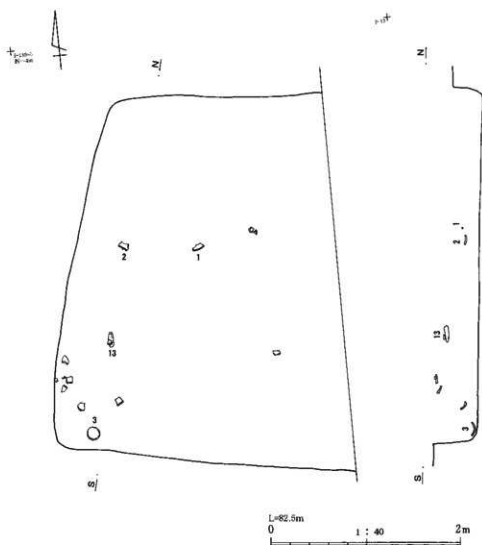
土層法相表 SI-08												
層位	土色・地質記号	色	土質					土層				
			砂	シルト	粘土	礫	石	腐植土	その他	その他	その他	その他
1	10R1 3/2 黄褐色											4.3
2	10R1 3/2 黄褐色	3.2										2.3
3	10R1 3/2 黄褐色	4.1.3										3.3

資料数：(1) 1 2 3 4 5 (2) 1 2 3 4 5 (3) 1 2 3 4 5 (4) 1 2 3 4 5 (5) 1 2 3 4 5

土層法相表 SI-09												
層位	土色・地質記号	色	土質					土層				
			砂	シルト	粘土	礫	石	腐植土	その他	その他	その他	その他
1	10R1 3/2 黄褐色											4.4
2	10R1 3/2 黄褐色	3.2										2.3
3	10R1 3/2 黄褐色	4.1.3										3.3

資料数：(1) 1 2 3 4 5 (2) 1 2 3 4 5 (3) 1 2 3 4 5 (4) 1 2 3 4 5 (5) 1 2 3 4 5

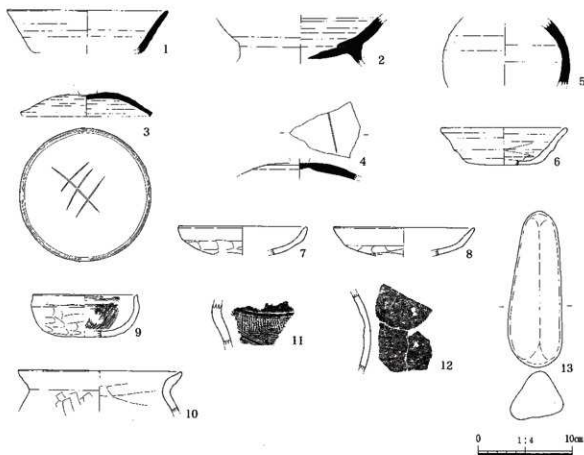
第47図 SI-08実測図



第48図 SI-08遺物出土状態実測図

SI-502 (第59～65図 第3表 図版六)

位置 中央から西寄りのI10～11グリッドで、南7mにSI-01が、西7.5mにSI-501が、北20mにSI-503が位置する。規模 東西5.74m、南北5.72m。平面形 隅丸方形である。主軸方向 N-6.5°-E。
 覆土 4層は貼床、5層が壁溝の埋土で、住居跡は主に1～2層の黒色土、暗褐色土の自然堆積である。壁 20～45cmで、床面からやや外傾しながら立ち上がる。床 貼床でほぼ平坦に整えられている。柱穴 主柱穴はP1～4の4本であるが、P3にはP8・9の掘り換えと思われるビットが重複するため、立て替えの可能性も考えられる。他に、P2の北側にP6が、P4の北側にP7とそれぞれに対応するような小ビットが確認されており、支柱穴かとも考えられる。入口ビット 南壁際のほぼ中央にあるP5が施設に伴うものと思われる。また施設に伴うものか支柱になるのかは不明であるが、貼床下でP5の内側よりP18が検出されている。貯蔵穴 P11が北東コーナーに位置する。黒色土、暗褐色土、褐色土の自然堆積である。壁溝幅13～40cmで、深さ4～11cmの周溝が、カマド東側の北壁を除きほぼ全周する。掘方 中央部を除き、



第49図 Si-08出土遺物実測図

各壁際が0.75m～1.5mの幅で溝状に掘り込まれ、併せて南側は1.5mの半円形状に大きく内側へと挟り込まれている。カマド 北壁のほぼ中央部に構築され、概ね馬蹄形である。規模は全長1.37m、幅は0.9m、壁外長は80cmでU字状に掘り込まれ、煙道部の立ち上がりは緩やかである。底面は約15cmほど掘り込まれ、奥壁までは黄褐色土で薄く埋め戻されている。天井部が崩落した状態で検出されたが、両袖部は残存していた。カマド内面は全面良く火を受けた状態であり、火床部から煙道部に入った24層が厚く堆積している。また36の甕が半載され、各々両袖部前面から、口縁部を床面に接するように置かれ出土した。袖部の補強材として転用されたものと思われる。棚状施設 カマド東側の北壁外側で、カマドから南東コーナーまでの2.6m、幅はコーナー付近で25cmだがカマド東側に向かって65cmと広がる。深さは確認面から床面上の約20cmの高さの所までの掘り込みで、10～20cmであった。覆土はローム土を多く含むが、住居跡と共に自然堆積と思われる。

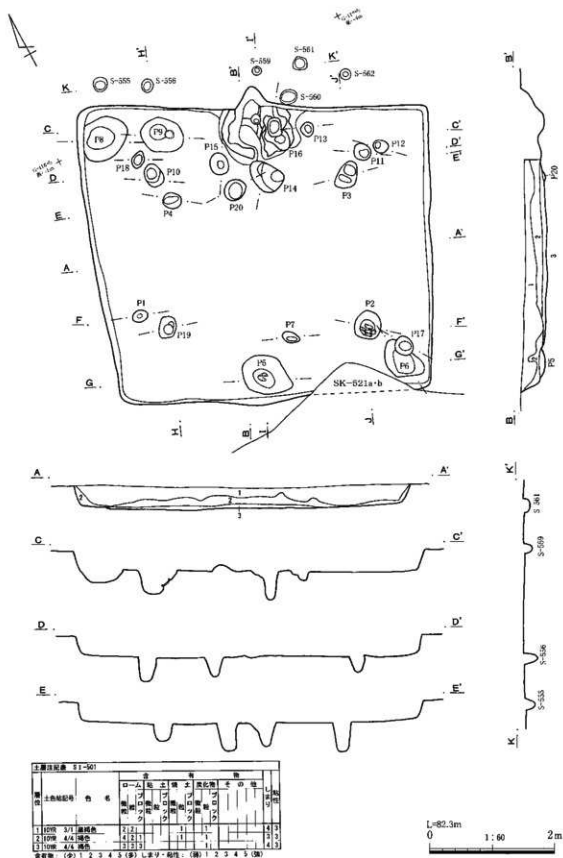
遺物 (第66・67図 第18表 図版二二・二三)

出土遺物は比較的多く、灰釉陶器片、須恵器高台付坏、坏、蓋、甕片、土師器坏、埴、甕、砥石、鉄製品の録、他に珉瑣の残核も看られた。しかし廃棄されたものか覆土中の出土が多く、床面や崩落したカマド上面からの遺物は4の須恵器高台付坏、11の蓋、24の土師器坏、34・36・37の甕である。なお鉄製品の録も覆土中の出土であった。住居跡の時期については、8C前葉～中葉を考えたい。

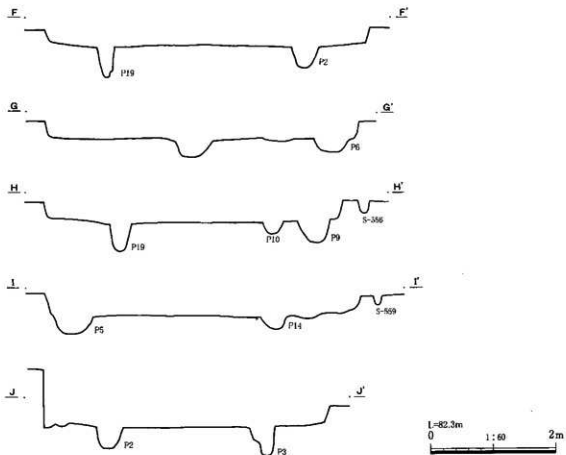
第16表 SI-08遺物観察表

番号	材質器種	寸法 (cm)	残存率	特 徴	色調焼成	備考
1	須恵器 坏	推定口径: (16.8) 残存高: (4.5) 底面推定径: (10.7)	口縁部～底部 外縁約 1/5 残存	右回りのロクロ水挽き	5Y 6/1 灰色 焼成良好	益子窯産
2	須恵器 甕	残存高: (5.3) 推定最大径: (17.5)	胴部下位～ 底部 1/8 残存	左回りのロクロ水挽き	5Y 6/1 灰色 焼成良好	益子窯産
3	須恵器 甕	直 径: 13.4 最大径: (13.4) 残存径: (2.6)	筒みぞのみ欠損 内面中央に、1 条の直線に 3 条の直線が交差するような 筥記号あり	右回りのロクロ水挽き、筒みぞ部に渦巻状沈線を引き 内面中央に、1 条の直線に 3 条の直線が交差するような 筥記号あり	7.5Y 6/1 灰色 焼成良好	筥記号あり
4	須恵器 甕	残存高: (1.8)	天井部～中位 1/8 残存	ロクロ水挽き、交差する直線状の筥記号あり、筒みぞ部が 欠損した箇所に渦巻状沈線あり	5Y 8/2 灰白色 焼成良好	筥記号あり 産地不明
5	須恵器 甕	残存高: (7.0) 推定最大径: (13.8)	胴部中位のみ 一部残存	ロクロ水挽き	5Y 7/1 灰白色 焼成良好	外面に自然釉 東海地域産
6	土師器 坏	推定口径: (13.4) 器 高: 3.9 底面推定径: (7.4)	口縁部～底部 1/8 残存	右回りのロクロ水挽き	7.5YR 6/4 にぶい褐色 焼成良好	
7	土師器 坏	推定口径: (13.4) 残存高: (3.0)	口縁部～胴部 下位 1/5 残存	外: 口縁部横ナデ後、胴部横位の筥ケズリ 内: 横ナデ	10YR 7/3 にぶい黄褐色 焼成良好	
8	土師器 坏	推定口径: (14.8) 残存高: (3.9)	口縁部～胴部 下位 1/5 残存	外: 胴部筥ケズリ後、口縁部横ナデ 内: 横ナデ	10YR 8/4 浅黄褐色 焼成良好	
9	土師器 埴	推定口径: (11.0) 推定最大径: (11.4) 器 高: 4.5	口縁部～胴部 中位 1/8 残存 胴部下～底部 1/3 残存	外: 胴部横位の筥ケズリ後、口縁部横ナデ 内: 口縁部横位の密な筥ミガキ、胴部放射状の筥ミガキ	7.5YR 7/6 褐色 焼成良好	
10	土師器 甕	推定口径: (17.1) 底面推定径: (14.8) 残存高: (4.3)	口縁部～頸部 1/8 残存	外: 口縁部横ナデ、胴部縦位の筥ケズリ 内: 口縁部横ナデ後、胴部横位の筥ナデ	7.5YR 6/6 褐色 焼成良好	
11	土師器 甕	残存高: (4.6)	胴部小破片	外: 縦位、横位のハケ目 内: 斜位の筥ナデ	10YR 6/3 にぶい黄褐色 焼成良好	東海系の甕
12	土師器 甕	残存高: (8.0)	胴部小破片	外: 縦位、斜位のハケ目 内: 横位、斜位の筥ナデ	5YR 6/6 褐色 焼成良好	東海系の甕
13	窯み物石	長 さ: 16.5 幅: 5.7 厚 さ: 5.1 重 量 (g): 607.7	完形	自然礫をそのまま利用 安山岩		

*ロクロ水挽き＝製作状態の上方面

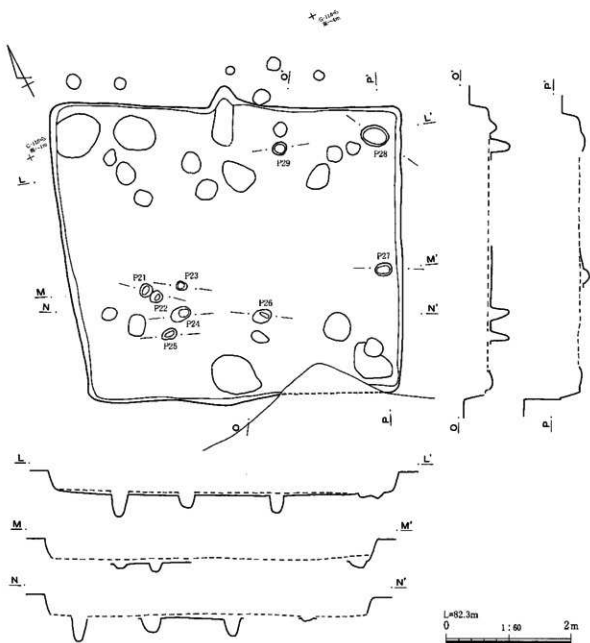


第50図 SI-501実測図(1)

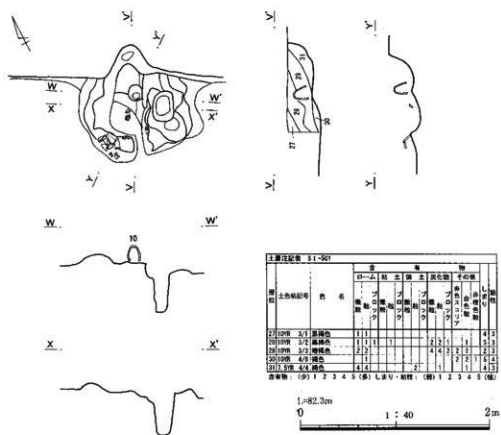


ピット名					開口部径		深さ		ピット名					開口部径		深さ	
P1		0.24	×	0.20	m	0.40		m	P16		0.32	×	0.22	m	0.62		m
P2		0.44	×	0.42	m	0.32		m	P17		0.32	×	0.28	m	0.39		m
P3		0.46	×	0.40	m	0.45		m	P18		0.28	×	0.20	m	0.04		m
P4		0.30	×	0.24	m	0.27		m	P19		0.36	×	0.28	m	0.47		m
P5		0.86	×	0.60	m	0.25		m	P20		0.36	×	0.32	m	0.44		m
P6		0.74	×	0.44	m	0.16		m	P21		0.22	×	0.19	m	0.08		m
P7		0.28	×	0.16	m	0.21		m	P22		0.20	×	0.18	m	0.15		m
P8		0.80	×	0.64	m	0.21		m	P23		0.16	×	0.14	m	0.12		m
P9		0.68	×	0.52	m	0.37		m	P24		0.34	×	0.20	m	0.21		m
P10		0.38	×	0.30	m	0.37		m	P25		0.26	×	0.16	m	0.12		m
P11		0.28	×	0.26	m	0.24		m	P26		0.30	×	0.22	m	0.28		m
P12		0.23	×	0.20	m	0.18		m	P27		0.26	×	0.20	m	0.07		m
P13		0.22	×	0.20	m	0.13		m	P28		0.44	×	0.32	m	0.05		m
P14		0.58	×	0.40	m	0.47		m	P29		0.24	×	0.20	m	0.31		m
P15		0.35	×	0.30	m	0.27		m									

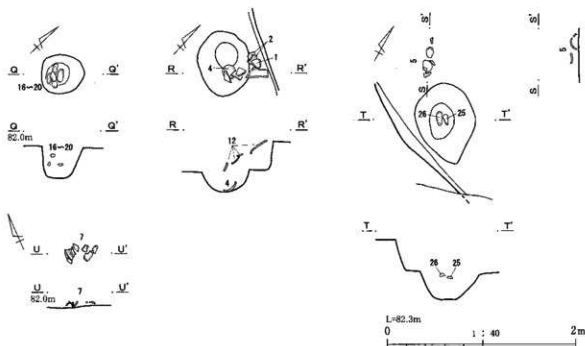
第51図 SI-501実測図(2)



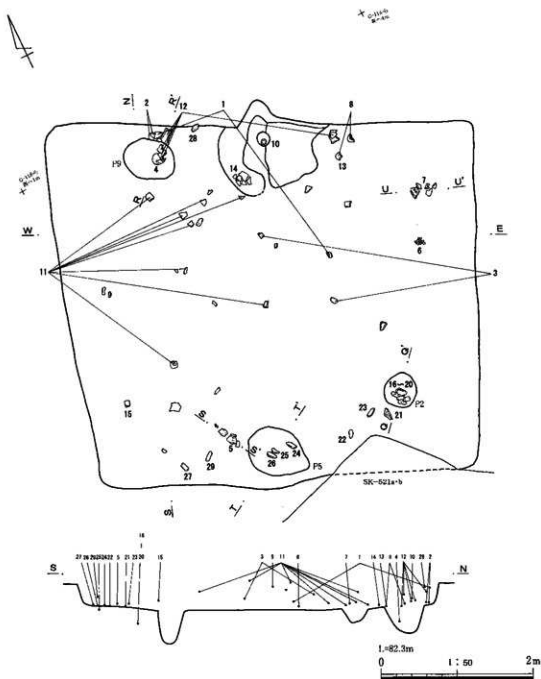
第53図 SI-501実測図（完掘図）



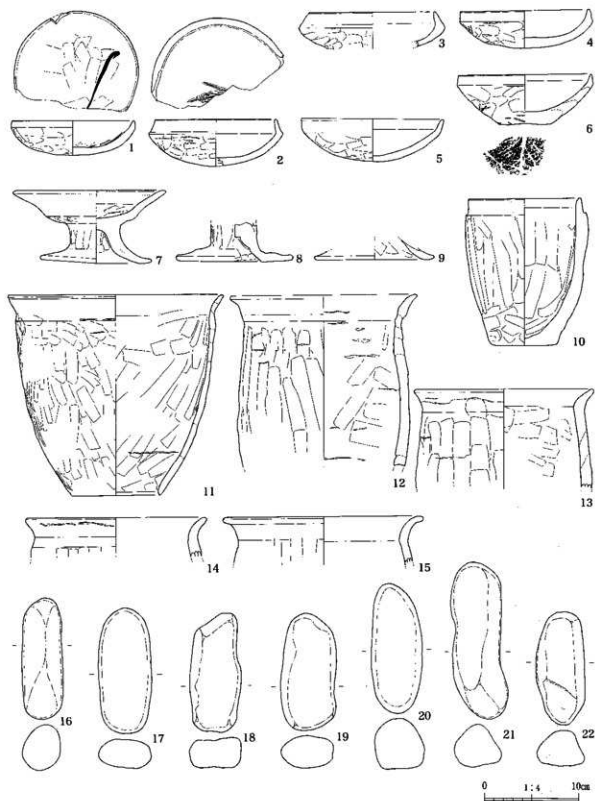
第54図 SI-501カマド実測図



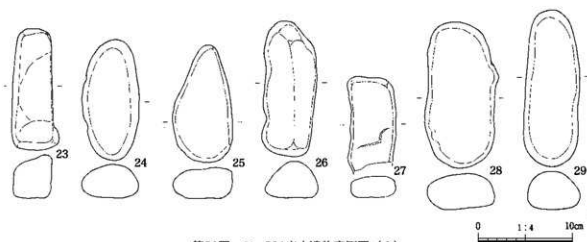
第55図 SI-501遺物出土状態実測図(1)



第56図 SI-501遺物出土状態実測図(2)



第57図 SI-501出土遺物実測図(1)

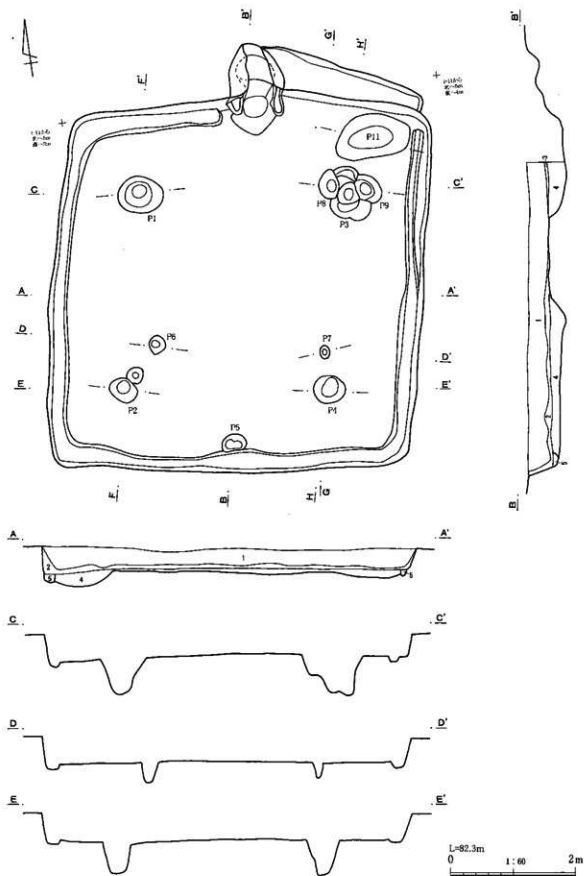


第58図 SI-501出土遺物実測図(2)

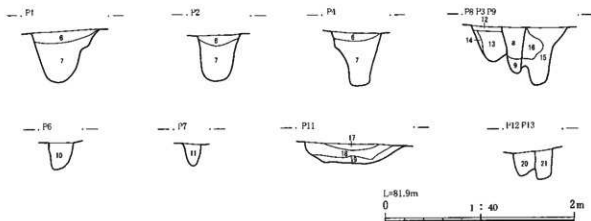
第17表 SI-501遺物観察表

番号	材質器種	寸法 (cm)	残存率	特 徴	色調焼成	備考
1	土師器 坏	口 径 : 12.9 推定最大径 : 13.1 底 径 : 3.9	口縁部~底部 2/3 残存	外: 胴部笠ケズリ後、口縁部横ナデ 内: 口縁部~胴部横ナデ、底部笠ナデ、墨書あり	10YR 6/2 灰黄褐色 焼成やや良好	墨書あり
2	土師器 坏	推定口径 : (12.8) 推定最大径 : (14.2) 底 径 : (5.0)	口縁部~底部 2/5 残存	外: 口縁部横ナデ、胴部横位の笠ケズリ 内: 横ナデ後、中央部に笠ミガキ	10YR 6/2 灰黄褐色 焼成良好	胴部上位外面に 輪轆み直残る
3	土師器 坏	口 径 : (13.2) 推定口径 : (15.5) 残存高 : (3.7)	口縁部~胴部 下位 1/4 残存	外: 口縁部横ナデ、胴部横位の笠ナデ 内: 横ナデ	7.5YR 7/6 褐色 焼成良好	
4	土師器 坏	口 径 : 13.7 最大径 : 14.0 底 径 : 4.1	ほぼ完形	外: 口縁部横ナデ、胴部横位の笠ケズリ 内: 横ナデ	10YR 6/2 灰黄褐色 焼成良好	胴部上位に一部 輪轆み直残る 内外面漆処理
5	土師器 坏	口 径 : 14.4 底 径 : 4.6	口縁部~胴部 一部欠損	外: 胴部笠ケズリ後、口縁部横ナデ 内: 横ナデ	7.5YR 8/4 浅黄褐色 焼成良好	
6	土師器 坏	推定口径 : (14.0) 底 径 : 5.2 底面推定径 : (5.5)	口縁部~底部 1/4 残存	外: 口縁部横ナデ、胴部横位、斜位の笠ケズリ 内: 横ナデ	10YR 4/1 褐色 焼成やや良好	輪轆み直残る
7	土師器 高坏	口 径 : 16.1 底 径 : 7.7 胴部径 : 5.3 横部径 : 11.7	ほぼ完形、坏部 一部欠損	外: 坏部上~中位横ナデ、坏部下位横位笠ナデ、胴部縦位の(下→上)笠ナデ、横部横ナデ 内: 坏部上半横ナデ、坏部下半笠ナデ、胴部内面縦位、横位の笠ナデ	7.5YR 7/4 にぶい褐色 焼成良好	坏部内外面漆処 理
8	土師器 高坏	胴部推定径 : (4.9) 残存高 : (4.4) 横部径 : 12.3	胴部上位~横部 のみ残存	外: 胴部縦位(上→下)の笠ケズリ、横部横ナデ 内: 上部で縦位、下部で横位の笠ケズリ	10YR 6/2 灰黄褐色 焼成良好	
9	土師器 高坏	残存高 : (2.1) 横部推定径 : (12.6)	胴部外縁約 1/4 残存	外: 横ナデ 内: 横ナデ後、笠ナデ	10YR 5/3 にぶい黄褐色 焼成良好	
10	土師器 鉢	口 径 : 11.4 最大径 : 13.6 底 径 : 15.5 底 径 : 7.0	完形	外: 口縁部横ナデ、胴部上~中位縦位(下→上)の笠ケズリ、胴部下位横位の笠ケズリ 内: 口縁部横ナデ、胴部縦位(下→上)の笠ケズリ	10YR 7/3 にぶい黄褐色 焼成良好	底面に焼成前に 粘土粒付着、こ のため、成立し ない
11	土師器 瓶	推定口径 : (22.5) 胴部推定径 : (20.8) 底 径 : 21.2 底 径 : 9.1	口縁部~胴部中 位 1/3 残存胴部 下位~底部完形	外: 口縁部横ナデ後、胴部上位に横位、斜位の笠ナデ、胴部中位~底部縦位(上→下、下→上)の笠ケズリ 内: 口縁部横ナデ後、横位、斜位の笠ケズリ	7.5YR 6/6 褐色 焼成良好	
12	土師器 壺	口 径 : 19.6 残存高 : 18.2	口縁部~胴部中 位 3/4 残存	外: 口縁部横ナデ、胴部縦位(上→下)の笠ケズリ 内: 口縁部横ナデ、胴部横位、斜位(下→上)の笠ナデ	10YR 7/4 にぶい黄褐色 焼成良好	内外面に輪轆み 直を残す

番号	材質器種	寸法 (cm)	残存率	特 徴	色調焼成	備考
13	土師器 壺	推定口径：(19.0) 括れ部径：(17.3) 残存高：(10.5)	口縁部約3/5 周、胴部上位約 1/4 残存	外：口縁部横ナデ後、胴部縦位（上→下）の筥ケズリ 内：口縁部横ナデ、胴部横位、斜位（下→上）の筥ケズリ	10YR 7/4 にぶい黄褐色 焼成良好	外面に輪積み模様 を残す
14	土師器 壺	推定口径：(18.9) 括れ部径：(17.1) 残存高：(4.2)	口縁部～胴部上 位 1/4 残存	外：口縁部横ナデ、胴部縦位（上→下）の筥ケズリ 内：口縁部横ナデ、胴部は摩耗のため調整痕観察不能	10YR 7/4 にぶい黄褐色 焼成やや良好	
15	土師器 壺	推定口径：(21.2) 残存高：(5.0)	口縁部～胴部上 位 1/8 残存	外：口縁部横ナデ後、胴部縦位（下→上）の筥ケズリ 内：横ナデ	10YR 2/1 黒褐色 焼成良好	
16	編み物石	長さ：12.8 幅：4.0 厚さ：4.9 重量(g)：344.3	完形	自然礫をそのまま利用 安山岩		
17	編み物石	長さ：13.2 幅：5.6 厚さ：3.2 重量(g)：344.3	完形	自然礫をそのまま利用 安山岩		
18	編み物石	長さ：12.6 幅：5.5 厚さ：3.0 重量(g)：347.2	完形	自然礫をそのまま利用 安山岩		
19	編み物石	長さ：12.4 幅：5.6 厚さ：3.4 重量(g)：408.0	完形	自然礫をそのまま利用 安山岩		
20	編み物石	長さ：13.7 幅：5.2 厚さ：5.3 重量(g)：540.3	完形	自然礫をそのまま利用 礫岩		
21	編み物石	長さ：16.1 幅：5.1 厚さ：4.5 重量(g)：592.2	完形	自然礫をそのまま利用、 礫岩		
22	編み物石	長さ：11.9 幅：5.0 厚さ：3.8 重量(g)：331.3	完形	自然礫をそのまま利用 礫岩		
23	編み物石	長さ：12.7 幅：4.0 厚さ：4.6 重量(g)：420.0	完形	自然礫をそのまま利用 安山岩		
24	編み物石	長さ：12.7 幅：6.0 厚さ：3.6 重量(g)：391.8	完形	自然礫をそのまま利用 安山岩		
25	編み物石	長さ：12.3 幅：6.3 厚さ：3.3 重量(g)：327.6	完形	自然礫をそのまま利用 安山岩		
26	編み物石	長さ：14.3 幅：5.6 厚さ：3.4 重量(g)：450.0	完形	自然礫をそのまま利用 礫岩		
27	編み物石	長さ：(10.0) 幅：(4.8) 厚さ：(2.2) 重量(g)：(183.8)	長軸上の一端を 欠損	自然礫をそのまま利用 礫岩		
28	編み物石	長さ：15.4 幅：7.2 厚さ：3.9 重量(g)：692.8	完形	自然礫をそのまま利用 礫岩		
29	編み物石	長さ：16.5 幅：5.6 厚さ：4.0 重量(g)：558.2	完形	自然礫をそのまま利用 安山岩		



第59図 SI-502実測図(1)



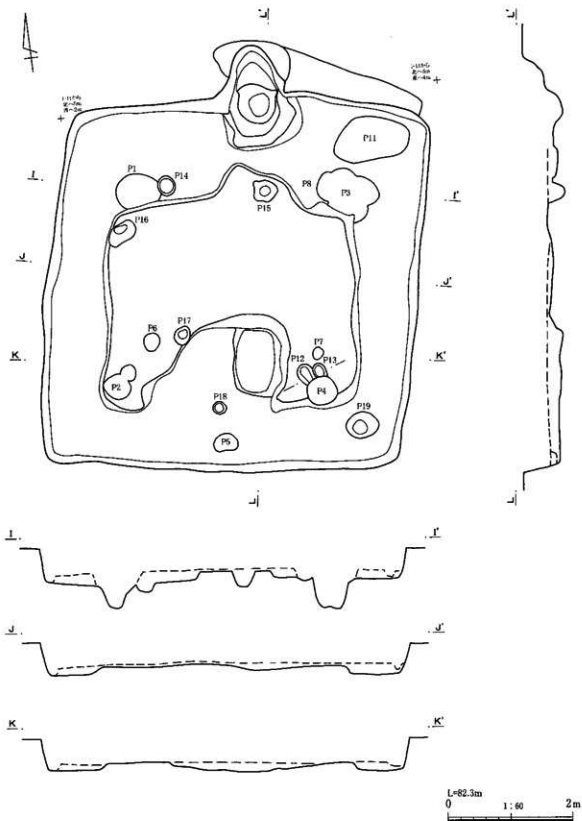
ピット名	開口部径		深さ	
P 1	0.73 m	×	0.59 m	0.52 m
P 2	0.46 m	×	0.35 m	0.48 m
P 3	(0.33) m	×	(0.33) m	0.48 m
P 4	0.54 m	×	0.45 m	0.55 m
P 6	0.30 m	×	0.27 m	0.28 m
P 7	0.20 m	×	0.15 m	0.23 m
P 8	0.48 m	×	(0.31) m	0.36 m
P 9	(0.47) m	×	(0.40) m	0.60 m
P11	1.23 m	×	0.70 m	0.19 m
P12	(0.31) m	×	0.29 m	0.25 m
P13	(0.26) m	×	0.19 m	0.30 m
P14	0.30 m	×	0.28 m	0.14 m
P15	0.35 m	×	0.32 m	0.27 m
P16	0.42 m	×	0.32 m	0.34 m
P17	0.28 m	×	0.25 m	0.26 m
P18	0.20 m	×	0.18 m	0.16 m
P19	0.48 m	×	0.40 m	0.19 m

主軸法記録 SI-502 (ピット)											
層	土色・地質	色	厚	ローム	粘土	土	質	土	質	土	質
6	10層	3/4	暗褐色	2	2	1					4
7	10層	4/4	褐色	4	4	2					3
8	10層	3/2	暗褐色	3	2	1					3
9	10層	4/4	褐色	4	4	2					2
10	10層	4/4	褐色	4	4	2					2
11	10層	4/4	褐色	4	4	2					2
12	10層	3/2	暗褐色	2	2	1					4
13	10層	4/2	にぎり黄褐色	2	2	1					3
14	10層	4/4	褐色	4	4	2					2
15	10層	3/2	暗褐色	2	2	1					3
16	10層	4/2	にぎり黄褐色	2	2	1					2
17	10層	3/2	暗褐色	2	2	1					4
18	10層	3/2	暗褐色	3	2	1					5
19	10層	4/4	褐色	4	4	2					5
20	10層	4/4	褐色	4	4	2					5
21	10層	4/2	にぎり黄褐色	2	2	1					2

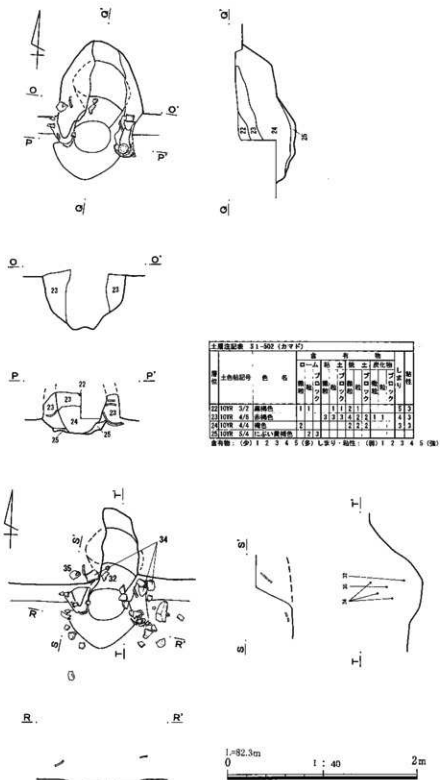
第62図 SI-502棚状施設実測図

SI-503 (第68・69図 第3表 図版七)

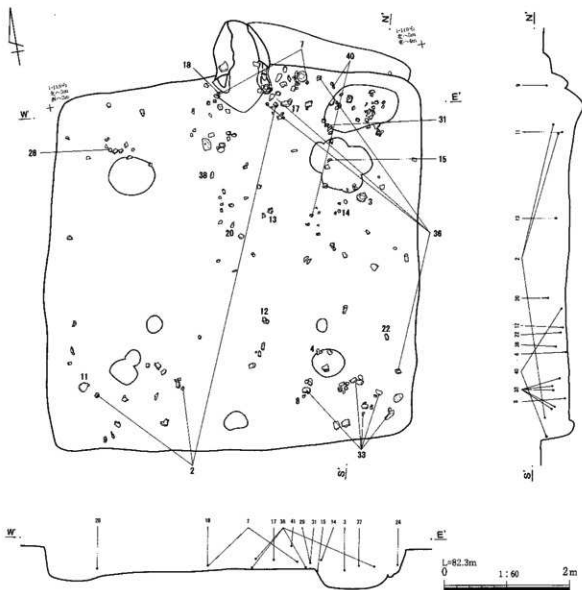
位置 中央から北西の調査区西端部H7グリッドで、南20mにSI-502が位置する。規模 東西3.6m、南北3.2m。平面形 若干東西に長い隅丸長方形である。主軸方向 N-4°-W。覆土 畑地耕作時の掘乱が激しいが、10層で貼床を施し、住居跡は主に1・5～7・8層の黒褐色土・暗褐色土の自然堆積であることが確認できた。壁 44～56cmで、床面から直線的に立ち上がる。床 貼床でほぼ平坦に整えられている。柱穴、貯蔵穴、壁溝は検出されなかった。掘方 壁際が中央部よりやや深く掘り込まれ、10層で埋め戻されている。カマド 北壁中央からやや東寄りに構築され、概ね馬蹄形である。残存状態は悪く、規模は推定で全長0.93m、幅は0.84m、壁外長は25cmでU字状に掘り込まれている。煙道部の立ち上がりは急で、ほぼ垂直である。底面は掘り込まれてはいないが、焚き口部付近から奥壁までは黄褐色土で埋め戻し、緩やかな斜面としていたと思われる。壁際での確認であるが、火床部から煙道部に入った20層の覆土上面で崩落した天井部が確認された。両袖部は、北壁からロームの作り出しを袖部の芯としていたと思われる。



第63図 SI-502実測図（完掘図）



第64図 SI-502カマド実測図

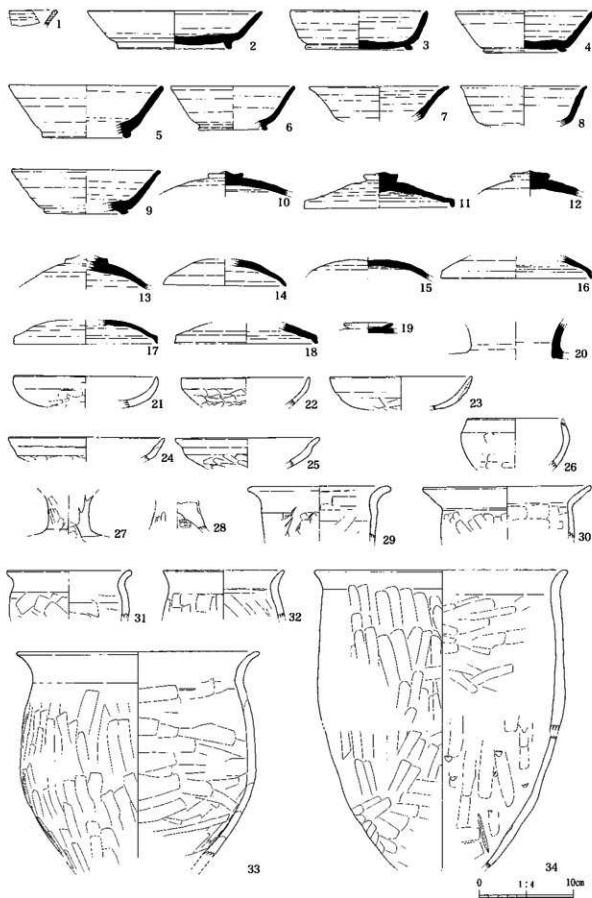


第65図 SI-502遺物出土状態実測図

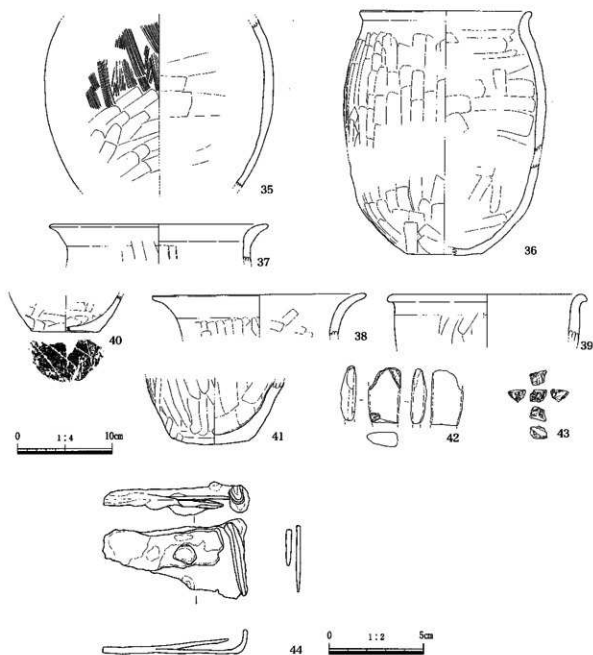
遺物 (第70図 第19表 図版二三)

出土遺物は少なく、須恵器蓋、土師器甕、編み物石が覆土中と床面から出土している。床面から出土した甕の底部には、木葉痕が施されている。住居跡の時期については、7C後半～8C前半を考えた。S I - 5 5 1 (第71図 第3表 図版七)

位置 中央から北西の調査区西端部F11グリッドで、東1mにSI-501が位置する。重複遺構 重複遺構はないが、住居跡の南側2/3が調査区外となる。規模 東西3.2m、南北は現存長で1.65m。平面形 南側がやや狭くなると思われる隅丸台形である。主軸方向 N-4°-W。覆土 II層上面からの掘り込みで、主に2・3層の黒色土、黒黄褐色土の自然堆積である。壁 28～32cmで、床面から直線的に立ち上がる。床 貼床ではほぼ平坦に整えられている。柱穴、貯蔵穴、壁溝は、検出されなかった。掘方 壁際が部分的に浅く掘り込まれており、7層で埋め戻されている。カマド 北壁中央からやや東寄りに構築され、概ね馬蹄形である。



第66圖 SI-502出土遺物実測圖(1)



第67図 SI-502出土遺物実測図(2)

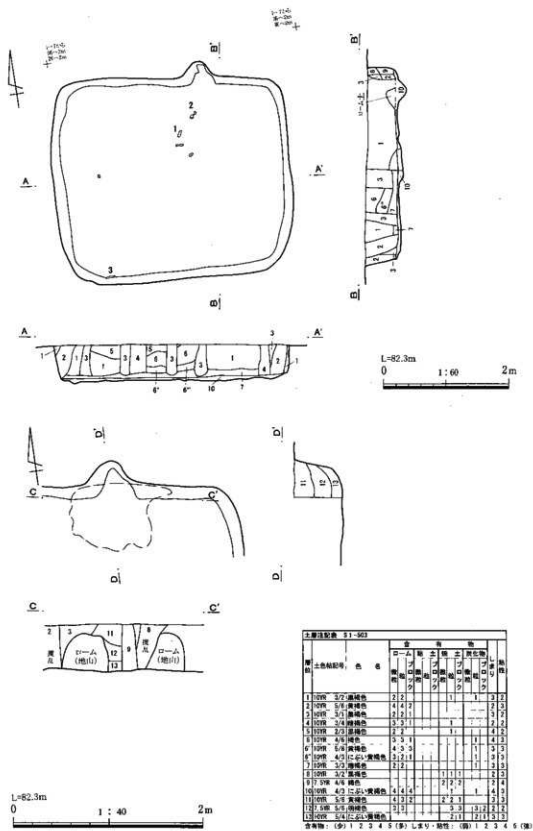
第18表 SI-502遺物観察表

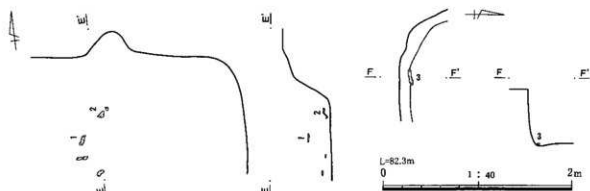
番号	材質器種	寸法 (cm)	残存率	特 徴	色調焼成	備考
1	灰釉陶器 杯	口 径 : — 器 高 : — 底 径 : —	口縁部一部残存	ロクロ水洗き	10Y 5/2 オリーブ灰色 焼成良好	産地不明
2	須恵器 高台付杯	推定口径 : (18.3) 器 高 : 4.0 底 径 : (12.0)	口縁部～胴部 下位一部残存 底部 3/4 残存	左回りのロクロ水洗き、底部回転笠切り後、高台貼附	2.5Y 5/1 黄灰色 焼成良好	内面が酸化している 三義窯産
3	須恵器 高台付杯	推定口径 : (14.3) 器 高 : 4.2 底 径 : 11.3	口縁部～胴部 1/8 残存 底部一部欠損	左回りのロクロ水洗き、底部回転笠切り後、高台貼附	2.5Y 7/1 灰白色 焼成良好	益子窯産

番号	材質器種	寸法 (cm)	残存率	特 徴	色調焼成	備考
4	須恵器 高台付杯	口 径 : 14.8 器 高 : 4.4 底 径 : 8.7	口縁部～胴部 中位一部欠損	右回りのロクロ水挽き、底部回転盤切り後、高台貼附	5Y 7/1 灰白色 焼成良好	内外面の体部上半にスグが密集して付着 益子窯産
5	須恵器 高台付杯	口 径 : (16.4) 器 高 : 5.5 底 径 : (9.0)	口縁部～底部 外縁 1/4 残存	右回りのロクロ水挽き	2.5Y 7/1 灰白色 焼成良好	底部付近一部酸化 三義窯産
6	須恵器 高台付杯	推定口径 : (12.8) 器 高 : 4.7 底部推定径 : (7.2)	口縁部～底部 外縁 1/5 残存	右回りのロクロ水挽き	N 4/1 灰色 焼成良好	益子窯産
7	須恵器 杯	推定口径 : (14.8) 残存高 : (3.6) 底部推定径 : (8.4)	口縁部～胴部 下位 1/4 残存	左回りのロクロ水挽き	2.5Y 6/1 黄灰色 焼成良好	高台部剥落 常陸地域産
8	須恵器 杯	推定口径 : (13.4) 残存高 : (4.2)	口縁部～胴部 下位約 1/4 周 残存	右回りのロクロ水挽き	5Y 6/1 灰色 焼成良好	胎土内部は酸化している 常陸地域産
9	須恵器 高台付杯	推定口径 : (15.8) 器 高 : 4.7 底部推定径 : (8.8)	口縁部～底部 外縁 1/5 残存	右回りのロクロ水挽き	5YR 7/1 灰白色 焼成良好	益子窯産
10	須恵器 蓋	推定口径 : (3.6) 残存最大径 : (13.2) 残存高 : (2.7)	天井部はぼろ残 存、外縁部を除 き 1/6 残存	左回りのロクロ水挽き	2.5Y 6/1 黄灰色 焼成良好	内面が僅かに酸化している 産地不明
11	須恵器 蓋	直 径 : 15.7 器 高 : 3.8	外縁部 1/4 欠損	左回りのロクロ水挽き	2.5Y 6/1 黄灰色 焼成良好	外面に自然輪 益子窯産
12	須恵器 蓋	つまみ部径 : 4.1 残存最大径 : (10.4) 残存高 : (2.7)	天井部周辺 3/4 残存、外縁部欠 損	左回りのロクロ水挽き		益子窯産
13	須恵器 蓋	残存高 : (3.4) 残存最大径 : (13.0)	外縁部欠損、天 井部を中心に 1/4 残存 つまみ一部残存	左回りのロクロ水挽き	5Y 6/1 灰色 焼成良好	益子窯産
14	須恵器 蓋	推定直径 : (12.4) 残存高 : (2.8)	天井部～胴部 1/3 残存つまみ 部欠損	左回りのロクロ水挽き	2.5Y 6/1 黄灰色 焼成良好	胎土内部は酸化している 益子窯産
15	須恵器 蓋	推定最大径 : (12.7) 残存高 : (2.0)	外縁部の大部 分、つまみ部欠 損	左回りのロクロ水挽き	2.5Y 8/1 灰白色 焼成良好	外縁部にスグが 付着 三義窯産
16	須恵器 蓋	推定直径 : (16.0) 残存高 : (2.4)	外縁部 1/5 残存	ロクロ水挽き	5Y 6/1 灰色 焼成良好	産地不明
17	須恵器 蓋	推定直径 : (13.4) 残存高 : (2.5)	1/2 残存 天井部欠損	左回りのロクロ水挽き	7.5Y 6/1 灰色 焼成良好	三義窯産
18	須恵器 蓋	推定直径 : (14.9) 残存高 : (2.1)	外縁部 1/5 残存	ロクロ水挽き、上面に篋記号あり	5Y 7/1 灰白色 焼成良好	交差する篋記号 あり 益子窯産
19	須恵器 蓋	掴み部径 : 5.2 残存高 : (1.2)	掴み部約 4/5 残 存	ロクロ水挽き	7.5Y 4/1 灰色 焼成良好	群馬地域産
20	須恵器 蓋	活れ部径 : (9.8) 残存高 : (3.9)	活れ部のみ一部 残存	右回りのロクロ水挽き	2.5Y 6/1 黄灰色 焼成良好	産地不明
21	土師器 杯	推定口径 : (15.0) 残存高 : (3.3)	口縁部～胴部 下位 1/4 残存	外 : 口縁部横ナデ、胴部縦位の篋ナデ 内 : 横ナデ	7.5YR 7/4 浅黄褐色 焼成良好	外面に輪轆み痕 あり
22	土師器 杯	推定口径 : (13.6) 残存高 : (3.0)	口縁部～胴部 中位 1/3 残存	外 : 口縁部横ナデ後、胴部横位の篋ナデ 内 : 横ナデ	7.5YR 8/6 浅黄褐色 焼成良好	内外面漆処理
23	土師器 杯	推定口径 : (15.0) 残存高 : (3.5)	口縁部～胴部 下位一部残存	外 : 口縁部横ナデ後、胴部斜位の篋ナデ 内 : 横ナデ	10YR 7/3 にがい黄褐色 焼成良好	口縁部内外面漆 処理
24	土師器 杯	推定口径 : (16.6) 残存高 : (2.5)	口縁部～胴部 上位 1/5 残存	外 : 胴部横位の篋ナデ後、口縁部横ナデ 内 : 横ナデ	2.5YR 5/6 明赤褐色 焼成良好	口縁部外面に輪 轆み痕あり

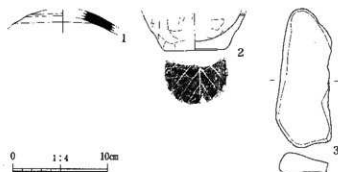
番号	材質器種	寸法 (cm)	残存率	特 徴	色調焼成	備考
25	土師器 坏	推定口径：(15.0) 残存高：(3.1)	口縁部～胴部下位 1/8 残存	外：胴部斜位の筥ケズリ後、口縁部横ナデ 内：横ナデ	5YR 6/6 褐色 焼成良好	
26	土師器 埴	推定口径：(10.0) 推定最大径：(11.4) 残存高：(5.2)	口縁部～胴部下位 1/5 残存	外：口縁部横ナデ、胴部上位縦位の筥ケズリ、胴部下位横位の筥ケズリ 内：横ナデ	7.5YR 7/4 にぶい褐色 焼成良好	
27	土師器 高坏	胴部推定径：(4.4) 残存高：(4.1)	胴部のみ約 1/3 残存	外：縦位の筥ナデ 内：横位の筥ナデ	10YR 6/4 にぶい黄褐色 焼成良好	
28	土師器 高坏	最大径：(6.0) 残存高：(2.9)	胴部上位全周残存、他欠損	外：縦位の筥ケズリ 内：横位の筥ナデ	5YR 5/4 にぶい赤褐色 7.5Y 2/1 黒色 焼成良好	胴部内面黒色処理
29	土師器 甕	推定口径：(15.2) 残存高：(5.7)	口縁部～胴部上位 1/5 残存	外：口縁部横ナデ、胴部縦位の筥ケズリ 内：口縁部横ナデ、胴部斜位の筥ナデ、一部輪破痕が残る	5YR 6/6 褐色 焼成良好	
30	土師器 甕	推定口径：(17.7) 残存高：(5.6)	口縁部～胴部上位 1/5 残存	外：口縁部横ナデ、胴部斜位の筥ケズリ 内：口縁部横ナデ、胴部横位の筥ナデ	10YR 5/3 にぶい黄褐色 焼成良好	
31	土師器 甕	推定口径：(13.5) 残存高：(5.0)	口縁部～胴部上位一部残存	外：胴部筥ケズリ後、口縁部横ナデ 内：口縁部横ナデ、胴部筥ナデ	7.5YR 6/4 にぶい褐色 焼成良好	
32	土師器 甕	推定口径：(12.8) 残存高：(5.2)	口縁部～胴部上位 1/3 残存	外：口縁部横ナデ後、胴部縦位、横位の筥ケズリ 内：口縁部横ナデ、胴部斜位の筥ナデ、一部輪破痕が残る	5YR 5/4 にぶい赤褐色 焼成良好	
33	土師器 甕	推定口径：(25.6) 底部推定径：(22.2) 残存高：(23.6)	口縁部1/5、胴部上位1/4、胴部中位1/3、胴部下位1/5 残存	外：口縁部横ナデ、体部縦位（上→下）の筥ケズリ 内：口縁部横ナデ後、胴部横位の筥ナデ	10YR 4/2 灰黄褐色 焼成良好	外面の胴部中位より上にスグ付着
34	土師器 甕	推定口径：(26.8) 底部推定径：(24.1) 推定器高：(31.3)	口縁部～胴部下位 1/6 残存	外：口縁部横ナデ後、胴部上位～中位縦位（上→下）の筥ケズリ、胴部下位横位、斜位の筥ケズリ 内：口縁部横ナデ、胴部上位横位の筥ナデ、胴部下位縦位（下→上）の筥ナデ	7.5YR 6/4 にぶい褐色 焼成良好	内面胴部下位に粘土寄接部に生じた空白箇所あり
35	土師器 甕	推定最大径：(24.0) 残存高：(17.9)	胴部上位～下位 1/6 残存	破片上半部：斜位（下→上）のハケ目 破片下半部：斜位の筥ケズリ、（大半がハケ目より前） 内 面：横位の筥ナデ	5YR 6/6 褐色 焼成良好	
36	土師器 甕	推定口径：(17.8) 推定最大径：(21.3) 推定器高：(25.7) 底部推定径：(8.0)	口縁部～胴部中位 1/3 残存 胴部下位 1/2 残存	外：口縁部横ナデ後、胴部縦位（上→下）の筥ケズリ 内：口縁部横ナデ後、胴部上位横位の筥ナデ、胴部下位は縦位、横位の筥ナデ	2.5YR 4/6 赤褐色 焼成良好	
37	土師器 甕	推定口径：(23.0) 残存高：(4.1)	口縁部～胴部上位 1/8 残存	外：口縁部横ナデ後、胴部縦位の筥ケズリ 内：口縁部横ナデ、胴部横位の筥ナデ	5YR 6/6 褐色 焼成良好	
38	土師器 甕	推定口径：(22.2) 残存高：(4.4)	口縁部～胴部上位一部残存	外：口縁部横ナデ、胴部斜位の筥ケズリ 内：口縁部横ナデ、胴部筥ナデ	5YR 5/6 明赤褐色 焼成良好	
39	土師器 甕	推定口径：(20.2) 残存高：(5.5)	口縁部～胴部上位一部残存	外：口縁部横ナデ後、胴部縦位（下→上）の筥ケズリ 内：横ナデ	10YR 7/3 にぶい黄褐色 焼成良好	
40	土師器 甕	残存最大径：(11.8) 残存高：(3.8) 底部推定径：(7.2)	胴部下位～底部 約 1/2 周残存	外：横位の筥ケズリ 内：筥ナデ 底：木煮痕	5YR 5/4 にぶい赤褐色 焼成良好	
41	土師器 甕	推定最大径：(14.4) 残存高：(7.0) 底 径：8.2	胴部下位～底部 欠損、それより上欠損	外：縦位（下→上）筥ケズリ 内：縦位、斜位の筥ナデ	5YR 6/6 褐色 焼成良好	
42	磁石	長 さ：(5.8) 幅：(3.4) 厚 さ：1.5 重 量 (g)：(37.6)	長軸上の一端と下半部を欠損	裏裏面と片側の側面（平坦な面）が使用により磨けている 凝灰岩		
43	割片 (瑠璃)	長 さ：1.3 幅：1.8 厚 さ：1.9 重 量 (g)：3.0	完形	瑠璃の残核		火打ち石の可能性あり
44	鉄製品 鐙	長 さ：(7.6) 幅：4.2 厚 さ：0.8	刃部一部欠損	基部全体を裏にたいして折り返す		

*ロク水残き＝製作状態の上方面





第69図 SI-503遺物出土状態実測図



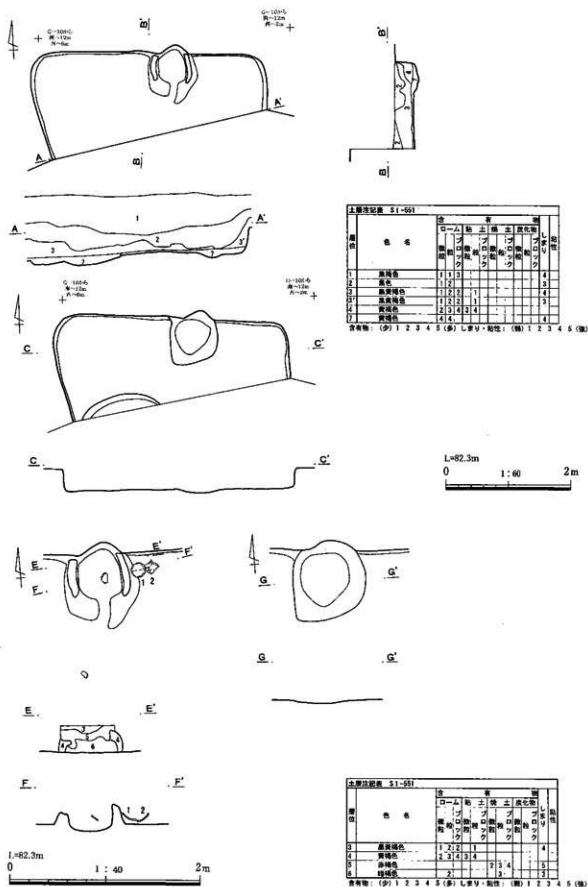
第70図 SI-503出土遺物実測図

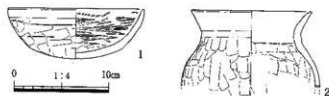
第19表 SI-503遺物観察表

番号	材質器種	寸法 (cm)	残存率	特 徴	色調焼成	備考
1	須恵器	残存最大径 : (10.8) 残存高 : (2.3)	頂部と外縁部を 欠損	左回りのロク口水洗き	2.5Y 6/1 黄灰色 焼成良好	埴子窯産
2	土師器	残存高 : (3.9) 底 径 : 6.4	胴部下位～底部 1/2 残存	外 : 底部直上で横位、それより上で縦位 (上→下) の篋ナデ 内 : 横位の篋ナデ 底 : 柏の葉の裏側による木葉痕、2回押捺	7.5YR 6/6 褐色 焼成良好	
3	編み物石	長 さ : 14.6 幅 : (5.1) 厚 さ : 2.2 重 量 (g) : (236.0)	短軸状の一層を 欠損	自然礫をそのまま利用 安山岩		

*ロク口水洗き＝製作状態の上方観

規模は全長0.9m、幅は0.8m、壁外長は14cmで、U字状に浅く掘り込まれている。煙道部の立ち上がりは急である。底面は浅く掘り込まれ、奥壁までは貼床と同じ黄褐色土で埋め戻されている。この層の上を暗褐色土で埋め戻し、焚口部から煙道部へはなだらかなスロープ状にしたものと考えられた。なおカマド全体の崩落が激しく、部分的に粘土を中心とした構築材の一部が確認されたのみであるが、火床部から煙道部に入った覆土5層が残存していた。





第72図 SI-551出土遺物実測図

第20表 SI-551遺物観察表

番号	材質器種	寸法 (cm)	残存率	特徴	色調焼成	備考
1	土師器 坏	推定口径: (14.4) 器高: 5.3 底径: 一	口縁部~胴部 上位 1/2 欠損	外: 口縁部横ナデ、胴部横位の笠ケズリ 内: 口縁部~胴部横ナデ後、横位の笠ミガキ、底部笠ナデ	7.5YR 6/6 褐色 焼成良好	胴部に輪模み痕 が2条残る
2	土師器 甕	推定口径: (12.7) 低部底径: (10.4) 推定最大径: (14.6) 残存高: (8.1)	口縁部~胴部 中位 3/5 残存	外: 胴部底位 (下→上) の笠ケズリ後、口縁部横ナデ 内: 口縁部~横ナデ、胴部横位の笠ナデ	7.5YR 4/2 灰褐色 焼成良好	

遺物 (第72図 第20表 図版二三)

出土遺物は少なく、土師器坏、甕がカマド東側から出土した。住居跡の時期については、少ないが出土遺物からは7C末~8C初めを考えておきたい。

2 掘立柱建物跡

B区

SB-163 (第73・74図 第4表 図版七)

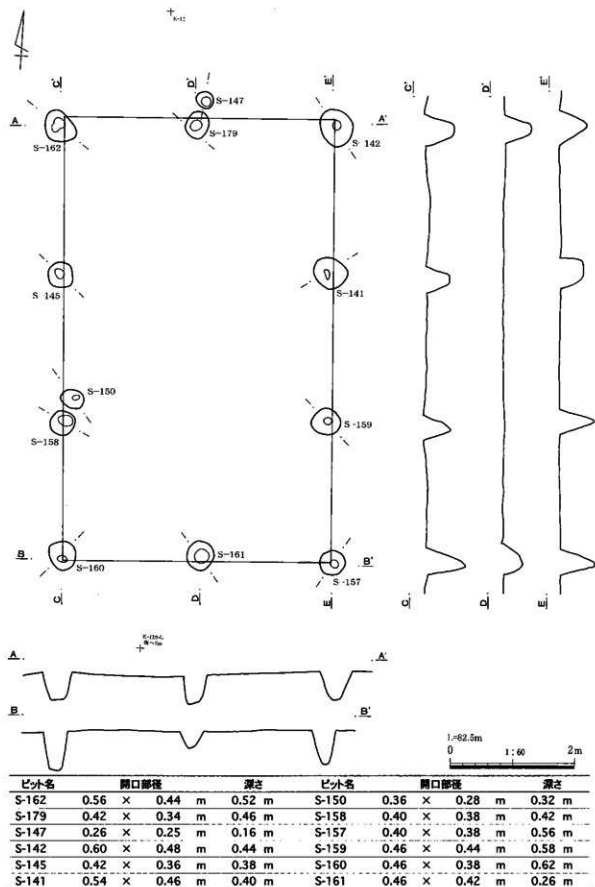
位置 中央から西の調査区西端部L12グリッドで、東2mにSI-02、19mにSB-02、西5.8mにSI-01が位置する。重複遺構 なし。方向 南北棟である。北辺に直交する軸の傾きはN-2°-Wである。形状・規模 桁行3間(6.93m)、梁行2間(4.2m)であり、3間×2間の側柱建物である。柱の掘方形態は円形を基調とし径34~60cm、深さ26~62cmとやや不揃いである。各柱穴の土層で柱痕に相当する土層が確認されたのはS-142・159・160・179だけである。また西側柱列S-158と北東柱列S-179には、これら柱穴より一回り小さなピットが近接して存在する。出土遺物 柱穴覆土からの出土遺物はなく、建物の時期は不明である。

SB-181 (第75図 第4表)

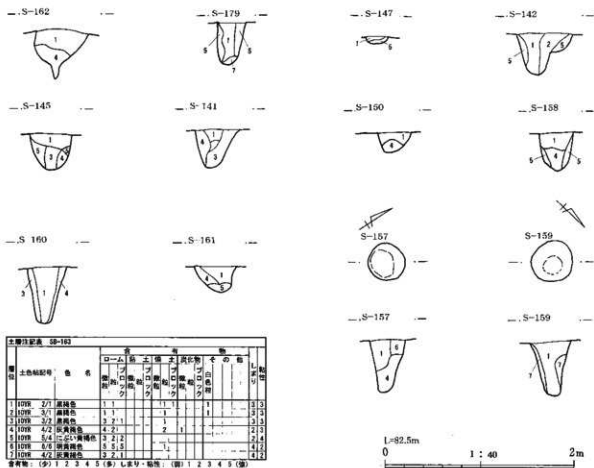
位置 ほぼ中央のO11グリッドで、東7.1mにSB-315、西4.2mにSB-209、北7.4mにSB-395が各々位置する。重複遺構 近世以降の方形土坑に切られるが、SK-325とは新旧不明。方向 北辺に直交する軸の傾きはN-3°-Eである。形状・規模 桁行、梁行ともに1間(2.6m)で、柱の配置は正方形の側柱建物である。掘方形態は円形を基調とし径43~58cm、深さ55~61cmと類似する。柱穴の土層で柱痕に相当する土層は、北東隅柱以外の3本で確認された。出土遺物 柱穴覆土からの出土遺物はなく、建物の時期は不明である。

SB-209 (第76図 第4表 図版七)

位置 ほぼ中央のN11グリッドで、東4.2mにSB-181、西2.2mにSB-210、南9.4mにSB-261が各々位置する。重複遺構 なし。方向 南北棟である。北辺に直交する軸の傾きはN-1°-Eである。形状・規模



第73図 掘立柱建物跡 (SB-163) 実測図



第74図 掘立柱建物跡 (SB-163) 柱穴土層断面図・柱痕平面図

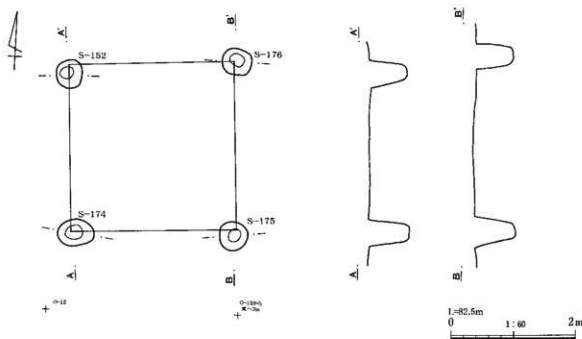
桁行1間 (2.8m)、梁行2間 (2.8m) であるが、柱の配置は正方形の掘立柱建物である。なお南妻柱列棟持柱の位置にあるS-171は南東方向にややずれている。掘方形形は円形を基調とし径32~50cm、深さ30~59cmとやや不揃いである。柱穴の土層で柱痕に相当する土層は、南西隅柱以外で確認された。出土遺物 柱穴覆土からの出土遺物はなく、建物の時期は不明である。

SB-210 (第77・78図 第4表 図版八)

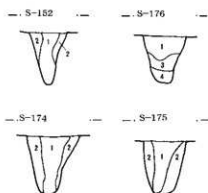
位置 ほぼ中央のM11グリッドで、東2.2mにSB-209、南7.4mにSB-261、西7.8mにSI-02が各々位置する。重複遺構 近世以降の方形土坑に切られる。方向 北辺に直交する軸の傾きはN-9°-Eである。形状・規模 桁行2間 (3.8m)、梁行2間 (3.8m) であり、2×2間の総柱建物である。掘方形形は円形を基調とし径43~66cm、深さ47~71cmとやや不揃いである。柱穴の土層で柱痕に相当する土層は、南柱列の3本と北東隅柱で確認された。出土遺物 柱穴覆土からの出土遺物はなく、建物の時期は不明である。

SB-236 (第79・80図 第4表 図版八)

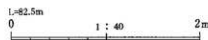
位置 中央から南のO15グリッドで、東2.5mにSI-07、北東5.4mにSI-06、北西9.4mにSB-261が各々位置する。重複遺構 近世以降の方形土坑に切られるが、SK-330とは新旧不明。方向 南北棟である。北辺に直交する軸の傾きはN-1°-Eである。形状・規模 桁行3間 (8.1m)、梁行2間 (4.2m) であり、3間×2間の掘立柱建物である。柱の掘方形形は円形を基調とし径41~60cm、深さ41~63cmとやや不揃いである。



ピット名	開口部径	深さ	ピット名	開口部径	深さ
S-152	0.45 × 0.44 m	0.56 m	S-174	0.58 × 0.43 m	0.61 m
S-176	0.48 × 0.45 m	0.55 m	S-175	0.47 × 0.44 m	0.61 m



土層・柱跡		土層・柱跡										土層・柱跡
土層・柱跡		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
1	10PR	2/1	黒褐色	1	1							4
2	10PR	5/4	濃い黄褐色	4	2	1						4
3	10PR	6/4	濃い黄褐色	2	2	3						4
4	10PR	3/2	黒褐色	1	2							5

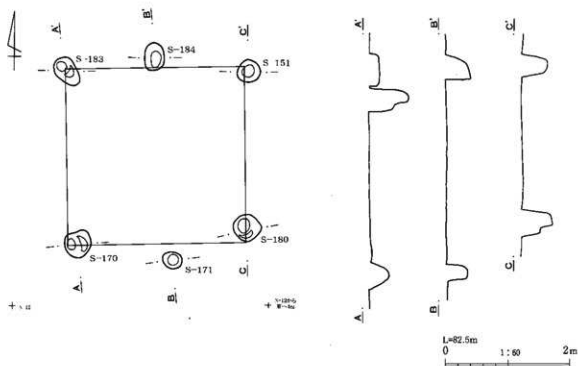


第75図 掘立柱建物跡 (SB-181) 実測図・柱痕平面図

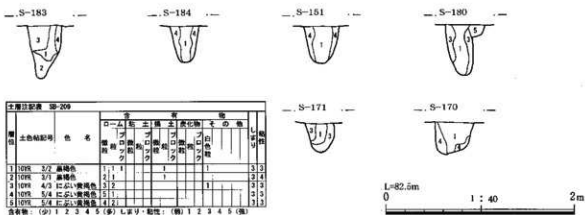
各柱穴の土層で柱痕に相当する土層が確認されたのは、東西の柱列北第3柱S-229・233及び南妻柱列中央のS-293である。またこの東西の柱列北第3柱内側に、並びは不揃いだが、S-295・296が存在する。出土遺物柱穴覆土からの出土遺物はなく、建物の時期は不明である。

SB-261 (第81～83図 第4表 図版八)

位置 中央から南西のM-N13グリッドで、東14.6mにSI-06、南東9.4mにSB-236、北7.4～9.4mにSB-209・210が各々位置する。重複遺構 SK-220と重複するが新旧不明。方向 南北棟である。北辺に直交する

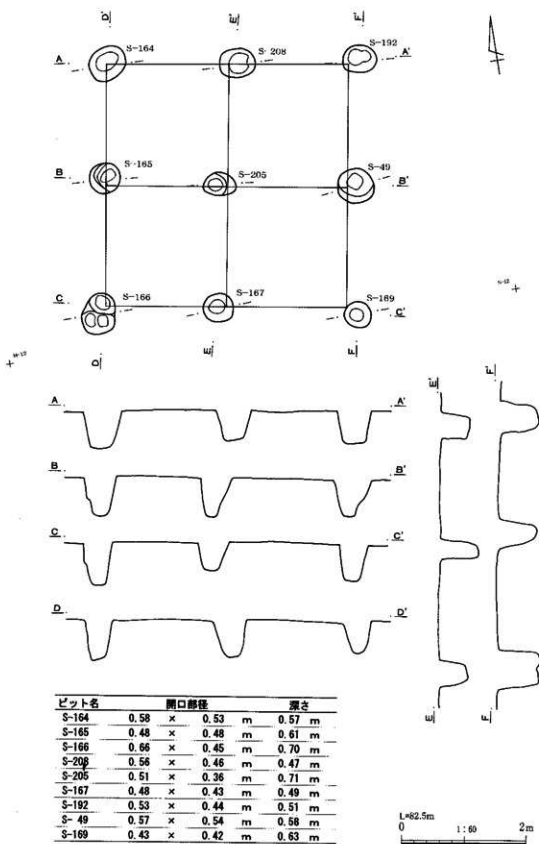


ピット名	開口部径	深さ	ピット名	開口部径	深さ
S-183	0.50 × 0.34 m	0.59 m	S-180	0.43 × 0.39 m	0.54 m
S-184	0.43 × 0.29 m	0.38 m	S-171	0.32 × 0.27 m	0.30 m
S-151	0.37 × 0.35 m	0.59 m	S-170	0.44 × 0.42 m	0.34 m

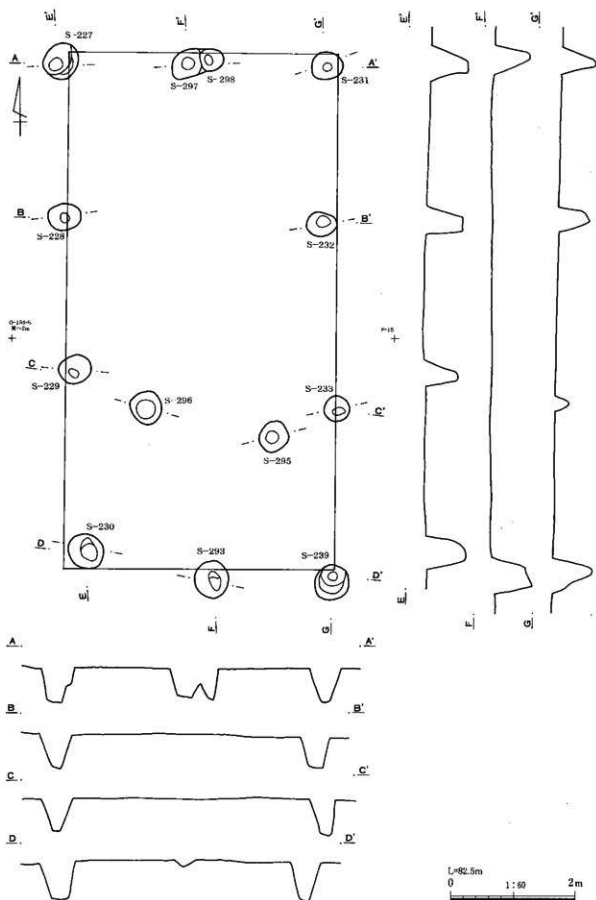


第76図 掘立柱建物跡 (SB-209) 実測図・柱直平面図

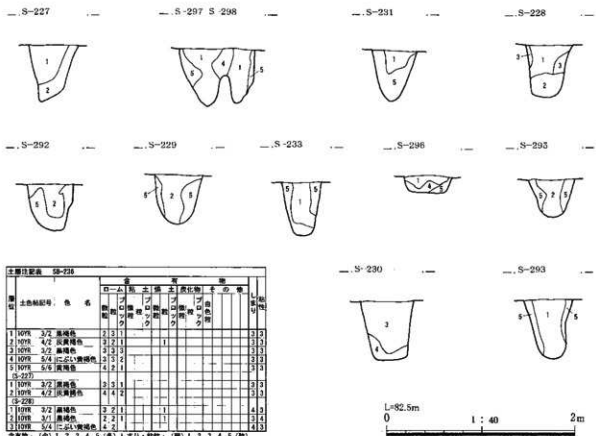
軸の傾きはN-1°-Eである。形状・規模 桁行2間(5.6m)、梁行2間(4.0m)であり、2間×2間の側柱建物である。建物南側には、桁行1間(0.6m)、梁行2間(4.0m)の庇が付くと思われる。柱の掘方形態は円形を基調とし、近接するピットも含め径28~78cm、深さ22~92cmと不揃いである。西側柱列の中央柱S-204の位置は列の並びから西へずれているため側柱建物としたが、内側中央部にS-212が存在するため、総柱建物の可能性も考えられる。またS-212を含む中央柱列の柱穴には、補助の柱とも思われる小ピットが各々近接している。出土遺物 柱穴覆土からの出土遺物はなく、建物の時期は不明である。



第77図 掘立柱建物跡 (SB-210) 実測図



第79図 掘立柱建物跡 (SB-236) 実測図



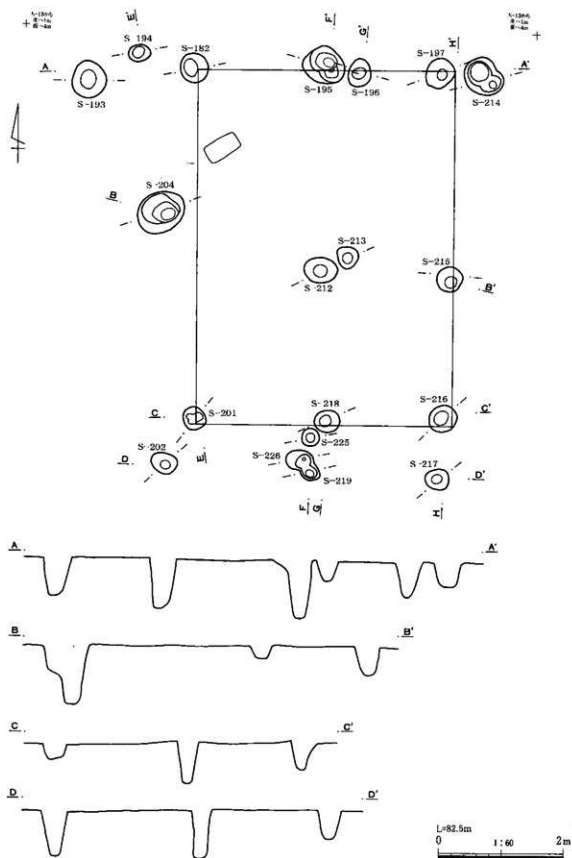
第80図 掘立柱建物跡 (SB-236) 柱穴土層断面図

S-B-385 (第89・90図 第4表)

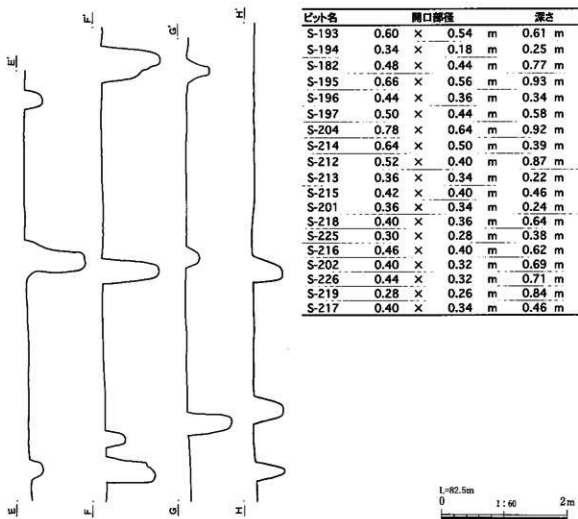
位置 中央からやや北東のQ11グリッドで、西2.6mにSB-315、南西2.8mにSI-05が位置する。重複遺構SI-04を切るが、近世以降の方形土坑に切られる。方向 南北棟である。北辺に直交する軸の傾きはN-5°-Eである。形状・規模 桁行3間(6.3m)、梁行2間(4.8m)であり、3間×2間の側柱建物である。柱の掘方形態は円形を基調とし径43~62cm、深さ20~86cmとやや不揃いである。各柱穴の土層で柱痕に相当する土層が確認されたのは、北側柱列S-290・303・307である。出土遺物 柱穴覆土からの出土遺物はなく、建物の時期は不明である。

S-B-386 (第91・92図 第4表 図版九)

位置 中央から南東のP~Q17グリッドで、北18mにSI-07、北西14.5mにSB-236が位置する。南西側



第81図 掘立柱建物跡(SB-261)実測図(1)

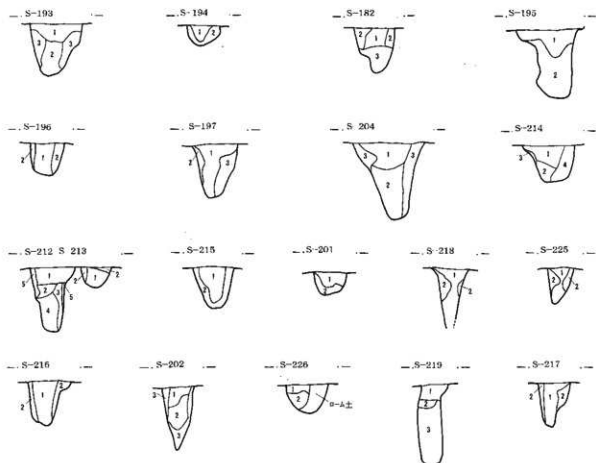


第82図 掘立柱建物跡 (SB-261) 実測図 (2)

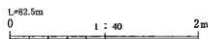
は調査区外に延びているため不明である。重複遺構 近世以降の方形土坑に切られる。方向 北辺に直交する軸の傾きはN-4°-E である。形状・規模 残存桁行2間 (5.4m)、残存梁行2間 (5.4m) であり、2間×2間の側柱建物と思われる。柱の掘方形態は円形を基調とし、近接するピットも含め径43~88cm、深さ25~66cmと不揃いである。中央からやや南東のずれた位置にS-249が看られ総柱建物の可能性も考えられたが、東側柱列にS-249に対応するようなS-268が存在するため側柱建物とした。出土遺物 柱穴覆土からの出土遺物はなく、建物の時期は不明である。

SB-395 (第93~95図 第4表 図版九)

位置 中央から北の09~10グリッドで、南7mにSB-181、南東4.5mにSB-315が位置する。重複遺構 SI-03を切るが、SK-185・239・383との新旧不明。方向 南北棟である。北辺に直交する軸の傾きはN-6°-Wである。形状・規模 桁行2間 (8.4m)、梁行2間 (4.2m) の総柱建物であり、南側に2×1間の庇が付く。庇の桁行は1.8m、梁行は身舎と同寸法である。柱の掘方形態は円形を基調とし、近接するピットも含め径27~68cm、深さ14~71cmと不揃いである。東西方向の北第2柱列の各柱穴には近接して小ピットが看られるため、補助の柱とも思われる。出土遺物 柱穴覆土からの出土遺物はなく、建物の時期は不明である。

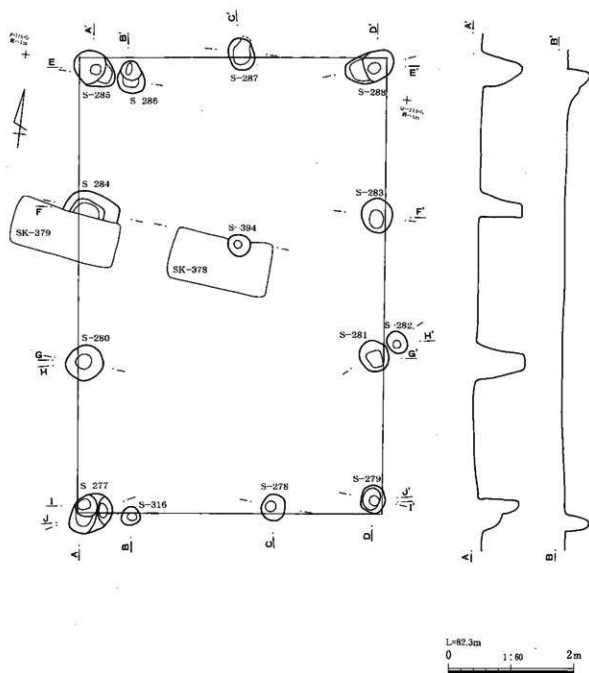


土層断面図 SB-261									
層別	土色・土質記号	色	名	ローム	土	土	土	土	その他
				プロック	プロック	プロック	プロック	プロック	その他
(S-192)	10R	4/2	反黄褐色	2	2				4
2	10R	5/4	にぶい黄褐色	2	1	4			4
3	10R	5/2	にぶい黄褐色	2	1				4
4	10R	3/2	黒褐色	2	1				4
5	10R	6/8	暗褐色	4	1				5
(S-182)	10R	6/4	にぶい黄褐色	3	2	3			2
2	10R	4/2	にぶい黄褐色	1	1				3
3	10R	3/2	黒褐色	1	1				4
(S-193)	10R	3/2	黒褐色	2	1				3
2	10R	3/2	黒褐色	1	1				3
3	10R	3/4	にぶい黄褐色	3	1	2			3
(S-194)	10R	3/2	黒褐色	2	1				2
2	10R	3/2	黒褐色	2	1				2
3	10R	5/4	にぶい黄褐色	4	1				3
(S-195)	10R	3/2	黒褐色	2	1				2
2	10R	4/2	にぶい黄褐色	1	1				3
3	10R	4/2	にぶい黄褐色	2	2	3			4
(S-196)	10R	3/2	黒褐色	2	1				3
2	10R	3/2	黒褐色	1	1				3
3	10R	3/2	黒褐色	1	1				3
(S-197)	10R	3/2	黒褐色	2	1				3
2	10R	3/2	黒褐色	1	1				3
3	10R	3/2	黒褐色	1	1				3
(S-204)	10R	3/2	黒褐色	2	1				3
2	10R	3/2	黒褐色	1	1				3
3	10R	3/2	黒褐色	1	1				3
(S-214)	10R	3/2	黒褐色	2	1				3
2	10R	3/2	黒褐色	1	1				3
3	10R	3/2	黒褐色	1	1				3
(S-212 S-213)	10R	3/2	黒褐色	2	1				3
2	10R	3/2	黒褐色	1	1				3
3	10R	3/2	黒褐色	1	1				3
(S-215)	10R	3/2	黒褐色	2	1				3
2	10R	3/2	黒褐色	1	1				3
3	10R	3/2	黒褐色	1	1				3
(S-201)	10R	3/2	黒褐色	2	1				3
2	10R	3/2	黒褐色	1	1				3
3	10R	3/2	黒褐色	1	1				3
(S-218)	10R	3/2	黒褐色	2	1				3
2	10R	3/2	黒褐色	1	1				3
3	10R	3/2	黒褐色	1	1				3
(S-225)	10R	3/2	黒褐色	2	1				3
2	10R	3/2	黒褐色	1	1				3
3	10R	3/2	黒褐色	1	1				3
(S-216)	10R	3/2	黒褐色	2	1				3
2	10R	3/2	黒褐色	1	1				3
3	10R	3/2	黒褐色	1	1				3
(S-202)	10R	3/2	黒褐色	2	1				3
2	10R	3/2	黒褐色	1	1				3
3	10R	3/2	黒褐色	1	1				3
(S-226)	10R	3/2	黒褐色	2	1				3
2	10R	3/2	黒褐色	1	1				3
3	10R	3/2	黒褐色	1	1				3
(S-219)	10R	3/2	黒褐色	2	1				3
2	10R	3/2	黒褐色	1	1				3
3	10R	3/2	黒褐色	1	1				3
(S-217)	10R	3/2	黒褐色	2	1				3
2	10R	3/2	黒褐色	1	1				3
3	10R	3/2	黒褐色	1	1				3



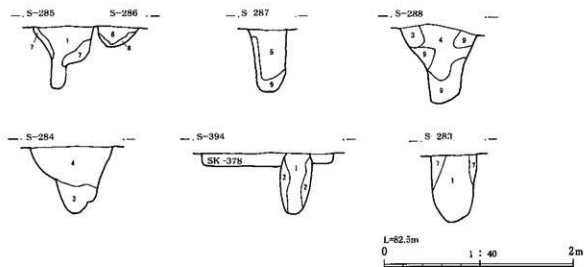
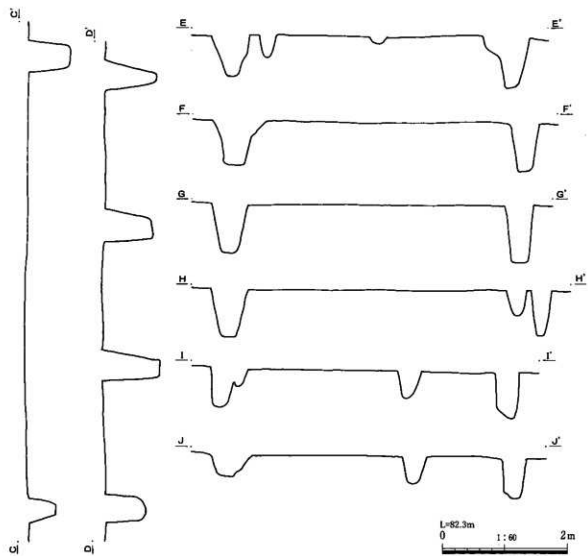
土層断面図 SB-261									
層別	土色・土質記号	色	名	ローム	土	土	土	土	その他
				プロック	プロック	プロック	プロック	プロック	その他
(S-193)	10R	3/2	黒褐色	2	1				4
2	10R	4/2	黒褐色	2	1				4
(S-214)	10R	3/2	黒褐色	2	1				4
2	10R	3/2	黒褐色	1	1				4
3	10R	3/2	黒褐色	1	1				4
4	10R	4/2	にぶい黄褐色	4	1				5
5	10R	5/4	暗褐色	4	2	4			5
(S-215)	10R	4/2	反黄褐色	2	1				4
2	10R	5/4	にぶい黄褐色	4	1	3			5
(S-216)	10R	4/2	反黄褐色	2	1				4
2	10R	5/4	にぶい黄褐色	4	1	3			5
(S-196)	10R	3/2	黒褐色	2	1				4
2	10R	4/2	にぶい黄褐色	4	1	2			5
(S-197)	10R	3/2	黒褐色	2	1				4
2	10R	3/2	黒褐色	1	1				4
3	10R	3/2	黒褐色	1	1				4
(S-201)	10R	3/2	黒褐色	2	1				4
2	10R	3/2	黒褐色	1	1				4
3	10R	3/2	黒褐色	1	1				4
(S-218)	10R	3/2	黒褐色	2	1				4
2	10R	3/2	黒褐色	1	1				4
3	10R	3/2	黒褐色	1	1				4
(S-225)	10R	3/2	黒褐色	2	1				4
2	10R	3/2	黒褐色	1	1				4
3	10R	3/2	黒褐色	1	1				4
(S-216)	10R	3/2	黒褐色	2	1				4
2	10R	3/2	黒褐色	1	1				4
3	10R	3/2	黒褐色	1	1				4
(S-202)	10R	3/2	黒褐色	2	1				4
2	10R	3/2	黒褐色	1	1				4
3	10R	3/2	黒褐色	1	1				4
(S-226)	10R	3/2	黒褐色	2	1				4
2	10R	3/2	黒褐色	1	1				4
3	10R	3/2	黒褐色	1	1				4
(S-219)	10R	3/2	黒褐色	2	1				4
2	10R	3/2	黒褐色	1	1				4
3	10R	3/2	黒褐色	1	1				4
(S-217)	10R	3/2	黒褐色	2	1				4
2	10R	3/2	黒褐色	1	1				4
3	10R	3/2	黒褐色	1	1				4

第83図 掘立柱建物跡 (SB-261) 柱穴土層断面図

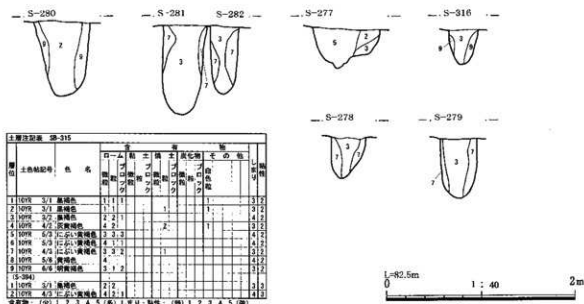


ピット名	開口部径	深さ	ピット名	開口部径	深さ
S-285	0.72 × 0.53 m	0.65 m	S-280	0.59 × 0.59 m	0.79 m
S-286	0.49 × 0.31 m	0.33 m	S-281	0.50 × 0.46 m	0.93 m
S-287	0.48 × 0.40 m	0.65 m	S-282	0.36 × 0.32 m	0.71 m
S-288	0.80 × 0.48 m	0.82 m	S-277	0.75 × 0.56 m	0.64 m
S-284	0.88 × 0.37 m	0.70 m	S-316	0.29 × 0.29 m	0.38 m
S-394	0.35 × 0.35 m	0.72 m	S-278	0.41 × 0.37 m	0.44 m
S-283	0.55 × 0.47 m	0.78 m	S-279	0.43 × 0.38 m	0.64 m

第84図 掘立柱建物跡 (SB-315) 実測図 (1)



第85図 掘立柱建物跡 (SB-315) 実測図 (2)



第86図 掘立柱建物跡 (SB-315) 柱穴土層断面図

3 土坑

ア 袋状土坑

C区

SK-801 (第103図 第6表)

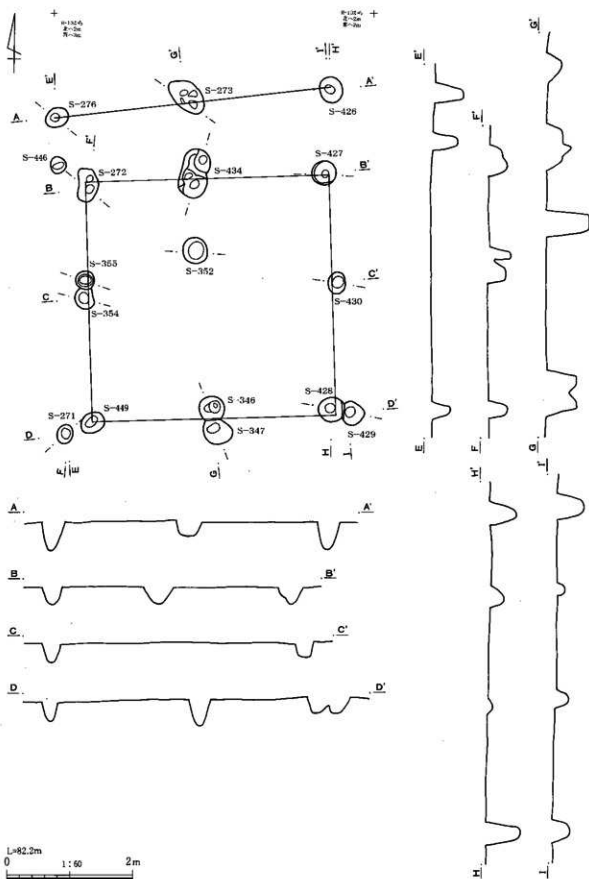
位置 調査区南東端部第8トレンチ中央部で、南西約10mの第9トレンチにSK-802～805が位置する。
形状・規模 確認面の残存する長径は1.28m、短径1.1mで、やや崩れも看られるがほぼ円形である。断面は残存深度0.78mで、南壁付近にオーバーハング状態が確認されたため全体が袋状であったと考えられる。底面はほぼ平坦に整えられている。覆土 覆土は2層である。下面のローム土主体の黄褐色土は開口部から壁面の崩落土で、その後上層の黒褐色土が自然堆積したと思われる。出土遺物 縄文時代中期と思われる小破片が出土したものの、図示できる遺物はなかった。また遺構掘り込み面がⅡ層下面のローム漸移層上面であることも併せて、縄文時代中期の所産としておきたい。

イ 陥し穴状土坑

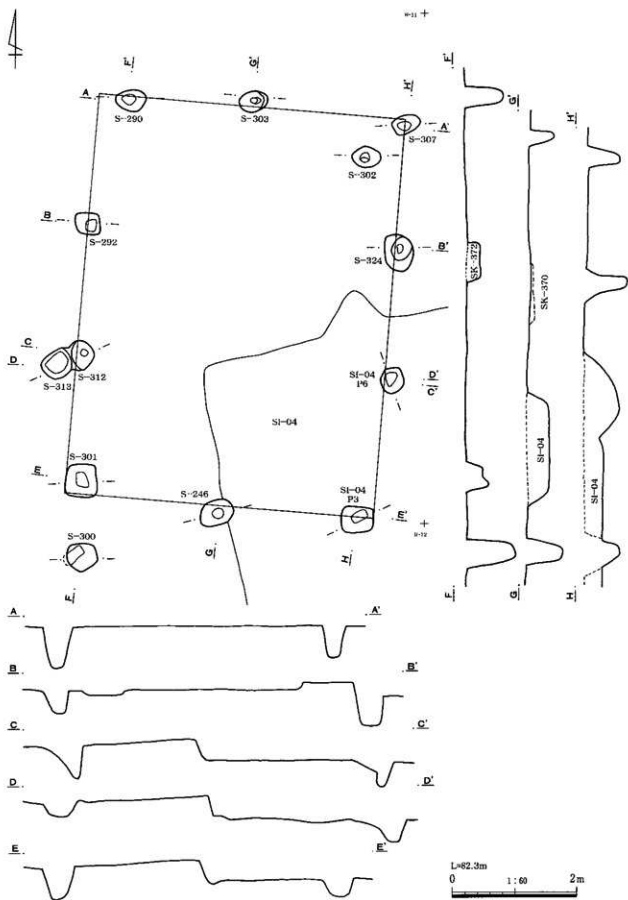
B区

SK-305 (第96図 第5表 図版一〇)

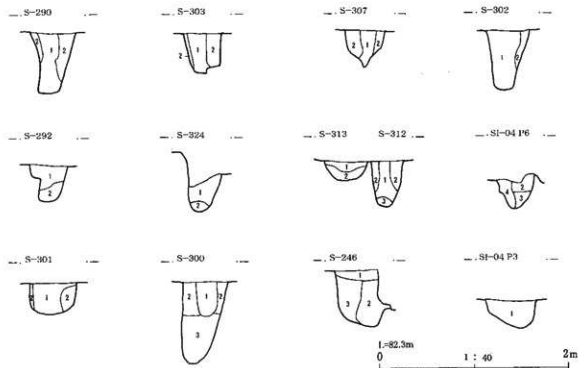
位置 中央から南西の調査区南端部R17グリッドで、西8mにSB-386、北東18mにSK-678が位置する。
長軸方向 N-42°-Wである。
形状・規模 確認面の長径は1.36m、短径1.14mで、やや不正形に近い楕円形、底面は長径0.86m、短径0.46mの隅丸長方形である。断面は残存深度1.16mで、確認面下約0.6mに段を持つ。壁面は段の上面が緩やかに開き、段の下はほぼ垂直で底面に至る。なお底面は凹凸が少なく、中央付近に径18cmの円形で、深さ38cmの先細りした小ピットが穿たれている。覆土 底面直上約10cmがローム土主体の黄褐色土で埋め戻されている。土坑内は北壁及び南壁の壁面崩落と思われるローム土主体の2・3層と灰黄褐色土の1層の自然堆積である。出土遺物 覆土からの出土遺物はなく、時期は不明である。



第87図 掘立柱建物跡 (SB-384) 実測図



第89図 掘立柱建物跡 (SB-385) 実測図



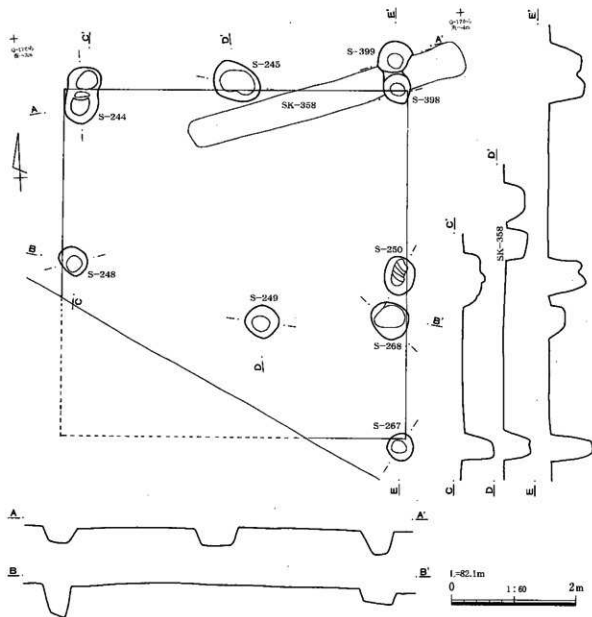
土層記号	色	土層記号										深さ
		ローソク	土	土	土	土	土	土	土	土	土	
(S-246)												
1.100R	4/2 に近い黄褐色	2	2									3.3
2.100R	3/2 黒褐色	1	1									4.3
3.100R	4/4 褐色	3	2									4.3
(S-290)												
1.100R	3/2 黒褐色	1	2									4.2
2.100R	5/6 に近い黄褐色	3	2									4.2
(S-301)												
1.100R	3/2 黒褐色	2	2									3.3
2.100R	5/4 に近い黄褐色	4	1									4.3
3.100R	3/2 黒褐色	3	1									3.3
(S-300)												
1.100R	3/2 黒褐色	2	2									3.3
2.100R	5/4 に近い黄褐色	4	1									4.3
3.100R	4/2 黄褐色	2	1									3.3
(S-303)												
1.100R	3/2 黒褐色	2	2									4.3
2.100R	5/4 に近い黄褐色	4	1									3.3
3.100R	4/2 黄褐色	2	1									3.3
(S-307)												
1.100R	3/2 黒褐色	2	2									4.3
2.100R	5/4 に近い黄褐色	4	1									3.3
3.100R	4/2 黄褐色	2	1									3.3
(S-312)												
1.100R	4/2 黄褐色	2	1									3.3
2.100R	5/4 に近い黄褐色	4	1									3.3
3.100R	3/2 黒褐色	2	1									3.3
(S-313)												
1.100R	4/2 黄褐色	2	1									3.3
2.100R	5/4 に近い黄褐色	4	1									3.3
3.100R	3/2 黒褐色	2	1									3.3
(S-324)												
1.100R	3/2 黒褐色	2	2									4.3
2.100R	5/4 に近い黄褐色	4	1									3.3
3.100R	4/2 黄褐色	2	1									3.3
(SI-04 Pit 6)												
1.100R	3/2 黒褐色	2	2									4.3
2.100R	5/4 に近い黄褐色	4	1									3.3
3.100R	4/2 黄褐色	2	1									3.3
(SI-04 Pit 3)												
1.100R	3/2 黒褐色	2	2									4.3
2.100R	5/4 に近い黄褐色	4	1									3.3
3.100R	4/2 黄褐色	2	1									3.3

土層記号	色	土層記号										深さ
		ローソク	土	土	土	土	土	土	土	土	土	
(S-246)												
1.100R	4/2 に近い黄褐色	2	2									4.2
2.100R	3/2 黒褐色	4	1									4.3
3.100R	4/4 褐色	3	2									4.3
(S-290)												
1.100R	3/2 黒褐色	2	2									3.3
2.100R	5/6 に近い黄褐色	4	1									3.3
(S-301)												
1.100R	3/2 黒褐色	2	2									4.3
2.100R	5/4 に近い黄褐色	4	1									4.3
3.100R	3/2 黒褐色	2	1									4.3
(S-300)												
1.100R	3/2 黒褐色	2	2									3.3
2.100R	5/4 に近い黄褐色	4	1									4.3
3.100R	4/2 黄褐色	2	1									4.3
(S-303)												
1.100R	3/2 黒褐色	2	2									3.3
2.100R	5/4 に近い黄褐色	4	1									4.3
3.100R	4/2 黄褐色	2	1									4.3
(S-307)												
1.100R	3/2 黒褐色	2	2									3.3
2.100R	5/4 に近い黄褐色	4	1									4.3
3.100R	4/2 黄褐色	2	1									4.3
(S-312)												
1.100R	4/2 黄褐色	2	1									3.3
2.100R	5/4 に近い黄褐色	4	1									3.3
3.100R	3/2 黒褐色	2	1									3.3
(S-313)												
1.100R	4/2 黄褐色	2	1									3.3
2.100R	5/4 に近い黄褐色	4	1									3.3
3.100R	3/2 黒褐色	2	1									3.3
(S-324)												
1.100R	3/2 黒褐色	2	2									4.3
2.100R	5/4 に近い黄褐色	4	1									3.3
3.100R	4/2 黄褐色	2	1									3.3
(SI-04 Pit 6)												
1.100R	3/2 黒褐色	2	2									4.3
2.100R	5/4 に近い黄褐色	4	1									3.3
3.100R	4/2 黄褐色	2	1									3.3
(SI-04 Pit 3)												
1.100R	3/2 黒褐色	2	2									4.3
2.100R	5/4 に近い黄褐色	4	1									3.3
3.100R	4/2 黄褐色	2	1									3.3

ピット名	開口部径	深さ	ピット名	開口部径	深さ
S-290	0.50 × 0.36 m	0.63 m	S-324	0.56 × 0.44 m	0.66 m
S-303	0.45 × 0.33 m	0.43 m	S-313	(0.49) × 0.45 m	0.20 m
S-307	0.43 × 0.31 m	0.49 m	S-312	0.46 × (0.36) m	0.55 m
S-302	0.46 × 0.34 m	0.63 m	S-301	0.62 × 0.51 m	0.52 m
S-292	0.46 × 0.38 m	0.38 m	S-300	0.45 × 0.38 m	0.86 m
SI-04 Pit 6	0.40 × 0.38 m	(0.28) m	S-246	0.56 × 0.42 m	0.57 m
SI-04 Pit 3	0.56 × 0.42 m	(0.27) m			

※ 深さの()内の数値は、重複する住居床面からの深さ

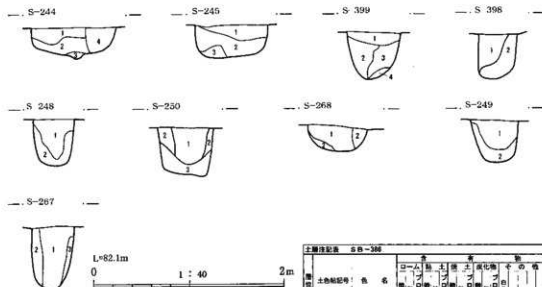
第90図 掘立柱建物跡(SB-385) 柱穴土層断面図



ピット名	開口部径	深さ	ピット名	開口部径	深さ
S-244	0.88 × 0.47 m	0.32 m	S-250	0.59 × 0.46 m	0.51 m
S-245	0.77 × 0.57 m	0.33 m	S-268	0.62 × 0.53 m	0.25 m
S-399	0.56 × (0.48) m	0.49 m	S-249	0.54 × 0.50 m	0.43 m
S-398	(0.45) × 0.42 m	0.45 m	S-267	0.43 × 0.42 m	0.66 m
S-248	0.47 × 0.40 m	0.47 m			

※ 深さの()内の数値は、重複する住居床面からの深さ

第91図 掘立柱建物跡 (SB-386) 実測図



土層記録表 古石-386									
土層記号	色名	ローム	粘土	機	本	灰化層	その他	層	厚
(S-244)									
1 (01R)	5/4 に近い黄褐色	2	1						4.7
2 (01R)	5/6 黄褐色	3	2						4.3
3 (01R)	4/2 灰黄褐色	2	1						4.2
4 (01R)	4/4 褐色	3	2						4.3
(S-245)									
1 (01R)	3/2 黄褐色	5	2						4.2
2 (01R)	5/4 に近い黄褐色	4	2						4.3
3 (01R)	3/2 黄褐色	4	2						4.3
(S-248)									
1 (01R)	3/2 黄褐色	2	3						4.4
2 (01R)	5/4 に近い黄褐色	4	3						4.4
3 (01R)	5/6 黄褐色	4	1						3.4
(S-249)									
1 (01R)	3/2 黄褐色	1	2						4.3
2 (01R)	5/4 に近い黄褐色	2							4.3
3 (01R)	5/4 に近い黄褐色	4	1						4.3
(S-267)									
1 (01R)	4/2 灰黄褐色	3	4						3.3
2 (01R)	5/6 黄褐色	4	1						3.3
(S-268)									
1 (01R)	5/3 に近い黄褐色	3	2						4.3
2 (01R)	5/4 に近い黄褐色	4	3						4.3
(S-269)									
1 (01R)	4/3 に近い黄褐色	3	2						4.3
2 (01R)	5/3 に近い黄褐色	4	2						4.3
3 (01R)	3/2 黄褐色	2	1						4.3
4 (01R)	4/2 灰黄褐色	3	1						4.3

土層記録表 古石-386									
土層記号	色名	ローム	粘土	機	本	灰化層	その他	層	厚
(S-244)									
1 (01R)	3/2 黄褐色	2	2						4.7
2 (01R)	5/4 に近い黄褐色	4	3						4.3
(S-245)									
1 (01R)	3/2 黄褐色	1	1						4.4
2 (01R)	4/2 灰黄褐色	2	1						3.4
3 (01R)	5/6 黄褐色	4	1						3.4
(S-247)									
1 (01R)	3/2 黄褐色	1	2						4.3
2 (01R)	5/4 に近い黄褐色	2							4.3
3 (01R)	5/4 に近い黄褐色	4	1						4.3
(S-248)									
1 (01R)	4/2 灰黄褐色	3	4						3.3
2 (01R)	5/6 黄褐色	4	1						3.3
(S-249)									
1 (01R)	5/3 に近い黄褐色	3	2						4.3
2 (01R)	5/4 に近い黄褐色	4	3						4.3
(S-267)									
1 (01R)	4/2 灰黄褐色	3	4						3.3
2 (01R)	5/6 黄褐色	4	1						3.3
(S-268)									
1 (01R)	5/3 に近い黄褐色	3	2						4.3
2 (01R)	5/4 に近い黄褐色	4	3						4.3
(S-269)									
1 (01R)	4/3 に近い黄褐色	3	2						4.3
2 (01R)	5/3 に近い黄褐色	4	2						4.3
3 (01R)	3/2 黄褐色	2	1						4.3
4 (01R)	4/2 灰黄褐色	3	1						4.3

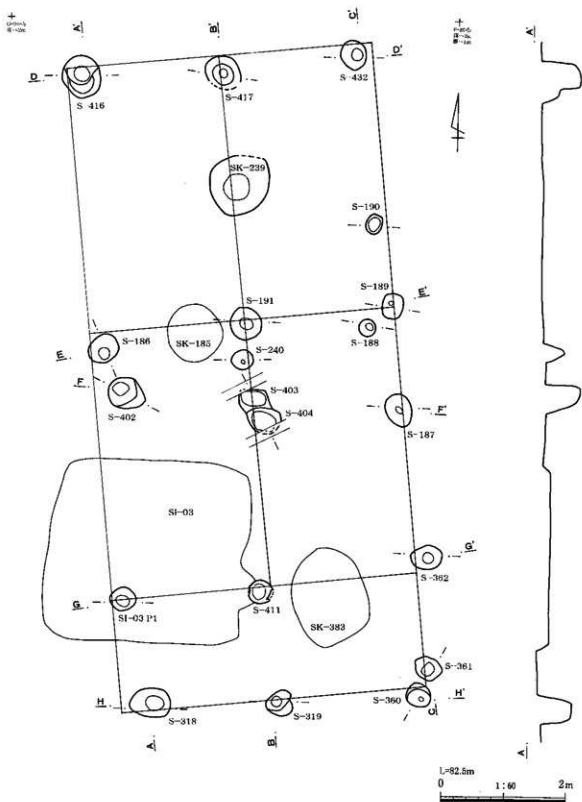
第92図 掘立柱建物跡 (SB-386) 柱穴土層断面図

SK-334 (第96図 第5表 図版一〇)

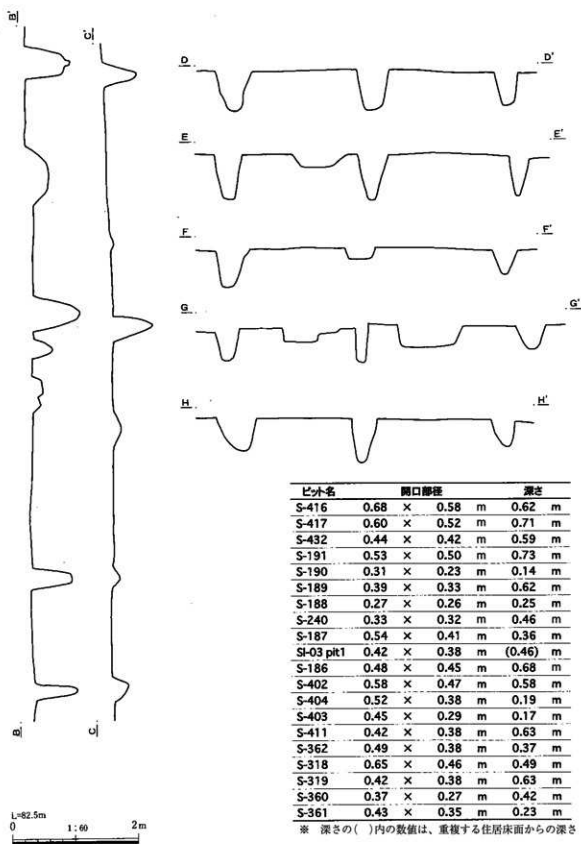
位置 中央からやや東よりのP12グリッドで、南壁に接するようにSI-05が位置する。長軸方向 N-30°-Wである。形状・規模 確認面の長径は2m、短径1.42mで長楕円形、底面は長径1.57m、短径0.88mでやや不正形に近い長楕円形である。断面は残存深度0.69mと浅く、確認面からやや緩やかに底面へと至る。規模と深度を比べるとやや浅いため、陥し穴状土坑でない可能性も考えられる。覆土 1~4層の黒色土、灰黄褐色土の自然堆積であるが、土層は今市スコリア・七本桜軽石粒がやや多く含まれるため、縄文時代でもやや古い時期の所産とも考えられる。出土遺物 覆土からの出土遺物はなく、詳細な時期は不明である。

SK-350 (第97図 第5表 図版一〇)

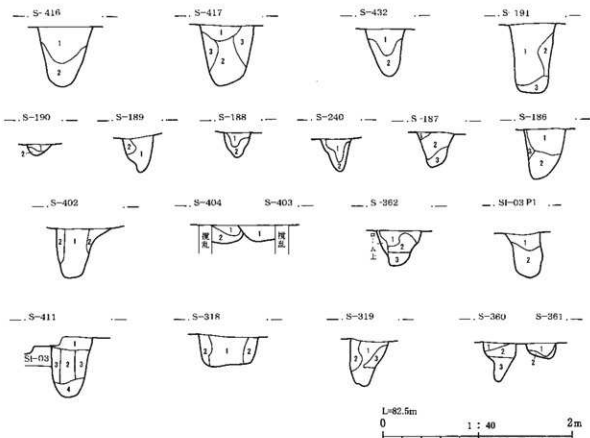
位置 中央からやや東のR13グリッドで、南東14mにSK-627が位置する。重複遺構 SI-08に切られ、住居跡の床面下で検出された。長軸方向 N-11°-Eである。形状・規模 確認面の残存長径は1.04m、短径1.04mで長楕円形と思われる。底面の残存長径0.78m、短径0.65mの隅丸長方形である。断面は残存深度1.18mで、確認面下約0.2mと0.7mに段を持つ。壁面は段の上面で緩やかに開くが、段の下はほぼ垂直で底面に至る。なお底面は凹凸が少なく、中央から北西寄りに径20cmの円形で、深さ8cm程度の窪むような小ビットが存在する。覆土 壁面崩落と思われるローム土主体の暗褐色土、黄褐色土の急激な自然堆積の後、黒褐色土の自然堆積で埋没している。出土遺物 覆土からの出土遺物はなく、時期は不明である。



第93図 掘立柱建物跡 (SB-395) 実測図 (1)



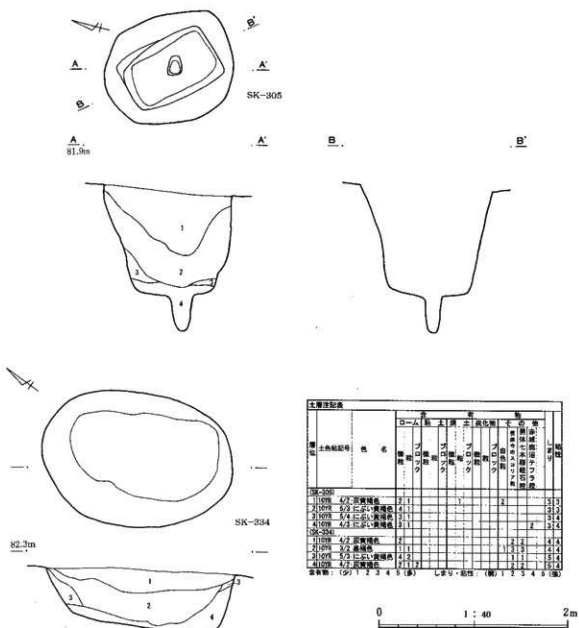
第94図 掘立柱建物跡 (SB-395) 実測図 (2)



土層注記表		SB-395										土層 番号
層	土層記号	色	名	1	2	3	4	5	6	7	8	
(S-240)	1-101R	3/2	黒褐色	2	1							3,4
2-101R	4/2	にがい黄褐色	2	1	2							2,3
(S-186)	1-101R	4/2	にがい黄褐色	2	2							4,2
2-101R	4/2	黒褐色	4	1								4,3
3-101R	5/2	にがい黄褐色	4	1								4,4
(S-187)	1-101R	5/4	にがい黄褐色	5	1							2,3
2-101R	3/2	黒褐色	2	1	1							2,2
3-101R	5/4	にがい黄褐色	4	2	1							3,3
(S-188)	1-101R	3/2	黒褐色	2	2							3,3
2-101R	5/4	にがい黄褐色	1	1	2							3,4
(S-189)	1-101R	3/1	黒褐色	2	1							3,3
2-101R	5/4	にがい黄褐色	4	1	1							4,2
(S-190)	1-101R	3/2	黒褐色	2	1							2,2
2-101R	3/2	黒褐色	1	1								2,2
(S-191)	1-101R	4/2	にがい黄褐色	2	1							4,1
2-101R	5/4	にがい黄褐色	2	1	1							4,2
3-101R	5/2	にがい黄褐色	5									4,4
(S-240)	1-101R	3/2	黒褐色	1	1							2,3
2-101R	5/4	にがい黄褐色	4	2								2,3
(S-186)	1-101R	3/2	黒褐色	1	1							4,3
2-101R	4/2	にがい黄褐色	3	2								3,4
3-101R	5/4	黒褐色	3	2								3,4
(S-360)	1-101R	3/2	黒褐色	1	2							3,4
2-101R	5/4	にがい黄褐色	2	2	1							3,4
3-101R	4/2	黒褐色	2	2	1							3,4

土層注記表		SB-395										土層 番号
層	土層記号	色	名	1	2	3	4	5	6	7	8	
(S-362)	1-101R	3/2	黒褐色	2	1							3,3
2-101R	5/4	にがい黄褐色	2	2								3,4
(S-362)	1-101R	3/2	黒褐色	1	2							3,2
2-101R	5/4	黒褐色	2	1	3							2,2
3-101R	5/4	にがい黄褐色	4	1								3,3
(S-402)	1-101R	3/2	黒褐色	1	1							3,3
2-101R	5/4	にがい黄褐色	3	1	3							3,3
(S-402)	1-101R	4/2	にがい黄褐色	2	2							3,4
(S-404)	1-101R	4/2	黒褐色	2	2							3,4
2-101R	3/2	黒褐色	2	2								4,4
(S-411)	1-101R	4/2	黒褐色	2	2							4,2
2-101R	5/4	にがい黄褐色	4	1								4,2
3-101R	4/2	黒褐色	3	1								2,3
(S-416)	1-101R	4/2	黒褐色	2	1							3,3
2-101R	5/4	にがい黄褐色	4	2	1							3,4
(S-417)	1-101R	4/2	黒褐色	1	1							2,3
2-101R	5/4	にがい黄褐色	4	2								2,3
(S-432)	1-101R	3/2	黒褐色	1	1							4,3
2-101R	4/2	にがい黄褐色	3	2								3,4
3-101R	5/4	黒褐色	3	2								3,4
(S-186)	1-101R	3/2	黒褐色	1	2							3,3
2-101R	5/4	にがい黄褐色	2	2	1							3,4
3-101R	4/2	黒褐色	2	2	1							3,4

第95図 掘立柱建物跡 (SB-395) 柱穴土層断面図



第96図 陥し穴状土坑実測図(1)

SK-627 (第97・126図 第5表 図版一〇)

位置 中央から南東のT15グリッドで、南6.5mにSK-678、北西14mにSK-350が位置する。重複遺構近世遺構の方形土坑SK-626に切られる。長軸方向 N-45°-Eである。形状・規模 確認面の長径は1.4m、短径0.94mで長楕円形、底面は長径0.85m、短径0.38mの隅丸長方形である。断面は残存深度1.01mで、確認面から直線的に底面へと至る。なお底面はほぼ平坦である。覆土 1～3層の黄褐色土、褐色土、灰黄褐色土の自然堆積である。特に2層の褐色土は、北壁側の壁面崩落土と思われる。出土遺物 覆土からの出土遺物はなく、時期は不明である。

SK-678 (第97図 第5表 図版一〇)

位置 中央から調査区南東端部のT16グリッドで、北6.5mにSK-627、南西18mにSK-305が位置する。
長軸方向 E-45°-Sである。**形状・規模** 確認面の長径は1.58m、短径1.12mで不正楕円形、底面は長径0.82m、短径0.5mの長方形に近い隅丸長方形である。断面は残存深度1.12mで、確認面下約0.2mと0.4mに段を持つが、確認面からはほぼ直線的に底面へと至る。底面は、中央部がやや高くなる。**覆土** 1～3層のローム土を主体とする黄褐色土、褐色土の自然堆積である。特に2層の褐色土は、北壁側の壁面崩落土と思われる。**出土遺物** 覆土からの出土遺物はなく、時期は不明である。

ウ その他の土坑

B区

SK-13 (第98・117図 第6表 図版一〇)

位置 中央から西の調査区西端部に近いH11グリッドで、南東6mにSK-55、7mにSI-01、西7mにSI-501、北3mにSI-502が各々位置する。**重複遺構** 近世以降の方形土坑SK-12に切られる。**形状・規模** 確認面の長径は1m、短径0.98mでほぼ円形である。断面は残存深度0.19mと浅い鍋底状で、壁は底面からやや開き気味に立ち上がる。底面は歪んだ円形でやや凹凸している。**覆土** ローム土主体の黒色土、褐色土であるが、自然堆積と思われる。**出土遺物** 出土遺物はなく、時期は不明である。

SK-55 (第98図 第6表 図版一一)

位置 中央から西のI12グリッドで、南側に近接してSI-01、北西6mにSK-13が位置する。**形状・規模** 確認面の長径は0.76m、短径0.47mで歪んだ円形である。断面は残存深度0.45mで逆台形状である。壁は底面からやや湾曲しながら立ち上がる。底面は小ビットの重複とも思われる2段の掘り込みが看られ、凹凸している。**覆土** 壁面崩落後、黒色土を主体とした自然堆積である。**出土遺物** 出土遺物はなく、時期は不明である。

SK-135 (第98図 第6表 図版一一)

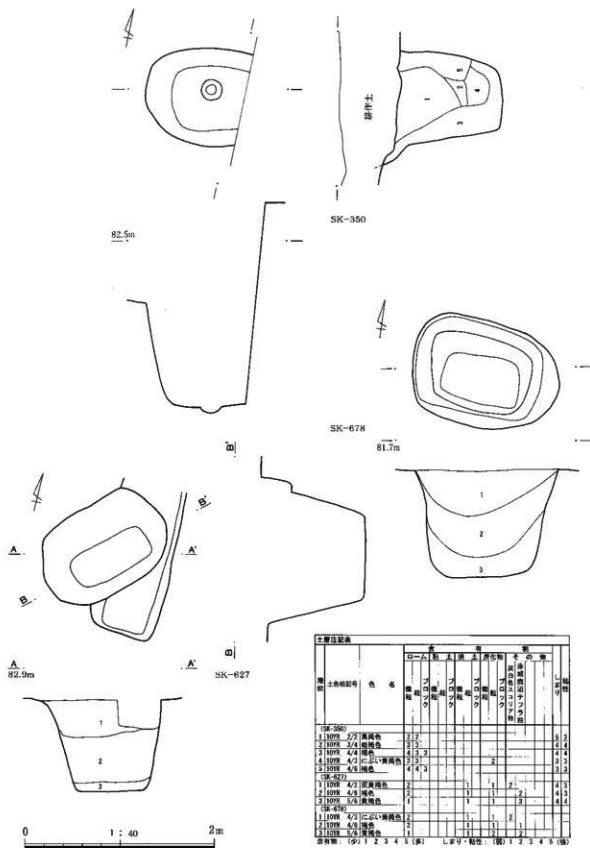
位置 中央からやや北のN10グリッドで、東6mにSI-03、北東6mにSK-136が位置する。**形状・規模** 確認面の長径は1.3m、短径1.12mでほぼ円形である。断面は残存深度0.43mで逆台形状である。壁は底面からやや開き気味に立ち上がる。底面もほぼ円形でやや凹凸が残る。**覆土** 土坑中央部に攪乱を受けているが、黒色土主体の土層で自然堆積と思われる。覆土にはローム粒と共に赤色スコリア、白色粒が含まれるため、縄文時代でも古い時期の可能性が想定される。**出土遺物** 出土遺物はなく、時期は不明である。

SK-136 (第98図 第6表)

位置 中央から北の調査区北端部に近いN9グリッドで、東2～3mにSB-395、SK-238・239、南東5mにSI-03、南西6mにSK-135が各々位置する。**形状・規模** 確認面の長径は1.1m、短径1.04mでほぼ円形である。断面は残存深度0.23mと浅く逆台形状である。壁は底面からやや湾曲しながら立ち上がる。底面もほぼ円形でほぼ平坦である。**覆土** 3層の自然堆積とである。**出土遺物** 出土遺物はなく、時期は不明である。

SK-140 (第98図 第6表 図版一一)

位置 中央から西のN9グリッドで、南東3.5mにSI-02、南5mにSB-163、南西4mにSK-148が各々位置する。**形状・規模** 確認面の長径は0.74m、短径0.64mで方形に近い楕円形である。断面は残存深度0.27mと浅く鍋底状である。壁は底面から湾曲しながら立ち上がる。底面もほぼ楕円形でやや凹凸が残る。**覆土** 2層の自然堆積とである。**出土遺物** 出土遺物はなく、時期は不明である。



第97図 陥し穴状土坑実測図(2)

SK-148 (第98図 第6表)

位置 中央から西のK12グリッドで、東5mにSI-02、西6.5mにSI-01、南1mにSB-163、北東4mにSK-140が各々位置する。形状・規模 確認面の長径は0.70m、短径0.64mで楕円形である。断面は残存深度0.26mと浅く鍋底状である。壁は底面から湾曲しながら立ち上がる。底面はほぼ円形でやや凹凸が残る。覆土 3層の自然堆積とである。出土遺物 出土遺物はなく、時期は不明である。

SK-177 (第98図 第6表 図版一一)

位置 ほぼ中央のO13グリッドで、東11mにSI-05、西6mにSB-261、南2mにSK-338が各々位置する。形状・規模 確認面の長径は0.91m、短径0.84mでやや不正の円形である。断面は残存深度0.29mと浅く鍋底状である。壁は底面からやや外傾しながら直線的に立ち上がる。底面も不正の円形で中央部が深くなり、凹凸が残る。覆土 2層の自然堆積とである。出土遺物 出土遺物はなく、時期は不明である。

SK-185 (第98図 第6表)

位置 中央から北のO10グリッドで、南1.5mにSI-03、北2mにSK-238・239が各々位置する。重複遺構 SB-395と重複しているが明確な新旧は不明である。形状・規模 確認面の長径は0.90m、短径0.85mで不正円形である。断面は残存深度0.19mと浅く鍋底状である。壁は底面からやや外傾しながら直線的に立ち上がる。底面は不正の楕円形であるが、ほぼ平坦である。覆土 黒色土主体の自然堆積である。出土遺物 出土遺物はなく、時期は不明である。

SK-238 (第98図 第6表)

位置 中央から北のO9グリッドで、東0.5mにSK-239、西2.5mにSK-136、南2mにSK-185が各々位置する。重複遺構 SB-395と重複しているが明確な新旧は不明である。形状・規模 確認面の長径は1.14m、短径1mで不正形である。断面は残存深度0.31mで、南壁際が深くなる鍋底状である。壁は底面から湾曲しながら立ち上がる。底面は不正の円形であり、凹凸している。覆土 壁面崩落と思われるローム土主体の黄褐色土の堆積後、黒色土が堆積した自然堆積である。出土遺物 出土遺物はなく、時期は不明である。

SK-239 (第99図 第6表)

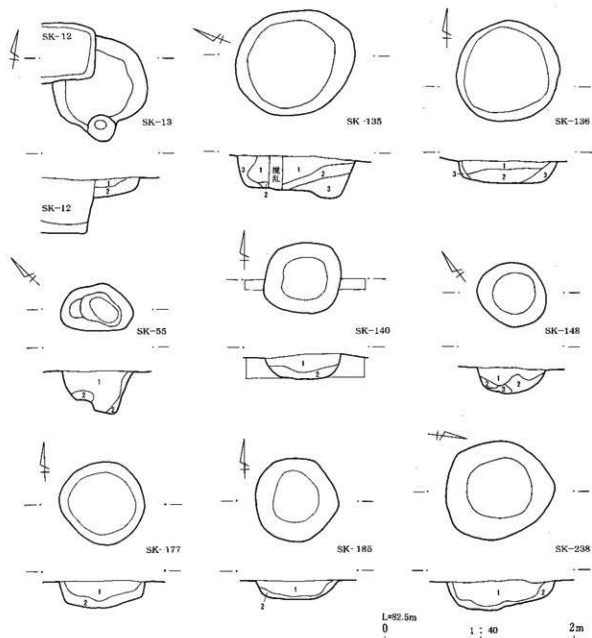
位置 中央から北のO9グリッドで、西0.5mにSK-238、南2mにSK-185、3.5mにSI-03が各々位置する。重複遺構 SB-395と重複しているが明確な新旧は不明である。形状・規模 確認面の長径は1m、短径0.9mで不正形である。断面は残存深度0.34mで、中央が深くなる鍋底状である。壁は底面から湾曲しながら立ち上がる。底面はほぼ円形である。覆土 壁面崩落と思われるローム土主体の黄褐色土の堆積後、黒褐色土が堆積した自然堆積である。出土遺物 出土遺物はなく、時期は不明である。

SK-247 (第99図 第6表)

位置 中央から南のP16グリッドで、東10.5mにSK-382、南東5mにSB-386、北12mにSI-07が各々位置する。形状・規模 確認面の長径は1.15m、短径0.95mでほぼ円形であるが、土坑東側を中心に樹根の攪乱を受けている。断面は残存深度0.52mで鍋底状である。壁は底面からやや湾曲しながら立ち上がる。底面には、西壁際に小ビット状の窪みと東壁際に壁が南側にオーバーハングする径62×38cm、深さ32cmの小ビットが存在する。覆土 ローム土主体の黄褐色土である2～4層が堆積後、黒褐色土が堆積した自然堆積である。

SK-257 (第99図 第6表 図版一一)

位置 中央から南東のR14グリッドで、南西4mにSK-270、北西2.5mにSE-331が位置する。形状・規模 確認面の長径は0.86m、短径0.8mで不正円形である。断面は残存深度0.16mと浅く逆台形状である。



土層注記		土質・土色・土層										計
層位	土色・土層記号	色名	層厚	土質	土色	土層	土質	土色	土層	土質	土色	土層
SK-13	1/10R	4/4 褐色	1	3	1							2/2
	2/10R	3/1 黄褐色	1	2	1							2/2
SK-55	1/10R	3/2 黄褐色	3	2	1							3/3
	2/10R	4/2 灰色黄褐色	4	2	1							2/4
SK-135	1/10R	3/2 黄褐色	2	2								4/3
	2/10R	4/2 灰黄褐色	3	2								4/3
	3/10R	4/2 灰色黄褐色	4	1								4/3
SK-136	1/10R	4/2 灰黄褐色	2	2								4/3
	2/10R	3/2 黄褐色	3	1								4/3
	3/10R	4/2 灰色黄褐色	4	1								4/3

注記: (9) 1 2 3 4 5 (多) L・M・V・色: (9) 1 2 3 4 5 (多)

土層注記		土質・土色・土層										計
層位	土色・土層記号	色名	層厚	土質	土色	土層	土質	土色	土層	土質	土色	土層
SK-140	1/10R	3/2 黄褐色	1	1								3/3
	2/10R	4/2 灰黄褐色	2									4/2
SK-148	1/10R	3/2 黄褐色	2	2								2/3
	2/10R	4/2 灰黄褐色	4	2	1							2/3
	3/10R	4/2 灰黄褐色	4	1								4/4
SK-177	1/10R	3/2 黄褐色	2	1								3/3
	2/10R	4/2 灰色黄褐色	4	1								4/4
SK-185	1/10R	3/2 黄褐色	2	1	1							3/3
	2/10R	4/2 灰黄褐色	4	1								4/4
SK-238	1/10R	3/2 黄褐色	1	2								4/3
	2/10R	4/2 灰色黄褐色	2	1								4/3

注記: (9) 1 2 3 4 5 (多) L・M・V・色: (9) 1 2 3 4 5 (多)

第98図 土坑実測図 (1)

壁は底面からやや外傾しながら直線的に立ち上がる。底面も不正の円形でほぼ平坦である。覆土 2層の自然堆積とである。出土遺物 出土遺物はなく、時期は不明である。

SK-270 (第99図 第6表 図版一)

位置 中央から南東のR15グリッドで、北東4mにSK-257、北4.5mにSE-331が位置する。形状・規模 確認面の長径は2.1m、短径1.65mと大型な楕円形である。断面は残存深度0.7mと東壁際が深くなる逆台形状である。壁は底面からやや外傾しながら直線的に立ち上がる。底面もほぼ楕円形で平坦である。覆土 ローム土主体の黄褐色土で、人為的な堆積とも思われる。出土遺物 出土遺物はなく、時期は不明である。

SK-289 (第99図 第6表)

位置 中央から北東のQ11グリッドで、東4mにSK-308、南東1.5mにSB-385、西2mにSB-315が各々位置する。形状・規模 確認面の長径は0.92m、短径0.83mで攪乱を受けたものか不正円形である。断面は残存深度0.2mと浅い鍋底状である。壁は底面から湾曲しながら立ち上がる。底面はほぼ円形で平坦である。覆土 2層の自然堆積とである。出土遺物 出土遺物はなく、時期は不明である。

SK-306 (第99・123図 第6表 図版一)

位置 中央から東のR12グリッドで、南10mにSI-08、12.5mにSK-350、西5mにSI-04、北西2mにSK-393、が各々位置する。重複遺構 近世以降の方形土坑SK-366と接するが新旧は不明である。形状・規模 確認面の長径は0.82m、短径0.77mでほぼ円形である。断面は残存深度0.15mと浅い鍋底状である。壁は底面から湾曲しながら立ち上がる。底面はほぼ円形で、凹凸している。覆土 2層の自然堆積とである。出土遺物 出土遺物はなく、時期は不明である。

SK-308 (第99図 第6表 図版二)

位置 中央から北東のQ11グリッドで、西4mにSK-209、南東6mにSK-393、南に接するようにSB-385が各々位置する。形状・規模 確認面の長径は1.07m、短径0.94mで不正の楕円形である。断面は残存深度0.38mで鍋底状である。壁は底面からやや外傾しながら直線的に立ち上がる。底面はほぼ円形であるが、凹凸している。覆土 2層の自然堆積とである。出土遺物 出土遺物はなく、時期は不明である。

SK-325 (第99・122図 第6表)

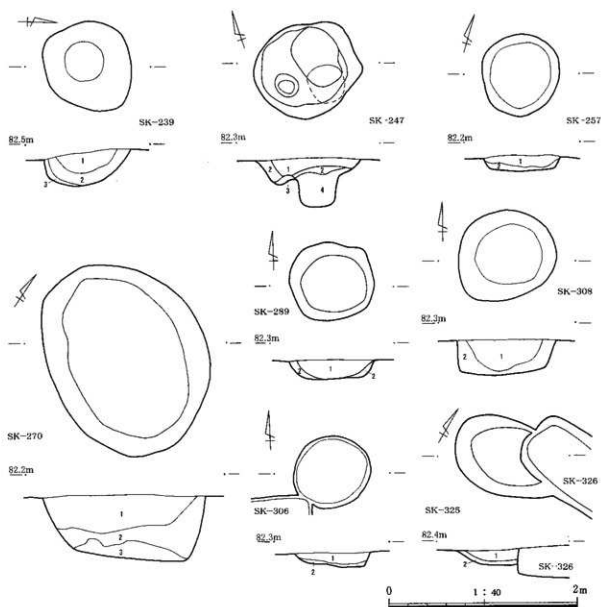
位置 中央からやや北のO12グリッドで、南7mにSK-177、北東4mにSE-299、北西2mにSK-393、が位置する。重複遺構 近世以降の方形土坑SK-326に土坑東側を切られ、SB-181と重複するが新旧は不明である。形状・規模 確認面の残存する長径は0.8m、短径0.82mで楕円形と思われる。断面は残存深度0.16mと浅い鍋底状である。壁は底面から湾曲しながら立ち上がる。底面も楕円形で、ほぼ平坦である。覆土 2層の自然堆積とである。出土遺物 出土遺物はなく、時期は不明である。

SK-330 (第100図 第6表 図版二)

位置 中央から南のO15グリッドで、北東10mにSE-400、東に接するようにSB-236が位置する。形状・規模 確認面の長径は1.85m、短径1.36mで隅丸の方形である。底面中央に径65×70cm、深さは底面から30cmの小ピットが存在する。このため断面は確認面からの残存深度0.65mで逆凸状である。壁は底面からほぼ直線的に立ち上がり、底面はほぼ平坦に整えられている。覆土 覆土は5層であるが全体に粘土粒を含み、人為的な堆積かとも思われる。出土遺物 出土遺物はなく、時期は不明である。

SK-338 (第100図 第6表 図版二)

位置 ほぼ中央のO13グリッドで、東12mにSI-06、西7mにSB-261、南6mにSE-400、北2mにSK-177が各々位置する。形状・規模 確認面の長径は1.92m、短径1.65mで隅丸方形に近い不正円形である。



土層記載表		土 質										L値 (cm)
層位	土色結記号	色 名	ローム	粘土	土	炭化物	その他	その他	その他	その他	その他	
SK-239												
110YR	3/2	黒褐色	1	1			2					4.2
210YR	3/2	黒褐色	2	2			1					4.2
310YR	4/2	にぶい黄褐色	4	1								4.2
SK-247												
110YR	3/2	黒褐色	2	1								3.2
210YR	3/4	にぶい黄褐色	2	1								3.2
310YR	4/3	にぶい黄褐色	5									3.2
410YR	5/3	にぶい黄褐色	4	1								3.2
SK-257												
110YR	4/2	黒褐色	2	1			1					4.2
210YR	5/3	黒褐色	4	1								4.2
SK-289												
110YR	5/2	にぶい黄褐色	2	1								3.2
210YR	5/4	にぶい黄褐色	4	3								3.2
310YR	5/4	にぶい黄褐色	4	3								3.2
410YR	5/4	にぶい黄褐色	4	4								3.4

炭化物：(少) 1 2 3 4 5 (多) 1 2 3 4 5 (多) 1 2 3 4 5 (多)

土層記載表		土 質										L値 (cm)
層位	土色結記号	色 名	ローム	粘土	土	炭化物	その他	その他	その他	その他	その他	
SK-289												
110YR	3/2	黒褐色	1									4.2
210YR	4/2	黒褐色	4	1								4.2
SK-308												
110YR	3/2	黒褐色	1	1								4.2
210YR	4/2	にぶい黄褐色	2	1								4.2
SK-306												
110YR	3/2	黒褐色	2	1								4.2
210YR	5/4	にぶい黄褐色	2	1								4.2
SK-325												
110YR	4/2	黒褐色	2	1								4.2
210YR	5/4	にぶい黄褐色	4									4.2

炭化物：(少) 1 2 3 4 5 (多) 1 2 3 4 5 (多) 1 2 3 4 5 (多)

第99図 土坑実測図(2)

底面中央に径40×50cm、深さは底面から20cmの小ピットが存在する。このため断面は確認面からの残存深度0.5mで逆凸状とも言える。壁は底面からはほぼ直線的に立ち上がり、底面はほぼ平坦に整えられている。形態的にSK-330に類似する。覆土 覆土は黒褐色土を主体とする4層だが、底面の小ピットを含む土坑の掘り返しも考えられ、併せて人為的堆積かどうか不明である。出土遺物 出土遺物はなく、時期は不明である。

SK-382 (第100図 第6表 図版一二)

位置 中央から南東のR17グリッドで、北東9mにSK-418、西10.5mにSK-247、南東10mにSK-305、南西5mにSB-386が各々位置する。形状・規模 確認面の長径は0.65m、短径0.6mの方形で、深さ0.31mであるが、この方形土坑を中心として東・西・北の三方へ、土坑と同じ幅で、深さは最深部で中央部よりも10~20cm深く挟まれる挟み込み土坑と言える。覆土 覆土はローム土を主体と黄褐色土で人為的堆積である。出土遺物 出土遺物はなく、時期は不明である。

SK-383 (第100図 第6表 図版一二)

位置 中央から北のO10グリッドで、西に隣接してSI-03、北西3mにSK-185が位置する。形状・規模 確認面の長径は1.5m、短径1.15mで不正の楕円形である。底面中央に径28×40cm、深さは底面から33cmの小ピットが存在する。このため断面は確認面からの残存深度0.7mで逆凸状とも言える。壁は底面からやや外傾気味に立ち上がり、底面はほぼ平坦に整えられている。形態的にSK-330・338に類似する。覆土 底面中央の小ピットは、まず黒褐色土で底面を整えたかのように水平堆積している。その後黄褐色土で埋め戻されたと思われる。土坑全体もローム土主体の土層であり、人為的堆積と思われる。出土遺物 出土遺物はなく、時期は不明である。

SK-393 (第100図 第6表)

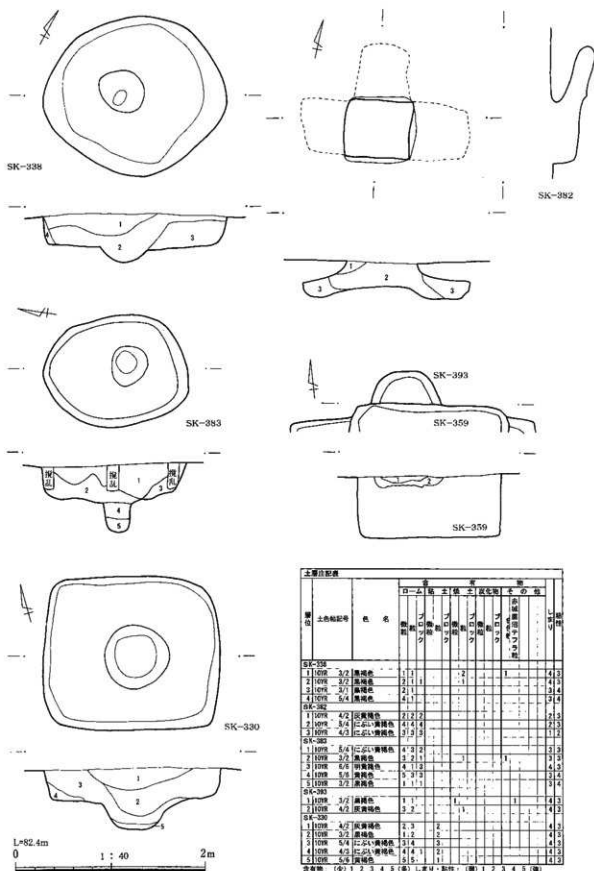
位置 中央から北東の調査区端部R11グリッドで、南東2mにSK-306、南西5mにSI-04、西6mにSB-385、北西6mにSK-308、が各々位置する。重複遺構 近世以降の方形土坑SK-359に土坑南側を切られている。形状・規模 確認面の残存する長径は0.74m、短径0.34mで不正の楕円形と思われる。断面は残存深度0.11mと浅い鍋底状である。壁は底面から湾曲しながら立ち上がる。底面も楕円形と思われるが、凹凸している。覆土 2層の自然堆積とである。出土遺物 出土遺物はなく、時期は不明である。

SK-418 (第101図 第6表 図版一二)

位置 中央から南東の道路際S16グリッドで、道路を挟んだ東7mにSK-678、南西9mにSE-382が位置する。形状・規模 確認面の長径は1.21m、短径1.13mでやや歪んだ不整の円形である。断面は残存深度0.22mと浅く鍋底状である。壁は底面からやや湾曲しながら立ち上がる。底面も不整の円形で、中央部がやや深くなる。覆土 第1次堆積である壁面崩落と思われる黄褐色土が堆積した後、ローム土主体の黄褐色土の埋め戻しと思われる。出土遺物 出土遺物はなく、時期は不明である。

SK-507 (第101図 第6表 図版一二)

位置 中央から北西の調査区西端部G8グリッドで、南2.5mにSK-508、東14mにSI-503が各々位置する。形状・規模 確認面の長径は0.85m、短径0.78mで不正の円形である。土坑中央部に円形ピットの攪乱を受けているため残存深度0.1mで、断面は中央が深くなる鍋底状と思われる。壁は底面から湾曲しながら立ち上がる。覆土 覆土は1層褐色土で、人為的堆積とも考えられる。出土遺物 出土遺物はなく、時期は不明である。



第100図 土坑実測図(3)

SK-508 (第101図 第6表 図版一二)

位置 中央から北西の調査区西端部G8グリッドで、北2.5mにSK-507、北東14mにSI-503が各々位置する。形状・規模 確認面の長径は0.88m、短径0.81mで楕円形である。断面は残存深度0.55mと中央が深くなる逆円錐形であり、壁は底面から外傾しながら立ち上がるが、壁面の途中に段を持つ。覆土 覆土は1層灰黄褐色土で、人為的堆積とも考えられる。出土遺物 出土遺物はなく、時期は不明である。

SK-518 (第101図 第6表)

位置 中央から北西のI8グリッドで、北10mにSI-503、西2mにSK-527が位置する。重複遺構 土坑北側が溝のSD-30に切られている。形状・規模 確認面の残存する長径は0.74m、短径0.62mで歪んでいるため不整形といえる。断面は残存深度0.18mと浅く、壁は底面から湾曲しながら立ち上がる。覆土 覆土はローム土主体の2層であるが、自然堆積と思われる。出土遺物 出土遺物はなく、時期は不明である。

SK-519 (第101図 第6表)

位置 中央から西のG11グリッドで、南西1mにSI-501が近接し、西7.5mにSI-502、南東8mにSK-13が各々位置する。形状・規模 確認面の残存する長径は0.7m、短径0.62mで不整の円形である。断面は中央部が深くなる残存深度0.31mの逆円錐形である。壁は底面から湾曲しながら立ち上がる。覆土 覆土はローム土主体の2層で、柱等円筒形の物を埋めたかのように思われる。出土遺物 出土遺物はなく、時期は不明である。

SK-521a・b (第101図 第6表)

位置 中央から西のG11グリッドで、北東5mにSK-519、東9mにSK-13が位置する。重複遺構 SI-501の南東コーナー部分を切っている。また521bが521aを切っている。形状・規模 521a・bとも方形土坑と思われるが、遺構の南側大半が調査区外となり、北コーナー部分のみ確認されている。521aの確認面の残存する長径は1.6m、短径0.44mである。断面は残存深度0.75mと深く、壁は崩れも看られるがほぼ垂直に立ち上がる。521bの確認面の残存する長径は0.85m、短径0.17mである。断面は残存深度0.83mと一部521aよりも深く、壁は同様にほぼ垂直に立ち上がる。覆土 521a・bとも表土直下から掘り込まれている。2土坑とも1層で、埋め戻しである。出土遺物 出土遺物はなく、時期は不明である。

SK-527 (第101図 第6表)

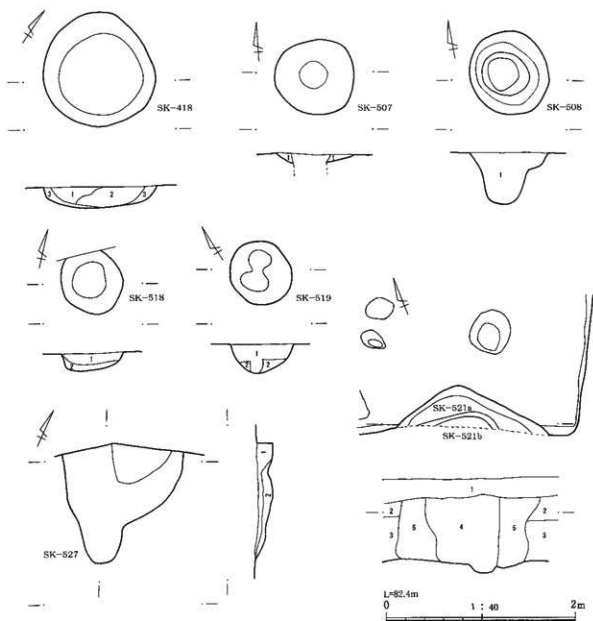
位置 中央から北西のH9グリッドで、東2mにSK-518、南2.5mにSK-528が位置する。重複遺構 土坑北側が溝のSD-30に切られている。形状・規模 確認面の残存する長径は1.25m、短径1.25mで崩れもあるのか不整の楕円形といえる。断面は残存深度0.2mと浅く、壁は底面から大きく外形しながら立ち上がる逆台形状である。覆土 覆土は2層で自然堆積と思われる。出土遺物 出土遺物はなく、時期は不明である。

SK-528 (第102 第6表)

位置 中央から北西のH9グリッドで、南7mにSI-502、北2.5mにSK-527が位置する。重複遺構 土坑南側が溝のSD-31に切れ、北側が攪乱を受けている。形状・規模 確認面の残存する長径は0.38m、短径0.44mで不整の楕円形といえる。断面は残存深度0.13mと浅く、壁は底面からほぼ垂直気味に立ち上がる鍋底状である。覆土 覆土はローム土主体の1層で人為的堆積と思われる。出土遺物 出土遺物はなく、時期は不明である。

SK-614 (第102 第6表)

位置 中央から南東のT14グリッドで、東11mにSK-642、南東8mにSK-651、南西7mにSK-627が各々位置する。形状・規模 確認面の残存する長径は1.58m、短径1.1mで、崩れ又は攪乱を受けたものか不整



土層注記表									
層位	土色・土質記号	色	地	ローソク	灰	土	灰化物	その他	備考
SK-418	1 109R	4/2	灰黄褐色	2	1				3 3
	2 109R	5/2	にぶい黄褐色	3	1	1			3 3
	3 109R	6/4	にぶい黄褐色	4	2				3 3
SK-507	1 109R	4/4	褐色	4	2				4 2

含有物：(少) 1 2 3 4 5 (多) しまり・粘性：(弱) 1 2 3 4 5 (強)

土層注記表									
層位	土色・土質記号	色	地	ローソク	灰	土	灰化物	その他	備考
SK-508	1 107R	4/2	灰黄褐色	1	1	2			2 5
SK-518	1 109R	4/2	にぶい黄褐色	3	2				4 3
	2 107R	5/4	にぶい黄褐色	4	2	2			4 4
SK-519	1 109R	4/2	灰黄褐色	3	2	1			4 3
	2 107R	5/5	黄褐色	1	2	3			5 4
SK-521	1 109R	3/3	黒褐色						3 3
	2 109R	3/2	黒褐色	1	1				4 3
	3 109R	4/2	灰黄褐色	4	2				4 4
	4 109R	4/4	褐色	3	2	3			3 3
SK-527	1 109R	3/3	黒褐色	1	2	1			2 3
SK-527	1 109R	3/2	黒褐色						2 3
	2 109R	4/2	灰黄褐色	2	2	2			2 3

含有物：(少) 1 2 3 4 5 (多) しまり・粘性：(弱) 1 2 3 4 5 (強)

第101図 土坑実測図(4)

形である。断面は中央部が鍋底状に深くなるが、残存深度は0.26mと浅い。壁は底面からなだらかに立ち上る。**覆土** 覆土はローム土主体の1層で人為的の堆積と思われる。**出土遺物** 出土遺物はなく、時期は不明である。

SK-642 (第102 第6表 図版一二)

位置 中央から南東の調査区東端部V14グリッドで、西11mにSK-614、南西5mにSK-651が位置する。**形状・規模** 確認面の残存する長径は1.8m、短径1.3mで、やや西側に膨らむ長楕円形である。断面は残存深度0.6mで中央部が鍋底状に深くなる。壁は底面からなだらかに立ち上る。**覆土** 覆土は2層であるが、下面のローム土主体の褐色土で大半が埋没しているため、人為的の堆積と思われる。**出土遺物** 出土遺物はなく、時期は不明である。

SK-651 (第102 第6表 図版一三)

位置 中央から南東のU15グリッドで、西12mにSK-627、北東5mにSK-642、北西8mにSK-614が各々位置する。**重複遺構** 土坑東側が近世以降の方形土坑SK-650を切っているが、形状を確認することはできなかった。**形状・規模** 確認面の残存する長径は0.55m、短径0.19mである。断面は残存深度0.14mで、壁は底面から外傾しながら立ち上る逆台形状である。**覆土** 覆土は暗褐色土1層で、自然堆積と思われるが不明である。**出土遺物** 出土遺物はなく、時期は不明である。

C区

SK-811 (第104 第6表)

位置 調査区北壁際の第1トレンチ中央部からやや東側で、約10m東にSK-823が位置する。**重複遺構** 近世以降の方形土坑SK-812に切られる。**形状・規模** トレンチ土層確認であるが、確認面の残存する長径は0.78m、残存深度0.38mで、壁は底面から外傾しながら立ち上がる。底面にはやや凹凸が看られる。**覆土** 覆土は3層で、ローム土主体の灰黄褐色土の人為的の堆積と思われる。**出土遺物** 出土遺物はなく、時期は不明である。

SK-813 (第104 第6表)

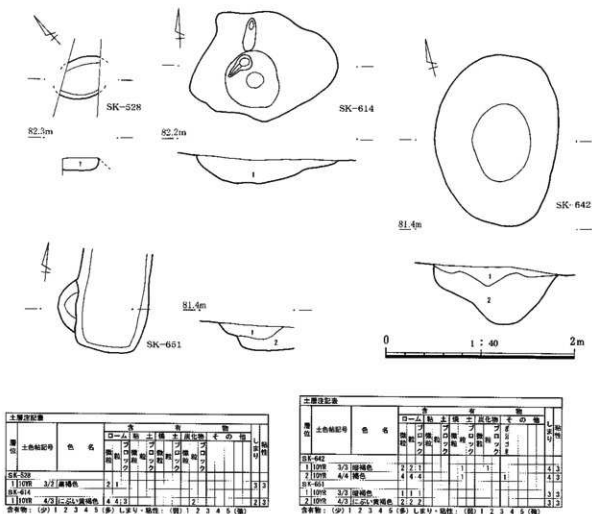
位置 調査区西部の第5トレンチ内東側で、約5m北にSK-826が位置する。**形状・規模** トレンチ土層確認であるが、確認面の残存する長径は0.94m、残存深度0.26mで、壁は底面から外傾しながら立ち上がる。底面にはやや凹凸が看られる。**覆土** 覆土は1層で、ローム土主体の灰黄褐色土の人為的の堆積と思われる。**出土遺物** 出土遺物はなく、時期は不明である。

SK-814 (第104 第6表)

位置 調査区南端部の第6トレンチ内西側に位置する。**形状・規模** トレンチ土層確認であるが、確認面の残存する長径は1.46m、中央部東側が深くなる鍋底状の断面で残存深度0.24m、壁は底面から大きく外傾しながら立ち上がる。**覆土** 覆土は黒褐色土の1層で、人為的の堆積と思われる。**出土遺物** 出土遺物はなく、時期は不明である。

SK-819 (第105 第6表)

位置 調査区南端部の第6トレンチ内中央やや東側に位置する。約1m西にSK-818が位置する。**形状・規模** トレンチ内を横断しているため、土坑の南・北部が不明であった。確認面の残存する短径は0.58mの長方形形状と思われる。残存深度0.22mで、壁は底面からほぼ垂直に立ち上がる。底面はほぼ平坦に整えられている。**覆土** 覆土は灰黄褐色土の1層で、人為的の堆積と思われる。**出土遺物** 出土遺物はなく、時期は不明であるが、遺構掘り込み面はⅡ層下面のローム漸移層上面であった。



第102図 土坑実測図(5)

SK-820 (第105 第6表)

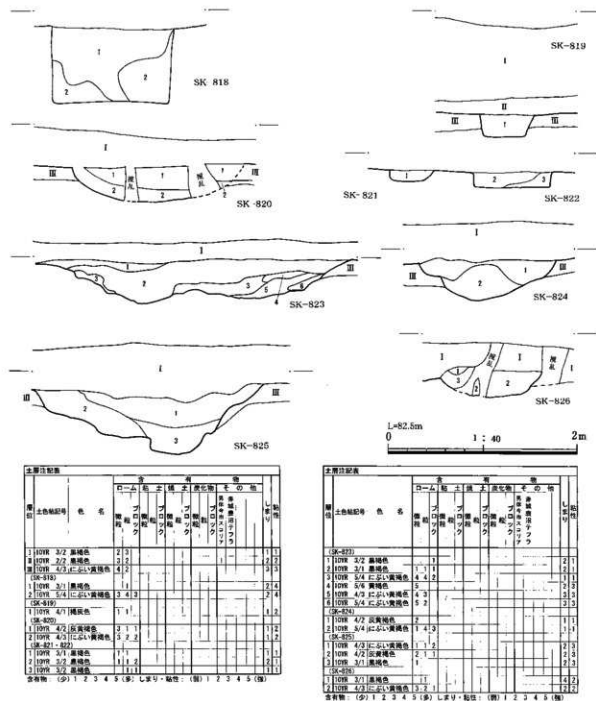
位置 調査区中央部の第4トレンチ内中央やや東側に位置する。形状・規模 トレンチ内を横断しているため、土坑の南・北部が不明であった。確認面の残存する短径はやや斜め方向だが1.82mで、不整の長方形形状と思われる。壁は底面から湾曲しながら立ち上がる鍋底状で、残存深度0.37mである。覆土 覆土はローム土主体の黄褐色土であるが、自然堆積と思われる。出土遺物 出土遺物はなく、時期は不明である。

SK-821 (第105 第6表)

位置 調査区北壁際の第1トレンチ中央部からやや東側で、東側に近接してSK-822が位置する。形状・規模 トレンチ内を横断しているため、土坑の南・北部が不明であった。確認面の残存する短径は0.48mの長方形形状と思われる。残存深度0.12mと浅く、壁は底面から外傾しながら立ち上がる。底面はほぼ平坦に整えられている。覆土 覆土は黒褐色土の1層で、人為的の堆積と思われる。出土遺物 出土遺物はなく、時期は不明である。

SK-822 (第105 第6表)

位置 調査区北壁際の第1トレンチ中央部からやや東側で、西側に近接してSK-821が位置する。形状・規模



第105図 C区遺構実測図(3)

確認される。覆土 覆土は黄褐色土の2層で、人為的の堆積と思われる。出土遺物 出土遺物はなく、時期は不明である。

SK-825 (第105 第6表)

位置 調査区北壁際の第1トレンチ中央部からやや西側で、西側約5mにSK-824が位置する。形状・規模 トレンチ内を横断しているため、土坑の南・北部が不明であった。確認面の残存する短径はやや斜め方向だが2.44mと広く、不整形と思われる。壁は底面から湾曲しながら立ち上がる鍋底状で、残存深度0.72mで

ある。なお壁面の凹凸は激しい。覆土 覆土は3層の自然堆積と思われるが、土坑の重複も考えられる。出土遺物 出土遺物はなく、時期は不明である。

SK-826 (第105 第6表)

位置 調査区中央部の第4トレンチ内中央から西側に位置する。形状・規模 トレンチ内を横断しているため、土坑の南・北部が不明であった。確認面の残存する短径は1.08mで、不整形と思われる。壁は底面から湾曲しながら立ち上がる鍋底状で、残存深度0.28mである。覆土 上層からの攪乱が激しいが、3層が確認され自然堆積と思われた。出土遺物 出土遺物はなく、時期は不明である。

エ 柱穴状ピット (第106～116図 第21～23表)

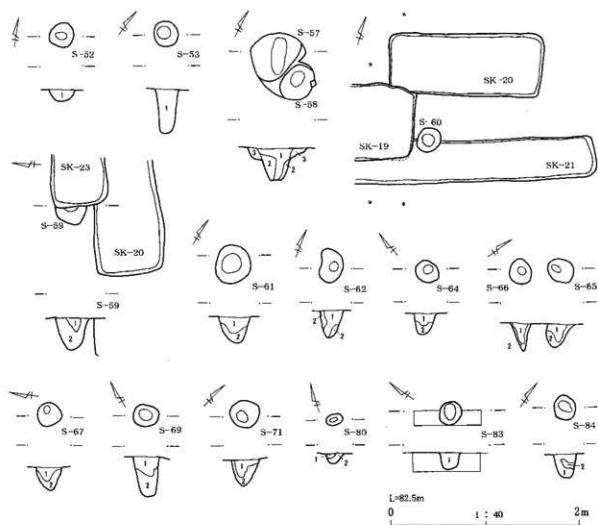
B区

本調査区内において、単独では遺構と確認できなかった小ピットを略称Sを付け柱穴状ピットとして調査した。柱穴状ピットは調査区内の全域で確認されたが、北東端部のSD-30とSD-74に囲まれた区域、SD-31とSD-242の間の区域、南西端部及び東端部の区域で多く確認された。言い換えれば遺構の希薄な区域であり、各遺構との重複を避けているとも推察される。

柱穴状ピットの規模は、確認面の長径0.15～0.7m、短径0.12～0.45m、深さ0.05～0.68mであり、大きさにばらつきが看られた。形状については、断面が円筒形のものと堀方が不整形のものが存在した。覆土については、締まりが強いもの、締まりがやや弱いもの、非常にふかふかの状態で弱いものが観察された。このため、形状と覆土の状態から、各々柱穴状ピット (第106～111図 第21表)、柱穴状ピットの可能性のあるもの (第112・113図 第22表)、近世以降と思われるもの (第114～116図 第23表) に分けて掲載した。

オ 方形土坑 (近世以降栽培根茎類貯蔵穴) (第117～127図 第24表)

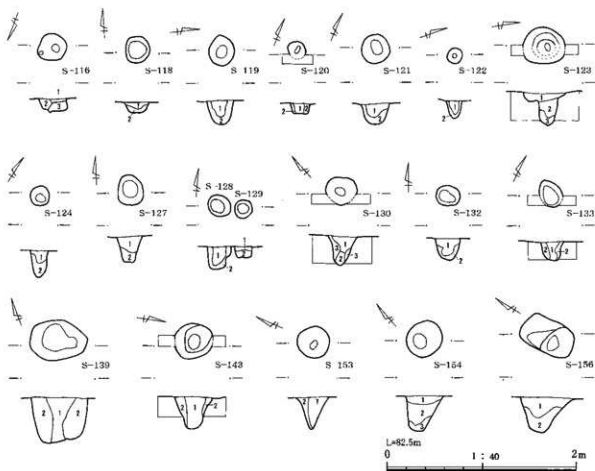
本調査区内において確認された方形土坑の内、近世以降栽培根茎類貯蔵穴-所謂イモ穴は、B区で122基、C区で6基確認された。B区においては、調査区中央部と中央部から南側で土坑の長軸を東西方向に向け、並ぶように確認された。畑地等の土地利用に関係していたものと考えられる。C区においても調査区東端部に4基が纏まっていた。遺構並びは不揃いであるが、纏まっていることはB区同様に土地利用に関係していると推定された。形状、規模、特徴等については一覧表として掲載した。



土器記号			土 器 の 種 別										数量
土器記号	色 名		ローム 土	粘 土	土 質	土 質	土 質	土 質	土 質	土 質	土 質	土 質	
(SK-52)	110R	3/1 黒褐色	3	2									3
(SK-53)	110R	3/1 黒褐色	4	1									5
(SK-57・58)	110R	3/1 黒褐色	2	1									3
(SK-59)	210R	5/4 に近い黄褐色	2	1									3
(SK-60)	210R	5/4 に近い黄褐色	3	1									4
(SK-61)	210R	5/4 に近い黄褐色	3	1									4
(SK-62)	210R	5/4 に近い黄褐色	4	3									7
(SK-63)	110R	4/2 に近い黄褐色	3	3	1								7
(SK-64)	210R	5/4 に近い黄褐色	5	3	2								10
(SK-65)	110R	4/2 に近い黄褐色	2	2									4
(SK-66)	110R	5/4 に近い黄褐色	4	2	1								7
(SK-67)	110R	3/2 黒褐色	1	2									3
(SK-68)	110R	5/4 に近い黄褐色	1	1	1								3
(SK-69)	110R	3/2 黒褐色	2	1									3
(SK-70)	110R	3/2 黒褐色	3	2									5
(SK-71)	110R	3/2 黒褐色	4	1									5
(SK-72)	110R	3/2 黒褐色	3	2									5
(SK-73)	110R	3/2 黒褐色	4	1									5
(SK-74)	110R	3/2 黒褐色	3	2									5
(SK-75)	110R	3/2 黒褐色	3	2									5
(SK-76)	110R	3/2 黒褐色	3	2									5
(SK-77)	110R	3/2 黒褐色	3	2									5
(SK-78)	110R	3/2 黒褐色	3	2									5
(SK-79)	110R	3/2 黒褐色	3	2									5
(SK-80)	110R	3/2 黒褐色	3	2									5
(SK-81)	110R	3/2 黒褐色	3	2									5
(SK-82)	110R	3/2 黒褐色	3	2									5
(SK-83)	110R	3/2 黒褐色	3	2									5
(SK-84)	110R	3/2 黒褐色	3	2									5
(SK-85)	110R	3/2 黒褐色	3	2									5
(SK-86)	110R	3/2 黒褐色	3	2									5
(SK-87)	110R	3/2 黒褐色	3	2									5
(SK-88)	110R	3/2 黒褐色	3	2									5
(SK-89)	110R	3/2 黒褐色	3	2									5
(SK-90)	110R	3/2 黒褐色	3	2									5
(SK-91)	110R	3/2 黒褐色	3	2									5
(SK-92)	110R	3/2 黒褐色	3	2									5
(SK-93)	110R	3/2 黒褐色	3	2									5
(SK-94)	110R	3/2 黒褐色	3	2									5
(SK-95)	110R	3/2 黒褐色	3	2									5
(SK-96)	110R	3/2 黒褐色	3	2									5
(SK-97)	110R	3/2 黒褐色	3	2									5
(SK-98)	110R	3/2 黒褐色	3	2									5
(SK-99)	110R	3/2 黒褐色	3	2									5
(SK-100)	110R	3/2 黒褐色	3	2									5

土器目録表			土 器 類										土 器 目 録																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
土器記号	土器名	色 名	土 器 類										土 器 目 録																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
			土 器 類	土 器 目 録	土 器 目 録	土 器 目 録	土 器 目 録	土 器 目 録	土 器 目 録	土 器 目 録	土 器 目 録	土 器 目 録	土 器 目 録	土 器 目 録																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
(SK-44)	110R	3/2	黒褐色	2	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															

第106図 柱穴ピット実測図(1)



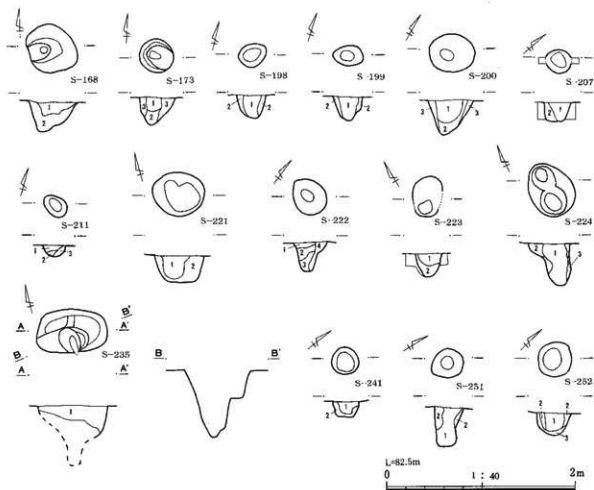
土層分布表									
層別	土色・地質記号	色	名	ローム	黒土	赤土	黄土	灰土	その他
(S-116)	1.10R	3/2	黒褐色	2					2.3
2.10R	3/2	黒褐色	1.1						2.3
3.10R	4/2	にぶい黄褐色	3.1						2.3
(S-117)	1.10R	4/2	灰黄褐色	3.1					3.3
2.10R	5/4	にぶい黄褐色	4.1						3.3
(S-118)	1.10R	4/2	灰黄褐色	2.1					2.2
2.10R	5/4	にぶい黄褐色	3.1.1						2.2
(S-120)	1.10R	4/2	灰黄褐色	3.1					3.3
2.10R	5/4	にぶい黄褐色	4						3.3
(S-121)	1.10R	4/2	灰黄褐色	3.1.1					3.4
2.10R	5/4	黄褐色	5.1						3.4
(S-122)	1.10R	4/2	灰黄褐色	3.1					3.3
2.10R	5/4	にぶい黄褐色	5						4.4
(S-123)	1.10R	4/2	灰黄褐色	3.1					3.3
2.10R	3/2	黒褐色	4.2.1						2.3
3.10R	5/4	にぶい黄褐色	4.3						3.4
(S-124)	1.10R	3/2	黒褐色	3.1					2.3
2.10R	5/4	にぶい黄褐色	4.2.2						3.4
(S-127)	1.10R	3/2	黒褐色	3.2					5.5
2.10R	5/4	にぶい黄褐色	4.2.1						3.3
(S-128)	1.10R	3/1	黒褐色	1.1					5.4
2.10R	5/4	にぶい黄褐色	2.1						5.4

注：(S) 1 2 3 4 5 (S) L・R・V・色：(R) 1 2 3 4 5 (S)

土層分布表									
層別	土色・地質記号	色	名	ローム	黒土	赤土	黄土	灰土	その他
(S-129)	1.10R	3/2	黒褐色	2.1.1					3.3
2.10R	5/4	にぶい黄褐色	4.1						3.3
(S-130)	1.10R	5/2	灰黄褐色	3.1.1					3.7
2.10R	3/2	黒褐色	2.2						4.4
3.10R	5/2	にぶい黄褐色	4						4.4
(S-132)	1.10R	4/2	灰黄褐色	3.2					4.3
2.10R	5/4	にぶい黄褐色	4.1						3.4
(S-133)	1.10R	4/2	灰黄褐色	3.2					4.3
2.10R	5/4	にぶい黄褐色	4.1						3.3
(S-134)	1.10R	3/2	黒褐色	2.2					4.3
2.10R	3/1	黒褐色	1.1						5.2
(S-135)	1.10R	3/2	黒褐色	1.1					3.3
2.10R	4/2	灰黄褐色	3.1						2.3
(S-136)	1.10R	3/2	黒褐色	1.1.1					3.3
2.10R	4/2	灰黄褐色	1.1.2						3.3
3.10R	5/2	にぶい黄褐色	3.3						3.4
(S-140)	1.10R	3/2	黒褐色	2.1					3.3
2.10R	5/4	にぶい黄褐色	2.2.3						3.4

注：(S) 1 2 3 4 5 (S) L・R・V・色：(R) 1 2 3 4 5 (S)

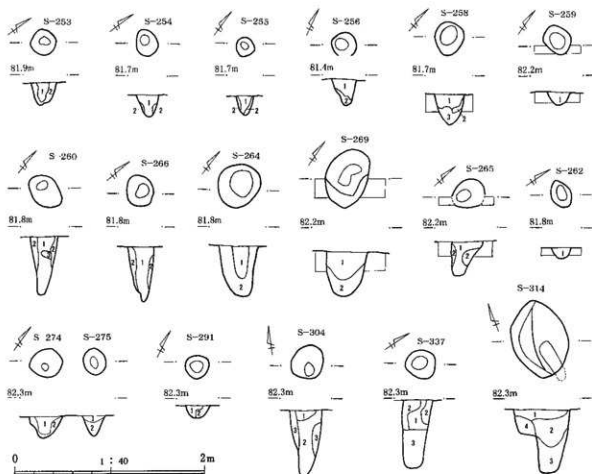
第107図 柱穴状ビット実測図(2)



染料名		色 名						備 考	
染料 番号	色 名	色 名						備 考	備 考
		ローマ 番号	赤 色	黄 色	緑 色	青 色	紫 色		
5-100	1)100 4/2 深黄褐色	2	2	1				4	3
5-101	1)100 6/4 近い黄褐色	4	1					3	2
5-102	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-103	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-104	1)100 3/2 黄褐色	4	1					3	2
5-105	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-106	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-107	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-108	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-109	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-110	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-111	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-112	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-113	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-114	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-115	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-116	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-117	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-118	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-119	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-120	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-121	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-122	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-123	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-124	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-125	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-126	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-127	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-128	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-129	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-130	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-131	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-132	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-133	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-134	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-135	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-136	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-137	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-138	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-139	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-140	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-141	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-142	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-143	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-144	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-145	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-146	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-147	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-148	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-149	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-150	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-151	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-152	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-153	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-154	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-155	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-156	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-157	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-158	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-159	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-160	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-161	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-162	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-163	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-164	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-165	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-166	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-167	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-168	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-169	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-170	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-171	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-172	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-173	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-174	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-175	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-176	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-177	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-178	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-179	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-180	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-181	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-182	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-183	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-184	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-185	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-186	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-187	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-188	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-189	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-190	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-191	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-192	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-193	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-194	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-195	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-196	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-197	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-198	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-199	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-200	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-201	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-202	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-203	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-204	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-205	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-206	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-207	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-208	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-209	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-210	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-211	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-212	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-213	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-214	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-215	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-216	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-217	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-218	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-219	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-220	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-221	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-222	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-223	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-224	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-225	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-226	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-227	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-228	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-229	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-230	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-231	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-232	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-233	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-234	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-235	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-236	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-237	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-238	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-239	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-240	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-241	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-242	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-243	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-244	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-245	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-246	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-247	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-248	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-249	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-250	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-251	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-252	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-253	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-254	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-255	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-256	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-257	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-258	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-259	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-260	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-261	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-262	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-263	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-264	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-265	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-266	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-267	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-268	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-269	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-270	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-271	1)100 3/2 黄褐色	2	2					3	3
5-272									

土質検査結果		土質						
土色検査記号	色 名	土質						
		ローム	粘土	シルト	粘土	砂	その他	備考
土質記号	色 名	ローム	粘土	シルト	粘土	砂	その他	備考
(G-292)								
1109R	4/2 に近い黄褐色	2	1					2
2109R	3/2 黄褐色		1	2				3
3109R	4/2 灰黄褐色	3	1		1			5
4109R	4/2 に近い黄褐色	4	1					6
(G-293)								
1109R	4/2 に近い黄褐色	2	1					3
2109R	3/2 黄褐色		1	2				3
(G-294)								
1109R	3/2 黄褐色		2	1				3
2109R	4/2 灰黄褐色		3	1				4
3109R	5/2 黄褐色		4	1				5
(G-296)								
1109R	4/2 灰黄褐色	2	1					3
(G-297)								
1109R	4/2 灰黄褐色	2	1					3
2109R	5/2 に近い黄褐色		3	1				4
(G-298)								
1109R	3/2 黄褐色		2	1				3
2109R	4/2 に近い黄褐色		4	1				5
(G-299)								
1109R	3/1 黄褐色		2		1			3
2109R	2/1 灰黄褐色		3		1			4
3109R	2/1 に近い黄褐色		4		1			5
4109R	3/1 黄褐色		5		1			6
5109R	4/1 黄褐色		6		1			7
6109R	5/1 黄褐色		7		1			8
7109R	6/1 黄褐色		8		1			9
8109R	7/1 黄褐色		9		1			10
9109R	8/1 黄褐色		10		1			11
10109R	9/1 黄褐色		11		1			12
11109R	10/1 黄褐色		12		1			13
12109R	11/1 黄褐色		13		1			14
13109R	12/1 黄褐色		14		1			15
14109R	13/1 黄褐色		15		1			16
15109R	14/1 黄褐色		16		1			17
16109R	15/1 黄褐色		17		1			18
17109R	16/1 黄褐色		18		1			19
18109R	17/1 黄褐色		19		1			20
19109R	18/1 黄褐色		20		1			21
20109R	19/1 黄褐色		21		1			22
21109R	20/1 黄褐色		22		1			23
22109R	21/1 黄褐色		23		1			24
23109R	22/1 黄褐色		24		1			25
24109R	23/1 黄褐色		25		1			26
25109R	24/1 黄褐色		26		1			27
26109R	25/1 黄褐色		27		1			28
27109R	26/1 黄褐色		28		1			29
28109R	27/1 黄褐色		29		1			30
29109R	28/1 黄褐色		30		1			31
30109R	29/1 黄褐色		31		1			32
31109R	30/1 黄褐色		32		1			33
32109R	31/1 黄褐色		33		1			34
33109R	32/1 黄褐色		34		1			35
34109R	33/1 黄褐色		35		1			36
35109R	34/1 黄褐色		36		1			37
36109R	35/1 黄褐色		37		1			38
37109R	36/1 黄褐色		38		1			39
38109R	37/1 黄褐色		39		1			40
39109R	38/1 黄褐色		40		1			41
40109R	39/1 黄褐色		41		1			42
41109R	40/1 黄褐色		42		1			43
42109R	41/1 黄褐色		43		1			44
43109R	42/1 黄褐色		44		1			45
44109R	43/1 黄褐色		45		1			46
45109R	44/1 黄褐色		46		1			47
46109R	45/1 黄褐色		47		1			48
47109R	46/1 黄褐色		48		1			49
48109R	47/1 黄褐色		49		1			50
49109R	48/1 黄褐色		50		1			51
50109R	49/1 黄褐色		51		1			52
51109R	50/1 黄褐色		52		1			53
52109R	51/1 黄褐色		53		1			54
53109R	52/1 黄褐色		54		1			55
54109R	53/1 黄褐色		55		1			56
55109R	54/1 黄褐色		56		1			57
56109R	55/1 黄褐色		57		1			58
57109R	56/1 黄褐色		58		1			59
58109R	57/1 黄褐色		59		1			60
59109R	58/1 黄褐色		60		1			61
60109R	59/1 黄褐色		61		1			62
61109R	60/1 黄褐色		62		1			63
62109R	61/1 黄褐色		63		1			64
63109R	62/1 黄褐色		64		1			65
64109R	63/1 黄褐色		65		1			66
65109R	64/1 黄褐色		66		1			67
66109R	65/1 黄褐色		67		1			68
67109R	66/1 黄褐色		68		1			69
68109R	67/1 黄褐色		69		1			70
69109R	68/1 黄褐色		70		1			71
70109R	69/1 黄褐色		71		1			72
71109R	70/1 黄褐色		72		1			73
72109R	71/1 黄褐色		73		1			74
73109R	72/1 黄褐色		74		1			75
74109R	73/1 黄褐色		75		1			76
75109R	74/1 黄褐色		76		1			77
76109R	75/1 黄褐色		77		1			78
77109R	76/1 黄褐色		78		1			79
78109R	77/1 黄褐色		79		1			80
79109R	78/1 黄褐色		80		1			81
80109R	79/1 黄褐色		81		1			82
81109R	80/1 黄褐色		82		1			83
82109R	81/1 黄褐色		83		1			84
83109R	82/1 黄褐色		84		1			85
84109R	83/1 黄褐色		85		1			86
85109R	84/1 黄褐色		86		1			87
86109R	85/1 黄褐色		87		1			88
87109R	86/1 黄褐色		88		1			89
88109R	87/1 黄褐色		89		1			90
89109R	88/1 黄褐色		90		1			91
90109R	89/1 黄褐色		91		1			92
91109R	90/1 黄褐色		92		1			93
92109R	91/1 黄褐色		93		1			94
93109R	92/1 黄褐色		94		1			95
94109R	93/1 黄褐色		95		1			96
95109R	94/1 黄褐色		96		1			97
96109R	95/1 黄褐色		97		1			98
97109R	96/1 黄褐色		98		1			99
98109R	97/1 黄褐色		99		1			100
99109R	98/1 黄褐色		100		1			101
100109R	99/1 黄褐色		101		1			102
101109R	100/1 黄褐色		102		1			103
102109R	101/1 黄褐色		103		1			104
103109R	102/1 黄褐色		104		1			105
104109R	103/1 黄褐色		105		1			106
105109R	104/1 黄褐色		106		1			107
106109R	105/1 黄褐色		107		1			108
107109R	106/1 黄褐色		108		1			109
108109R	107/1 黄褐色		109		1			110
109109R	108/1 黄褐色		110		1			111
110109R	109/1 黄褐色		111		1			112
111109R	110/1 黄褐色		112		1			113
112109R	111/1 黄褐色		113		1			114
113109R	112/1 黄褐色		114		1			115
114109R	113/1 黄褐色		115		1			116
115109R	114/1 黄褐色		116		1			117
116109R	115/1 黄褐色		117		1			118
117109R	116/1 黄褐色		118		1			119
118109R	117/1 黄褐色		119		1			120
119109R	118/1 黄褐色		120		1			121
120109R	119/1 黄褐色		121		1			122
121109R	120/1 黄褐色		122		1			123
122109R	121/1 黄褐色		123		1			124
123109R	122/1 黄褐色		124		1			125
124109R	123/1 黄褐色		125		1			126
125109R	124/1 黄褐色		126		1			127
126109R	125/1 黄褐色		127		1			128
127109R	126/1 黄褐色		128		1			129
128109R	127/1 黄褐色		129		1			130
129109R	128/1 黄褐色		130		1			131
130109R	129/1 黄褐色		131		1			132
131109R	130/1 黄褐色		132		1			133
132109R	131/1 黄褐色		133		1			134
133109R	132/1 黄褐色		134		1			135
134109R	133/1 黄褐色		135		1			136
135109R	134/1 黄褐色		136		1			137
136109R	135/1 黄褐色		137		1			138
137109R	136/1 黄褐色		138		1			139
138109R	137/1 黄褐色		139		1			140
139109R	138/1 黄褐色		140		1			141
140109R	139/1 黄褐色		141		1			142
141109R	140/1 黄褐色		142		1			143
142109R	141/1 黄褐色		143		1			144
143109R	142/1 黄褐色		144		1			145
144109R	143/1 黄褐色		145		1			146
145109R	144/1 黄褐色		146		1			147
146109R	145/1 黄褐色		147		1			148
147109R	146/1 黄褐色		148		1			149
148109R	147/1 黄褐色		149		1			150
149109R	148/1 黄褐色		150		1			151
150109R	149/1 黄褐色		151		1			152
151109R	150/1 黄褐色		152		1			153
152109R	151/1 黄褐色		153		1			154
153109R	152/1 黄褐色		154		1			155
154109R	153/1 黄褐色		155		1			156
155109R	154/1 黄褐色		156		1			157
156109R	155/1 黄褐色		157		1			158
157109R	156/1 黄褐色		158		1			159
158109R	157/1 黄褐色		159		1			160
159109R	158/1 黄褐色		160		1			161
160109R	159/1 黄褐色		161		1			162
161109R	160/1 黄褐色		162		1			163
162109R	161/1 黄褐色		163		1			164
163109R	162/1 黄褐色		164		1			165
164109R	163/1 黄褐色		165		1			166
165109R	164/1 黄褐色		166		1			167
166109R	165/1 黄褐色		167		1			168
167109R	166/1 黄褐色		168		1			169
168109R	167/1 黄褐色		169		1			170
169109R	168/1 黄褐色		170		1			171
170109R	169/1 黄褐色		171		1			172
171109R	170/1 黄褐色		172		1			173
172109R								

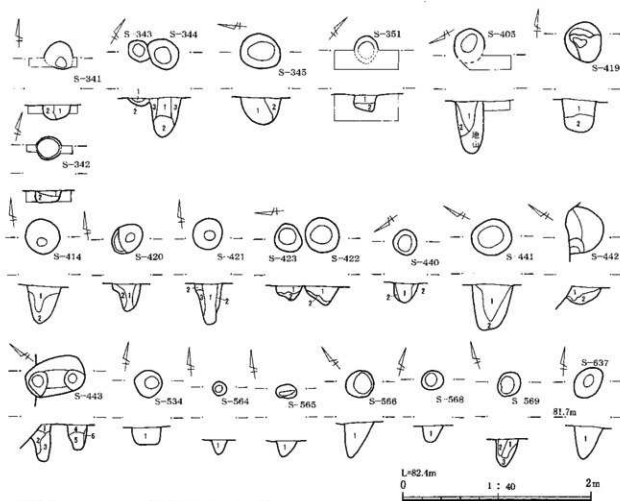
第108図 柱穴状ビット実測図(3)



土層注記表									
層別	土層記号	色	名	ローム	粘土	砂	礫	土層	その他
(S-253)	110R	3/2	黒褐色						
210R	5/4	にぶい黄褐色							
(S-254)	110R	3/2	黒褐色						
210R	5/4	にぶい黄褐色							
(S-255)	110R	3/2	黒褐色						
210R	5/4	にぶい黄褐色							
(S-256)	110R	3/2	黒褐色						
210R	5/4	にぶい黄褐色							
(S-258)	110R	3/2	黒褐色						
210R	5/4	にぶい黄褐色							
(S-259)	110R	3/2	黒褐色						
210R	5/4	にぶい黄褐色							
(S-260)	110R	3/2	黒褐色						
210R	5/4	にぶい黄褐色							
(S-266)	110R	3/2	黒褐色						
210R	5/4	にぶい黄褐色							
(S-264)	110R	3/2	黒褐色						
210R	5/4	にぶい黄褐色							
(S-269)	110R	3/2	黒褐色						
210R	5/4	にぶい黄褐色							
(S-265)	110R	3/2	黒褐色						
210R	5/4	にぶい黄褐色							
(S-262)	110R	3/2	黒褐色						
210R	5/4	にぶい黄褐色							
(S-274)	110R	3/2	黒褐色						
210R	5/4	にぶい黄褐色							
(S-275)	110R	3/2	黒褐色						
210R	5/4	にぶい黄褐色							
(S-291)	110R	3/2	黒褐色						
210R	5/4	にぶい黄褐色							
(S-304)	110R	3/2	黒褐色						
210R	5/4	にぶい黄褐色							
(S-337)	110R	3/2	黒褐色						
210R	5/4	にぶい黄褐色							
(S-314)	110R	3/2	黒褐色						
210R	5/4	にぶい黄褐色							

土層注記表									
層別	土層記号	色	名	ローム	粘土	砂	礫	土層	その他
(S-253)	110R	3/2	黒褐色						
210R	5/4	にぶい黄褐色							
(S-254)	110R	3/2	黒褐色						
210R	5/4	にぶい黄褐色							
(S-255)	110R	3/2	黒褐色						
210R	5/4	にぶい黄褐色							
(S-256)	110R	3/2	黒褐色						
210R	5/4	にぶい黄褐色							
(S-258)	110R	3/2	黒褐色						
210R	5/4	にぶい黄褐色							
(S-259)	110R	3/2	黒褐色						
210R	5/4	にぶい黄褐色							
(S-260)	110R	3/2	黒褐色						
210R	5/4	にぶい黄褐色							
(S-266)	110R	3/2	黒褐色						
210R	5/4	にぶい黄褐色							
(S-264)	110R	3/2	黒褐色						
210R	5/4	にぶい黄褐色							
(S-269)	110R	3/2	黒褐色						
210R	5/4	にぶい黄褐色							
(S-265)	110R	3/2	黒褐色						
210R	5/4	にぶい黄褐色							
(S-262)	110R	3/2	黒褐色						
210R	5/4	にぶい黄褐色							
(S-274)	110R	3/2	黒褐色						
210R	5/4	にぶい黄褐色							
(S-275)	110R	3/2	黒褐色						
210R	5/4	にぶい黄褐色							
(S-291)	110R	3/2	黒褐色						
210R	5/4	にぶい黄褐色							
(S-304)	110R	3/2	黒褐色						
210R	5/4	にぶい黄褐色							
(S-337)	110R	3/2	黒褐色						
210R	5/4	にぶい黄褐色							
(S-314)	110R	3/2	黒褐色						
210R	5/4	にぶい黄褐色							

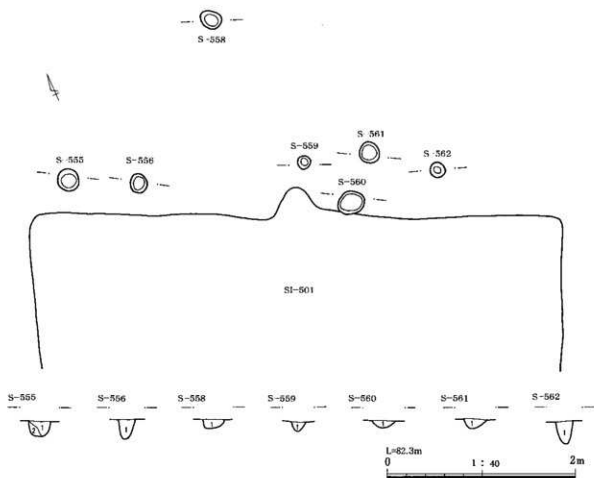
第109図 柱状ビット実測図(4)



土色地盤記号		土質							備考
土色	地盤記号	ローム	粘土質土	粘土質土	砂質土	砂質土	砂質土		
		ローム	粘土質土	粘土質土	砂質土	砂質土	砂質土		
0-343									
1.100R	3/2 黒褐色	2.1				1		4.3	
2.100R	5/4 に近い黄褐色	2.1	2		3			4.3	
3.100R	2/2 黒褐色	3.1						4.3	
4.100R	5/4 に近い黄褐色	4.1						4.3	
5.100R	2/2 黒褐色	5.1						4.3	
6.100R	5/4 に近い黄褐色	6.1						4.3	
7.100R	2/2 黒褐色	7.1						4.3	
8.100R	5/4 に近い黄褐色	8.1						4.3	
9.100R	2/2 黒褐色	9.1						4.3	
10.100R	5/4 に近い黄褐色	10.1						4.3	
11.100R	2/2 黒褐色	11.1						4.3	
12.100R	5/4 に近い黄褐色	12.1						4.3	
13.100R	2/2 黒褐色	13.1						4.3	
14.100R	5/4 に近い黄褐色	14.1						4.3	
15.100R	2/2 黒褐色	15.1						4.3	
16.100R	5/4 に近い黄褐色	16.1						4.3	
17.100R	2/2 黒褐色	17.1						4.3	
18.100R	5/4 に近い黄褐色	18.1						4.3	
19.100R	2/2 黒褐色	19.1						4.3	
20.100R	5/4 に近い黄褐色	20.1						4.3	
21.100R	2/2 黒褐色	21.1						4.3	
22.100R	5/4 に近い黄褐色	22.1						4.3	
23.100R	2/2 黒褐色	23.1						4.3	
24.100R	5/4 に近い黄褐色	24.1						4.3	
25.100R	2/2 黒褐色	25.1						4.3	
26.100R	5/4 に近い黄褐色	26.1						4.3	
27.100R	2/2 黒褐色	27.1						4.3	
28.100R	5/4 に近い黄褐色	28.1						4.3	
29.100R	2/2 黒褐色	29.1						4.3	
30.100R	5/4 に近い黄褐色	30.1						4.3	
31.100R	2/2 黒褐色	31.1						4.3	
32.100R	5/4 に近い黄褐色	32.1						4.3	
33.100R	2/2 黒褐色	33.1						4.3	
34.100R	5/4 に近い黄褐色	34.1						4.3	
35.100R	2/2 黒褐色	35.1						4.3	
36.100R	5/4 に近い黄褐色	36.1						4.3	
37.100R	2/2 黒褐色	37.1						4.3	
38.100R	5/4 に近い黄褐色	38.1						4.3	
39.100R	2/2 黒褐色	39.1						4.3	
40.100R	5/4 に近い黄褐色	40.1						4.3	
41.100R	2/2 黒褐色	41.1						4.3	
42.100R	5/4 に近い黄褐色	42.1						4.3	
43.100R	2/2 黒褐色	43.1						4.3	
44.100R	5/4 に近い黄褐色	44.1						4.3	
45.100R	2/2 黒褐色	45.1						4.3	
46.100R	5/4 に近い黄褐色	46.1						4.3	
47.100R	2/2 黒褐色	47.1						4.3	
48.100R	5/4 に近い黄褐色	48.1						4.3	
49.100R	2/2 黒褐色	49.1						4.3	
50.100R	5/4 に近い黄褐色	50.1						4.3	
51.100R	2/2 黒褐色	51.1						4.3	
52.100R	5/4 に近い黄褐色	52.1						4.3	
53.100R	2/2 黒褐色	53.1						4.3	
54.100R	5/4 に近い黄褐色	54.1						4.3	
55.100R	2/2 黒褐色	55.1						4.3	
56.100R	5/4 に近い黄褐色	56.1						4.3	
57.100R	2/2 黒褐色	57.1						4.3	
58.100R	5/4 に近い黄褐色	58.1						4.3	
59.100R	2/2 黒褐色	59.1						4.3	
60.100R	5/4 に近い黄褐色	60.1						4.3	
61.100R	2/2 黒褐色	61.1						4.3	
62.100R	5/4 に近い黄褐色	62.1						4.3	
63.100R	2/2 黒褐色	63.1						4.3	
64.100R	5/4 に近い黄褐色	64.1						4.3	
65.100R	2/2 黒褐色	65.1						4.3	
66.100R	5/4 に近い黄褐色	66.1						4.3	
67.100R	2/2 黒褐色	67.1						4.3	
68.100R	5/4 に近い黄褐色	68.1						4.3	
69.100R	2/2 黒褐色	69.1						4.3	
70.100R	5/4 に近い黄褐色	70.1						4.3	
71.100R	2/2 黒褐色	71.1						4.3	
72.100R	5/4 に近い黄褐色	72.1						4.3	
73.100R	2/2 黒褐色	73.1						4.3	
74.100R	5/4 に近い黄褐色	74.1						4.3	
75.100R	2/2 黒褐色	75.1						4.3	
76.100R	5/4 に近い黄褐色	76.1						4.3	
77.100R	2/2 黒褐色	77.1						4.3	
78.100R	5/4 に近い黄褐色	78.1						4.3	
79.100R	2/2 黒褐色	79.1						4.3	
80.100R	5/4 に近い黄褐色	80.1						4.3	
81.100R	2/2 黒褐色	81.1						4.3	
82.100R	5/4 に近い黄褐色	82.1						4.3	
83.100R	2/2 黒褐色	83.1						4.3	
84.100R	5/4 に近い黄褐色	84.1						4.3	
85.100R	2/2 黒褐色	85.1						4.3	
86.100R	5/4 に近い黄褐色	86.1						4.3	
87.100R	2/2 黒褐色	87.1						4.3	
88.100R	5/4 に近い黄褐色	88.1						4.3	
89.100R	2/2 黒褐色	89.1						4.3	
90.100R	5/4 に近い黄褐色	90.1						4.3	
91.100R	2/2 黒褐色	91.1						4.3	
92.100R	5/4 に近い黄褐色	92.1						4.3	
93.100R	2/2 黒褐色	93.1						4.3	
94.100R	5/4 に近い黄褐色	94.1						4.3	
95.100R	2/2 黒褐色	95.1						4.3	
96.100R	5/4 に近い黄褐色	96.1						4.3	
97.100R	2/2 黒褐色	97.1						4.3	
98.100R	5/4 に近い黄褐色	98.1						4.3	
99.100R	2/2 黒褐色	99.1						4.3	
100.100R	5/4 に近い黄褐色	100.1						4.3	
101.100R	2/2 黒褐色	101.1						4.3	
102.100R	5/4 に近い黄褐色	102.1						4.3	
103.100R	2/2 黒褐色	103.1						4.3	
104.100R	5/4 に近い黄褐色	104.1						4.3	
105.100R	2/2 黒褐色	105.1						4.3	
106.100R	5/4 に近い黄褐色	106.1						4.3	
107.100R	2/2 黒褐色	107.1						4.3	
108.100R	5/4 に近い黄褐色	108.1						4.3	
109.100R	2/2 黒褐色	109.1						4.3	
110.100R	5/4 に近い黄褐色	110.1						4.3	
111.100R	2/2 黒褐色	111.1						4.3	
112.100R	5/4 に近い黄褐色	112.1						4.3	
113.100R	2/2 黒褐色	113.1						4.3	
114.100R	5/4 に近い黄褐色	114.1						4.3	
115.100R	2/2 黒褐色	115.1						4.3	
116.100R	5/4 に近い黄褐色	116.1						4.3	
117.100R	2/2 黒褐色	117.1						4.3	
118.100R	5/4 に近い黄褐色	118.1						4.3	
119.100R	2/2 黒褐色	119.1						4.3	
120.100R	5/4 に近い黄褐色	120.1						4.3	
121.100R	2/2 黒褐色	121.1						4.3	
122.100R	5/4 に近い黄褐色	122.1						4.3	
123.100R	2/2 黒褐色	123.1						4.3	
124.100R	5/4 に近い黄褐色	124.1						4.3	
125.100R	2/2 黒褐色	125.1						4.3	
126.100R	5/4 に近い黄褐色	126.1						4.3	
127.100R	2/2 黒褐色	127.1						4.3	
128.100R	5/4 に近い黄褐色	128.1						4.3	
129.100R	2/2 黒褐色	129.1						4.3	
130.100R	5/4 に近い黄褐色	130.1						4.3	
131.100R	2/2 黒褐色	131.1						4.3	
132.100R	5/4 に近い黄褐色	132.1						4.3	
133.100R	2/2 黒褐色	133.1						4.3	
134.100R	5/4 に近い黄褐色	134.1						4.3	
135.100R	2/2 黒褐色	135.1						4.3	
136.100R	5/4 に近い黄褐色	136.1						4.3	
137.100R	2/2 黒褐色	137.1						4.3	
138.100R	5/4 に近い黄褐色	138.1						4.3	
139.100R	2/2 黒褐色	139.1						4.3	
140.100R	5/4 に近い黄褐色	140.1						4.3	
141.100R	2/2 黒褐色	141.1						4.3	
142.100R	5/4 に近い黄褐色	142.1						4.3	
143.100R	2/2 黒褐色	143.1						4.3	
144.100R	5/4 に近い黄褐色	144.1						4.3	
145.100R	2/2 黒褐色	145.1						4.3	
146.100R	5/4 に近い黄褐色	146.1						4.3	
147.100R	2/2 黒褐色	147.1						4.3	
148.100R	5/4 に近い黄褐色	148.1						4.3	
149.100R	2/2 黒褐色	149.1						4.3	
150.100R	5/4 に近い黄褐色	150.1						4.3	
151.100R	2/2 黒褐色	151.1						4.3	
152.100R	5/4 に近い黄褐色	152.1						4.3	
153.100R	2/2 黒褐色	153.1						4.3	
154.100R	5/4 に近い黄褐色	154.1						4.3	
155.100R	2/2 黒褐色	155.1						4.3	
156.100R	5/4 に近い黄褐色	156.1						4.3	
157.100R	2/2 黒褐色	157.1						4.3	
158.100R	5/4 に近い黄褐色	158.1						4.3	
159.100R	2/2 黒褐色	159.1						4.3	
160.100R	5/4 に近い黄褐色	160.1						4.3	
161.100R	2/2 黒褐色	161.1						4.3	
162.100R	5/4 に近い黄褐色	162.1						4.3	
163.100R	2/2 黒褐色	163.1						4.3	
164.100R	5/4 に近い黄褐色	164.1						4.3	
165.100R	2/2 黒褐色	165.1						4.3	
166.100R	5/4 に近い黄褐色	166.1						4.3	
167.100R	2/2 黒褐色	167.1						4.3	
168.100R	5/4 に近い黄褐色	168.1						4.3	
169.100R	2/2 黒褐色	169.1						4.3	
170.100R	5/4 に近い黄褐色	170.1						4.3	
171.100R	2/2 黒褐色	171.1						4.3	
172.100R	5/4 に近い黄褐色	172.1						4.3	
173.100R	2/2 黒褐色	173.1						4.3	
174.100R	5/4 に近い黄褐色	174.1						4.3	
175.100R	2/2 黒褐色	175.1						4.3	
176.100R	5/4 に近い黄褐色	176.1						4.3	
177.100R	2/2 黒褐色	177.1						4.3	
178.100R	5/4 に近い黄褐色	178.1						4.3	
179.100R	2/2 黒褐色	179.1						4.3	
180.100R	5/4 に近い黄褐色	180.1						4.3	
181.100R	2/2 黒褐色	181.1						4.3	
182.100R	5/4 に近い黄褐色	182.1						4.3	
183.100R	2/2 黒褐色	183.1						4.3	
184.100R	5/4 に近い黄褐色	184.1						4.3	
185.100R	2/2 黒褐色	185.1						4.3	
186.100R	5/4 に近い黄褐色	186.1						4.3	
187.10									

養分成分		養分成分							備考
品名 品名	単位	たんぱく質	脂質	糖質	灰分	水分	熱値	備考	
		1-431	1.10%	4.2%	炭素	2.2			
1-432	1.10%	4.2%	炭素	2.2				2.3	
1-433	1.10%	3.2%	炭素	2.1				2.3	
1-434	1.10%	3.2%	炭素	2.1				2.3	
1-435	1.10%	3.2%	炭素	2.1				2.3	
1-436	1.10%	3.2%	炭素	2.1				2.3	
1-437	1.10%	3.2%	炭素	2.1				2.3	
1-438	1.10%	3.2%	炭素	2.1				2.3	
1-439	1.10%	3.2%	炭素	2.1				2.3	
1-440	1.10%	3.2%	炭素	2.1				2.3	
1-441	1.10%	3.2%	炭素	2.1				2.3	
1-442	1.10%	3.2%	炭素	2.1				2.3	
1-443	1.10%	3.2%	炭素	2.1				2.3	
1-444	1.10%	3.2%	炭素	2.1				2.3	
1-445	1.10%	3.2%	炭素	2.1				2.3	
1-446	1.10%	3.2%	炭素	2.1				2.3	
1-447	1.10%	3.2%	炭素	2.1				2.3	
1-448	1.10%	3.2%	炭素	2.1				2.3	
1-449	1.10%	3.2%	炭素	2.1				2.3	
1-450	1.10%	3.2%	炭素	2.1				2.3	
1-451	1.10%	3.2%	炭素	2.1				2.3	
1-452	1.10%	3.2%	炭素	2.1				2.3	
1-453	1.10%	3.2%	炭素	2.1				2.3	
1-454	1.10%	3.2%	炭素	2.1				2.3	
1-455	1.10%	3.2%	炭素	2.1				2.3	
1-456	1.10%	3.2%	炭素	2.1				2.3	
1-457	1.10%	3.2%	炭素	2.1				2.3	
1-458	1.10%	3.2%	炭素	2.1				2.3	
1-459	1.10%	3.2%	炭素	2.1				2.3	
1-460	1.10%	3.2%	炭素	2.1				2.3	
1-461	1.10%	3.2%	炭素	2.1				2.3	
1-462	1.10%	3.2%	炭素	2.1				2.3	
1-463	1.10%	3.2%	炭素	2.1				2.3	
1-464	1.10%	3.2%	炭素	2.1				2.3	
1-465	1.10%	3.2%	炭素	2.1				2.3	
1-466	1.10%	3.2%	炭素	2.1				2.3	
1-467	1.10%	3.2%	炭素	2.1				2.3	
1-468	1.10%	3.2%	炭素	2.1				2.3	
1-469	1.10%	3.2%	炭素	2.1				2.3	
1-470	1.10%	3.2%	炭素	2.1				2.3	
1-471	1.10%	3.2%	炭素	2.1				2.3	
1-472	1.10%	3.2%	炭素	2.1				2.3	
1-473	1.10%	3.2%	炭素	2.1				2.3	
1-474	1.10%	3.2%	炭素	2.1				2.3	
1-475	1.10%	3.2%	炭素	2.1				2.3	
1-476	1.10%	3.2%	炭素	2.1				2.3	
1-477	1.10%	3.2%	炭素	2.1				2.3	
1-478	1.10%	3.2%	炭素	2.1				2.3	
1-479	1.10%	3.2%	炭素	2.1				2.3	
1-480	1.10%	3.2%	炭素	2.1				2.3	
1-481	1.10%	3.2%	炭素	2.1				2.3	
1-482	1.10%	3.2%	炭素	2.1				2.3	
1-483	1.10%	3.2%	炭素	2.1				2.3	
1-484	1.10%	3.2%	炭素	2.1				2.3	
1-485	1.10%	3.2%	炭素	2.1				2.3	
1-486	1.10%	3.2%	炭素	2.1				2.3	
1-487	1.10%	3.2%	炭素	2.1				2.3	
1-488	1.10%	3.2%	炭素	2.1				2.3	
1-489	1.10%	3.2%	炭素	2.1				2.3	
1-490	1.10%	3.2%	炭素	2.1				2.3	
1-491	1.10%	3.2%	炭素	2.1				2.3	
1-492	1.10%	3.2%	炭素	2.1				2.3	
1-493	1.10%	3.2%	炭素	2.1				2.3	
1-494	1.10%	3.2%	炭素	2.1				2.3	
1-495	1.10%	3.2%	炭素	2.1				2.3	
1-496	1.10%	3.2%	炭素	2.1				2.3	
1-497	1.10%	3.2%	炭素	2.1				2.3	
1-498	1.10%	3.2%	炭素	2.1				2.3	
1-499	1.10%	3.2%	炭素	2.1				2.3	
1-500	1.10%	3.2%	炭素	2.1				2.3	

第110図 柱穴状ビット実測図(5)



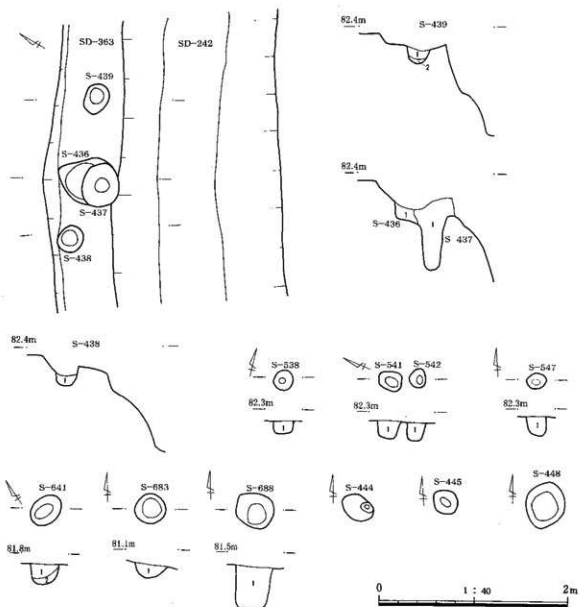
土層追記表		土 層										土 層 厚 さ (cm)
層 位	土色・土質記号	色 名	ローム 質	粘 土 質	粘 土 質	粘 土 質	粘 土 質	粘 土 質	粘 土 質	粘 土 質	粘 土 質	
(S-555)												
1.11998	4/4	褐色	2	2	3							3.3
2.11998	4/2	灰褐色	2	2	4							2.4
(S-556)												
1.11998	4/2	灰褐色	4	2	3							3.3
(S-558)												
1.11998	3/2	黒褐色	3	2	1							4.3
(S-559)												
1.11998	3/2	黒褐色	3	3	1							4.3

調査層: (S) 1 2 3 4 5 (多) 土層・粘土: (層) 1 2 3 4 5 (多)

土層追記表		土 層										土 層 厚 さ (cm)
層 位	土色・土質記号	色 名	ローム 質	粘 土 質	粘 土 質	粘 土 質	粘 土 質	粘 土 質	粘 土 質	粘 土 質	粘 土 質	
(S-560)												
1.11998	3/2	黒褐色	2	2	2			1				3.3
(S-561)												
1.11998	3/2	黒褐色	2	1	1		1	1				3.3
(S-562)												
1.11998	4/2	灰褐色	3	3	1			1				4.3

調査層: (S) 1 2 3 4 5 (多) 土層・粘土: (層) 1 2 3 4 5 (多)

第111図 柱穴状ピット実測図(6)



土器・土器記号	色	形状	口	底	高	径	厚	重	備考
10-100	5/5	黒褐色	1.5	1				4.3	
10-101	5/5	黒褐色	1.5	1				4.3	
10-102	4/2	灰褐色	1.2					3.3	
10-103	5/5	黒褐色	4.3	2				4.3	
10-104	5/5	黒褐色	1.1	1				4.3	
10-105	4/2	灰褐色	2.2	2				2.4	
10-106	4/2	灰褐色	3.2	2				3.3	
10-107	3/2	灰褐色	1.3	1				2.3	

全重量: (5) 1 2 3 4 5 (多) L: 1 V: 1 形状: (5) 1 2 3 4 5 (多)

土器・土器記号	色	形状	口	底	高	径	厚	重	備考
10-108	3/2	灰褐色	2.2	1				2.3	
10-109	4/2	灰褐色	3.2	1				3.4	
10-110	4/2	灰褐色	4.2	2				4.3	
10-111	4/2	灰褐色	5.5	5				5.2	
10-112	4/2	灰褐色	3.2					3.3	
10-113	3/2	灰褐色	4.2	2				4.3	

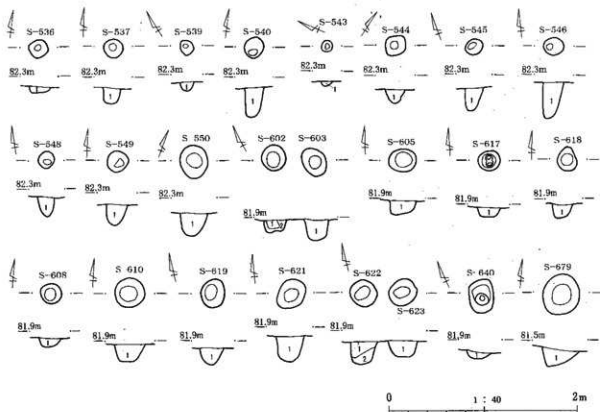
全重量: (5) 1 2 3 4 5 (多) L: 1 V: 1 形状: (5) 1 2 3 4 5 (多)

第113図 柱穴状ビット (柱穴の可能性) 実測図 (2)

主 要 記 載		食 料						
主 産 地 記 号	品 名	ローマ 産 産 品	セ ン テ ル 産 産 品	エ リ ツ ベ ル 産 産 品	エ リ ツ ベ ル 産 産 品	エ リ ツ ベ ル 産 産 品	エ リ ツ ベ ル 産 産 品	エ リ ツ ベ ル 産 産 品
(G-64)								
1) 100%	3/2 黒褐色	2	1					2
2) 100%	3/4 にかい黄褐色	3	1					2
(G-65)								
1) 100%	3/2 黒褐色	4	3					2
2) 100%	3/4 にかい黄褐色	12	1					2
3) 100%	3/2 にかい黄褐色	4	4					2
(G-7)								
1) 100%	3/2 黒褐色	1	1					2
2) 100%	3/4 にかい黄褐色	1	3					2
(G-7)								
1) 100%	3/2 黒褐色	2	1					2
2) 100%	3/2 黒褐色	2	1					2
(G-7)								
1) 100%	3/2 黒褐色	3	1					2
(G-7)								
1) 100%	3/2 黒褐色	1	1					2
2) 100%	3/2 黒褐色	1	1					2
3) 100%	3/2 にかい黄褐色	1	1					2
(G-41)								
1) 100%	3/2 黒褐色	1	2					2
2) 100%	3/4 にかい黄褐色	1	1					2
(G-10)								
1) 100%	3/2 黒褐色	2	1					2
2) 100%	3/2 黒褐色	2	1					2
3) 100%	3/2 にかい黄褐色	2	1					2
(G-11)								
1) 100%	3/2 黒褐色	1	1					2
2) 100%	3/2 黒褐色	1	1					2
3) 100%	3/2 にかい黄褐色	1	1					2
(G-11)								
1) 100%	3/2 黒褐色	3	1					2
2) 100%	3/2 黒褐色	3	1					2
3) 100%	3/2 にかい黄褐色	3	1					2
(G-11)								
1) 100%	3/2 黒褐色	3	1					2
2) 100%	3/2 黒褐色	3	1					2
3) 100%	3/2 にかい黄褐色	3	1					2
(G-11)								
1) 100%	3/2 黒褐色	3	1					2
2) 100%	3/2 黒褐色	3	1					2
3) 100%	3/2 にかい黄褐色	3	1					2
(G-11)								
1) 100%	3/2 黒褐色	3	1					2
2) 100%	3/2 黒褐色	3	1					2
3) 100%	3/2 にかい黄褐色	3	1					2
(G-11)								
1) 100%	3/2 黒褐色	3	1					2
2) 100%	3/2 黒褐色	3	1					2
3) 100%	3/2 にかい黄褐色	3	1					2
(G-11)								
1) 100%	3/2 黒褐色	3	1					2
2) 100%	3/2 黒褐色	3	1					2
3) 100%	3/2 にかい黄褐色	3	1					2
(G-11)								
1) 100%	3/2 黒褐色	3	1					2
2) 100%	3/2 黒褐色	3	1					2
3) 100%	3/2 にかい黄褐色	3	1					2
(G-11)								
1) 100%	3/2 黒褐色	3	1					2
2) 100%	3/2 黒褐色	3	1					2
3) 100%	3/2 にかい黄褐色	3	1					2
(G-11)								
1) 100%	3/2 黒褐色	3	1					2
2) 100%	3/2 黒褐色	3	1					2
3) 100%	3/2 にかい黄褐色	3	1					2
(G-11)								
1) 100%	3/2 黒褐色	3	1					2
2) 100%	3/2 黒褐色	3	1					2
3) 100%	3/2 にかい黄褐色	3	1					2
(G-11)								
1) 100%	3/2 黒褐色	3	1					2
2) 100%	3/2 黒褐色	3	1					2
3) 100%	3/2 にかい黄褐色	3	1					2
(G-11)								
1) 100%	3/2 黒褐色	3	1					2
2) 100%	3/2 黒褐色	3	1					2
3) 100%	3/2 にかい黄褐色	3	1					2
(G-11)								
1) 100%	3/2 黒褐色	3	1					2
2) 100%	3/2 黒褐色	3	1					2
3) 100%	3/2 にかい黄褐色	3	1					2
(G-11)								
1) 100%	3/2 黒褐色	3	1					2
2) 100%	3/2 黒褐色	3	1					2
3) 100%	3/2 にかい黄褐色	3	1					2
(G-11)								
1) 100%	3/2 黒褐色	3	1					2
2) 100%	3/2 黒褐色	3	1					2
3) 100%	3/2 にかい黄褐色	3	1					2
(G-11)								
1) 100%	3/2 黒褐色	3	1					2
2) 100%	3/2 黒褐色	3	1					2
3) 100%	3/2 にかい黄褐色	3	1					2
(G-11)								
1) 100%	3/2 黒褐色	3	1					2
2) 100%	3/2 黒褐色	3	1					2
3) 100%	3/2 にかい黄褐色	3	1					2
(G-11)								
1) 100%	3/2 黒褐色	3	1					2
2) 100%	3/2 黒褐色	3	1					2
3) 100%	3/2 にかい黄褐色	3	1					2
(G-11)								
1) 100%	3/2 黒褐色	3	1					2
2) 100%	3/2 黒褐色	3	1					2
3) 100%	3/2 にかい黄褐色	3	1					2
(G-11)								
1) 100%	3/2 黒褐色	3	1					2
2) 100%	3/2 黒褐色	3	1					2
3) 100%	3/2 にかい黄褐色	3	1					2
(G-11)								
1) 100%	3/2 黒褐色	3	1					2
2) 100%	3/2 黒褐色	3	1					2
3) 100%	3/2 にかい黄褐色	3	1					2
(G-11)								
1) 100%	3/2 黒褐色	3	1					2
2) 100%	3/2 黒褐色	3	1					2
3) 100%	3/2 にかい黄褐色	3	1					2
(G-11)								
1) 100%	3/2 黒褐色	3	1					2
2) 100%	3/2 黒褐色	3	1					2
3) 100%	3/2 にかい黄褐色	3	1					2
(G-11)								
1) 100%	3/2 黒褐色	3	1					2
2) 100%	3/2 黒褐色	3	1					2
3) 100%	3/2 にかい黄褐色	3	1					2
(G-11)								
1) 100%	3/2 黒褐色	3	1					2
2) 100%	3/2 黒褐色	3	1					2
3) 100%	3/2 にかい黄褐色	3	1					2
(G-11)								
1) 100%	3/2 黒褐色	3	1					2
2) 100%	3/2 黒褐色	3	1					2
3) 100%	3/2 にかい黄褐色	3	1					2
(G-11)								
1) 100%	3/2 黒褐色	3	1					2
2) 100%	3/2 黒褐色	3	1					2
3) 100%	3/2 にかい黄褐色	3	1					2
(G-11)								
1) 100%	3/2 黒褐色	3	1					2
2) 100%	3/2 黒褐色	3	1					2
3) 100%	3/2 にかい黄褐色	3	1					2
(G-11)								
1) 100%	3/2 黒褐色	3	1					2
2) 100%	3/2 黒褐色	3	1					2
3) 100%	3/2 にかい黄褐色	3	1					2
(G-11)								
1) 100%	3/2 黒褐色	3	1					2
2) 100%	3/2 黒褐色	3	1					2
3) 100%	3/2 にかい黄褐色	3	1					2
(G-11)								
1) 100%	3/2 黒褐色	3	1					2
2) 100%	3/2 黒褐色	3	1					2
3) 100%	3/2 にかい黄褐色	3	1					2
(G-11)								
1) 100%	3/2 黒褐色	3	1					2
2) 100%	3/2 黒褐色	3	1					2
3) 100%	3/2 にかい黄褐色	3	1					2
(G-11)								
1) 100%	3/2 黒褐色	3	1					2
2) 100%	3/2 黒褐色	3	1					2
3) 100%	3/2 にかい黄褐色	3	1					2
(G-11)								
1) 100%	3/2 黒褐色	3	1					2
2) 100%	3/2 黒褐色	3	1					2
3) 100%	3/2 にかい黄褐色	3	1					2
(G-11)								
1) 100%	3/2 黒褐色	3	1					2
2) 100%	3/2 黒褐色	3	1					2
3) 100%	3/2 にかい黄褐色	3	1					2
(G-11)								
1) 100%	3/2 黒褐色	3	1					2
2) 100%	3/2 黒褐色	3	1					2
3) 100%	3/2 にかい黄褐色	3	1					2
(G-11)								
1) 100%	3/2 黒褐色	3	1					2
2) 100%	3/2 黒褐色	3	1					2
3) 100%	3/2 にかい黄褐色	3	1					2
(G-11)								
1) 100%	3/2 黒褐色	3	1					2
2) 100%	3/2 黒褐色	3	1					2
3) 100%	3/2 にかい黄褐色	3	1					2
(G-11)								
1) 100%	3/2 黒褐色	3	1					2
2) 100%	3/2 黒褐色	3	1					2
3) 100%	3/2 にかい黄褐色	3	1					2
(G-11)								
1) 100%	3/2 黒褐色	3	1					2
2) 100%	3/2 黒褐色	3	1					2
3) 100%	3/2 にかい黄褐色	3	1					2
(G-11)								
1) 100%	3/2 黒褐色	3	1					2
2) 100%	3/2 黒褐色	3	1					2
3) 100%	3/2 にかい黄褐色	3	1					2
(G-11)								
1) 100%	3/2 黒褐色	3	1					2
2) 100%	3/2 黒褐色	3	1					2
3) 100%	3/2 にかい黄褐色	3	1					2
(G-11)								
1) 100%	3/2 黒褐色	3	1					2
2) 100%	3/2 黒褐色	3	1					2
3) 100%	3/2 にかい黄褐色	3	1					2
(G-11)								
1) 100%	3/2 黒褐色	3	1					2
2) 100%	3/2 黒褐色	3	1					2
3) 100%	3/2 にかい黄褐色	3	1					2
(G-11)								
1) 100%	3/2 黒褐色	3	1					2
2) 100%	3/2 黒褐色	3	1					2
3) 100%	3/2 にかい黄褐色	3	1					2
(G-11)								
1) 100%	3/2 黒褐色	3	1					2
2) 100%	3/2 黒褐色	3	1					2
3) 100%	3/2 にかい黄褐色	3	1					2
(G-11)								

[illegible]

-146-



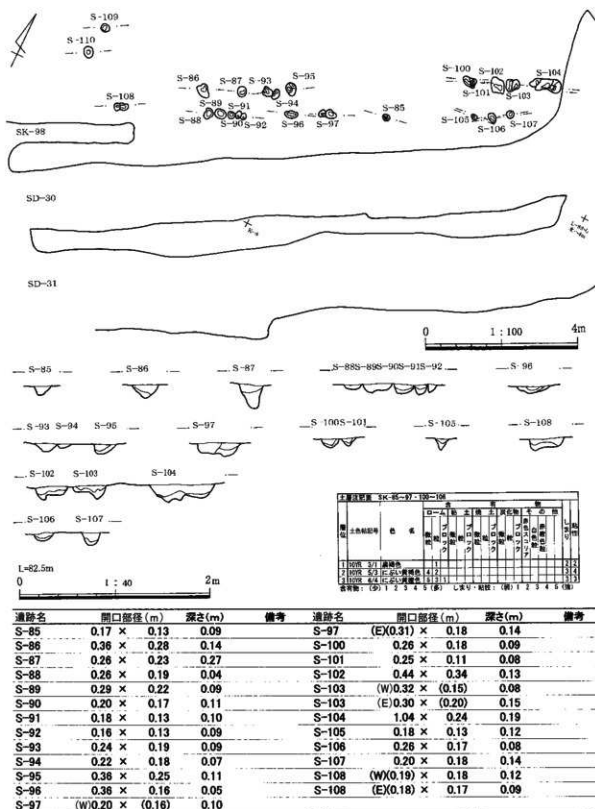
土層計表				土 層 別										土層別
層別	土層記号	色	毛	ローム		粘土		砂		石灰土		その他		
				厚	割合	厚	割合	厚	割合	厚	割合	厚	割合	
(S-536)														
11109	3/2	黒褐色		2.1										2.2
(S-537)														
11109	3/2	黒褐色		2.1										2.3
(S-539)														
11109	3/2	黒褐色		2.1										2.2
(S-540)														
11109	3/2	黒褐色		2.1										2.3
(S-542)														
11109	3/2	黒褐色		2.1										2.2
(S-544)														
11109	3/2	黒褐色		2.1										2.3
(S-545)														
11109	4/2	灰黄褐色		2.1										2.2
(S-546)														
11109	3/2	黒褐色		2.1										2.3
(S-548)														
11109	3/2	黒褐色		2.1										2.2
(S-549)														
11109	3/2	黒褐色		2.2										2.3
(S-550)														
11109	4/2	灰黄褐色		2.1										2.2
(S-551)														
11109	4/2	黄褐色		2.1										2.2
(S-552)														
11109	3/2	黒褐色		2.1										2.2
(S-553)														
11109	3/2	黒褐色		2.1										2.2
(S-554)														
11109	3/2	黒褐色		2.1										2.2
(S-555)														
11109	3/2	黒褐色		2.1										2.2
(S-556)														
11109	3/2	黒褐色		2.1										2.2
(S-557)														
11109	3/2	黒褐色		2.1										2.2
(S-558)														
11109	3/2	黒褐色		2.1										2.2
(S-559)														
11109	3/2	黒褐色		2.1										2.2
(S-560)														
11109	3/2	黒褐色		2.1										2.2
(S-561)														
11109	3/2	黒褐色		2.1										2.2
(S-562)														
11109	4/2	灰黄褐色		2.1										2.2
(S-563)														
11109	4/2	黄褐色		2.1										2.2
(S-564)														
11109	3/2	黒褐色		2.1										2.2
(S-565)														
11109	3/2	黒褐色		2.1										2.2
(S-566)														
11109	3/2	黒褐色		2.1										2.2
(S-567)														
11109	3/2	黒褐色		2.1										2.2
(S-568)														
11109	3/2	黒褐色		2.1										2.2
(S-569)														
11109	3/2	黒褐色		2.1										2.2
(S-570)														
11109	3/2	黒褐色		2.1										2.2
(S-571)														
11109	3/2	黒褐色		2.1										2.2
(S-572)														
11109	3/2	黒褐色		2.1										2.2
(S-573)														
11109	3/2	黒褐色		2.1										2.2
(S-574)														
11109	3/2	黒褐色		2.1										2.2
(S-575)														
11109	3/2	黒褐色		2.1										2.2
(S-576)														
11109	3/2	黒褐色		2.1										2.2
(S-577)														
11109	3/2	黒褐色		2.1										2.2
(S-578)														
11109	3/2	黒褐色		2.1										2.2
(S-579)														
11109	3/2	黒褐色		2.1										2.2
(S-580)														
11109	3/2	黒褐色		2.1										2.2
(S-581)														
11109	3/2	黒褐色		2.1										2.2
(S-582)														
11109	3/2	黒褐色		2.1										2.2
(S-583)														
11109	3/2	黒褐色		2.1										2.2
(S-584)														
11109	3/2	黒褐色		2.1										2.2
(S-585)														
11109	3/2	黒褐色		2.1										2.2
(S-586)														
11109	3/2	黒褐色		2.1										2.2
(S-587)														
11109	3/2	黒褐色		2.1										2.2
(S-588)														
11109	3/2	黒褐色		2.1										2.2
(S-589)														
11109	3/2	黒褐色		2.1										2.2
(S-590)														
11109	3/2	黒褐色		2.1										2.2
(S-591)														
11109	3/2	黒褐色		2.1										2.2
(S-592)														
11109	3/2	黒褐色		2.1										2.2
(S-593)														
11109	3/2	黒褐色		2.1										2.2
(S-594)														
11109	3/2	黒褐色		2.1										2.2
(S-595)														
11109	3/2	黒褐色		2.1										2.2
(S-596)														
11109	3/2	黒褐色		2.1										2.2
(S-597)														
11109	3/2	黒褐色		2.1										2.2
(S-598)														
11109	3/2	黒褐色		2.1										2.2
(S-599)														
11109	3/2	黒褐色		2.1										2.2
(S-600)														
11109	3/2	黒褐色		2.1										2.2
(S-601)														
11109	3/2	黒褐色		2.1										2.2
(S-602)														
11109	3/2	黒褐色		2.1										2.2
(S-603)														
11109	3/2	黒褐色		2.1										2.2
(S-604)														
11109	3/2	黒褐色		2.1										2.2
(S-605)														
11109	3/2	黒褐色		2.1										2.2
(S-606)														
11109	3/2	黒褐色		2.1										2.2
(S-607)														
11109	3/2	黒褐色		2.1										2.2
(S-608)														
11109	3/2	黒褐色		2.1										2.2
(S-609)														
11109	3/2	黒褐色		2.1										2.2
(S-610)														
11109	3/2	黒褐色		2.1										2.2
(S-611)														
11109	3/2	黒褐色		2.1										2.2
(S-612)														
11109	3/2	黒褐色		2.1										2.2
(S-613)														
11109	3/2	黒褐色		2.1										2.2
(S-614)														
11109	3/2	黒褐色		2.1										2.2
(S-615)														
11109	3/2	黒褐色		2.1										2.2
(S-616)														
11109	3/2	黒褐色		2.1										2.2
(S-617)														
11109	3/2	黒褐色		2.1										2.2
(S-618)														
11109	3/2	黒												

含有物：(砂) 1 2 3 4 5 (多) 土層リ・粘性：(弱) 1 2 3 4 5 (強)

土層計表		土層別										土層別
層別	土層記号	色	毛	ローム		粘土		砂		その他		
				厚	割合	厚	割合	厚	割合	厚	割合	
(S-608)				2.1								2.2
1109R	3/2	黒褐色		1	1							2.3
1109R	4/3	黒褐色		4	3							2.2
1109R	3/2	黒褐色		3	3							2.3
(S-610)				2	2							2.2
1109R	3/2	黒褐色		2	2							2.3
1109R	3/2	黒褐色		2	1							2.2
(S-619)				1	1							2.3
1109R	4/3	黒褐色		4	3							2.2
(S-621)				2	2							2.2
1109R	4/3	黒褐色		4	4							2.2
(S-622)				3	3							2.2
1109R	3/2	黒褐色		3	3							2.2
1109R	4/3	黒褐色		4	4							2.2
(S-623)				3	3							2.2
1109R	4/3	黒褐色		4	4							2.2
(S-640)				3	3							2.2
1109R	4/3	黒褐色		4	3							2.2
(S-640)				2	2							2.3
1109R	4/3	黒褐色		4	3							2.2
(S-679)				4	3							2.2
1109R	4/3	黒褐色		4	3							2.2

含有物：(砂) 1 2 3 4 5 (多) 土層リ・粘性：(弱) 1 2 3 4 5 (強)

第115図 柱穴状ピット (近世以降) 実測図 (2)



第116図 柱穴状ピット（近世以降SD-30北辺）実測図（3）

第21表 柱穴状ピット一覧

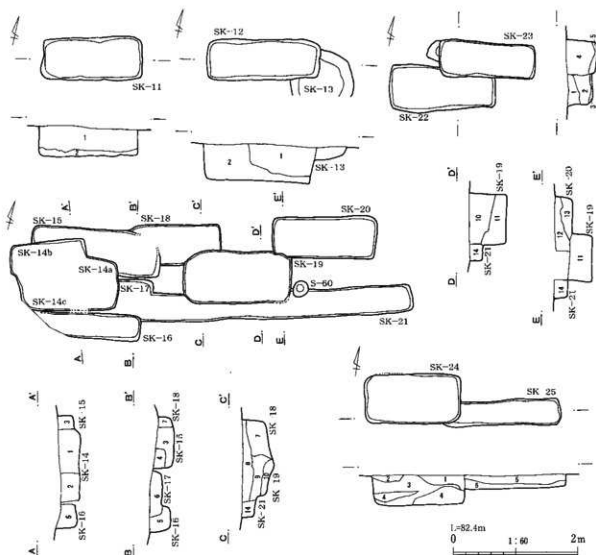
番号	遺構名	規模 (m)			備 考	番号	遺構名	規模 (m)			備 考
		長さ	短径	深さ				長さ	短径	深さ	
1	S-52	0.16	0.14	0.16		52	S-253	0.28	0.25	0.24	
2	S-53	0.28	0.24	0.48		53	S-254	0.29	0.22	0.32	
3	S-57	0.56	(0.42)	0.38		54	S-255	0.20	0.18	0.30	
4	S-58	0.42	(0.32)	0.39		55	S-256	0.27	0.25	0.06	
5	S-59	0.32	0.16	0.34		56	S-258	0.36	0.30	0.32	
6	S-60	0.26	0.24	0.30		57	S-259	0.32	0.26	0.14	サブトレ
7	S-61	0.42	0.36	0.30		58	S-260	0.40	0.28	0.61	
8	S-62	0.36	0.22	0.43		59	S-262	0.30	0.20	0.12	サブトレ
9	S-64	0.26	0.22	0.24		60	S-264	0.46	0.42	0.53	
10	S-65	0.28	0.22	0.38		61	S-265	0.36	0.26	0.37	サブトレ
11	S-66	0.27	0.24	0.40		62	S-266	0.34	0.28	0.55	
12	S-67	0.26	0.24	0.27		63	S-269	0.63	0.44	0.43	サブトレ
13	S-69	0.26	0.23	0.41		64	S-274	0.30	0.30	0.26	
14	S-71	0.30	0.28	0.28		65	S-275	0.24	0.24	0.22	
15	S-80	0.17	0.12	0.12		66	S-291	0.24	0.24	0.12	
16	S-83	0.26	0.23	0.18		67	S-304	0.36	0.32	0.68	
17	S-84	0.26	0.23	0.27		68	S-314	0.82	0.56	0.66	
18	S-116	0.32	0.26	0.14		69	S-337	0.32	0.32	0.72	
19	S-118	0.28	0.26	0.28		70	S-341	0.32	0.30	0.18	サブトレ
20	S-119	0.32	0.28	0.26		71	S-342	0.26	0.24	0.12	サブトレ
21	S-120	0.20	0.18	0.19		72	S-343	(0.24)	(0.22)	(0.08)	
22	S-121	0.30	0.28	0.22		73	S-344	(0.34)	(0.32)	0.42	
23	S-122	0.18	0.16	0.19		74	S-345	0.42	0.36	0.28	
24	S-123	0.44	0.36	0.35	サブトレ	75	S-351	0.28	0.24	0.16	サブトレ
25	S-124	0.20	0.20	0.28		76	S-405	0.36	0.34	0.60	サブトレ
26	S-127	0.32	0.26	0.28		77	S-414	0.38	0.34	0.40	
27	S-128	0.26	0.22	0.26		78	S-419	0.42	0.38	0.62	
28	S-129	0.20	0.18	0.12		79	S-420	0.34	0.30	0.32	
29	S-130	0.34	0.26	0.32	サブトレ	80	S-421	0.32	0.30	0.42	
30	S-132	0.26	0.20	0.22		81	S-422	0.36	0.36	0.20	
31	S-133	0.32	0.22	0.21	サブトレ	82	S-423	0.30	0.28	0.15	
32	S-139	0.80	0.42	0.56		83	S-440	0.28	0.24	0.27	
33	S-143	0.42	0.36	0.45	サブトレ	84	S-441	0.42	0.38	0.48	
34	S-153	0.34	0.32	0.43		85	S-442	0.49	(0.37)	(0.26)	SD-242 と重複
35	S-154	0.40	0.36	0.38		86	S-443NW	0.28	(0.22)	(0.46)	SD-242 と重複
36	S-156	0.58	0.34	0.54		87	S-443SE	0.21	0.20	0.29	
37	S-166	0.58	0.48	0.30		88	S-534	0.30	0.30	0.20	
38	S-173	0.38	0.36	0.36		89	S-555	0.24	0.22	0.16	
39	S-198	0.31	0.24	0.23		90	S-556	0.20	0.18	0.20	
40	S-199	0.32	0.20	0.32		91	S-558	0.22	0.18	0.10	
41	S-200	0.48	0.38	0.38		92	S-559	0.14	0.13	0.15	
42	S-207	0.17	0.12	0.21	サブトレ	93	S-560	0.32	0.23	0.12	
43	S-211	0.28	0.18	0.13		94	S-561	0.23	0.22	0.11	
44	S-221	0.54	0.46	0.32		95	S-562	0.16	0.16	0.37	
45	S-222	0.40	0.34	0.39		96	S-564	0.15	0.16	0.17	
46	S-223	0.42	0.24	0.29		97	S-565	0.22	0.14	0.17	
47	S-224	0.60	0.45	0.46		98	S-566	0.30	0.28	0.42	
48	S-235	0.73	0.46	0.71		99	S-568	0.22	0.22	0.18	
49	S-241	0.30	0.28	0.17		100	S-569	0.28	0.24	0.31	
50	S-251	0.36	0.30	0.42		101	S-637	0.36	0.26	0.37	
51	S-252	0.38	0.34	0.24							

第22表 柱穴状ビット (柱穴の可能性) 一覧

番号	遺構名	規模 (m)			備 考	番号	遺構名	規模 (m)			備 考
		長さ	短径	深さ				長さ	短径	深さ	
1	S-52	0.16	0.14	0.16		17	S-253	0.28	0.25	0.24	
2	S-53	0.28	0.24	0.48		18	S-254	0.29	0.22	0.32	
3	S-57	0.56	(0.42)	0.38		19	S-255	0.20	0.18	0.30	
4	S-58	0.42	(0.32)	0.39		20	S-256	0.27	0.25	0.06	
5	S-59	0.32	0.16	0.34		21	S-258	0.36	0.30	0.32	
6	S-60	0.26	0.24	0.30		22	S-259	0.32	0.26	0.14	サブトレ
7	S-61	0.42	0.36	0.30		23	S-260	0.40	0.28	0.61	
8	S-62	0.36	0.22	0.43		24	S-262	0.30	0.20	0.12	サブトレ
9	S-64	0.26	0.22	0.24		25	S-264	0.46	0.42	0.53	
10	S-65	0.28	0.22	0.38		26	S-265	0.36	0.26	0.37	サブトレ
11	S-66	0.27	0.24	0.40		27	S-266	0.34	0.28	0.55	
12	S-67	0.26	0.24	0.27		28	S-269	0.63	0.44	0.43	サブトレ
13	S-69	0.26	0.23	0.41		29	S-274	0.30	0.30	0.26	
14	S-71	0.30	0.26	0.28		30	S-275	0.24	0.24	0.22	
15	S-80	0.17	0.12	0.12		31	S-291	0.24	0.24	0.12	
16	S-83	0.26	0.23	0.18							

第23表 柱穴状ビット (近世以降) 一覧

番号	遺構名	規模 (m)			備 考	番号	遺構名	規模 (m)			備 考
		長さ	短径	深さ				長さ	短径	深さ	
1	S-54	0.51	0.35	0.27		37	S-115	0.18	0.16	0.12	
2	S-56	0.47	0.44	0.46		38	S-126	0.44	0.37	0.32	
3	S-75	0.21	0.16	0.35		39	S-134	0.28	0.18	0.80	
4	S-76	0.19	0.14	0.24		40	S-137	0.22	0.18	0.18	
5	S-77	0.19	0.18	0.21		41	S-138	0.30	0.27	0.21	
6	S-78	0.16	0.14	0.13		42	S-144	0.24	0.22	0.24	サブトレ
7	S-79W	(0.22)	0.20	0.35		43	S-243	0.25	0.20	0.23	
8	S-79E	0.18	(0.16)	0.35		44	S-340	0.30	0.29	0.36	
9	S-81	0.17	0.12	0.14		45	S-530	0.23	0.20	0.20	
10	S-85	0.17	0.13	0.09	SD-30 北辺のビット	46	S-531	0.20	0.16	0.15	
11	S-86	0.36	0.26	0.14	SD-30 北辺のビット	47	S-533	0.46	0.36	1.32	
12	S-87	0.26	0.23	0.27	SD-30 北辺のビット	48	S-535	0.24	0.24	0.18	
13	S-88	0.26	0.19	0.04	SD-30 北辺のビット	49	S-536	0.23	0.19	0.17	
14	S-89	0.29	0.22	0.09	SD-30 北辺のビット	50	S-537	0.23	0.20	0.17	
15	S-90	0.20	0.17	0.11	SD-30 北辺のビット	51	S-539	0.15	0.14	0.17	
16	S-91	0.18	0.13	0.10	SD-30 北辺のビット	52	S-540	0.23	0.16	0.32	
17	S-92	0.16	0.13	0.09	SD-30 北辺のビット	53	S-543	0.12	0.13	0.06	
18	S-93	0.24	0.19	0.09	SD-30 北辺のビット	54	S-544	0.24	0.20	0.20	
19	S-94	0.22	0.18	0.07	SD-30 北辺のビット	55	S-545	0.18	0.17	0.24	
20	S-95	0.36	0.25	0.11	SD-30 北辺のビット	56	S-546	0.22	0.16	0.38	
21	S-96	0.36	0.16	0.05	SD-30 北辺のビット	57	S-548	0.17	0.16	0.21	
22	S-97W	0.20	(0.16)	0.10	SD-30 北辺のビット	58	S-549	0.23	0.21	0.22	
23	S-97E	(0.31)	0.18	0.14	SD-30 北辺のビット	59	S-550	0.34	0.31	0.25	
24	S-100	0.26	0.18	0.09	SD-30 北辺のビット	60	S-602	0.27	0.24	0.13	
25	S-101	0.25	0.11	0.08	SD-30 北辺のビット	61	S-603	0.31	0.24	0.24	
26	S-102	0.44	0.34	0.13	SD-30 北辺のビット	62	S-605	0.28	0.25	0.14	
27	S-103W	0.32	(0.15)	0.08	SD-30 北辺のビット	63	S-608	0.32	0.31	0.18	
28	S-103E	0.30	(0.20)	0.15	SD-30 北辺のビット	64	S-610	0.30	0.26	0.18	
29	S-104	1.04	0.24	0.19	SD-30 北辺のビット	65	S-617	0.23	0.21	0.12	
30	S-105	0.18	0.13	0.12	SD-30 北辺のビット	66	S-618	0.25	0.22	0.15	
31	S-106	0.26	0.17	0.08	SD-30 北辺のビット	67	S-619	0.23	0.21	0.10	
32	S-107	0.20	0.16	0.14	SD-30 北辺のビット	68	S-621	0.35	0.28	0.28	
33	S-108W	(0.19)	0.16	0.12	SD-30 北辺のビット	69	S-622	0.28	0.26	0.26	
34	S-108E	(0.18)	0.17	0.09	SD-30 北辺のビット	70	S-623	0.30	0.26	0.18	
35	S-109	0.20	0.19	0.20		71	S-640	0.36	0.26	0.18	
36	S-110	0.28	0.27	0.23		72	S-679	0.42	0.40	0.20	



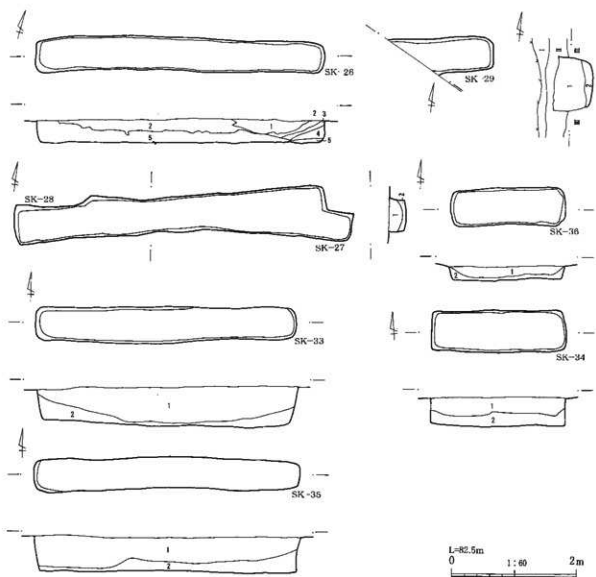
土層目録表		イモ穴 土層目録表									
層	土層記号	色	厚	深	1	2	3	4	5	6	7
(SK-11)	110PR	4/2 灰黄褐色	3	4.4						2	2
(SK-11)	210PR	3/2 黄褐色	2	2						2	2
(SK-12)	110PR	6/5 黄褐色	5	5.5						1	3
(SK-12)	210PR	3/2 黄褐色	1	2.5						2	2
(SK-14)	110PR	4/2 灰黄褐色	2	2.2						2	4
(SK-14)	210PR	5/5 黄褐色	2	4.5						3	2
(SK-15)	310PR	5/4 に近い黄褐色	4	4.4						1	3
(SK-15)	410PR	5/4 に近い黄褐色	2	2.3						3	2
(SK-16)	310PR	5/4 に近い黄褐色	2	4.5						2	2
(SK-17)	410PR	4/2 灰黄褐色	2	2.2						2	3
(SK-18・19)	110PR	4/2 灰黄褐色	3	2.2						1	3
(SK-19)	210PR	4/2 灰黄褐色	1	2.2						3	2
(SK-19)	310PR	4/2 灰黄褐色	3	2.2						2	3
(SK-19)	410PR	5/4 に近い黄褐色	4	5.4						2	3
(SK-19)	510PR	5/4 に近い黄褐色	3	2.2						2	4
(SK-19)	610PR	4/2 灰黄褐色	2	2.1						1	2

含有物: (少) 1 2 3 4 5 (多) 1 2 3 4 5 (多) 1 2 3 4 5 (多)

土層目録表		イモ穴 土層目録表									
層	土層記号	色	厚	深	1	2	3	4	5	6	7
(SK-19・20)	1210PR	5/4 に近い黄褐色	3	5.3						3	3
(SK-20)	1310PR	5/3 に近い黄褐色	3	3.1						2	3
(SK-21)	1410PR	6/5 黄褐色	5	5.2						2	4
(SK-22)	110PR	4/2 灰黄褐色	2	1.1						3	3
(SK-22)	210PR	5/3 に近い黄褐色	2	2.3						2	3
(SK-22)	310PR	3/2 黄褐色	1	1.1						1	3
(SK-23)	410PR	4/3 に近い黄褐色	2	2.4						2	4
(SK-24)	510PR	3/2 黄褐色	2	1.1						1	3
(SK-24)	110PR	4/2 に近い黄褐色	2	4.2						3	3
(SK-24)	210PR	6/5 黄褐色	2	2.5						3	3
(SK-24)	310PR	4/2 灰黄褐色	3	2.2						2	3
(SK-24)	410PR	5/4 に近い黄褐色	4	4.4						2	4
(SK-25)	510PR	5/4 に近い黄褐色	3	2.4						2	3
(SK-25)	610PR	3/2 黄褐色	1	1.1						2	4

含有物: (少) 1 2 3 4 5 (多) 1 2 3 4 5 (多) 1 2 3 4 5 (多)

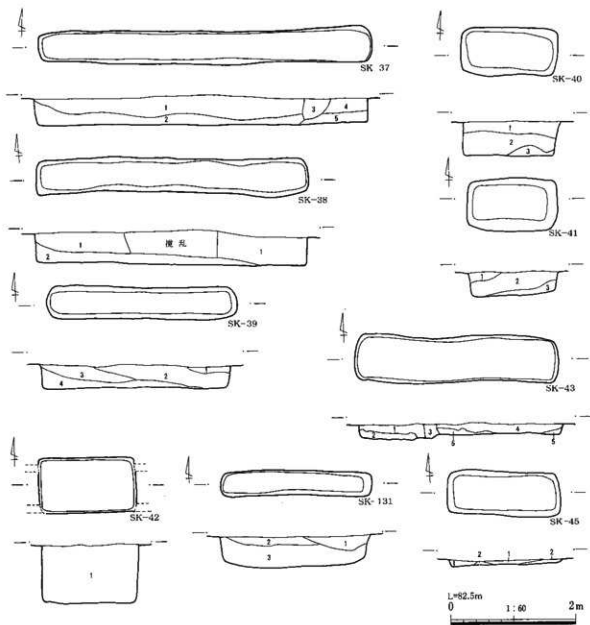
第117図 方形土坑（近世以降栽培根茎類貯蔵穴）実測図（1）



土層注記表			土 質 注 記										L 層 別
層別	土色・地質記号	色 名	ローム 質 土	粘 土	砂 土	砂 質 土	砂 質 土	砂 質 土	砂 質 土	砂 質 土	砂 質 土		
(SK-26)													
1	10PR	7/6 黄褐色	5	5	5							2	4
2	10PR	6/6 黄褐色	5	1	2							2	4
3	10PR	3/2 黒褐色	1	1	1							2	3
4	10PR	6/6 黄褐色	5	5	5							2	4
5	10PR	3/2 黒褐色	1	1	1							2	3
(SK-28)													
1	10PR	5/4 にじみ黄褐色	4	2	2							2	4
2	10PR	3/2 黒褐色	1									4	3
(SK-29)													
1	10PR	6/4 にじみ黄褐色	4	4	4							2	2
2	10PR	3/2 黒褐色	1	1	1							1	2
含有物: (SP) 1 2 3 4 5 (S) L 土質・粘性: (粘) 1 2 3 4 5 (強)													

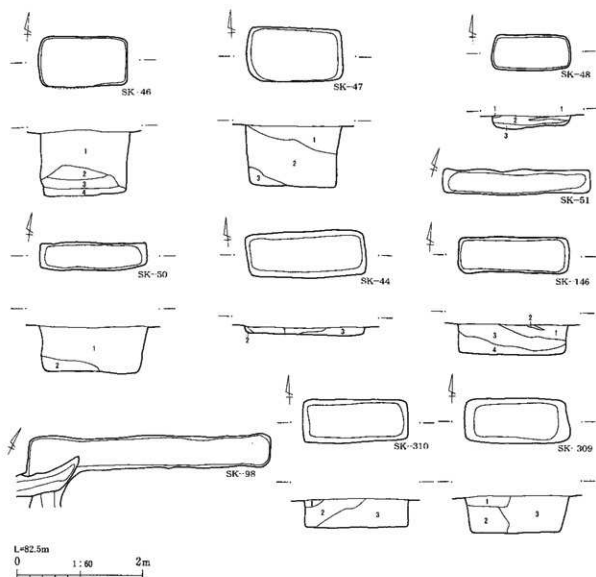
土層注記表			イモ穴 土層注記表										備考	
層別	土色・地質記号	色 名	ローム	粘	土	質	土	質	土	質	土	質	土	質
			粘	性	粘	性	粘	性	粘	性	粘	性	粘	性
(SK-33)														
1	10PR	4/2 灰黄褐色	3	4	4								2	2
2	10PR	3/2 黒褐色	1	1	1								2	2
(SK-34)														
1	10PR	4/2 灰黄褐色	3	4	4								2	2
2	10PR	3/2 黒褐色	2	2	2								2	2
(SK-35)														
1	10PR	4/2 灰黄褐色	3	4	4								2	2
2	10PR	3/2 黒褐色	1	1	1								2	2
(SK-36)														
1	10PR	3/2 黒褐色	1	2	2								2	2
2	10PR	3/2 黒褐色	1	2	2								2	2
含有物: (SP) 1 2 3 4 5 (S) L 土質・粘性: (粘) 1 2 3 4 5 (強)														

第118図 方形土坑（近世以降栽培根茎類貯蔵穴）実測図（2）

[illegible]

1. 音 節 記 号			音 節 別						シラビ	
備考	主観記号	地 名	母 音							
			ローマ字綴り	ア イ ウ エ オ	カ キ ク ケ コ	サ シ ス セ ソ	タ チ ツ テ ト	ナ ニ ヌ ネ ノ		
(H-41)										
1	H09	4/2 にふい黄褐色	3	2	2					2
2	H09	5/4 にふい黄褐色	3	2	2					2
3	H09	4/2 深黄褐色	2	3	3					2
(H-42)										
1	H10F	6/4 緑黄褐色	5	5	5					2
(H-43)										
1	H09	3/4 にふい黄褐色	4	3	4					2
2	H09	4/2 黄褐色	3	2	3					2
3	H09	6/4 緑黄褐色	5	5	5					2
4	H09	6/3 にふい黄褐色	3	2	3					2
5	H09	3/2 黒褐色	2	2	2					2
(H-44)										
1	H09F	4/2 深黄褐色	1	1	1					1
2	H09	4/2 にふい黄褐色	3	2	3					2
(H-45)										
1	H09F	5/3 にふい黄褐色	3	2	3					1
2	H09F	4/2 深黄褐色	2	1	1					1
3	H10F	3/2 黄褐色	2	2	2					1
			1	1	1					1
			4	5	5	1	1	1	1	1

第119图 方形土坑(近世以降栽培根茎类贮藏穴)实测图(3)



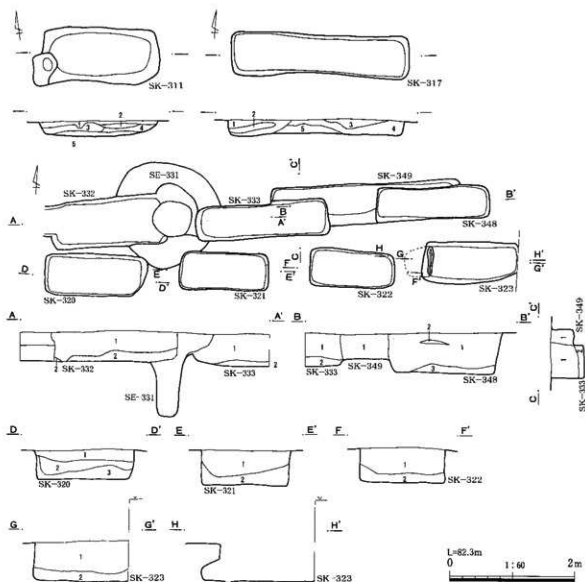
土層記号		土層記号										L (m)
層別	土層記号	色	名	ローン	粘土	土	主	質化	物	その他	備考	
(SK-46)	1 (10m)	6/5	黄褐色	4	4	5						3.2
	2 (10m)	5/2	にがい黄褐色	2	2	2						3.2
	3 (10m)	3/2	黄褐色	1	1	1						1.2
(SK-47)	1 (10m)	5/4	にがい黄褐色	4	4	4						2.3
	2 (10m)	4/3	にがい黄褐色	2	2	2						2.3
	3 (10m)	5/2	にがい黄褐色	2	2	2						2.3
	4 (10m)	4/2	黄褐色	2	1	1						2.3
(SK-47)	1 (10m)	5/2	にがい黄褐色	2	4	2						4.3
	2 (10m)	5/4	にがい黄褐色	4	4	4						4.3
	3 (10m)	4/2	にがい黄褐色	2	2	2						4.3
(SK-48)	1 (10m)	4/2	黄褐色	1	1	1						3.3
	2 (10m)	4/2	にがい黄褐色	2	2	2						3.3
	3 (10m)	3/2	黄褐色	1	1	1						2.3

備考欄：(少) 1 2 3 4 5 (多) L (m)・組数：(組) 1 2 3 4 5 (個)

土層記号		土層記号										L (m)
層別	土層記号	色	名	ローン	粘土	土	主	質化	物	その他	備考	
(SK-50)	1 (10m)	4/2	黄褐色	2	3	2						2
	2 (10m)	2/2	黄褐色	1	1	1						2
(SK-146)	1 (10m)	4/2	黄褐色	2	1	2						2.2
	2 (10m)	5/4	にがい黄褐色	2	2	2						2.2
	3 (10m)	4/3	にがい黄褐色	4	2	3						2.2
	4 (10m)	3/2	黄褐色	1	1	1						2.2
(SK-309)	1 (10m)	4/2	黄褐色	1	2	2						3.3
	2 (10m)	5/4	にがい黄褐色	2	4	2						3.3
	3 (10m)	5/4	にがい黄褐色	4	4	4						3.3
(SK-310)	1 (10m)	4/2	黄褐色	1	1	1						2.2
	2 (10m)	5/2	にがい黄褐色	2	3	4						2.2
	3 (10m)	5/4	にがい黄褐色	3	4	5						2.2

備考欄：(少) 1 2 2 4 5 (多) L (m)・組数：(組) 1 2 3 4 5 (個)

第120図 方形土坑（近世以降栽培根茎類貯蔵穴）実測図（4）



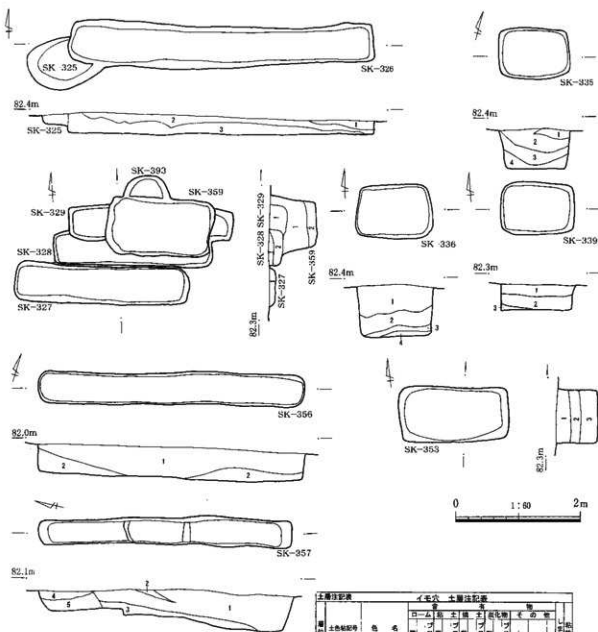
土層表記書									
層位	土色・土質記号	色名	ローム字	土質記号	土質記号	土質記号	土質記号	土質記号	土質記号
SK-311	1 10YR 5/2 黒褐色	2 2 2							2 2
2 10YR 4/2 灰黄褐色	2 3 3								2 3
3 10YR 6/8 灰黄褐色	4 3 4								2 2
4 10YR 5/2 黒褐色	1 1 2								2 2
5 10YR 5/2 黒い黄褐色	3 1 3								2 2
SK-317	1 10YR 5/4 黒い黄褐色	2 3 3							2 3
2 10YR 4/2 灰黄褐色	1 2 1								2 3
3 10YR 4/2 灰黄褐色	1 1 1								2 3
4 10YR 5/4 黒い黄褐色	2 2 2								2 3
5 10YR 4/2 灰黄褐色	3 2 2								2 3
SK-320	1 10YR 5/4 黒い黄褐色	4 3 4							2 3
2 10YR 4/2 灰黄褐色	2 2 2								2 3
3 10YR 3/2 黒褐色	1 1 1								2 3

注：(9) 1 2 3 4 5 (多) L 表下・粘性：(9) 1 2 3 4 5 (低)

土層表記書									
層位	土色・土質記号	色名	ローム字	土質記号	土質記号	土質記号	土質記号	土質記号	土質記号
SK-321	1 10YR 5/4 黒い黄褐色	4 4 4							2 3
2 10YR 4/2 灰黄褐色	1 1 1								2 3
SK-322	1 10YR 5/2 黒い黄褐色	3 3 4							4 3
2 10YR 4/2 灰黄褐色	1 1 1								2 3
SK-323	1 10YR 5/2 黒い黄褐色	3 3 3							4 3
2 10YR 4/2 灰黄褐色	3 2 1								4 3
SK-322	1 10YR 4/2 灰黄褐色	2 2 2							2 3
2 10YR 4/2 灰黄褐色	1 1 1								2 3
SK-333	1 10YR 5/4 黒い黄褐色	2 4 3							2 3
2 10YR 4/2 灰黄褐色	2 1 1								2 3
SK-340	1 10YR 5/4 黒い黄褐色	3 3 3							2 3
2 10YR 3/2 黒褐色	1 1 1								2 3
3 10YR 4/2 灰黄褐色	2 1 1								3 4
SK-349	1 10YR 4/2 灰黄褐色	3 2 3							2 4

注：(9) 1 2 3 4 5 (多) L 表下・粘性：(9) 1 2 3 4 5 (低)

第121図 方形土坑（近世以降栽培根茎類貯蔵穴）実測図（5）



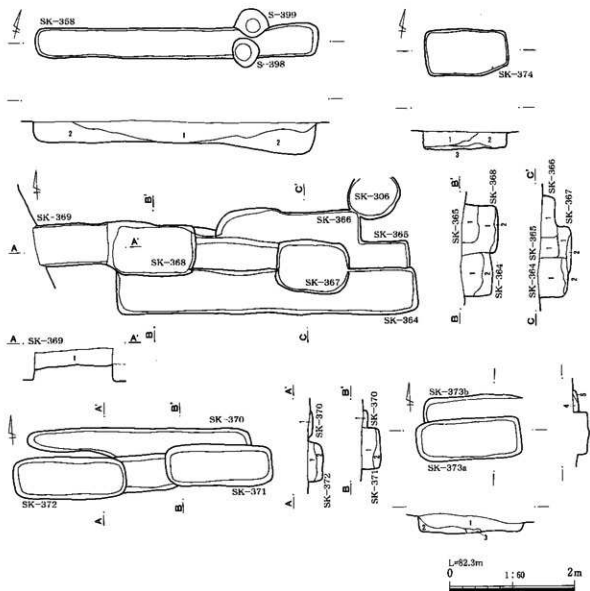
土層記録表			土 層 法 記 号										土層 法記号
層位	土層記号	色 名	ローム	砂	土	塊	土	塊	土	塊	土	塊	
			割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	
SK-325	110R	4/2 にぶい黄褐色	2	1	2							3	
	210R	6/6 黄褐色	2	3	4							4	
	310R	4/2 灰黄褐色	1	1	1							4	
SK-327	110R	4/2 灰黄褐色	2	1	1							4	
SK-328	110R	4/2 にぶい黄褐色	2	1	1							4	
	210R	5/2 黄褐色										3	
	310R	5/2 黄褐色	1	1	1							7	
SK-329	110R	5/4 にぶい黄褐色	3	3	4							3	
	210R	5/6 黄褐色	4	4	5							3	
	310R	5/2 にぶい黄褐色	3	2	4							3	
	410R	4/2 黄褐色	1	2	3							1	

含有物：(砂) 1 2 3 4 5 (多) L 灰リ・粘性 (塊) 1 2 3 4 5 (多)

土層記録表			イ 土層 土層法記号										土層 法記号
層位	土層記号	色	名	ローム	砂	土	塊	土	塊	土	塊		
				プ ラ ク	プ ラ ク	プ ラ ク	プ ラ ク	プ ラ ク	プ ラ ク	プ ラ ク	プ ラ ク		
SK-326	110R	6/6	暗黄褐色	4	4	4						3	2
	210R	4/2	灰黄褐色	2	2	2						3	2
	310R	5/4	にぶい黄褐色	5	1	1						4	3
	410R	4/2	にぶい黄褐色	2	1	2						4	3
SK-329	110R	5/4	にぶい黄褐色	4	4	4						3	3
	210R	5/4	にぶい黄褐色	3	2	4						3	5
	310R	4/2	灰黄褐色	1	2	3						3	2
SK-350	110R	4/2	にぶい黄褐色	4	3	5						3	2
	210R	4/2	灰黄褐色	2	1	1						2	3
	310R	5/4	にぶい黄褐色	5	4	4						3	2
SK-350	110R	6/6	暗黄褐色	4	3	4						3	2
	210R	4/2	灰黄褐色	1	1	1						2	2
SK-350	110R	5/6	黄褐色	5	4	5						7	4
	210R	5/4	にぶい黄褐色	3	2	3						7	4
SK-351	110R	5/4	にぶい黄褐色	4	3	2						3	3
	210R	3/2	黄褐色	2	1	2						3	3
	310R	4/2	灰黄褐色	2	1	1						2	2
	410R	3/2	にぶい黄褐色	4	1	1						3	2
	510R	3/2	黄褐色	1	1	1						3	2

含有物：(砂) 1 2 3 4 5 (多) L 灰リ・粘性 (塊) 1 2 3 4 5 (多)

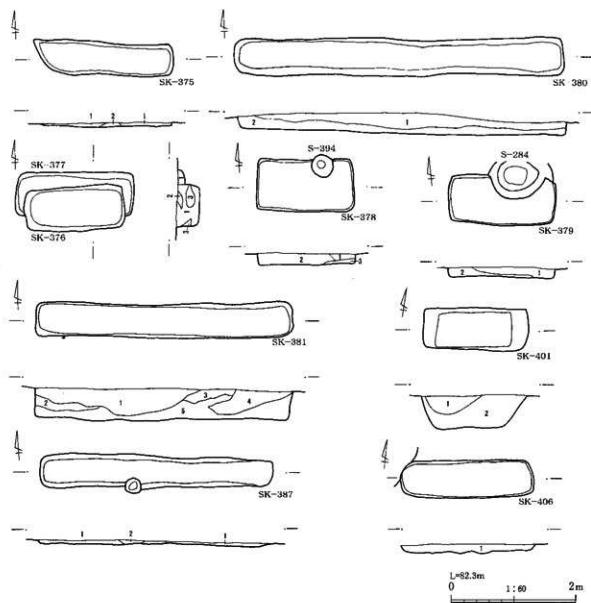
第122図 方形土坑 (近世以降栽培根茎類貯蔵穴) 実測図 (6)



土層発掘記録											
調査	土層発掘番号	色	名	イモ穴、土層発掘記録							
				イモ穴	土層	土層	土層	土層	土層	土層	土層
	SK-368			1 100%	3/4 に近い黄褐色	4 3 0					2 3
	2 100%	3/2 黒褐色		2 1 1							2 2
	SK-369			1 100%	5/4 に近い黄褐色	2 3 3					2 3
	2 100%	2/2 黒褐色		1 1 1							2 2
	SK-366			1 100%	4/2 灰黄褐色	1 2 1					4 2
	SK-365			1 100%	3/2 黒褐色	1 1 1					3 2
	SK-364			1 100%	5/4 に近い黄褐色	2 2 2					2 2
	2 100%	4/2 灰黄褐色		1 1 1							2 2
	SK-367			1 100%	5/4 に近い黄褐色	2 2 2					2 2
	2 100%	4/2 灰黄褐色		1 1 1							2 2
	SK-370			1 100%	5/4 に近い黄褐色	2 2 2					2 2
	2 100%	3/2 黒褐色		1 1 1							2 2
	SK-371			1 100%	5/4 に近い黄褐色	2 2 2					2 2
	2 100%	4/2 灰黄褐色		1 1 1							2 2
	SK-372			1 100%	5/4 に近い黄褐色	2 2 2					2 2
	2 100%	4/2 灰黄褐色		1 1 1							2 2
	SK-373a			1 100%	5/4 に近い黄褐色	2 2 2					2 2
	2 100%	4/2 灰黄褐色		1 1 1							2 2
	SK-373b			1 100%	5/4 に近い黄褐色	2 2 2					2 2
	2 100%	4/2 灰黄褐色		1 1 1							2 2

土層発掘記録											
調査	土層発掘番号	色	名	イモ穴、土層発掘記録							
				イモ穴	土層	土層	土層	土層	土層	土層	土層
	SK-370			1 100%	5/2 黒褐色						2 2
	SK-371			1 100%	4/2 に近い黄褐色	2 2 2					2 2
	2 100%	3/2 黒褐色		1 1 1							2 2
	SK-372			1 100%	4/2 灰黄褐色	1 1 1					2 2
	2 100%	3/2 黒褐色		1 1 1							2 2
	SK-373a			1 100%	5/2 に近い黄褐色	2 2 1					2 2
	2 100%	3/2 黒褐色		1 1 1							2 2
	SK-373b			1 100%	5/4 黄褐色						2 2
	SK-374			1 100%	5/4 に近い黄褐色	2 2 2					2 2
	2 100%	5/4 黄褐色		4 4 3							2 2
	SK-375			1 100%	5/4 に近い黄褐色	2 2 2					2 2
	2 100%	4/2 灰黄褐色		1 1 1							2 2

第123図 方形土坑（近世以降栽培根茎類貯蔵穴）実測図（7）



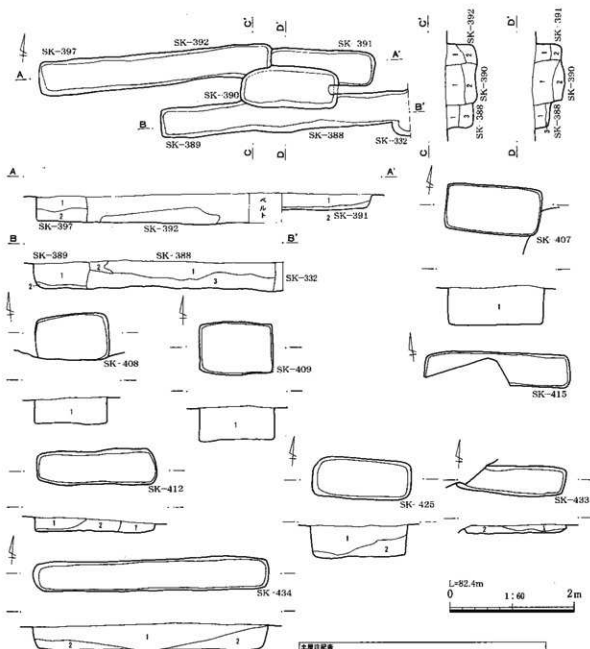
土層記載表		イキ穴 土層記載表												L 層 別
層 別	土層記号	色 名	ローム	粘 土	砂	礫	炭 灰	灰 土	灰 砂	灰 礫	灰 炭	灰 灰	灰 砂	
(SK-375)	1.10R	3/2 黒褐色	1	1										2.2
2.10R	5/4 にぶい黄褐色	3.5	1											2.2
(SK-376)	1.10R	3/2 黒褐色												2.2
2.10R	4/2 にぶい黄褐色	2	1			1								2.2
3.10R	4/2 灰黄褐色	2												2.2
(SK-377)	1.10R	4/2 灰黄褐色	2	1										2.2
(SK-378)	1.10R	4/2 灰黄褐色	2	1										2.2
2.10R	4/2 にぶい黄褐色	3	2	1										2.2
3.10R	3/2 黒褐色													2.2
(SK-379)	1.10R	4/2 灰黄褐色	2	1										2.2
2.10R	4/2 にぶい黄褐色	3	2	1										2.2
3.10R	3/2 黒褐色													2.2
(SK-380)	1.10R	5/6 暗黄褐色	3	2	2									2.2
2.10R	3/2 黒褐色	1	1											2.2
(SK-381)	1.10R	5/6 暗黄褐色	4	4	5									4.5
2.10R	4/2 灰黄褐色	3	1											3.3
3.10R	5/2 にぶい黄褐色	3	2	1										2.2
4.10R	5/6 にぶい黄褐色	3	2	4										4.5
5.10R	3/2 黒褐色	1	1	1										2.2
(SK-387)	1.10R	4/2 灰黄褐色	2	2	2									2.2
2.10R	3/2 黒褐色	1	1											2.2
(SK-401)	1.10R	4/2 灰黄褐色	3	3										3.3
2.10R	3/2 黒褐色	1	1											2.2
(SK-406)	1.10R	4/2 灰黄褐色	3	3										3.3
2.10R	3/2 黒褐色	1	1											2.2

含有物：(砂) 1 2 3 4 5 (多) Lより・粘性：(弱) 1 2 3 4 5 (強)

土層記載表		イキ穴 土層記載表												L 層 別
層 別	土層記号	色 名	ローム	粘 土	砂	礫	炭 灰	灰 土	灰 砂	灰 礫	灰 炭	灰 灰	灰 砂	
(SK-380)	1.10R	5/6 暗黄褐色	3	2	2									2.2
2.10R	3/2 黒褐色	1	1											2.2
(SK-381)	1.10R	5/6 暗黄褐色	4	4	5									4.5
2.10R	4/2 灰黄褐色	3	1											3.3
3.10R	5/2 にぶい黄褐色	3	2	1										2.2
4.10R	5/6 にぶい黄褐色	3	2	4										4.5
5.10R	3/2 黒褐色	1	1	1										2.2
(SK-387)	1.10R	4/2 灰黄褐色	2	2	2									2.2
2.10R	3/2 黒褐色	1	1											2.2
(SK-401)	1.10R	4/2 灰黄褐色	3	3										3.3
2.10R	3/2 黒褐色	1	1											2.2
(SK-406)	1.10R	4/2 灰黄褐色	3	3										3.3
2.10R	3/2 黒褐色	1	1											2.2

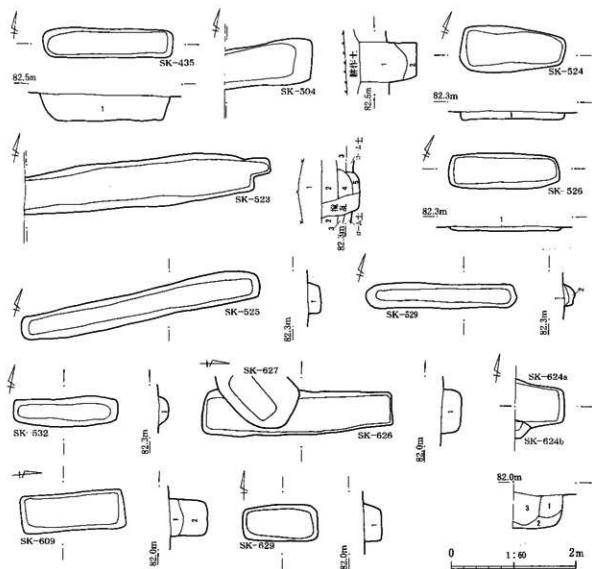
含有物：(砂) 1 2 3 4 5 (多) Lより・粘性：(弱) 1 2 3 4 5 (強)

第124図 方形土坑（近世以降栽培根茎類貯蔵穴）実測図（8）



土層目録表		土層目録表									
層別	土層記号	色	名	ローム	土	主	土	主	土	主	土
1	10R	6/4	にぶい黄褐色	3	4						4
2	10R	4/2	にぶい黄褐色	2	2						3
3	10R	5/2	黄褐色	1	1						3
4	10R	6/4	にぶい黄褐色								2
5	10R	5/2	黄褐色								2
6	10R	4/2	にぶい黄褐色	2	2						3
7	10R	4/2	にぶい黄褐色	2	2						3
8	10R	4/2	にぶい黄褐色	2	2						3
9	10R	4/2	にぶい黄褐色	2	2						3
10	10R	4/2	にぶい黄褐色	2	2						3
11	10R	4/2	にぶい黄褐色	2	2						3
12	10R	4/2	にぶい黄褐色	2	2						3
13	10R	4/2	にぶい黄褐色	2	2						3
14	10R	4/2	にぶい黄褐色	2	2						3
15	10R	4/2	にぶい黄褐色	2	2						3
16	10R	4/2	にぶい黄褐色	2	2						3
17	10R	4/2	にぶい黄褐色	2	2						3
18	10R	4/2	にぶい黄褐色	2	2						3
19	10R	4/2	にぶい黄褐色	2	2						3
20	10R	4/2	にぶい黄褐色	2	2						3
21	10R	4/2	にぶい黄褐色	2	2						3
22	10R	4/2	にぶい黄褐色	2	2						3
23	10R	4/2	にぶい黄褐色	2	2						3
24	10R	4/2	にぶい黄褐色	2	2						3
25	10R	4/2	にぶい黄褐色	2	2						3
26	10R	4/2	にぶい黄褐色	2	2						3
27	10R	4/2	にぶい黄褐色	2	2						3
28	10R	4/2	にぶい黄褐色	2	2						3
29	10R	4/2	にぶい黄褐色	2	2						3
30	10R	4/2	にぶい黄褐色	2	2						3
31	10R	4/2	にぶい黄褐色	2	2						3
32	10R	4/2	にぶい黄褐色	2	2						3
33	10R	4/2	にぶい黄褐色	2	2						3
34	10R	4/2	にぶい黄褐色	2	2						3
35	10R	4/2	にぶい黄褐色	2	2						3
36	10R	4/2	にぶい黄褐色	2	2						3
37	10R	4/2	にぶい黄褐色	2	2						3
38	10R	4/2	にぶい黄褐色	2	2						3
39	10R	4/2	にぶい黄褐色	2	2						3
40	10R	4/2	にぶい黄褐色	2	2						3
41	10R	4/2	にぶい黄褐色	2	2						3
42	10R	4/2	にぶい黄褐色	2	2						3
43	10R	4/2	にぶい黄褐色	2	2						3
44	10R	4/2	にぶい黄褐色	2	2						3
45	10R	4/2	にぶい黄褐色	2	2						3
46	10R	4/2	にぶい黄褐色	2	2						3
47	10R	4/2	にぶい黄褐色	2	2						3
48	10R	4/2	にぶい黄褐色	2	2						3
49	10R	4/2	にぶい黄褐色	2	2						3
50	10R	4/2	にぶい黄褐色	2	2						3
51	10R	4/2	にぶい黄褐色	2	2						3
52	10R	4/2	にぶい黄褐色	2	2						3
53	10R	4/2	にぶい黄褐色	2	2						3
54	10R	4/2	にぶい黄褐色	2	2						3
55	10R	4/2	にぶい黄褐色	2	2						3
56	10R	4/2	にぶい黄褐色	2	2						3
57	10R	4/2	にぶい黄褐色	2	2						3
58	10R	4/2	にぶい黄褐色	2	2						3
59	10R	4/2	にぶい黄褐色	2	2						3
60	10R	4/2	にぶい黄褐色	2	2						3
61	10R	4/2	にぶい黄褐色	2	2						3
62	10R	4/2	にぶい黄褐色	2	2						3
63	10R	4/2	にぶい黄褐色	2	2						3
64	10R	4/2	にぶい黄褐色	2	2						3
65	10R	4/2	にぶい黄褐色	2	2						3
66	10R	4/2	にぶい黄褐色	2	2						3
67	10R	4/2	にぶい黄褐色	2	2						3
68	10R	4/2	にぶい黄褐色	2	2						3
69	10R	4/2	にぶい黄褐色	2	2						3
70	10R	4/2	にぶい黄褐色	2	2						3
71	10R	4/2	にぶい黄褐色	2	2						3
72	10R	4/2	にぶい黄褐色	2	2						3
73	10R	4/2	にぶい黄褐色	2	2						3
74	10R	4/2	にぶい黄褐色	2	2						3
75	10R	4/2	にぶい黄褐色	2	2						3
76	10R	4/2	にぶい黄褐色	2	2						3
77	10R	4/2	にぶい黄褐色	2	2						3
78	10R	4/2	にぶい黄褐色	2	2						3
79	10R	4/2	にぶい黄褐色	2	2						3
80	10R	4/2	にぶい黄褐色	2	2						3
81	10R	4/2	にぶい黄褐色	2	2						3
82	10R	4/2	にぶい黄褐色	2	2						3
83	10R	4/2	にぶい黄褐色	2	2						3
84	10R	4/2	にぶい黄褐色	2	2						3
85	10R	4/2	にぶい黄褐色	2	2						3
86	10R	4/2	にぶい黄褐色	2	2						3
87	10R	4/2	にぶい黄褐色	2	2						3
88	10R	4/2	にぶい黄褐色	2	2						3
89	10R	4/2	にぶい黄褐色	2	2						3
90	10R	4/2	にぶい黄褐色	2	2						3
91	10R	4/2	にぶい黄褐色	2	2						3
92	10R	4/2	にぶい黄褐色	2	2						3
93	10R	4/2	にぶい黄褐色	2	2						3
94	10R	4/2	にぶい黄褐色	2	2						3
95	10R	4/2	にぶい黄褐色	2	2						3
96	10R	4/2	にぶい黄褐色	2	2						3
97	10R	4/2	にぶい黄褐色	2	2						3
98	10R	4/2	にぶい黄褐色	2	2						3
99	10R	4/2	にぶい黄褐色	2	2						3
100	10R	4/2	にぶい黄褐色	2	2						3

第125図 方形土坑（近世以降栽培根茎類貯蔵穴）実測図（9）



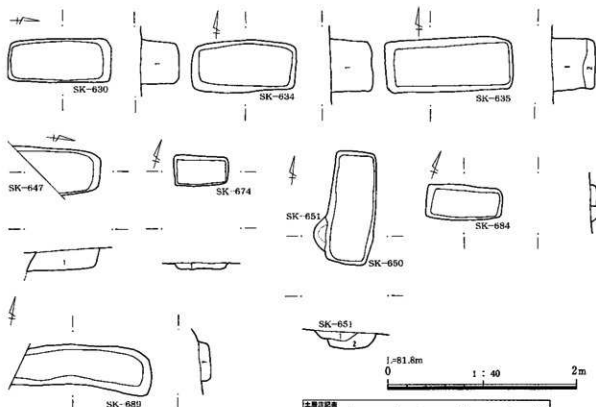
土層記録表										
層位	土色・土質記号	色 名	土 質							土 質
			ローム 腐植土 腐植質 腐植質 腐植質	粘 土 粘 土 粘 土 粘 土 粘 土	礫 礫 礫 礫 礫	炭化物 炭化物 炭化物 炭化物 炭化物	その他 その他 その他 その他 その他	土 質		
(SK-435)	1 [10R]	4/4 褐色	2	3	2					
(SK-504)	1 [10R]	4/4 褐色	3	3	4					2/3
	2 [10R]	3/2 褐色	2	2	2					2/3
(SK-523)	1 [10R]	3/2 褐色	1	2						4/3
	2 [10R]	4/4 褐色	3	3	2					4/3
	3 [10R]	4/2 黄褐色	2	3						4/3
(SK-525)	4 [10R]	2/4 褐色	3	3	3					2/3
	5 [10R]	3/2 褐色	1	1	1					2/3
(SK-526)	1 [10R]	3/2 褐色	1	1	1					2/3
(SK-527)	1 [10R]	3/2 褐色	2	2	1					2/3
(SK-528)	1 [10R]	3/2 褐色	2	2	1					2/3
(SK-529)	1 [10R]	3/2 褐色	1	1	1					2/3
(9) 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 (層位) 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 (土 質)										

備考欄: (9) 1 2 3 4 5 (8) L・R・V・粘性: (8) 1 2 3 4 5 (8)

土層記録表									
層位	土色・土質記号	色 名	ローム	粘 土	礫	炭化物	その他	土 質	土 質
			ローム	粘 土	礫	炭化物	その他	土 質	土 質
(SK-524)	1 [10R]	5/5 に近い黄褐色	1	1	3				3/3
	2 [10R]	3/2 褐色	2	2	2				3/3
(SK-526)	1 [10R]	3/2 褐色	2	3					3/3
(SK-527)	1 [10R]	4/4 褐色	4	3	3				2/3
	2 [10R]	3/2 褐色	3	2	1				2/3
(SK-624a)	1 [10R]	3/4 褐色	2	1					2/2
	2 [10R]	4/4 褐色	2	2	2				2/2
(SK-624b)	3 [10R]	4/4 褐色	3	3	3				2/2
(SK-626)	1 [10R]	4/4 褐色	3	2	1				3/2
(SK-627)	1 [10R]	4/2 に近い黄褐色	4	4	4				2/3

備考欄: (9) 1 2 3 4 5 (8) L・R・V・粘性: (8) 1 2 3 4 5 (8)

第126図 方形土坑（近世以降栽培根茎類貯蔵穴）実測図（10）



土層目録		土層別										土層別 深さ (m)
層別	土層別記号	色	名	ローマ	黒	土	赤	黒	赤	黒	赤	
SK-630	1109	4/2	黒褐色	2	2	1						3.3
SK-634	1109	4/2	黒褐色	2	2	2						2.3
SK-635	1109	4/2	黒褐色	4	4	4						2.3
SK-647	1109	4/2	黒褐色	1	1	1						2.3

資料物：(9) 1 2 3 4 5 (多) L: 黒リ、地盤：(黒) 1 2 3 4 5 (黒)

土層目録		土層別										土層別 深さ (m)
層別	土層別記号	色	名	ローマ	黒	土	赤	黒	赤	黒	赤	
SK-647	1109	4/2	黒褐色	3	3	2						3.3
SK-650	1109	4/2	黒褐色	2	2	2						2.3
SK-651	1109	4/2	黒褐色	1	1	1						2.3
SK-654	1109	4/2	黒褐色	2	2	2						2.3
SK-684	1109	4/2	黒褐色	1	1	1						2.3
SK-689	1109	4/2	黒褐色	4	4	4						2.3

資料物：(9) 1 2 3 4 5 (多) L: 黒リ、地盤：(黒) 1 2 3 4 5 (黒)

第127図 方形土坑（近世以降栽培根茎類貯蔵穴）実測図（11）

4 井戸跡

B区

SE-206（第128図 第7表 図版9）

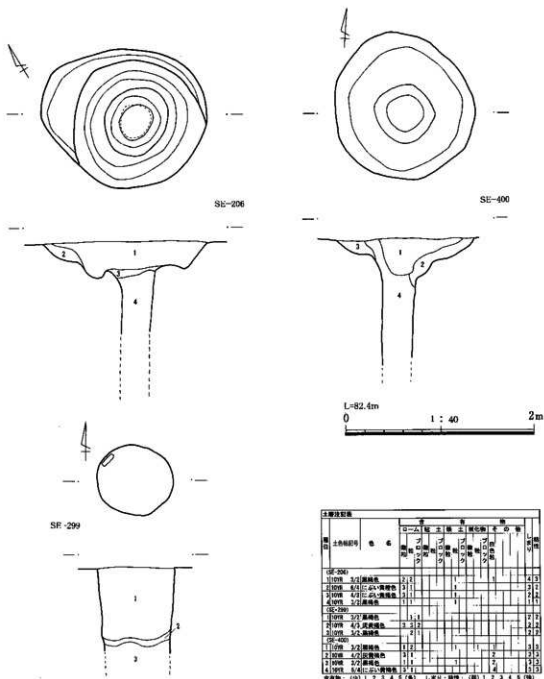
位置 中央から西のJ13グリッドで、北3mにSB-163、北西4.5mにSX-178が位置する。形状・規模 2段の掘り込みが行われている。先ず筒状になる本体の周囲に、確認面の長径は1.72m、短径1.5m、深さ25～30cmの掘り込みがある。また筒状になる部分の開口部周囲に、雨水除けと思われる幅10～20cm、深さ10cm前後の溝が巡る。筒状になる部分は1段目の掘り込みの中央部で、長径は0.7m、短径0.62mのはず円形で、深さは約2mまで調査を行ったが底面は確認されなかった。下面の大きさは長径0.4m、短径0.32mのやや楕円形状となっていた。覆土 筒状部分は締まりの悪い黒褐色土1層で、埋め戻しが行われたと思われる。その後壁面崩落の黄褐色土が堆積し、最後に1段目の掘り込み部分も含め締まりの良い黒褐色土1層で埋没している。筒状部分を埋め戻した後は、自然堆積であったと考えられた。出土遺物 覆土からの出土

63	SK-357	下小屋原B区	3.96	0.43	0.57	N-13°-W	2基の土坑の遺構(4・5層を覆土とする流しは1～3層を覆土とする流し土坑)。但し、直線の段段と土層の境が対応しない。自然増積後、掘り上げ土の再流入を想定。
64	SK-358	下小屋原B区	4.42	0.47	0.49	N-77°-E	下層の自然増積後、人為増積(埋め戻し)を想定。
65	SK-359	下小屋原B区	1.64	0.89	0.73	N-82°-W	SK-328・329と重複(SK-359>SK-328・329)。自然増積後、掘り上げ土の再流入を想定。
66	SK-364	下小屋原B区	4.70	0.70	0.48	N-87°-W	SK365・367・368と重複(SK365・367>SK364>SK368)。自然増積後、人為増積(埋め戻し)を想定。
67	SK-365	下小屋原B区(3.33)	(0.40)	(0.40)	0.30	N-87°-W	SK364・366・367と重複(SK367>SK365>SK364・366)。自然増積後、人為増積(埋め戻し)を想定。
68	SK-366	下小屋原B区	2.26	(0.50)	0.25	N-89°-W	SK365・367と重複(SK365・367>SK366)。ロームをはとどく含まない覆土のため、自然増積又は黒色土の埋め戻しを想定。
69	SK-367	下小屋原B区	1.15	0.83	0.49	N-83°-W	SK364・365・366と重複(SK367>SK365>SK364・366)。自然増積後、人為増積(埋め戻し)を想定。
70	SK-368	下小屋原B区(1.30)	0.79	0.56	N-87°-W	SK-364・369と重複(SK-364>SK-368>SK-369)。自然増積後、人為増積(埋め戻し)を想定。	
71	SK-369	下小屋原B区(1.15)	0.63	0.27	N-89°-W	SK-368と重複(SK-368>SK-369)。自然増積を想定。	
72	SK-370	下小屋原B区	3.50	(0.40)	0.08	N-85°-W	SK-371・372と重複(SK-370>SK-371・372)。ロームをはとどく含まない覆土のため、自然増積又は黒色土の埋め戻しを想定。
73	SK-371	下小屋原B区	1.66	0.65	0.31	N-85°-W	SK-370と重複(SK-370>SK-371)。自然増積後、人為増積(埋め戻し)を想定。
74	SK-372	下小屋原B区	1.76	0.67	0.30	N-85°-W	SK-370と重複(SK-370>SK-372)。自然増積後、人為増積(埋め戻し)を想定。
75	SK-373a	下小屋原B区	1.64	0.65	0.28	N-90°-E	SK-372bと重複するが、新旧は不明。
76	SK-373b	下小屋原B区(1.60)	(0.35)	0.08	N-88°-W	S-372aと重複するが、新旧は不明。自然増積を想定。	
77	SK-374	下小屋原B区	1.30	0.72	0.29	N-78°-E	自然増積後、掘り上げ土の再流入を想定。
78	SK-375	下小屋原B区	2.10	0.50	0.05	N-85°-W	底面付近しか遺存していない。自然増積を想定。
79	SK-376	下小屋原B区	1.56	0.68	0.35	N-89°-W	SK-377と重複(SK-377>SK-376)。自然増積。2層は掘り上げ土の再流入と想定。
80	SK-377	下小屋原B区	1.87	0.77	0.11	N-84°-W	SK-376と重複(SK-377>SK-376)。
81	SK-378	下小屋原B区	1.52	0.81	0.18	N-83°-W	自然増積を想定。
82	SK-379	下小屋原B区	1.69	0.75	0.16	N-81°-W	孤立柱建物跡(SB-315)と重複し、これより新しい。自然増積を想定。
83	SK-380	下小屋原B区	5.17	0.56	0.33	N-87°-W	掘り上げ土の再流入の後、自然増積を想定。
84	SK-381	下小屋原B区	4.02	0.51	0.50	N-88°-W	掘り上げ土の再流入を交えながら、自然増積を想定。
85	SK-387	下小屋原B区	3.64	0.49	0.05	N-84°-W	底面付近しか遺存していない。自然増積を想定。
86	SK-388	下小屋原B区(2.60)	0.50	0.44	N-81°-E	SK332・389・390と重複(SK389>SK388>SK332・390)。自然増積後、人為増積(埋め戻し)を想定。	
87	SK-389	下小屋原B区(0.85)	0.47	0.42	N-81°-E	SK-388・390と重複(SK-389>SK-388>SK-390)。	
88	SK-390	下小屋原B区	1.51	0.63	0.50	N-87°-E	SK-388・389・391・392と重複(SK-388・389・391・392>SK-390)。
89	SK-391	下小屋原B区(1.62)	0.53	0.26	N-88°-E	SK-390・392と重複(SK-391・392>SK-390)。	
90	SK-392	下小屋原B区(2.83)	0.50	0.48	N-80°-E	SK-390・391・397と重複(SK-397>SK-392>SK-390)。	
91	SK-397	下小屋原B区(0.80)	0.53	0.41	N-80°-E	SK-392と同一方向で重複(SK-397>SK-392)。	
92	SK-401	下小屋原B区	1.65	0.66	0.52	N-82°-E	自然増積後、人為増積(埋め戻し)を想定。
93	SK-406	下小屋原B区	2.10	0.60	0.08	N-83°-E	底面付近しか遺存していないが、単層のため自然増積を想定。
94	SK-407	下小屋原B区	1.50	0.78	0.62	N-87°-E	人為増積(埋め戻し)。
95	SK-408	下小屋原B区	1.15	(0.74)	0.40	N-90°-E	人為増積(埋め戻し)。
96	SK-409	下小屋原B区	1.15	0.78	0.52	N-89°-E	人為増積(埋め戻し)。
97	SK-412	下小屋原B区	1.86	0.53	0.20	N-89°-E	自然増積を想定。
98	SK-415	下小屋原B区	2.29	0.52	0.07	N-81°-W	自然増積を想定。
99	SK-425	下小屋原B区	1.55	0.60	0.51	N-89°-W	自然増積後、掘り上げ土の再流入を想定。
100	SK-433	下小屋原B区(1.40)	0.48	0.12	N-84°-W	自然増積を想定。	
101	SK-434	下小屋原B区	3.68	0.48	0.41	N-87°-E	自然増積後、掘り上げ土の再流入を想定。
102	SK-435	下小屋原B区	2.20	0.44	0.43	N-85°-E	人為増積(埋め戻し)。
103	SK-504	下小屋原B区(1.29)	0.61	0.45	N-67°-E	自然増積後、人為増積(埋め戻し)を想定。	
104	SK-523	下小屋原B区(3.90)	0.72	0.57	N-70°-E	自然増積を想定。	
105	SK-524	下小屋原B区	1.65	0.58	0.12	N-69°-E	底面付近しか遺存していないが、単層のため自然増積を想定。
106	SK-525	下小屋原B区	3.79	0.45	0.20	N-61°-E	底面付近しか遺存していないが、単層のため自然増積を想定。
107	SK-526	下小屋原B区	1.74	0.55	0.06	N-67°-E	底面付近しか遺存していないが、単層のため自然増積を想定。
108	SK-529	下小屋原B区	2.36	0.38	0.17	N-78°-E	自然増積後、掘り上げ土の再流入を想定。
109	SK-532	下小屋原B区	1.63	0.41	0.14	N-80°-E	底面付近しか遺存していないが、単層のため自然増積を想定。
110	SK-609	下小屋原B区	1.61	0.58	0.58	N-0°-E	掘り上げ土の再流入後、自然増積を想定。
111	SK-624a	下小屋原B区	0.78	0.68	0.50	N-82°-E	SK-624bと重複(SK-624a>SK-624b)。
112	SK-624b	下小屋原B区	0.39	0.70	0.50	N-58°-W	SK-624aと重複(SK-624a>SK-624b)。
113	SK-626	下小屋原B区	2.96	0.65	0.28	N-90°-E	人為増積(埋め戻し)を想定。
114	SK-629	下小屋原B区	1.18	0.56	0.28	N-87°-W	人為増積(埋め戻し)を想定。
115	SK-630	下小屋原B区	1.61	0.68	0.60	N-1°-E	人為増積(埋め戻し)を想定。
116	SK-634	下小屋原B区	1.63	0.75	0.65	N-87°-E	人為増積(埋め戻し)を想定。
117	SK-635	下小屋原B区	2.01	0.84	0.69	N-89°-E	自然増積後、人為増積(埋め戻し)を想定。
118	SK-647	下小屋原B区(1.30)	0.72	0.30	N-4°-W	掘り上げ土の再流入又は、人為増積(埋め戻し)を想定。	
119	SK-650	下小屋原B区	1.79	0.70	0.25	N-2°-E	SK-651と重複(SK-650>SK-651)。
120	SK-674	下小屋原B区	0.85	0.45	0.05	N-76°-E	掘り上げ土の再流入又は、人為増積(埋め戻し)を想定。
121	SK-684	下小屋原B区	1.20	0.56	0.10	N-75°-E	底面付近しか遺存していないが、単層のため自然増積を想定。
122	SK-689	下小屋原B区(2.13)	0.70	0.16	N-87°-E	掘り上げ土の再流入又は、人為増積(埋め戻し)を想定。	
123	SK-802	下小屋原C区(1.14)	0.26				人為増積(埋め戻し)の後、自然増積により埋没を想定。
124	SK-803	下小屋原C区(1.48)	0.30				掘り上げ土の再流入を想定。
125	SK-804	下小屋原C区	(0.80)	0.62			自然増積後、人為増積(埋め戻し)を想定。
126	SK-805	下小屋原C区	(1.12)	0.82			掘り上げ土の再流入又は、人為増積(埋め戻し)を想定。
127	SK-812	下小屋原C区(1.30)	0.68				SK-811と重複(SK-811>SK-812)。人為増積(埋め戻し)を想定。
128	SK-818	下小屋原C区(1.26)	0.84				掘り上げ土の再流入又は人為増積(埋め戻し)の後、自然増積を想定。

遺物はなく、時期は不明である。

SE-299 (第128図 第7表 図版九)

位置 中央からやや北のO11グリッドで、東5mにSB-315、北5mにSB-395、南西4mにSB-181が位置する。形状・規模 確認面の長径は0.78m、短径0.72mのはほぼ円形で、深さは約2m以上である。断面はほぼ円筒状であるが、下面の大きさは径0.3m前後となりやや先細りとも言える。覆土 下面はローム粒・ロームブロックを含む黒褐色土で埋め戻しが行われたと思われる。その後壁面崩落の灰黄褐色土が堆積し、最後に上面は黒褐色の自然堆積で埋没したものと考えられる。出土遺物 覆土からの出土遺物はなく、時期



第128図 井戸跡実測図 (1)

5 焼土跡

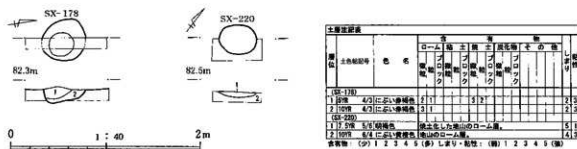
B区

SX-178 (第130図)

位置 中央から西の調査区南西端部J13グリッドで、北5mにSI-01、東4mにSB-163、南東4.5mにSE-206が各々位置する。形状・規模 遺構確認面であるローム漸移層上面で、赤褐色の焼土が長径0.48m、短径0.44mの範囲で検出された。断面調査の結果、深さ10~18cmで鍋底状にローム層上面の漸移層を掘り込んでいることが認められた。壁面も赤褐色に変色しており、良く火を受けていることも確認された。遺構周囲には小ピットの存在もなく、単独で存在したものと思われる。出土遺物 出土遺物もなく、時期を確認することはできなかった。

SX-220 (第130図)

位置 中央からやや南西のM13グリッドに位置する。重複遺構 SB-261内の北東コーナー近くであるが、新旧は不明であった。形状・規模 SX-178同様、遺構確認面であるローム漸移層上面で、赤褐色に変色した焼土が長径0.4m、短径0.3mの範囲で確認された。断面調査の結果、深さ約6cm前後でローム層上面が良く火を受けている状態であった。すなわち遺構本体は消滅しており、火を受けた下面の地山ローム面が変色したものと言える。出土遺物もなく、時期は不明である。



第130図 焼土跡実測図

6 溝跡

B区

SD-30 (第131・132図 第8表 図版一三)

位置 調査区西端部に位置し、調査区を北東から南西方向に横断しているが、調査区の北東端部近くでは、北方向へとほぼ直角に屈曲する。重複遺構 SD-31がほぼ平行に走っており、調査区北東端部の屈曲部で重複し、本遺構を切っている。形状・規模 確認面幅1.12~1.68m、底面幅0.16~0.4m、残存深度0.3~0.7mで、全長は両端とも調査区外へと延びているため不明だが、調査区内での現存長は56m以上である。断面形は底面が狭くなるV字状であるが、北東側約1/3の広く且つ深くなる部分では薬研堀状の形態に掘削されている。覆土 覆土はレンズ状堆積を示すため自然堆積と思われるが、1回以上の掘り返しが行われていると考えられた。また覆土の締まりが悪く、比較的新しい時期の所産とも推定される。出土遺物 覆土からの出土遺物はなく、時期は不明である。

SD-31 (第131・132図 第8表 図版一三)

位置 調査区西端部でSD-30の南側に位置し、SD-30とはほぼ平行に走る。重複遺構 SD-30を切っている。

形状・規模 確認面幅1.6～2.08m、底面幅0.16～0.24m、残存深度0.26～0.58mで、全長は両端とも調査区外へと延びている。調査区内での現存長は56m以上で、断面形は底面が狭くなるV字状である。**覆土** 覆土はレンズ状堆積を示すため自然堆積と思われるが、徐々に南側へと4回以上の掘り返しが行われたことが確認された。またSD-30同様に覆土の締まりが悪く、比較的新しい時期の所産とも推定されるが、壁面から明瞭な工具痕も確認された。**出土遺物** 覆土中から古銭「文久永寶」（第135図 第25表 図版二三）が出土遺物している。

SD-73（第133図 第8表 図版一三）

位置 調査区北西端部に位置する。調査区北部から南北方向に確認されたが、SD-30北側で西方向へとほぼ直角に屈曲し、浅い掘り込みとなり確認できなくなる。**形状・規模** 確認面幅0.35～0.88m、底面幅0.08～0.3m、残存深度0.24～0.38m、断面形は底面が狭くなるV字状の細く浅い溝である。北側は調査区外へと延びているため不明だが、調査区内での現存長は14m以上である。**覆土** 覆土は自然堆積と思われる。締まりが悪く、比較的新しい時期の所産とも推定される。**出土遺物** 覆土からの出土遺物はなく、時期は不明である。

SD-74（第133図 第8表 図版一三）

位置 調査区北西端部に位置する。調査区北部から南北方向に確認されたが、SD-73の東側を近接して平行に走り、SD-30の北側で同様に西方向へ直角に屈曲していたと思われる。**重複遺構** SD-30北側でSK-98と重複するが、SK-98を切っていることが確認された。**形状・規模** 確認面幅0.3～0.42m、底面幅0.08～0.28m、残存深度0.07～0.12m、断面形は部分的にU字状又は逆台形状で細く浅い溝である。北側は調査区外へと延びているため不明だが、調査区内での現存長は12m以上である。**覆土** 覆土は自然堆積と思われる。**出土遺物** 覆土からの出土遺物はなく、時期は不明である。SD-73・522と共にSD-30・31の北側に位置し、各々は重複せず同様な方向に走行と屈曲することから、これらの溝は何らかの関係があったものと考えられる。

SD-242（第8・113図 第8表 図版一三）

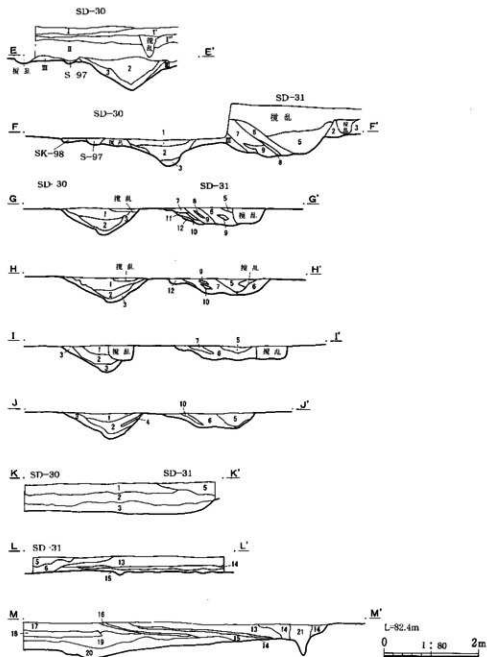
位置 調査区中央部からやや北側に位置し、調査区を東西方向に横断している。**重複遺構** SD-363を切っているが、近世以降の方形土坑SK-28・433に切られている。**形状・規模** 確認面幅1.28～2.4m、底面幅0.5～0.8m、残存深度1.1～1.45mと調査区内では一番大きな溝で、全長は両端とも調査区外へと延びているため不明だが、現存長は57m以上である。断面形はほぼ逆台形状であるが、底面のやや上面に段が確認される薬研掘状に掘削されている。**覆土** 覆土はレンズ状堆積を示すため自然堆積と思われる。**出土遺物** 覆土からの出土遺物はなく、時期は不明である。

SD-363（第134図 第8表 図版一三）

位置 調査区中央部でSD-242の北側に位置し、SD-30と重複しながら東西方向に走る。**重複遺構** SD-242に切られている。**形状・規模** 確認面幅0.4～0.68m、底面幅0.2～0.45m、残存深度0.05～0.22mで、全長は調査区外へと延びているため不明だが、調査区内での現存長は43m以上である。断面形はU字状である。**覆土** 覆土は自然堆積と思われる。

SD-522（第131図 第8表 図版一三）

位置 調査区北西端部に位置する。SD-30北側で同溝に平行し、調査区西端部からSD-73・74の屈曲部西約10mの付近で浅い掘り込みとなり確認できなくなる。**形状・規模** 確認面幅0.56～1.04m、底面幅0.12～0.4m、残存深度0.13～0.25m、断面形は底面が狭くなるV字状の細く浅い溝である。西側は調査区外へ



土層発見表 SD-30・31											
層位	土色・地層記号	色	名	ローマ字	粘土	砂	土	灰	石	その他	L
(SD-30)											
1	10YR 5/2	黄褐色	2	2							2
2	10YR 5/2	黄褐色	1	1							2
3	10YR 5/4	にぶい黄褐色	3	2							2
4	10YR 5/4	にぶい黄褐色	2	2							2
(SD-31)											
5	10YR 5/2	黄褐色	1	2							2
6	10YR 4/2	にぶい黄褐色	2	2							2
7	10YR 5/4	にぶい黄褐色	3	2							2
8	10YR 4/2	黄褐色	5	3							4
9	10YR 4/2	にぶい黄褐色	2	2							4
10	10YR 5/2	黄褐色	1	1							2
11	10YR 5/2	黄褐色	1	2							2

含有物: (砂) 1 2 3 4 5 (多) L 砂り・粘性: (弱) 1 2 3 4 5 (強)

土層発見表 SD-31											
層位	土色・地層記号	色	名	ローマ字	粘土	砂	土	灰	石	その他	L
(SD-31)											
12	10YR 5/8	黄褐色	5	1							3
13	10YR 5/4	にぶい黄褐色	4	4	3						4
14	10YR 4/2	黄褐色	3	1	1						4
15	10YR 4/6	にぶい黄褐色	2	1							4
16	10YR 4/2	黄褐色	2	2							4
17	10YR 4/2	にぶい黄褐色	3	2	2						3
18	10YR 4/2	黄褐色	2	2							4
19	10YR 5/4	にぶい黄褐色	1	2							2
20	10YR 4/2	黄褐色	1	2							2
(埋没)											
21	10YR 5/2	黄褐色	1	2							2

含有物: (砂) 1 2 3 4 5 (多) L 砂り・粘性: (弱) 1 2 3 4 5 (強)

第132図 溝跡実測図(2)

と延びているため不明だが、調査区内での現存長は25m以上である。**覆土** 覆土は自然堆積で、締まりが悪く、比較的新しい時期の所産とも推定される。**出土遺物** 覆土からの出土遺物はなく、時期は不明である。

SD-601 (第133図 第8表 図版一三)

位置 調査区南東端部に位置する。調査区を東西方向に走行するが、東側は調査区東端部付近で浅い掘り込みとなり確認できなくなる。西側は調査区内を南北に通っている道路下までは確認できたが、その西側調査区においては確認されなかった。**形状・規模** 確認面幅0.5～1.45m、底面幅0.16～0.25m、残存深度0.5～0.7m、断面形は残存状態の比較的良好な遺構西側部分で薬研堀状の掘方が確認されたが、東側では底面が狭くなるV字状の細く浅い溝であった。調査区内での現存長は20m以上である。**覆土** 覆土は自然堆積で、締まりが悪く、比較的新しい時期の所産とも推定される。**出土遺物** (第135図 第25表) 覆土から須恵器坏片と陶器底部が出土しているが、時期については不明である。

調査区中央から北側で確認されたSD-601以外の溝跡は何れも同じ方向に構築されているが、ほぼ東西方向に構築されている近世以降の方形土坑列からはやや北側にずれる。構築時期は比較的新しい時期の所産としたが、現在の土地利用状況とも異なるため、少なくとも近現代以前と推定される。またSD-601については、現道下で確認されなくなることから現在の地割りととの関係が深いとも考えられた。

C区

SD-815 (第104図 第8表)

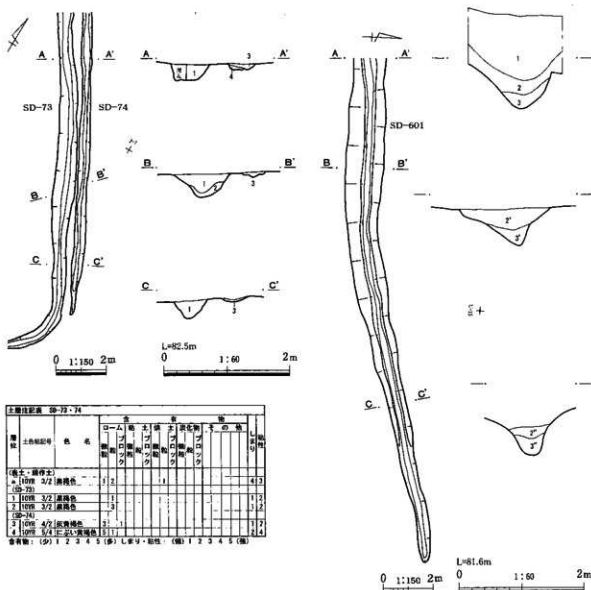
位置 調査区中央部第4トレンチ内の中央やや東に位置する。1.5m東側のSD-816とはほぼ平行して東西方向に走行することが確認された。**形状・規模** トレンチ内での調査であるが、確認面幅1.58m、底面幅0.32m、残存深度0.88m、断面形は底面が狭くなるV字状と言える。また断面形がV字状の小型の溝がSD-816との間に存在している。**覆土** 覆土は2層が水平堆積しており、埋め戻されているとも思われた。**出土遺物** 覆土からの出土遺物はなく、時期は不明である。

SD-816 (第104図 第8表)

位置 調査区中央部第4トレンチ内の中央やや東に位置する。1.5m西側のSD-815とはほぼ平行している。**形状・規模** トレンチ内での調査であるが、確認面幅0.98m、底面幅0.18m、残存深度0.42～0.56m、断面形は底面が狭くなるV字状と言える。**覆土** 覆土は2層の黒色土が堆積しており、自然堆積と思われる。**出土遺物** 覆土からの出土遺物はなく、時期は不明である。

SD-817 (第104図 第8表)

位置 調査区中央部第4トレンチ内の東側で、約10m西側にSD-816が位置する。**形状・規模** トレンチ内での調査であるが、溝の掘り返し又は複数の溝の重複と思われる、確認面幅0.32～1.7+αm、底面幅0.14～0.26m、残存深度0.18～0.58m、断面形は薬研堀状部分とV字状の掘方が確認される。**覆土** 部分的に埋め戻されていると思われる。**出土遺物** 覆土からの出土遺物はなく、時期は不明である。



土層追記表 SD-73・74

層位	土色・土質記号	色名	土層追記					その他	L(層厚)
			ローム層	粘土層	砂層	礫層	その他		
(粘土・砂層土)									
a (10層)	3/2	黒褐色							4.3
(SD-73)									
1 (10層)	3/2	黒褐色							1.2
2 (10層)	3/2	黒褐色							1.2
(SD-74)									
3 (10層)	4/2	灰黄褐色							1.2
4 (10層)	5/4	灰黄褐色							2.4

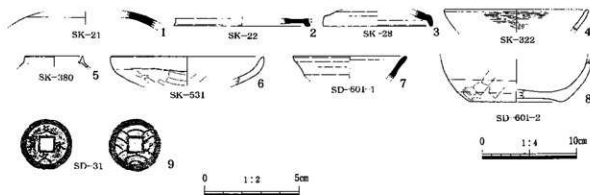
含有物: (砂) 1 2 3 4 5 (多) L: 灰V・粘性: (弱) 1 2 3 4 5 (強)

土層追記表 SD-601

層位	土色・土質記号	色名	土層追記					その他	L(層厚)
			ローム層	粘土層	砂層	礫層	その他		
1 (10層)	4/2	灰黄褐色							3.2
2 (10層)	4/4	褐色							2.3
3 (10層)	4/4	褐色							2.3
4 (10層)	5/2	黒褐色							3.3
5 (10層)	3/2	黒褐色							2.3
6 (10層)	3/2	黒褐色							2.3
7 (10層)	3/2	黒褐色							2.3

含有物: (砂) 1 2 3 4 5 (多) L: 灰V・粘性: (弱) 1 2 3 4 5 (強)

第133図 溝跡実測図(3)



第135図 SK21・22・28・322・380・SD-31・601 S-531出土遺物実測図

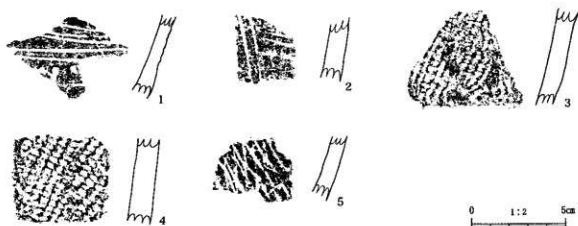
第25表 SK21・22・28・322・380・SD-31・601 S-531遺物観察表

番号	材質器種	寸法 (cm)	残存率	特 徴	色調焼成	備考
SK 21	須恵器 蓋	口 径 : — 器 高 : — 底 径 : —	一部残存	右回りのクワ水挽き	5Y 6/1 灰色 焼成良好	
SK 22	須恵器 高台付杯	口 径 : — 残存高 : (1.0) 底 径 : (14.5)	底部一部残存	クワ水挽き、底部回転糸切り	7.5YR 6/4 にぶい褐色 焼成良好	
SK 28	須恵器 蓋	口 径 : — 器 高 : — 底 径 : —	外縁部一部残存	クワ水挽き	7.5Y 5/1 灰色 焼成良好	
SK 322	土師器 杯	推定口径 : (15.3) 残存高 : (2.3)	口縁部のみ一部残存	外：横位の筥ミガキ 内：横位の筥ミガキ	2.5YR 4/6 赤褐色 焼成良好	
SK 380	土師器 杯	推定口径 : (5.0) 胴部上唇径 : (6.9) 残存最大径 : (7.3)	口縁部～胴部 上位約 1/4 周 残存	外：横位の筥ミガキ 内：横位の筥ミガキ	7.5YR 4/2 灰褐色 焼成良好	
S 531	土師器 杯	推定口径 : (16.2) 残存高 : (3.0)	口縁部～胴部 下位 1/6 残存	外：口縁部横ナデ、胴部横位、斜位の筥ケズリ 内：口縁部横ナデ、胴部斜位の筥ナデ	10YR 7/4 にぶい黄褐色 焼成良好	外面口縁部直下 に輪模み痕が残る
SD 601 1	須恵器 杯	推定口径 : (12.0) 残存高 : (2.4)	口縁部～胴部 上位一部残存	クワ水挽き	5Y 6/1 灰色 焼成良好	
SD 601 2	陶器	推定最大径 : (16.0) 残存高 : (4.5) 底 径 : 9.8	底部～胴部下 位 1/2 残存	クワ水挽き、胴部下位～底部の外面は施軸しておらず、この部分はクワ水挽き後、斜位の筥ナデをしている	7.5YR 5/6 明褐色 焼成良好	胎土は酸化している
SD 31	古銭 文久永寶	長さ : 2.7 幅 : 2.7 厚さ : 0.2 重量 (g) : 3.4	完形	周縁・表裏面とも摩滅	5Y 6/1 灰色 焼成良好	

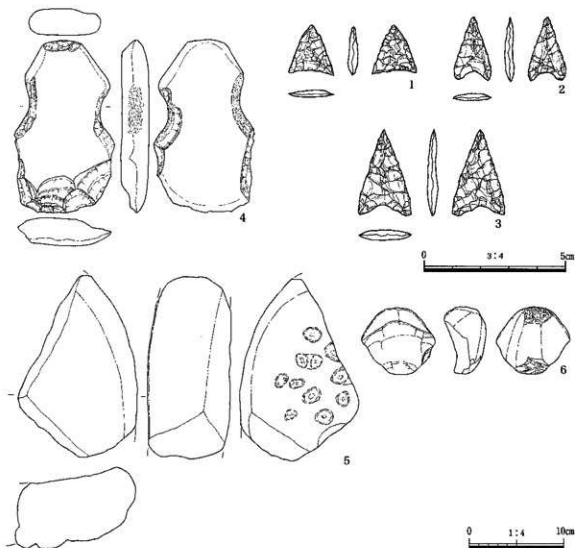
* クワ水挽き—製作状態の上方観

7 遺構外の出土遺物

ア 縄文時代の出土遺物 (第136・137図 第26・27表 図版二三)



第136図 下小屋原遺跡遺構外出土遺物実測図(1)



第137図 下小屋原遺跡遺構外出土遺物実測図(2)

縄文時代の所産と考えられる遺構としては袋状土坑1基、陥し穴状土坑5基が調査されたが、遺構からの図示できる遺物はなかった。遺構外の出土遺物としては小量だが、早期から晩期の土器片5点と石器6点（石鏃、打製石斧、石皿、磨石・叩き石）が確認された。

第26表 下小屋原遺跡遺構外出土遺物（1）観察表

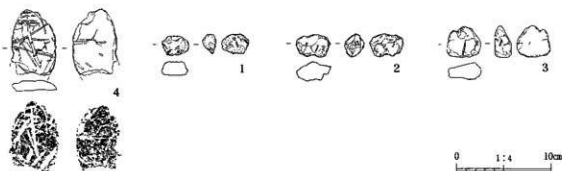
番号	材質器種	寸法 (cm)	残存率	特 徴	色調焼成	備考
1	縄文土器	口 径 : — 器 高 : — 底 径 : —	一部破片	沈線と竹管による斜め方向からの刺突文を横位に連らす胎土には砂粒、ガラス質粒子を多く含む	7.5YR 4 / 3 外面褐色 焼成良好	田戸下層式と思われる
2	縄文土器	口 径 : — 器 高 : — 底 径 : —	一部破片	無文地に縦・横方向の沈線が施される胎土には砂粒、やや大きめの白色粒子を含む	7.5YR 6 / 4 にぶい黄褐色 焼成良好	前期後半と思われる
3	縄文土器	口 径 : — 器 高 : — 底 径 : —	一部破片	2段 RL の縄を縦位に施文した単筋斜縄文がみられる（間隔をあけて縄文を施文）胎土には砂粒、白色粒子を含む	10YR 4/2 灰黄褐色 焼成良好	加賀利 E 式と思われる
4	縄文土器	口 径 : — 器 高 : — 底 径 : —	一部破片	2段 RL の縄を縦位に施文した単筋斜縄文がみられる胎土には砂粒、白色粒子を含む	7.5YR 6 / 4 褐色 焼成良好	加賀利 E 式と思われる
5	縄文土器	口 径 : — 器 高 : — 底 径 : —	一部破片	単軸縄条体第5類による網目状器系文が施される胎土には少量の砂粒、白色粒子を含む	10YR 7 / 3 にぶい黄褐色 焼成良好	大洞 C2 式期の粗製土器又は半精製土器

第27表 下小屋原遺跡遺構外出土遺物（2）観察表

番号	材質器種	寸法 (cm)	残存率	特 徴	色調焼成	備考
1	石鏃 (黒曜石)	長 さ : 1.7 最大幅 : 1.6 厚 さ : 0.3 重量 (g) : 0.5	完形	凹基の石鏃、両面とも平坦な押圧剥離に覆われている		
2	石鏃 (チャート)	長 さ : 2.2 最大幅 : 1.3 厚 さ : 0.3 重量 (g) : 0.7	完形	凹基の石鏃、両面とも平坦な押圧剥離に覆われている		
3	石鏃 (チャート)	長 さ : 3.1 最大幅 : 1.9 厚 さ : 0.4 重量 (g) : 1.3	完形	凹基の石鏃、両面とも平坦な押圧剥離に覆われている		
4	打製石斧 分銅形 (火山岩質 安山岩)	長 さ : 18.2 最大幅 : 10.4 括れ部幅 : 7.4 厚 さ : 2.9 重量 (g) : 842.7	完形	扁平な自然礫を素材とし、片面の長軸両端に剥離を加えて刃部を作出、短軸両端に剥離を加えて括れ部を作出、括れ部は、敲打痕様の痕跡により、剥離面が摩耗している		
5	石皿 (礫岩)	最大長 : (19.2) 最大幅 : (12.6) 最大厚 : 8.7 重量 (g) : (1525.5)	1/6 残存	機能面が僅かに窪み、裏面は多くの孔を穿ち、縁の黒石状を呈している		
6	磨石・叩き石 (ヒン里)	長 さ : (7.1) 幅 : 7.8 厚 さ : 4.5 重量 (g) : (286.2)	長軸上の下半部を欠損	機能面と思われる平坦な面が多面存在する、頂部に敲打痕がみられる		

イ その他の出土遺物 (第138図 第28表)

住居跡SI-07、08、501、502の出土で、図示した4点の粘土塊が確認された。大きき2~7cmの不整形で、表裏に植物繊維の圧痕が看られるのが共通の特徴である。使用目的等は不明であるが、出土している住居跡は7C中頃から8C中頃までの範疇であることは注目される。



第138図 下小屋原遺跡出土遺物（粘土塊）実測図

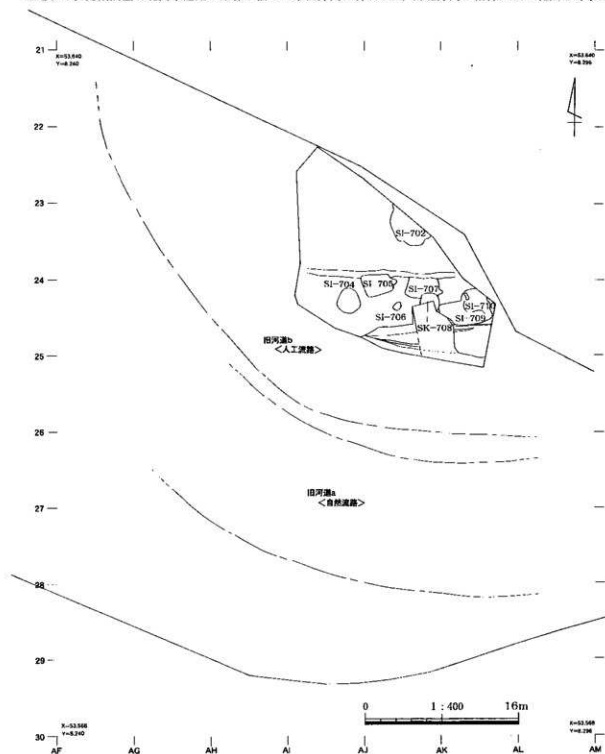
第28表 下小屋原遺跡出土遺物（粘土塊）観察表

番号	材質器種	寸法 (cm)	残存率	特 徴	色調焼成	備考
1 SI 07	焼成粘土塊	長 さ : 2.0 幅 : 2.8 厚 さ : 1.9 重 量 (g) : 6.3	完形	植物繊維の圧痕あり	5YR 7/6 褐色 焼成良好	
2 SI 08	焼成粘土塊	長 さ : 2.3 幅 : 3.6 厚 さ : 2.1 重 量 (g) : 10.3	完形	植物繊維の圧痕あり、多面体を呈し、各面は比較的平坦	5YR 6/6 褐色 焼成良好	
3 SI 502	焼成粘土塊	長 さ : 3.3 幅 : 3.5 厚 さ : 1.8 重 量 (g) : 15.1	完形	植物繊維の圧痕あり、表裏面は比較的平坦	7.5YR 7/4 にぶい褐色 焼成良好	
4 SI 501	焼成粘土塊	長 さ : 7.0 幅 : 4.7 厚 さ : 1.1 重 量 (g) : 33.3	長軸上の下端を欠損	表面は緩やかな凸面で、繊維圧痕が著しい、裏面は平坦で平滑僅かに繊維圧痕がみられる	10YR 7/4 にぶい黄褐色 焼成良好	

第Ⅳ章 高島館址

第1節 遺跡の概要

高島館址（第139図）は高島遺跡群のA区で、江川が鬼怒川低地に出る左岸の岡本・磯岡台地の東縁部に立地する。発掘調査は北関東道路の路線に沿って東西方向に約190m、南北方向に幅約50mの範囲を対象と



第139図 高島館址遺構配置図

して行った。

調査区の標高は調査区台地上で約81～82m前後、低地面で約78～79mであり、台地の低地との比高差は約3mであり微高地と言える。調査区は以前、低地は水田であったが、台地上は宅地敷地内で櫓等の大木も存在していた。

本調査の実施については、台地上は中世館址を想定し、重機による抜根後は人力での掘り下げの調査を行った。低地については旧河道の存在が確認されていたため、館址との関係を解明することを目的とした。

調査の結果、検出された遺構と遺物は古墳時代後期～平安時代の住居跡6軒、土坑2基（方形堅穴遺構1基）、溝跡1条であり、館址と関連する遺構は検出されなかった。遺物としても縄文式土器・石器、土師器、須恵器の他に近世以降の陶器、磁気の出土が主であった。

しかし館址については、旧自然河道が台地先端部を約10m前後削平し内側に付け替えられ堀的に利用されたこと、台地端部が垂直にカットされていることが確認され各々旧河道（堀跡）、切岸部として調査を実施した。遺物では、内耳土器等の出土が看られたものの図示できる遺物は無く明確な時期を確定することが困難で、低地部確認調査により17C代と考えられる肥前系の磁器を確認できたことは大きな成果と言える。

第2節 遺構と遺物

1 堅穴住居跡

SI-702（第140・141図 第3表 図版一五）

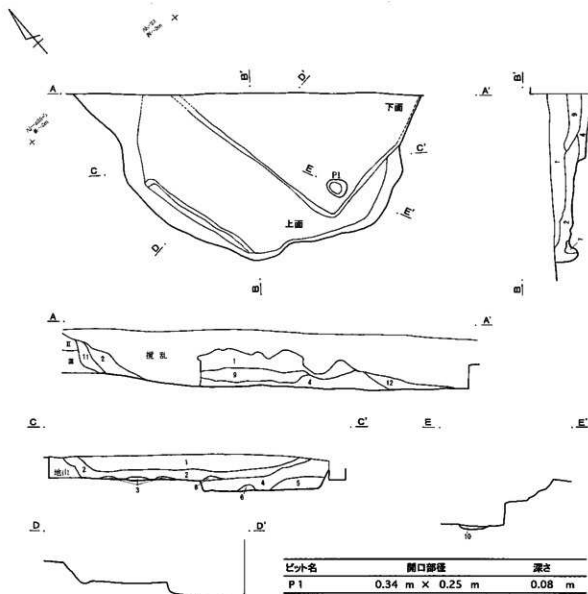
位置 中央から北の調査区北端部AJ23グリッドで、南3～4mにSI-705・707が位置する。重複遺構 本遺構の北～東側約1/2が調査区外となり全容は不明である。しかし重複又は立替が確認され、上面遺構が下面の遺構を切っている。このため上面の遺構から順に記す。上面遺構 規模 現存長で東西2.66m、南北4.66m。平面形 不整形であるが、西壁際の壁溝が直線的なことから、方形であったと思われる。主軸方向 N-46°-W。覆土 主に黒色土、黒褐色土、黄褐色土の自然堆積である。壁 36～48cmで、床面から外傾しながら立ち上がる。床 ほぼ平坦に整えられているが、硬化面は無い。柱穴、貯蔵穴等は検出されなかった。壁溝 幅6～15cm、深さ3cm前後と浅いものが西壁際のみで確認された。カマドについては不明。下面遺構 規模 現存長で東西2.83m、南北2.93m。平面形 隅丸長方形であったと思われる。主軸方向N-12°-W。覆土 主に4～6層のローム土を主体とする褐色土、黄褐色土のため、埋め戻し等の人為的堆積かとも考えられる。壁 現存高は15～30cmで、床面からやや外傾しながら立ち上がる。床 ほぼ平坦に整えられ、一部硬化面も確認された。柱穴 柱穴となるかは不明であるが、南西コーナーに浅いピット1基が確認された。貯蔵穴・カマドについては不明。壁溝 検出されなかった。

遺物（第142図 第29表）

上下の遺構とも遺物は少なく、上面遺構では覆土中から2の須恵器片、下面遺構では1の土師器片等のみの出土であった。上下の遺構とも時期は明確ではないが、8C代と考えられる。

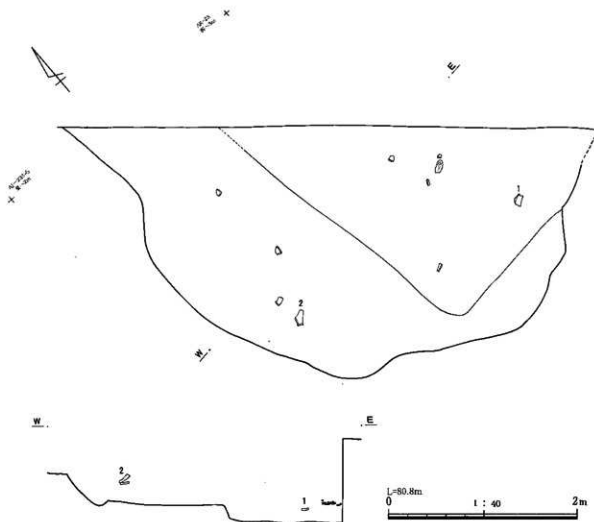
SI-704（第143図 第3表 図版一五）

位置 中央から南西のAI24グリッドで、北東0.9mにSI-705が位置する。規模 東西2.36m、南北2.65m。平面形 遺構の西側、特に北西・南西部分が削平や攪乱を受けていると思われ、残存形は不整形円形となっている。主軸方向 N-0°-E。覆土 ローム土を主体とし焼土を含む1層と、貼床の埋め戻し土と思われる黄褐色土の2層から成り、人為的堆積が考えられた。壁 13～18cmと浅く、床面から外傾しながら立ち



土層図記号 S1-702									
層位	土色記号	色名	ローム	粘土	砂	礫	土	炭化物	その他
1	00R	3/2 黒褐色	1 1						4 2
2	00R	4/2 に近い黄褐色	3 2						3 2
3	00R	5/6 黄褐色	6						4 4
4	00R	4/3 に近い黄褐色	4 2 1						4 2
5	00R	5/4 に近い黄褐色	4 3 2						3 4
6	00R	5/4 に近い褐色	4 2 1						3 2
7	00R	5/4 に近い褐色	4 2 1						3 2
8	00R	5/4 に近い褐色	4 2 1						3 2
9	00R	5/4 に近い褐色	4 2 1						3 2
10	00R	5/4 に近い褐色	4 2 1						3 2
11	00R	5/4 に近い褐色	4 2 1						3 2
12	00R	5/4 に近い褐色	4 2 1						3 2
13	00R	5/4 に近い褐色	4 2 1						3 2
14	00R	5/4 に近い褐色	4 2 1						3 2
15	00R	5/4 に近い褐色	4 2 1						3 2
16	00R	5/4 に近い褐色	4 2 1						3 2
17	00R	5/4 に近い褐色	4 2 1						3 2
18	00R	5/4 に近い褐色	4 2 1						3 2
19	00R	5/4 に近い褐色	4 2 1						3 2
20	00R	5/4 に近い褐色	4 2 1						3 2
21	00R	5/4 に近い褐色	4 2 1						3 2
22	00R	5/4 に近い褐色	4 2 1						3 2
23	00R	5/4 に近い褐色	4 2 1						3 2
24	00R	5/4 に近い褐色	4 2 1						3 2
25	00R	5/4 に近い褐色	4 2 1						3 2
26	00R	5/4 に近い褐色	4 2 1						3 2
27	00R	5/4 に近い褐色	4 2 1						3 2
28	00R	5/4 に近い褐色	4 2 1						3 2
29	00R	5/4 に近い褐色	4 2 1						3 2
30	00R	5/4 に近い褐色	4 2 1						3 2
31	00R	5/4 に近い褐色	4 2 1						3 2
32	00R	5/4 に近い褐色	4 2 1						3 2
33	00R	5/4 に近い褐色	4 2 1						3 2
34	00R	5/4 に近い褐色	4 2 1						3 2
35	00R	5/4 に近い褐色	4 2 1						3 2
36	00R	5/4 に近い褐色	4 2 1						3 2
37	00R	5/4 に近い褐色	4 2 1						3 2
38	00R	5/4 に近い褐色	4 2 1						3 2
39	00R	5/4 に近い褐色	4 2 1						3 2
40	00R	5/4 に近い褐色	4 2 1						3 2
41	00R	5/4 に近い褐色	4 2 1						3 2
42	00R	5/4 に近い褐色	4 2 1						3 2
43	00R	5/4 に近い褐色	4 2 1						3 2
44	00R	5/4 に近い褐色	4 2 1						3 2
45	00R	5/4 に近い褐色	4 2 1						3 2
46	00R	5/4 に近い褐色	4 2 1						3 2
47	00R	5/4 に近い褐色	4 2 1						3 2
48	00R	5/4 に近い褐色	4 2 1						3 2
49	00R	5/4 に近い褐色	4 2 1						3 2
50	00R	5/4 に近い褐色	4 2 1						3 2
51	00R	5/4 に近い褐色	4 2 1						3 2
52	00R	5/4 に近い褐色	4 2 1						3 2
53	00R	5/4 に近い褐色	4 2 1						3 2
54	00R	5/4 に近い褐色	4 2 1						3 2
55	00R	5/4 に近い褐色	4 2 1						3 2
56	00R	5/4 に近い褐色	4 2 1						3 2
57	00R	5/4 に近い褐色	4 2 1						3 2
58	00R	5/4 に近い褐色	4 2 1						3 2
59	00R	5/4 に近い褐色	4 2 1						3 2
60	00R	5/4 に近い褐色	4 2 1						3 2
61	00R	5/4 に近い褐色	4 2 1						3 2
62	00R	5/4 に近い褐色	4 2 1						3 2
63	00R	5/4 に近い褐色	4 2 1						3 2
64	00R	5/4 に近い褐色	4 2 1						3 2
65	00R	5/4 に近い褐色	4 2 1						3 2
66	00R	5/4 に近い褐色	4 2 1						3 2
67	00R	5/4 に近い褐色	4 2 1						3 2
68	00R	5/4 に近い褐色	4 2 1						3 2
69	00R	5/4 に近い褐色	4 2 1						3 2
70	00R	5/4 に近い褐色	4 2 1						3 2
71	00R	5/4 に近い褐色	4 2 1						3 2
72	00R	5/4 に近い褐色	4 2 1						3 2
73	00R	5/4 に近い褐色	4 2 1						3 2
74	00R	5/4 に近い褐色	4 2 1						3 2
75	00R	5/4 に近い褐色	4 2 1						3 2
76	00R	5/4 に近い褐色	4 2 1						3 2
77	00R	5/4 に近い褐色	4 2 1						3 2
78	00R	5/4 に近い褐色	4 2 1						3 2
79	00R	5/4 に近い褐色	4 2 1						3 2
80	00R	5/4 に近い褐色	4 2 1						3 2
81	00R	5/4 に近い褐色	4 2 1						3 2
82	00R	5/4 に近い褐色	4 2 1						3 2
83	00R	5/4 に近い褐色	4 2 1						3 2
84	00R	5/4 に近い褐色	4 2 1						3 2
85	00R	5/4 に近い褐色	4 2 1						3 2
86	00R	5/4 に近い褐色	4 2 1						3 2
87	00R	5/4 に近い褐色	4 2 1						3 2
88	00R	5/4 に近い褐色	4 2 1						3 2
89	00R	5/4 に近い褐色	4 2 1						3 2
90	00R	5/4 に近い褐色	4 2 1						3 2
91	00R	5/4 に近い褐色	4 2 1						3 2
92	00R	5/4 に近い褐色	4 2 1						3 2
93	00R	5/4 に近い褐色	4 2 1						3 2
94	00R	5/4 に近い褐色	4 2 1						3 2
95	00R	5/4 に近い褐色	4 2 1						3 2
96	00R	5/4 に近い褐色	4 2 1						3 2
97	00R	5/4 に近い褐色	4 2 1						3 2
98	00R	5/4 に近い褐色	4 2 1						3 2
99	00R	5/4 に近い褐色	4 2 1						3 2
100	00R	5/4 に近い褐色	4 2 1						3 2

第140図 SI-702実測図



第141図 SI-702遺物出土状態実測図



第142図 SI-702出土遺物実測図

第29表 SI-702遺物観察表

番号	材質器種	寸法 (cm)	残存率	特 徴	色調焼成	備考
1	土師器	推定口径: (17.3) 底径: (12.8) 残存高: (5.9)	口縁部～頸部 1/4 残存	内外面とも摩耗のため、調整不明		
2	須恵器	口 径: — 器 高: — 底 径: —	胴部のみ一部 残存	外: 平行叩き目 内: ロク口壺形	2.5Y 5/1 黄灰色 焼成良好	産地不明
3	須恵器	口 径: — 器 高: — 底 径: —	胴部のみ一部 残存	外: ロク口壺形 内: ロク口壺形	2.5Y 6/1 黄灰色 焼成良好	産地不明

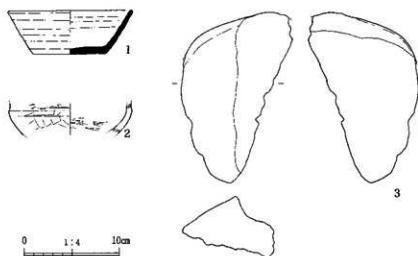
上がる。床 1層下面かと思われるが、樹根等の攪乱もあり平坦面は確認されなかった。柱穴、入口ピット、貯蔵穴、壁溝は検出されなかった。掘方 中央部を中心に不整形に浅く掘り込まれ、2層で埋め戻されている。カマド 北壁中央から東寄りに構築され、底面付近のみの残存と思われるが、形状については概ね馬蹄形であったと推測された。残存している部分の規模は、全長0.62m、幅は0.55mである。壁外には掘られていたと思われるが、不明であった。底面は、床面から続き煙道部立ち上り部までほぼフラットである。奥壁部には、煙道部の覆土と思われる3層の明赤褐色土が残り、その上面にカマド構築材であったと考えられる4層の粘土とローム土の混在層が残存していた。

遺物（第144図 第30表 図版二四）

遺物は少なく、覆土中から須恵器杯、土師器杯とカマド上面から構築材に使用されたと思われる礫が出土したのみであった。住居跡の時期も明確ではないが、須恵器杯から9C代と考えておきたい。

SI-705（第145図 第3表 図版一五）

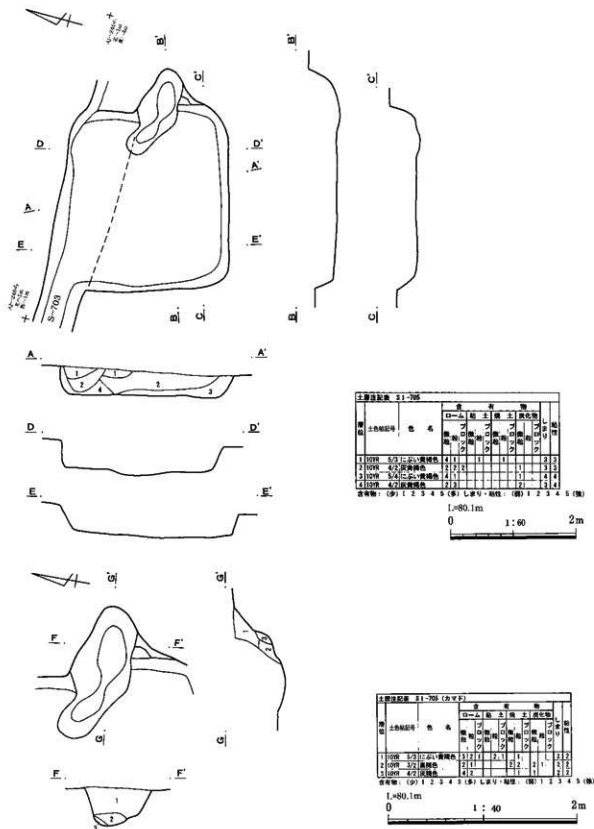
位置 調査区のはほぼ中央部AJ24グリッドで、南西0.9mにSI-704、東1mにSI-707が位置する。重複遺構 SD-703に切られている。規模 東西2.85m、南北2.56m。平面形 東西に長い隅丸長方形である。主軸方向 E-18°-N。覆土 1～4層の黄褐色土のローム土を主体とする覆土のため、人為的堆積と思われる。壁 掘り込みは浅く33～40cmで、床面から外傾して立ち上がる。床 貼り床は施されず、やや凹凸



第144図 SI-704出土遺物実測図

第30表 SI-704遺物観察表

番号	材質器種	寸法 (cm)	残存率	特徴	色調焼成	備考
1	須恵器 杯	推定口径: (13.2) 器高: 4.6 底径: 7.6	口縁部～胴部 1/2残存 底部ほぼ完形	左回りのロク口水浅き、底部回転部切り	5Y 5/1 灰色 焼成良好	益子窯産
2	土師器 杯	推定最大径: (13.0) 残存高: (3.3)	口縁部下位～ 胴部中位 1/7 残存	外: 口縁部横ナデ後、横位の筥ミガキ 内: 横ナデ後、横位の筥ミガキ	7.5YR 7/4 にぶい褐色 焼成良好	
3	礫 (安山岩)	最大長: (18.1) 最大幅: (9.7) 最大厚: (6.5) 重量(g): (9800)		割れた礫をそのまま利用したか、礫を割ったものを利用 被熱により僅かに赤変		カマド構築材

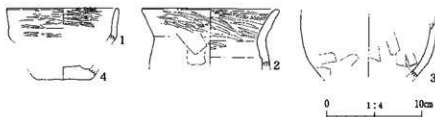


第145図 SI-705実測図・カマド実測図

が看られる。柱穴・入口ピット・貯蔵穴・壁溝は検出されなかった。カマド 東壁中央から南寄りに構築され、概ね馬蹄形である。残状態は悪く、覆土中に構築材の粘土が若干混入していたのみである。規模は全長1.45m、幅は0.63m、壁外長は50cmでU字状に掘り込まれている。煙道部の立ち上がりは緩やかで、底面は9cmほど浅く掘り込まれている。

遺物 (第146図 第31表)

遺物は少なく、土師器片、甕が覆土中から出土している。住居跡は7C前半～中頃の時期かと思われる。



第146図 SI-705出土遺物実測図

第31表 SI-705出土遺物観察表

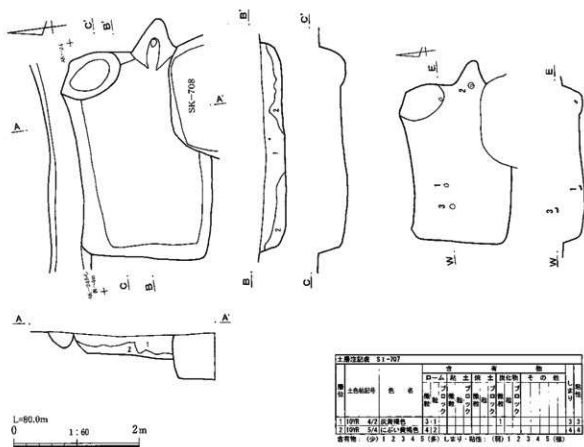
番号	材質器種	寸法 (cm)	残存率	特 徴	色調焼成	備考
1	土師器 片	推定口径: (11.6) 残存高: (3.3)	口縁部～胴部 一部残存	外: 口縁部横ナデ後、横位のミガキ、胴部蓋ケズリ後、横位の蓋ミガキ 内: 口縁部横ナデ後、横位のミガキ	7.5YR 7/6 褐色 焼成良好	
2	土師器 甕	推定口径: (14.2) 残存高: (11.8) 底径: (5.0)	口縁部～胴部 上位 1/8 残存	外: 口縁部横ナデ後、斜位のミガキ、口縁部横ナデ後、胴部に、縦位、斜位の蓋ナデ 内: 口縁部横ナデ後、斜位のミガキ	5YR 6/6 褐色 焼成良好	
3	土師器 甕	推定口径: (14.3) 残存高: (6.6)	胴部下半一部 残存	外: 横位の蓋ナデ 内: 縦位 (下→上) の蓋ナデ	2.5Y 4/1 黄灰色 焼成良好	
4	土師器 片	残存高: (1.3) 底径: 5.8	底部のみ 4/5 残存	摩耗のため調整直の観察不可能	10YR 6/3 黄灰色 焼成やや良好	底面にスス付量

SI-707 (第147・148図 第3表 図版一五)

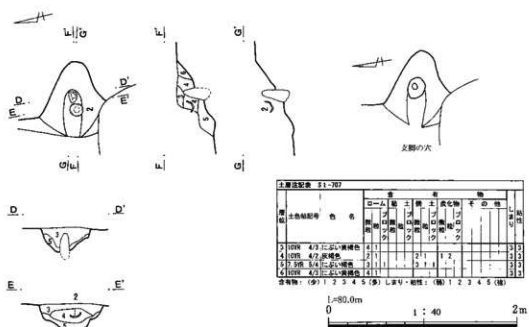
位置 中央からやや東寄りのAJ24グリッドで、西1.1mにSI-705、東2.2mにSI-710が位置する。重複遺構 SK-708に切られるが、SD-703との新旧は確認されなかった。規模 東西3.1m、南北2m。平面形東西に長い隅丸長方形である。主軸方向 N-11°-S。覆土 1・2層のローム土を多く含む黄褐色土を主体としているが、自然堆積と思われる。壁 12～37cmで、床面からやや外傾ぎみに立ち上がる。床 貼り床は施されず、やや凹凸が看られる。なお北東コーナーに楕円形の窪みが存在するが、本住居跡に伴うものかは不明であった。柱穴・入口ピット・貯蔵穴・壁溝 検出されなかった。カマド 東壁中央からやや南寄りに構築され、概ね馬蹄形である。掘方 規模は全長0.85m、幅は0.68m、壁外長は60cmでU字状に掘り込まれている。煙道部の立ち上がりは緩やかである。火床部付近の底面は浅く掘り込まれ、奥壁までは5層の褐色土で、煙道部立ち上がり部は6層の黄褐色土で各々埋め戻されている。構築材の粘土を含む土層は殆ど残存しないが、火床部から煙道部に堆積した覆土4層の灰褐色土はやや厚く残存していた。また内部の中央部付近には、支脚に使用された礫が埋設された状態で出土した。

遺物 (第149図 第32表 図版二四)

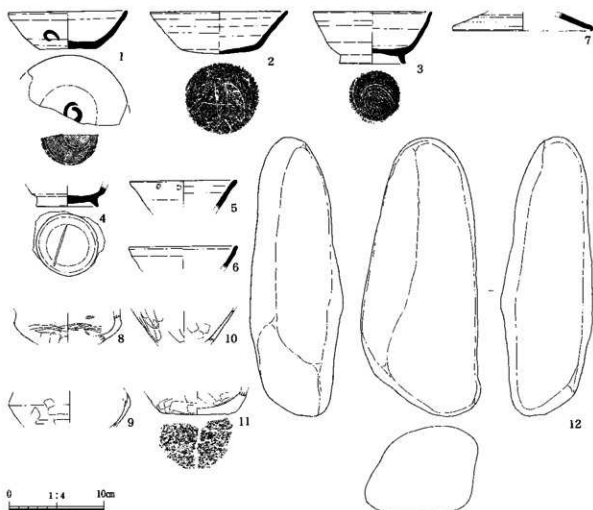
出土量は多くないが、須恵器片、高台付杯、蓋、土師器片、甕が出土した。特にカマドの支脚と思われる礫の上面から2の須恵器片が、中央からやや南側の床面近くから1の須恵器片が出土した。なお1の須恵器



第147図 SI-707実測図・遺物出土状態実測図



第148図 SI-707カマド実測図



第149図 SI-707出土遺物実測図

坏外面体部下端と底部外面に丸印状の墨書が確認された。これらの遺物から住居跡の時期は概ね8C末～9C前半と考えられる。

SI-709 (第150・152・153図 第3表 図版一五)

位置 中央からやや東側の調査区東端部AK24グリッドで、北西1.4mにSI-707が位置する。重複遺構 SI-710を切るが、SK-708に切られる。規模 東西5.3mであるが、南側は高島館址の台地削平に伴い掘削されているため南北の残存長は2.52mである。平面形 東西に長い隅丸長方形である。主軸方向 N-13°-W。覆土 1～4層の黒褐色土、黄褐色土の自然堆積である。壁 35～58cmで、床面からほぼ直線的に立ち上がる。床 貼り床は施されず、やや凹凸が看られる。柱穴、入口ピット、貯蔵穴は検出されなかった。壁溝 北壁際の中央から東側で、約幅20cm、深さ6cmのものが長さ70cm程度確認されたが、SI-710との重複部分では明確に検出することができなかった。カマド 東壁中央から南寄りに存在したかと思われるが、攪乱等により確認することができなかった。

遺物 (第154図 第33表 図版二四)

床面中央部から北東側の床面直上から覆土中の出土が多く、須恵器長頸壺、土師器坏、埴、甕、甗、鉄器、

第32表 SI-707遺物観察表

番号	材質器種	寸法 (cm)	残存率	特 徴	色調焼成	備考
1	須恵器 坏	推定口径: (12.5) 器 高: 3.9 底部推定径: (6.1)	口縁部～底部 1/3 残存	左回りのロクロ水挽き、底部回転糸切り 胴部と底部に渦巻状の黒書あり	5Y 6/1 灰色 焼成良好	黒書あり 三義窯産
2	須恵器 坏	口 径: 14.5 器 高: 4.5 底 径: 8.0	口縁部を一部 欠損するのみ ではぼ完形	左回りのロクロ水挽き 底面に笠記号あり、底面は平坦ではない 底部回転笠切り後、周縁を調整	2.5y 6/1 黄灰色 焼成良好	笠記号あり 埴子窯産
3	須恵器 高台付坏	推定口径: (12.6) 器 高: 5.5 底 径: 7.0	口縁部～胴部 下位 1/4 残存 底部完形	右回りのロクロ水挽き、底部回転糸切り後、高台貼附	5Y 6/1 灰色 焼成良好	内面にスス付着 南部須恵産
4	須恵器 高台付坏	残存高: (2.0) 底 径: 6.6	胴部下位一部 残存、底部完形	右回りのロクロ水挽き、底部回転糸切り後、高台貼附 底面に「一」字状の笠記号あり	5Y 6/1 灰色 焼成良好	笠記号あり 埴子窯産
5	須恵器 坏	推定口径: (11.2) 残存高: (3.2)	口縁部～胴部 中位 1/8 残存	ロクロ水挽き、口縁部直下に刺突を巡らしたと思われる	2.5Y 6/2 灰黄色 焼成良好	僅かに酸化して いる 新治窯産
6	須恵器 坏	推定口径: (11.5) 残存高: (2.3)	口縁部～胴部 1/4 残存	左回りのロクロ水挽き	5Y 6/1 灰色 焼成良好	産地不明
7	須恵器 壺	直 径: (14.9) 残存高: (1.9)	外縁部 1/8 残存	ロクロ水挽き	5Y 6/1 灰色 焼成良好	埴子窯産
8	土師器 坏	残存最大径: (11.3) 残存高: (3.0)	口縁部下位～ 胴部一部残存	外: 口縁部横ナデ、胴部上半横位のミガキ、胴部下半横位(上→下)の笠ケズリ 内: 横ナデ後、横位のミガキ	5YR 5/5 明赤褐色 焼成良好	
9	土師器 坏	残存最大径: (12.8) 残存高: (3.2)	口縁部下位～ 胴部一部残存	外: 口縁部横ナデ後、胴部縦位、横位、斜位の笠ケズリ 内: 横ナデ	10YR 6/3 におい黄褐色 焼成良好	
10	土師器 壺	推定最大径: (10.6) 残存高: (3.3) 底 径: 8.1	胴部のみ約 1/2 残存	外: 縦位(下→上)の笠ケズリ 内: 横位、斜位の笠ナデ	10YR 5/3 におい黄褐色 焼成良好	
11	土師器 壺	残存最大径: (10.6) 残存高: (2.5) 底 径: 8.1	胴部下位～底部 2/3 残存	外: 横位の笠ケズリ 内: 笠ナデ	10YR 5/2 灰黄褐色 焼成やや良好	底部に木葉痕が 僅かに残る
12	(礫岩)	最大長: 29.6 最大幅: 12.0 最大厚: 9.2 重量 (g): 4490.0	完形	細長い自然礫をそのまま利用、上部にススが付着、全体が礫粒により赤変している		カマド支脚

*ロクロ水挽き一製作状態の上方面

編み物石が出土した。鉄器については紡錘車の円形板状部分の破片であった。住居跡の時期については、瓶等の土師器の年代から7 C 中頃～後半かと思われる。

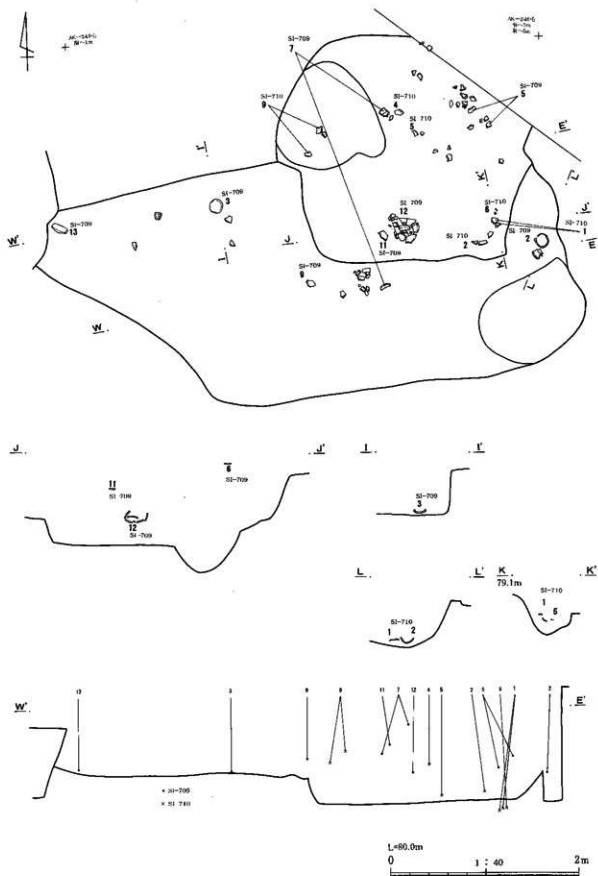
SI-710 (第150～153図 第3表 図版一五)

位置 中央からやや東側の調査区東端部AK24グリッドで、北西1.4mにSI-707が位置する。重複遺構 SI-709に切られる。規模 北東コーナーが調査区外となるが、東西2.42m、南北2.38mで小型の遺構である。

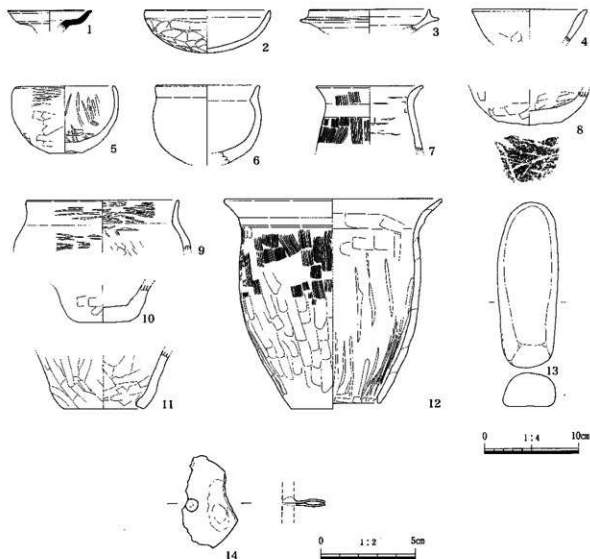
平面形 ほほ方形の隅丸方形である。主軸方向 N-1°-E。覆土 主に6・7層の黒褐色土、黄褐色土の自然堆積である。壁 25～77cmで、床面からほほ直線的に立ち上がる。床 貼り床は施されず、やや凹凸が看られる。南東コーナーには用途は不明だが、覆土に焼土を多く含む不整な小土坑が存在する。柱穴、入口ピット、壁溝は検出されなかった。カマド 西壁中央からやや北寄りに位置する。残存状態が悪く天井部と思われる構築材の粘土の範囲から、規模は全長1.1m、幅も1.1m、壁外長は床面から約35cmの高さから約20cmほど壁面を挟んでいる。この高さに合わせてように床面のレベルから18・19層を組め戻し、火床部から煙道部へと自然に立ち上がるように構築していた。

遺物 (第155図 第34表 図版二四)

出土遺物は少ないが、土師器坏、壺、甕が出土している。床面直上からの遺物は1・2・5・6であり、



第153図 SI-709・710遺物出土状態実測図



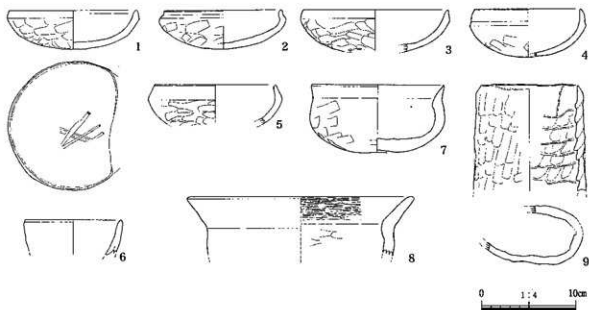
第154図 SI-709出土遺物実測図

第33表 SI-709遺物観察表

番号	材質器種	寸法 (cm)	残存率	特徴	色調焼成	備考
1	須恵器 長頸壺	推定口径 : (8.8) 残存高 : (2.1)	口縁部 1/6 残存	右回りのロク口水洗き	2.5Y 6/2 灰黄色 焼成良好	内面が酸化している 産地不明
2	土師器 坏	口径 : 13.4 器高 : 4.5 底径 : -	口縁部一部欠損 口縁部～胴部 推定最大径 : (14.7) 中位 1/3 残存 残存高 : (2.5)	外 : 口縁部横ナデ、胴部歪ケズリ 内 : 横ナデ	7.5YR 6/4 にぶい褐色 焼成良好	
3	土師器 坏	推定口径 : (12.6) 推定最大径 : (14.7) 残存高 : (2.5)	口縁部～胴部 中位 1/3 残存 残存高 : (2.5)	外 : 横ナデ 内 : 横ナデ	10YR 7/4 にぶい黄褐色 焼成良好	
4	土師器 坏	推定口径 : (12.2) 残存高 : (3.4)	口縁部～胴部 上位 1/6 残存	外 : 口縁部横ナデ、体部縦位の篋ナデ 内 : 篋ナデ	10YR 6/2 灰黄褐色 焼成良好	内外面とも剥落 布
5	土師器 埴	推定口径 : (10.2) 推定最大径 : (11.2) 器高 : 7.0 底径 : 3.7	口縁部一部残存 胴部～底部 1/2 残存	外 : 口縁部横位の篋ミガキ、胴部横位の篋ナデ 内 : 口縁部横ナデ後、縦位の篋ミガキ、胴部縦位の篋ミガキ	5YR 6/6 褐色 焼成良好	
6	土師器 埴	推定口径 : (10.7) 推定最大径 : (11.4) 器高 : (8.3)	口縁部～胴部 上位一部残存	外 : 口縁部横ナデ 内 : 口縁部横ナデ	5YR 6/6 褐色 焼成良好	内外面とも剥落 が重しい

番号	材質器種	寸法 (cm)	残存率	特 徴	色調焼成	備考
7	土師器 壺	推定口径: (11.4) 底部推定径: (9.4) 残存高: (7.1)	口縁部～胴部 上位 1/6 残存	外: 口縁部横ナデ後、胴部と口縁部の一部縦位 (下→上) のハケ目 内: 口縁部横ナデ	7.5YR 6/4 にぶい褐色 焼成良好	内面に輪積み痕 が多数残る
8	土師器 壺	残存高: (3.7) 底部推定径: (6.4)	胴部下位～底 部 3/5 残存	外: 縦位 (下→上)、横位の筥ケズリ 内: 横位の筥ナデ 底: 木葉痕	10YR 7/3 にぶい黄褐色 焼成良好	外面に輪積み痕 を残す
9	土師器 壺	推定最大径: (10.2) 残存高: (4.2) 底 径: 6.3	胴部下位 1/3 残存 底部完形	外: 胴部下位横位の筥ケズリ 内: 摩耗のため調整不明	10YR 4/2 灰黄褐色 焼成良好	
10	土師器 壺	推定口径: (15.6) 底部推定径: (16.4) 残存高: (18.6) 残存高: (5.4)	口縁部～胴部 上位 1/6 残存	外: 口縁部、胴部とも最終調整は横位の筥ミガキ 内: 口縁部横位の筥ミガキ、胴部筥ナデ	5YR 6/6 褐色 焼成良好	
11	土師器 瓶	残存高: (5.7) 推定底径: (8.4)	胴部下位 1/5 残存	外: 縦位、斜位の筥ケズリ 内: 縦位、斜位、横位の筥ナデ	7.5YR 8/6 浅黄褐色 焼成良好	
12	土師器 瓶	口 径: 23.2 高: 22.1 底 径: 9.5	ほぼ完形	外: 口縁部横ナデ、胴部下半筥ケズリ後、胴部上半縦位 (下→上) のハケ目 内: 口縁部横ナデ後、口縁部下半～胴部上半筥ナデ、胴部上位の筥ミガキ	5YR 6/6 褐色 焼成良好	
13	編み物石 (安山岩)	長 さ: 17.5 幅: 5.6 厚 さ: 3.6 重量 (g): 626.5	完形	自然礫をそのまま利用		
14	鉄製品 紡錘車	推定径: (5.2) 厚 さ: (0.4)	板状部分 1/3 残存 軸部欠損	円形板状部分の両面とも、剥落が激しい、中央部分に軸 接合部分が残る		

* ロクロ水洗き一製作状態の上方面



第155図 SI-710出土遺物実測図

第34表 SI-710遺物観察表

番号	材質器種	寸法 (cm)	残存率	特 徴	色調焼成	備考
1	土師器 坏	口 径 : 13.5 器 高 : 4.1 底 径 : 一	口縁部~胴部 下位 1/3 欠損	外: 体部笠ケズリ後、口縁部横ナデ 内: 横ナデ、底面中央に数条の笠ミガキ	7.5YR 8/6 浅黄褐色 焼成良好	
2	土師器 坏	推定口径: (15.2) 推定最大径: (15.7) 残存高: (4.5)	口縁部~底部 外縁 1/3 残存	外: 胴部横位の笠ケズリ後、口縁部横ナデ 内: 笠ナデ	7.5YR 7/4 にふい褐色 焼成良好	
3	土師器 坏	口 径 : 12.3 最大径 : 13.4 器 高 : 4.1 底 径 : 一	ほぼ完形	外: 口縁部横ナデ、胴部横位、斜位の笠ケズリ 内: 横ナデ	10YR 8/3 浅黄褐色 焼成良好	
4	土師器 坏	推定口径: (11.2) 推定最大径: (12.4) 残存高: (5.0)	口縁部~胴部 1/5 残存	外: 口縁部横ナデ、胴部斜位の笠ケズリ 内: 摩耗のため調整直観察不能	5YR 6/8 褐色 焼成良好	
5	土師器 坏	推定口径: (12.6) 推定最大径: (14.1) 残存高: (4.2)	口縁部~胴部 下位 1/5 残存	外: 胴部横位の笠ケズリ後、口縁部横ナデ 内: 横ナデ	7.5YR 7/6 褐色 焼成良好	
6	土師器 坏	推定口径: (10.0) 残存高: (3.7)	口縁部~胴部 2/3 残存	外: 横ナデ 内: 横ナデ	10YR 6/2 灰黄褐色 焼成良好	
7	土師器 埴	推定口径: (13.9) 推定最大径: (13.6) 推定最大径: (14.2) 器 高 : 7.2 底部推定径: (5.0)	口縁部~底部 1/2 残存	外: 口縁部横ナデ、胴部横位、斜位の笠ケズリ 内: 摩耗のため調整不明	7.5YR 7/6 褐色 焼成良好	
8	土師器 壺	推定口径: (24.0) 推定最大径: (19.8) 残存高: (6.4)	口縁部~胴部 1/8 残存	外: 口縁部横ナデ、胴部残存部僅少のため調整不明 内: 口縁部横位のミガキ、胴部横位の笠ナデ	7.5YR 7/6 褐色 焼成良好	
9	土師器 筒形土器	推定長径: (11.5) 短 径 : 6.1 残存高: (11.8)	上半部が 1/2 残存、下半部も 一部残存	外: 縦位 (下→上) の笠ナデ 内: 輪積み痕、指頭圧痕を明確に残す	7.5YR 7/6 褐色 焼成良好	

2 土坑

ア 方形竪穴遺構

SK-708 (第156図 第6表 図版一五)

位置 中央からやや南西のAJ24グリッドで、東側に近接してSI-709、西2mにSK-706が位置する。重複遺構 SI-707を切っているが、土坑南側は試掘トレンチ掘削時にカットされた。形状・規模 確認面の残存する長径方向は1.7m、短径方向2.1mで、隅丸方形である。残存深度は0.76mとやや深く、壁は底面からほぼ垂直に立ち上がる。底面はほぼ平坦に整えられている。覆土 覆土は7層に分層されるが、ローム土主体の層と黒褐色土にローム粒・ロームブロックを含むもので、人為的な埋め戻しと思われる。

出土遺物 (第157図 第35表)

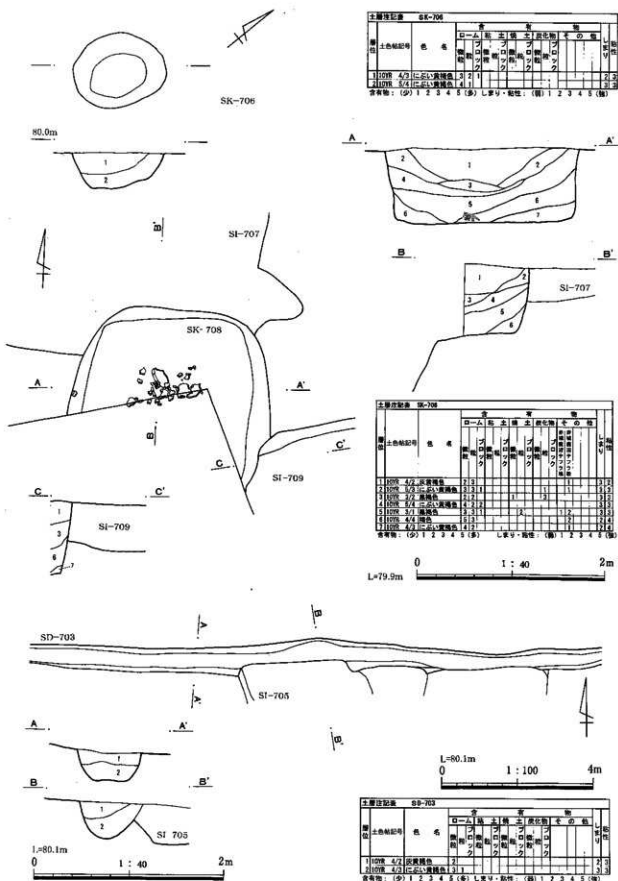
中央部の底面直上から須恵器坏、土師器坏、甕が纏まって出土した。ほとんどが破損しているか破片であり、埋め戻しの際廃棄されたものと推定された。他に図示できなかったが、内耳土器の破片がまとまって出土している。

土坑については、内耳土器の出土より中世の方形竪穴遺構と考えた。

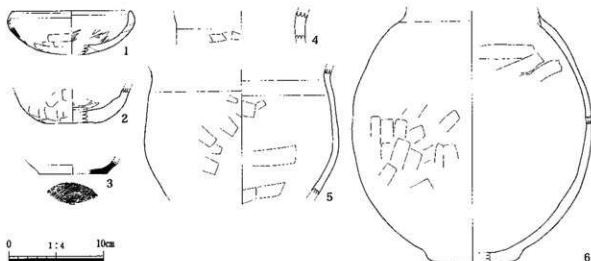
イ その他の土坑

SK-706 (第156図 第6表 図版一五)

位置 中央からやや南のAJ24グリッドで、東2mにSK-708、北1～1.5mにSI-705・707が位置する。形状・規模 確認面の長径は0.97m、短径0.76mでやや歪んだ楕円形である。断面は中央部付近が深くなる残存深度0.38mの鍋底状である。壁は底面から湾曲しながら立ち上がる。覆土 ローム土主体の2層であるが、自然堆積と思われる。出土遺物 出土遺物はなく、時期は不明である。



第156図 高島館址土坑・溝跡実測図



第157図 SK-708出土遺物実測図

第35表 SK-708遺物観察表

番号	材質器種	寸法 (cm)	残存率	特 徴	色調焼成	備考
1	土師器 杯	推定口径: (12.8) 推定最大径: (13.4) 残存高: (4.6)	口縁部～胴部 下位 1/8 残存	外: 口縁部横ナデ、胴部上半箇ケズリ後、縦位の筥ミガキ 胴部下半横位の筥ケズリ 内: 横ナデ、胴部下半は、横ナデ後縦位の筥ミガキ	7.5YR 6/6 褐色 焼成良好	
2	土師器 杯	残存高: (3.6) 底部推定径: (5.6)	胴部下位～底 部 1/6 残存	外: 縦位、横位の筥ケズリ 内: 筥ナデ	5YR 5/4 にふい赤褐色 焼成良好	
3	須恵器 杯	推定口径: (7.2) 推定最大径: (1.4) 底部推定径: (7.6)	胴部下位～底 部 1/3 残存	口クロ水挽き、底部回転糸切り	2.5Y 6/3 灰黄褐色 焼成良好	全体的に僅かに 酸化、内面にス スが付着
4	土師器 壺	残存高: (3.3)	口縁部下位～ 胴部上位一部 残存	外: 口縁部横ナデ、胴部上位横位の筥ケズリ 内: 横ナデ	10YR 5/2 灰黄褐色 焼成良好	外面に一部ス ス付着
5	土師器 壺	口縁部推定径: (18.8) 口縁部下位～ 残存最大径: (20.4) 残存高: (14.2)	口縁部下位～ 胴部下位一部 残存	外: 口縁部横ナデ、胴部上半斜位の筥ナデ 内: 口縁部横ナデ、胴部横位、斜位の筥ナデ	7.5YR 5/4 にふい褐色 焼成良好	胴部中～下位外 面粘土付着
6	土師器 壺	口縁部推定径: (14.0) 推定最大径: (25.4) 残存最大径: (24.9) 底部推定径: (9.6)	口縁部欠損 頸部一部残存 胴部上位～底部 1/2 残存	外: 縦位 (上→下)、斜位の筥ナデ 内: 横位、斜位の筥ナデ	10YR 4/2 灰黄褐色 焼成良好	外面にスス付 着、内外面とも 摩耗が激しい

3 溝跡

SD-703 (第156図 第8表 図版一五)

位置 調査区の中央部を東西方向に横断している。重複遺構 SI-705・707を切っている。形状・規模
確認面幅0.42～0.8m、底面幅0.18～0.44m、残存深度0.28～0.4mで、全長は両端とも調査区外へと延びて
いるため不明だが、調査区内での現存長は16m以上である。

断面形は部分的にU字状、逆台形状の掘方が確認された。

覆土 覆土は2層であるが、自然堆積と思われる。

出土遺物 (第158図 第36表)

覆土から須恵器破片、土師器破片が出土しているが、時期については不明と言える。



第158図 SD-703出土遺物実測図

第36表 SD-703遺物観察表

番号	材質器種	寸法 (cm)	残存率	特 徴	色調焼成	備考
1	須恵器 坏	推定口径: (9.2) 残存高: (3.5)	口縁部～胴部 中位 1/5 残存	右回りのロクろ水焼き	2.5Y 5/1 黄灰色 焼成良好	外面に自然釉
2	土師器 甕	推定口径: (10.9) 残存高: (3.7)	口縁部～胴部 上位一部残存	外: 胴部斜位の筥ヶズリ後、口縁部横ナデ 内: 横ナデ	7.5YR 7/6 褐色 焼成良好	

*ロクろ水焼き一製作状態の上方観

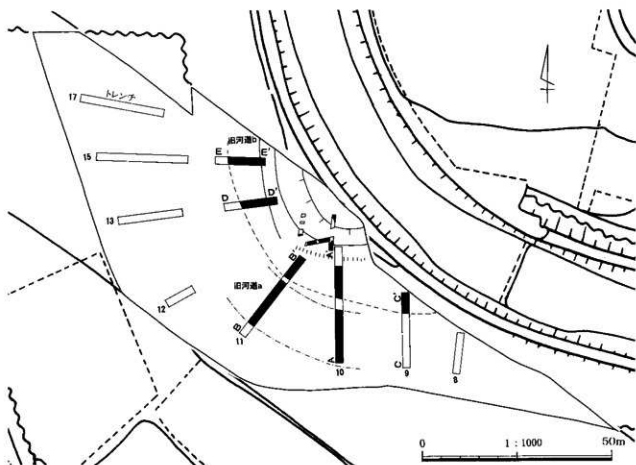
4 館址関連遺構

現在の江川は、館址の西側を南流してきた流れが台地に沿って東方へと流れを変える。しかし試掘調査の結果、昭和60年前後に江川の河川改修が行われ、台地先端部から北側へ約20m移動したことが確認できた。

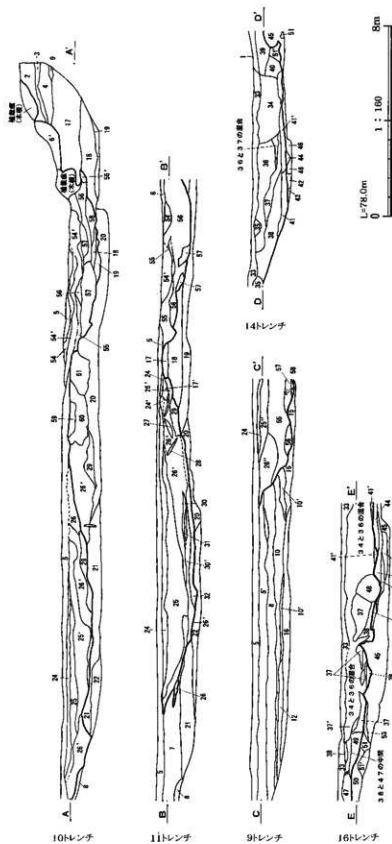
今回の調査区はこの河川改修によって取り残された台地の南西端部とその周辺低地である。調査の結果、館址に関連して付け替えられたと考えられるア旧河道（掘跡）と、この掘削時と伴に人為的に台地縁辺部が掘削される部分をイ切岸部として報告する。

ア 旧河道（掘跡）（第159～163図 図版一六）

旧河道は確認調査の結果、前述したとおり台地西側では調査区北側までは現在とほぼ同じ流路で南流して



第159図 高島館址旧河道位置図

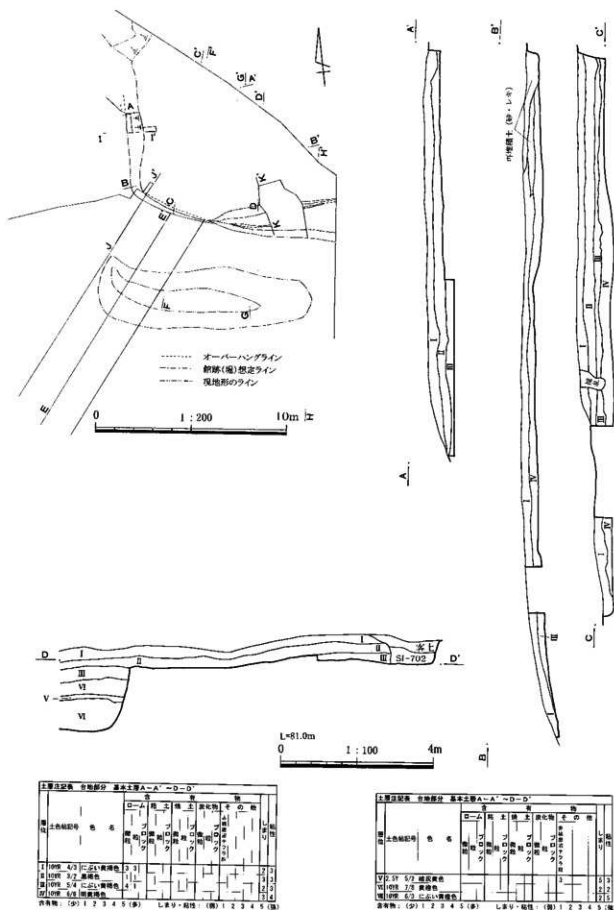


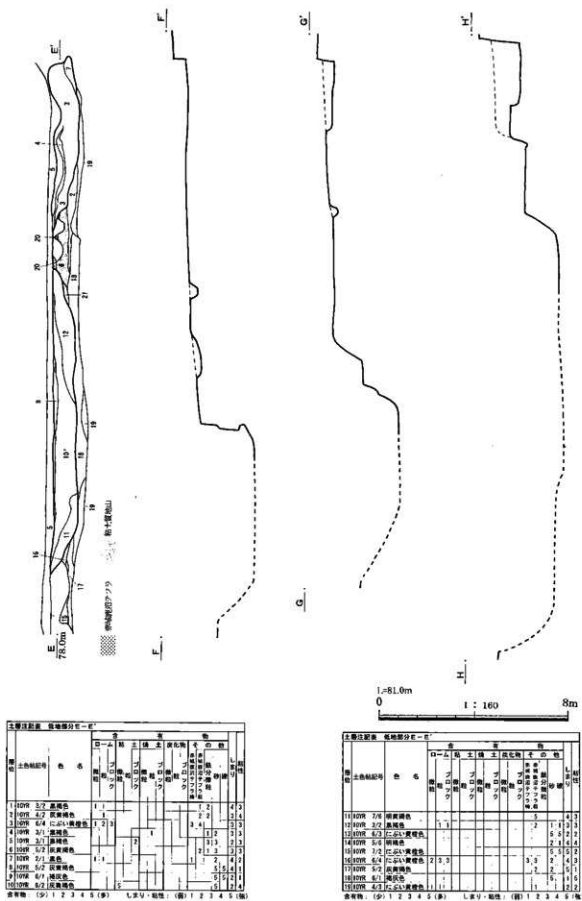
第160図 高島館址旧河道土層断面図

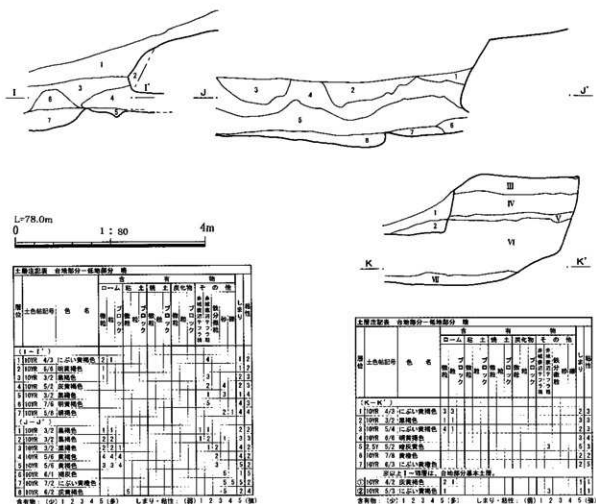
第四章 高島船社

部位	土色・顔料	色名	土質・土質										所見・特記事項
			ローソク	粘土	砂	土	炭化物	その他	その他	その他	その他	その他	
1	10VR	303	緑褐色										1 1 土から未だの影響を強く受ける層から入る。
2	7.5VR	503	にじみ褐色										2 2 未だの影響を受ける。
3	7.5VR	543	にじみ褐色										2 2 プラウバンドが未だの影響を受けて変化した層。
4	7.5VR	603	褐色	1						1			4 3 未だの影響を強く受ける。
5	10VR	402	灰青褐色	1						3			1 3
6	10VR	303	緑褐色							4	1	2	4 2
6	10VR	471	褐色							1	3	4	4 2
6	10VR	503	灰青褐色							1	3	4	4 2
7	10VR	303	緑褐色							1	1	1	3 2
8	10VR	211	灰褐色							2	1	3	3 5
8	10VR	211	灰褐色							3	1	3	3 5
9	7.5VR	604	にじみ褐色							4	2	4	4 2
10	2.5V	503	黄褐色							2	3	5	3 5
10	2.5V	503	黄褐色							3	1	3	3 5
11	10VR	471	褐色							1	1	3	3 5
11	10VR	471	褐色							2	2	3	3 5
12	10VR	503	灰青褐色							1	1	2	3 5
13	10VR	603	灰青褐色							5	1	3	3 5
14	10VR	604	にじみ黄褐色							4	1	3	3 5
15	5Y	602	灰行ノ色							3	1	4	4 4
15	10VR	602	灰青褐色							2	3	5	3 5
16	10VR	602	灰青褐色							1	5	4	4 4
17	2.5V	704	浅黄褐色	1						1			3 2
17	2.5V	704	浅黄褐色							4			4 4
18	10VR	503	灰青褐色							1	5	3	3 5
19	10VR	604	にじみ黄褐色							1	5	3	3 5
20	2.5V	702	灰黄褐色							1	5	4	4 4
21	2.5V	702	灰黄褐色							2	3	5	3 5
22	10VR	604	褐色							3	5	3	3 5
23	10VR	403	にじみ黄褐色							5	1	4	4 4
24	2.5V	303	黄褐色							3	1	2	4 2
24	2.5V	303	黄褐色							3	1	3	4 2
25	2.5V	702	灰黄褐色							2	1	5	2 2
25	2.5V	503	黄褐色							3	2	5	3 5
26	2.5V	702	灰黄褐色							2	1	5	2 2
27	10VR	101	黒色							1	1	2	2 2
28	10VR	101	黒色							1	1	2	2 2
27	2.5V	303	黄褐色							1	3	2	3 5
28	2.5V	303	黄褐色							1	2	2	2 2
29	2.5V	303	黄褐色							1	1	4	3 5
30	2.5V	701	灰白色							3	2	1	4 2
30	2.5V	701	灰白色							3	4	1	4 2
31	2.5V	401	灰白色							3	1	2	4 2
32	2.5V	401	灰白色							1	1	2	4 2
33	2.5V	402	灰青褐色							1	3	4	4 2
34	10VR	603	灰青褐色							5	3	2	3 5
35	2.5V	201	黄褐色							1	1	4	4 2
36	2.5V	504	黄褐色							2	1	4	4 2
37	2.5V	503	黄褐色							2	1	4	4 2
37	2.5V	503	黄褐色							2	1	4	4 2
38	2.5V	201	黄褐色							4	2		4 2
39	10VR	303	緑褐色							3	1	2	3 5
40	10VR	471	褐色							1	1	3	3 5
41										3	1	2	3 5
42										1	1	2	3 5
43	10VR	101	黒色							4	2	4	4 2
44										4	2	4	4 2
45	2.5V	604	にじみ黄褐色							2	2	2	2 2
46	7.5V	401	灰白色							2	2	2	2 2
46	7.5V	401	灰白色							2	2	2	2 2
47	2.5V	303	黄褐色							2	1	5	3 5
48	2.5V	503	黄褐色							3	1	2	3 5
49	2.5V	502	黄褐色							3	1	2	3 5
50	10VR	471	褐色							1	3	1	4 3
51	2.5V	401	灰白色							3	2	3	3 5
51	2.5V	401	灰白色							3	2	3	3 5
52	2.5V	303	黄褐色							2	2	3	3 5
53	10VR	502	灰青褐色							2	2	2	2 2
54	7.5VR	471	褐色							2	2	2	2 2
54	2.5V	604	にじみ黄褐色							1	1	5	4 2
55	2.5V	201	黄褐色							2	1	2	3 5
56	2.5V	603	灰青褐色							1	3	3	3 5
57	10VR	503	にじみ黄褐色							5	3	3	3 5
57	5Y	302	オリーブ黄褐色							3	3	3	3 5
58	5Y	601	灰白色							1	5	1	5 1
59	10VR	603	灰青褐色							2	1	1	4 2
60	10VR	303	緑褐色							1	1	2	3 5
61	10VR	401	灰白色							4	3	3	3 5

食料物：(少) 1 2 3 4 5 (多) しまり・粘性：(弱) 1 2 3 4 5 (強)







第163図 高島館址台地部分～低地部分土層断面図(3)

くる。ここまでは自然流路であり、旧河道の上面幅は10～11m、底面の幅は約6m、確認面からの深さは0.6～1mである。

台地の南西端部になると、河道は南側の自然流路である旧河道aと台地端部を掘削し台地縁辺部を流れるように付け替えた人工の流路である旧河道bの2本の流れとなる。台地南西端部での旧河道の規模は、旧河道aの上面幅は12～13.6m、底面の幅は6～8m、深さ0.7～1mで、旧河道bの上面幅は約8m前後、底面の幅は4～5m、深さ約0.8mであった。

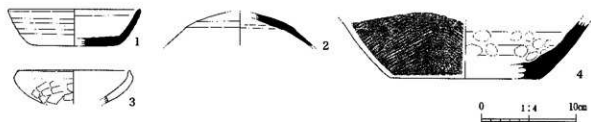
覆土の締まり具合等から、旧河道aは近年一時期に大半が埋め戻されたと思われるが、調査時までは部分的に低地の中の窪みとして形を留めていた。人工流路の旧河道bも覆土中から空き缶等昭和61年の廃棄物が出たこと、昭和61年10月の台風10号による大水時にはこの河道も溢れたと言う聞き取り調査等から河川改修以後に埋め戻されたことも確認された。

台地南端部になると、再度合流し1本の河道となっていた。全体の規模を確認することはできなかったが、上面幅は5m以上、底面幅も3m以上、深さ約1.2m前後であった。

また旧河道aの底面は砂礫層であるのに対し、旧河道bの底面は粘土層の地山であった。土層図に示したが、旧河道aと旧河道bの間には赤城鹿沼テフラ・粘土質地山が確認されたため、旧河道bは南西部へと鋭

角に張り出す旧台地先端部を約10m前後掘削し、台地を取り巻くような湾曲した河道を半円形状の緩やかな河道にするため台地内側へと付け替えたことが判明した。言い換えれば、自然要害であった旧河道を堀として館の一部に取り込んだとも言えよう。

旧河道からの出土遺物（第164第37表）は、須恵器坏、蓋、甕片、土師器坏であった。この他に図し得なかったが、内耳土器片の出土が確認された。



第164図 高島館址旧河道出土遺物実測図

第37表 高島館址旧河道遺物観察表

番号	材質器種	寸法 (cm)	残存率	特 徴	色調焼成	備考
1	須恵器 坏	推定口径: (13.8) 器 高: 4.0 底部推定径: (9.0)	口縁部~胴部 下位 1/7、底部 1/2 残存	左回りのロクロ水挽き、底部回転寛切り	7.5Y 6/1 灰色 焼成良好	
2	須恵器 蓋	残存高: (3.4)	天井部~中位 1/5 残存	左回りのロクロ水挽き	N 6/1 灰色 焼成良好	
3	土師器 坏	推定口径: (11.6) 推定最大径: (12.6) 残存高: (3.4)	口縁部~胴部 下位 1/5 残存	外: 口縁部横ナデ、胴部横位、斜位の篋ケズリ 内: 横ナデ	10YR 8/3 浅黄褐色 焼成良好	
4	須恵器 甕	残存高: (6.2) 推定底径: (15.7)	胴部中位~底 部 1/4 存残	外: ロクロ成形後、平行叩き目 内: ロクロ成形と指頭圧痕	5Y 6/1 灰色 焼成良好	外面に自然輪が 輪着

* ロクロ水挽き一製作状態の上方観

イ 切岸部（第161～163図 図版一七・一八）

調査区内の台地縁辺部で確認された人為的掘削部分は、トレンチ調査の西縁辺部、南西縁辺部と、一部面的に調査を実施した南縁辺部の3カ所であった。

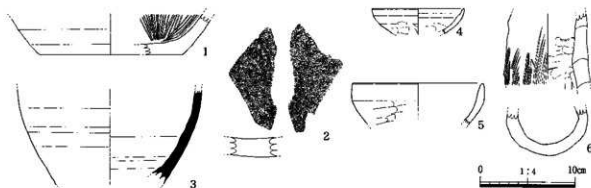
西縁辺部では、現表土から約1.4mの高さでほぼ垂直にカットされている。またカット面と旧河道間には赤城鹿沼テフラ・粘土質の地山が残っており幅約1m程度の小河川も存在したことが確認された。併せてカット面下の底面から約40cmの高さまでの、主に赤城鹿沼テフラ層部分が壁から奥へ約2mほど浸食のためにはれた状況となっていた。

南西縁辺部でも西縁辺部と同様の状況であり、現表土から約2mの高さでほぼ垂直にカットされていたが、台地際の小河川は確認されなかった。しかし、カット面下の壁への浸食状況は同様に存在し、南西端部から約4m東側までは続くようである。

面的調査を実施した南縁辺部の中央から東側については、台地のカット面は2段に掘削されていることが確認された。先ず台地奥側で約0.8～1mのほぼ垂直なカットが行われ、中央部付近では約20cmの幅で平坦

面が造り出され、ここから更に約2～2.3mの垂直なカット面となる。平坦面は中央部から東側に向かって徐々に広さを増し、調査区の東端部では約3mの幅となっている。犬走りの目的であったのか、用途については解明することはできなかった。

切岸部からの出土遺物（第165図 第38表）は、須恵器壺、土師器坏、筒型土器、近世～近現代の陶器摺り鉢、瓦であった。この他に図し得なかったが、内耳土器片の出土も確認されている。



第165図 高島館址切岸部出土遺物実測図

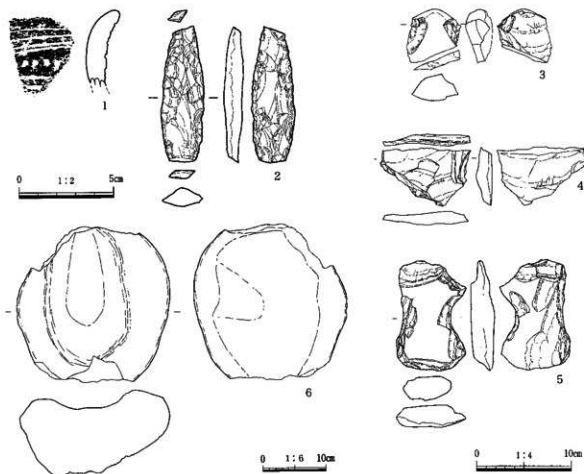
第38表 高島館址切岸部遺物観察表

番号	材質器種	寸法 (cm)	残存率	特 徴	色調焼成	備考
1	陶器 摺り鉢	推定最大径：(20.9) 残存高：(4.4) 推定底径：(15.0)	胴部～底部中位 1/8 残存	口クロ水焼き、内面染織	2.5YR 5/4 にぶい赤褐色 焼成良好	
2	瓦 平瓦	口 径：— 胴 高：— 底 径：—	一部残存	両面無文	5Y 4/1 オリーブ黒色 焼成良好	
3	須恵器 壺	残存高：(9.9)	胴部中位～下位 1/5 残存	左廻りの口クロ水焼き	5Y 7/1 灰白色 焼成良好	
4	土師質土器 坏	推定口径：(9.6) 残存高：(2.7)	口縁部～胴部下位 1/8 残存	外：口クロ水焼き後、胴部下半横位の笠ナデ 内：口クロ水焼き後、胴部下半横位の笠ナデ	7.5YR 7/4 にぶい褐色 焼成良好	
5	土師器 坏	推定口径：(13.8) 推定最大径：(14.0) 残存高：(4.4)	口縁部～胴部 1/8 残存	外：胴部横位の笠ケズリ後、口縁部横ナデ 内：横ナデ	10YR 7/3 にぶい黄褐色 焼成やや良好	
6	土師器 筒型土器	推定最大径：(9.2) (逆軸側) 残存高：(8.0)	中位 1/3 残存	外：縦位のハケ目 内：上半部輪横み痕を明確に残す、下半部は笠ナデ	5YR 7/6 褐色 焼成良好	

5 遺構外の出土遺物

ア 縄文時代の出土遺物（第166図 第39表 図版二四）

縄文時代の所産と考えられる遺構は確認されなかったが、早期の土器片と石器6点（尖頭器、打製石斧、石皿、剥片石器）の出土が確認された。3の剥片としたものについては、図示した上面先端に叩き痕が看られ、自然面の端部が急激に盛り上がる依存状況のため、独鈷石とも考えられる。



第166図 高島館址遺構外出土遺物実測図(1)

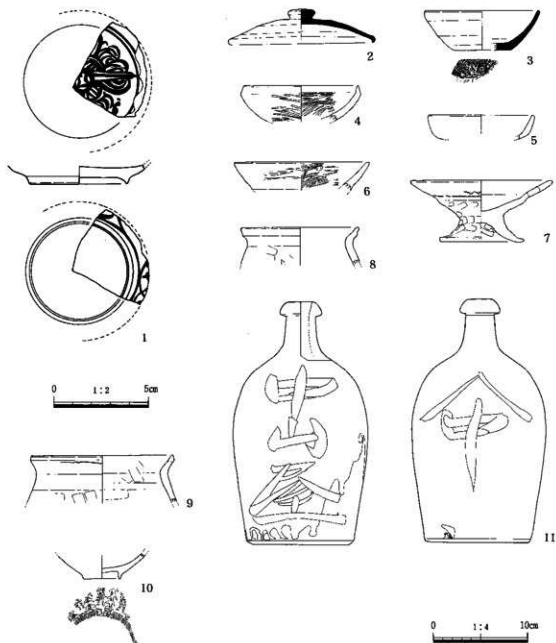
第39表 高島館址遺構外出土遺物(1)観察表

番号	材質器種	寸法 (cm)	残存率	特徴	色調焼成	備考
1	縄文土器 田戸下層式	口径 : 一 器高 : 一 底径 : 一	口縁部破片	外 : 横位の細沈線と竹管による斜め方向からの連続支突	7.5YR 7/4 にぶい褐色 焼成良好	
2	尖頭器 (圭岩)	長さ : (7.2) 幅 : 2.3 厚さ : 1.0 重量(g) : (18.0)	基部と先端部を欠損	両面加工の柳葉形の尖頭器。両面とも中央に大きい剥離面が存在する。横長の剥片を素材にしたことが窺える		
3	剥片 (安山岩)	長さ : 5.7 幅 : 5.4 厚さ : 2.9 重量(g) : 81.4	端部欠損	華大の破璃質安山岩の円礫からとった分厚い剥片、表面に大きく自然面を残す		
4	剥片石器 (フォルンフェルス)	長さ : 6.1 幅 : 9.3 厚さ : 1.7 重量(g) : 93.1	完形	大形の剥片の折れた端部の片面に、剥離を加え刃部を作出したもの		
5	打製石斧 分銅形 (安山岩)	長さ : 11.5 最大幅 : 7.2 拵れ部幅 : 5.0 厚さ : 2.5 重量(g) : 267.2	完形	扁平な自然礫を素材とし、周縁に剥離を加え、両端に刃部を作出し、短軸両端に剥離を加えて拵れ部を作出し、拵れ部は、剥離面が摩耗している		
6	石皿 (火山岩質安山岩)	最大長 : (24.5) 最大幅 : 23.5 最大厚 : (13.6) 重量(g) : (7440)	長軸上の両端を欠損	機能面は稜を境として窪んでいる		

イ その他の出土遺物（第167図 第40表 図版二四）

館跡に関係すると思われる遺物は、平成13年度試掘調査の低地部分調査において、館址に一番近接するトレンチ7覆土中から出土した1の肥前系磁器皿類の底部破片のみである。しかし17C代と考えられるため、貴重な遺物と言えよう。

他の出土遺物としては、古墳時代から奈良・平安時代の集落に関係する須恵器蓋、土師器坏、高坏、甕と近現代の磁器茶碗、陶器の徳利の出土があった。徳利に看られた屋号については、確認できなかった。

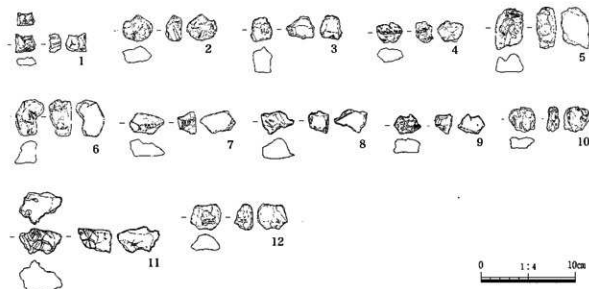


第167図 高島館址遺構外出土遺物実測図（2）

第40表 高島館址遺構外出土遺物(2) 観察表

番号	材質・器種	寸法 (cm)	残存率	特 徴	色調焼成	備考
1	磁器 皿類	残存高 : (1.2) 底部推定径 : (5.1)	底部 1/4 残存	断面三角形を呈する削り出し高台付の皿類と思われる 底面の外面に砂目が付いている	白地に青の 染め付け	17C 代 肥前系
2	須恵器 蓋	つまみ部径 : 2.8 器 高 : 3.7 推定直径 : (15.4)	つまみ部～天井 部完形、中位 1/3 残存、外縁 部一部残存	右回りのロク口水洗き	5Y 5/1 灰色 焼成良好	
3	須恵器 杯	推定口径 : (11.8) 推定最大径 : (12.2) 器 高 : 4.2	口縁部～底部 1/5 残存	ロク口水洗き、底部回転糸切り	5Y 5/1 灰色 焼成良好	
4	土師器 杯	推定口径 : (12.0) 推定最大径 : (12.6) 残存高 : (3.7)	口縁部～胴部 中位一部残存	外 : 口縁部横ナデ、胴部横位の筥ミガキ 内 : 口縁部横ナデ、胴部横位、斜位の筥ミガキ	10YR 6/6 褐色 焼成良好	
5	土師器 杯	推定口径 : (11.4) 残存高 : (2.5)	口縁部一部残 存	外 : 横ナデ 内 : 横ナデ	10YR 7/4 にぶい黄褐色 焼成良好	
6	土師器 杯	推定口径 : (14.2) 残存高 : (3.1)	口縁部～胴部 上位一部残存	外 : 横ナデ後、横位の筥ミガキ 内 : 横ナデ後、横位の筥ミガキ	7.5YR 6/4 にぶい褐色 焼成良好	
7	土師器 高杯	推定口径 : (15.0) 器 高 : 6.5 胴部径 : 4.9 裾部推定径 : (8.9)	坯部約 1/4 残 存、胴部完形 裾部約 3/4 残 存	外 : 坯部口縁横ナデ、坯部胴部横位筥ミガキ、 斜位の筥ミガキ、裾部横ナデ 内 : 坯部横ナデ、胴部斜位の筥ミガキ、裾部横ナデ	10YR 7/4 にぶい黄褐色 焼成良好	口縁部内面透地 理、坯部外面に 輪模み底残る
8	土師器 甕	推定口径 : (12.2) 口部推定径 : (11.2) 推定最大径 : (12.5) 残存高 : (3.9)	口縁部のみ一 部残存	外 : 口縁部横ナデ後、胴部縦位、斜位の筥ミガキ 内 : 横ナデ	7.5YR 5/4 にぶい褐色 焼成やや良好	
9	土師器 甕	推定口径 : (15.0) 口部推定径 : (13.8) 残存高 : (4.9)	口縁部～胴部 上位 1/8 残存	外 : 口縁部横ナデ、胴部縦位 (上→下) の筥ミガキ 内 : 口縁部横ナデ後、胴部縦位、横位の筥ミガキ	10YR 6/3 にぶい黄褐色 焼成良好	
10	磁器 茶碗	残存高 : (2.5) 底部推定径 : (4.0)	胴部下位 1/4 底部 1/2 残存	型による製作、染め付けにより図柄を表現	白地に青の 染め付け	
11	陶器 德利	口 径 : 2.6 口部肥厚部径 : 4.4 括れ部径 : 3.8 最大径 : 14.2 器 高 : 25.6 底 径 : 11.0	完形	一升徳利、「中山屋」の屋号と「山印の下に中」の印が 筆書されている		

*ロク口水洗き—製作状態の上方面



第168図 高島館址出土遺物(粘土塊)実測図

粘土塊（第168図 第41表）は、住居跡SI-702、709・710で確認された。下小屋原遺跡と同じく大きさは2～4cmの不整形で、表裏に植物繊維の圧痕が看られる。住居跡の時期も7C代から8C代の範疇のため、谷を隔てているが同様の粘土塊の出土がある下小屋原遺跡集落との関係は推定させるものである。

第41表 高島館址出土遺物（粘土塊）観察表

番号	材質器種	寸法 (cm)	残存率	特 徴	色調焼成	備考
1	焼成粘土塊	長 さ : 2.0 幅 : 2.0 厚 さ : 1.0 重 量 (g) : 3.0	完形	繊維脱皮あり、他の遺構出土の焼成粘土塊と比べて陶質で硬い	2.5Y 5/1 黄灰色 焼成良好	
2	焼成粘土塊	長 さ : 2.7 幅 : 3.2 厚 さ : 1.8 重 量 (g) : 8.4	完形	植物繊維の圧痕あり、器面の凹凸が激しい	5YR 6/6 褐色 焼成良好	
3	焼成粘土塊	長 さ : 2.5 幅 : 2.0 厚 さ : 2.7 重 量 (g) : 8.0	完形	繊維脱皮あり、他の遺構出土の焼成粘土塊と比べて陶質で硬い	2.5Y 6/1 黄灰色 焼成良好 5YR 6/6	
4	焼成粘土塊	長 さ : 2.2 幅 : 1.5 厚 さ : 2.7 重 量 (g) : 5.9	完形	やや太めの植物繊維の圧痕あり、器面の凹凸が激しい	7.5YR 6/4 にぶい褐色 焼成良好	
5	焼成粘土塊	長 さ : 4.4 幅 : 2.9 厚 さ : 1.9 重 量 (g) : 19.2	完形	植物繊維の脱皮が多くみられる、表面に大きな窪みあり 裏面は平坦で平滑	7.5YR 6/6 褐色 焼成良好	
6	焼成粘土塊	長 さ : 3.9 幅 : 2.3 厚 さ : 2.4 重 量 (g) : 17.4	完形	植物繊維の脱皮が多くみられる、裏面は平坦で平滑	7.5YR 6/6 褐色 焼成良好	
7	焼成粘土塊	長 さ : 2.3 幅 : 3.6 厚 さ : 1.8 重 量 (g) : 8.2	完形	植物繊維の脱皮が多くみられる、裏面は平坦で平滑	7.5YR 6/6 褐色 焼成良好	
8	焼成粘土塊	長 さ : 2.4 幅 : 3.3 厚 さ : 2.1 重 量 (g) : 10.1	完形	繊維脱皮がみられる、裏面は平坦で平滑、繊維痕もある	7.5YR 7/6 褐色 焼成良好	
9	焼成粘土塊	長 さ : 2.1 幅 : 2.8 厚 さ : 1.5 重 量 (g) : 5.7	完形	繊維脱皮がみられる、裏面は平坦で平滑、繊維痕もある	7.5YR 6/6 褐色 焼成良好	
10	焼成粘土塊	長 さ : 2.6 幅 : 2.8 厚 さ : 1.3 重 量 (g) : 5.9	完形	繊維脱皮が多く認められる、全面に小さな凹凸がある	5YR 6/6 褐色 焼成良好	
11	焼成粘土塊	長 さ : 2.7 幅 : 4.4 厚 さ : 3.4 重 量 (g) : 18.3	完形	繊維脱皮が多く認められる、裏面は平坦で平滑、繊維痕はあまりみられない	7.5YR 6/6 褐色 焼成良好	
12	焼成粘土塊	長 さ : 2.8 幅 : 3.0 厚 さ : 1.7 重 量 (g) : 8.7	完形	植物繊維の圧痕、器面の凹凸が激しい	5YR 6/6 褐色 焼成良好	

第V章 調査の成果

第1節 下小屋原遺跡について

最後に、下小屋原遺跡で調査された古墳時代から歴史時代の住居跡12軒と高島館址地区住居跡6軒について、確認できたことをまとめる。

○集落について

- ・ 下小屋原遺跡から高島館址地区については、道路幅で台地を横断する調査であったため集落の全容を把握することはできなかったが、住居跡については6世紀後葉から7世紀前葉には形成され、断続的ではあるが9世紀後葉から10世紀前葉までが確認された遺跡である。
- ・ 集落の範囲は、東側が鬼怒川低地面に接する高島館址地区、西側は下小屋原遺跡・B区までであり、南北については台地縁辺部に沿って延びるものと考えられる。
- ・ 下小屋原遺跡内での住居跡の位置は、6世紀後葉～7世紀前葉に台地奥側の調査区南西部に始まり、8世紀中頃までは前代同様に台地奥側からやや東側に寄り、調査区中央部からやや西側にかけて、それ以降10世紀前葉までは台地縁辺部に近い中央部からやや東側へと移る。

なお、高島館址地区については、調査区自体が台地南端部の狭い範囲であり、当初から低地に張り出す台地縁辺部に位置している。

第42表 高島遺跡群出土須恵器の産地

時 期	住 居 跡		須 恵 器								灰輪陶器	
	下小屋原	高島館址	埴子窯産	三義窯産	南部窯産	新治窯産	常陸地域産	東海地域産	群馬地域産	不明	埴子窯産	不明
6C後葉～7C前葉	SI001		1	1								
7C前葉～中葉		SI705										
7C中葉～後葉	SI501											
		SI709								1		
		SI710										
7C後葉～8C前葉	SI007									2		
	SI008		3					1		1		
	SI503		1									
	SI551											
8C前葉～中葉	SI002		1					2		3	(1)	
	SI502		9	4			2		2	3		(1)
8C中葉	SI006		3					1		4		
8C中葉～後葉												
(8C代)		SI702								2		
8C後葉～9C前葉		SI707	3	1	1	1				1		
9C前葉～中葉												
9C中葉～後葉												
(9C代)	SI003		1	1						1		
	SI004		4	2						1		
		SI704	1									
9C後葉～10C前葉	SI005		2			1	4			1	1	
合計(遺物点数)			29	9	1	2	6	4	2	20	2	1

* () は混入、なお同時期内の住居跡順は時代順ではない

○ 掘立柱建物跡について

- ・ 下小屋原遺跡では、調査区の中央部から台地落ち際の東側に掛けて、掘立柱建物・9棟、総柱建物・2棟の11棟が検出された。殆どが南北棟であり、建物の方向もN-1°-EからN-9°-Eの間を示し、建物間の重複は無い。柱の掘り方は円形を基調としているが、大きさ・柱間の寸法は不揃いであった。建物の平面形は方形又は長方形を基調とするが歪みが看られた。遺物の出土が無く構築時期は不明であったが、これらの特徴から中世～近世の所産であり、浅い谷を隔てた東側の高島館址との関連が深いものと推定される。

○ 遺物について

- ・ 本遺跡出土須恵器の動向を、窯跡を特定することはできないが地域・方面として概観する（第42表）。全時代を通し、不明を含めた中の約40％が一番近接地の益子窯産であり、続いて三嶋窯産、新治窯産を含む常陸地域産、東海地域産、僅かではあるが南郡須恵産・群馬地域産も確認された。時代的には、7世紀の中葉から8世紀の中葉までが多いと言える。
- ・ SI-008出土の土師器甕片11・12の外面には、目の細かい丁寧なハケ目が施されている。東海系の甕と思われるが、同住居跡からは東海地域産5の須恵器壺も出土しており、関連が伺われる。
- ・ 同様に、他地域の土師器として注目されるのがSI-004出土遺物である。7の甕は胴部がやや球形で、外面と口縁部内面にハケ目、口唇部は弱い摘み上げで外面に屈曲が看られる。類似するものとして、平成6年度・西赤堀遺跡第3次調査の第25号住居跡22の甕が上げられ、住居跡の時期は7C中頃～8C中頃とされる。他に平成13～14年度の西赤堀遺跡SI-391・403に類似の甕が看られるが、口縁部内面にハケ目が無く、口唇部に屈曲が看られない点がやや異なる。住居跡の時期は7C中葉～後葉とされている。これらの類例を参考にとすると、SI-004の甕は住居跡の時期とは異なる可能性が強い。また9の土師器甕は、胎土に雲母を含む常総型の甕と思われた。

○ 下小屋原遺跡・高島館址地区の集落

- ・ 本遺跡から約600m西側には西赤堀遺跡が存在する。古墳群も含むほぼ同時期の遺跡であり、推定東山道にも近接するため8世紀後葉から9世紀前葉については、官衙的な性格も推定される拠点的なムラとも考えられている。本遺跡は、この拠点的なムラの周囲に住居跡が散在する小集落であり、鬼怒川低地に面するため、低地開発をより積極的に進めた人々と思われた。

参考文献

- ・ 安藤美保 1996 『西赤堀遺跡』栃木県埋蔵文化財調査報告第178集 栃木県教育委員・（財）栃木県文化振興事業団
- ・ 亀田幸久 2007 『西赤堀遺跡』栃木県埋蔵文化財調査報告第304集 栃木県教育委員・（財）栃木県文化振興事業団
- ・ 池田敏広 2007 「古代施釉陶磁器」『栃木県の埋蔵文化財と考古学』研究紀要第15号 （財）栃木県文化振興事業団

第2節 高島館址について

高島館址（第169図）について、館址とされる南西部の部分的な発掘調査であったが、調査で確認されたことを順次まとめておく。

- ・ 旧河道の検出により、本来自然の流れが台地西側から南側を通り東方へと台地を取り巻くように、流れていた。
- ・ 時期は不明だが、館址は台地先端部を約10m前後削平し、旧河道を内側に付け替え堀的に利用した。
- ・ また、この掘削においては台地をほぼ垂直にカットしていることと、南側においては2段のカット面を造り出している。幅狭な平坦面は、犬走りの目的及び水運利用の舟接岸のためとも推定される。
- ・ 内耳土器や17C代と考えられる肥前系磁器の出土から、館址は中世後半から戦国時代には存在し、館としての機能は不明だが江戸時代にも継続して存在していたと考えられる。
- ・ 中世と思われる遺構に、用途は不明だが方形堅穴遺構1基の検出がある。他に館と直接関連する明確な遺構の確認はなかった。
- ・ 昭和60年前後に行われた河川改修は、館址実測図に示した調査箇所北側となるため、西側方形張り出し部を北西方向から南東方向へと横切ったものと確認された。

最後に、高島館址について周辺館跡の配置も含め役割や実態についてまとめてみたい。

- ・ 館址の規模は、南北・東西とも約120mの方形状と推定されているが、西側の土塁・堀はさらに北方へと延びているようにも看られるため、方形状の部分を内郭とし北側～東側に外郭の存在も推定される。

形状は、北西隅に直角状の二重の土塁と堀が残し、西側中央部に東西約20m×南北約30mの大きさで方形張り出し状に堀が通っていた。

これらから、在地領主の居館・居宅であったが、台地端部に位置し、自然地形の利用と江川を堀として取り込んでいること、複郭的であること、二重の土塁と堀による折郭的な部分も存在するなど、防禦的な要素も多く看られることが特徴として上げられる。

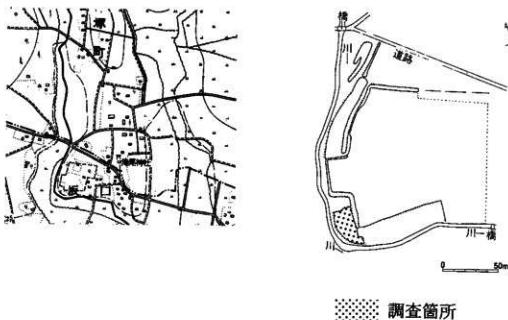
- ・ 鬼怒川の右岸低地には、現在確認される城館跡を上三川地域から上げると、下館、中館、上館、高島館となり、続いて宇都宮市域では刑部城、桑島城、石井城まで1～2kmの至近距離で配置され、更に間隔は広がるものの平井城、岡本城へと続く。なお詳細は不明であるが、「上三川町史通史編上」・「栃木県の地名」では、高島館と上館の間に汗城（「宇都宮家臣録」に汗老岐守の名あり）が、上三川城の隣接地である東館地内に東館の存在も記されている。

また城館跡周辺の生産量を「栃木県の地名 行政区画変遷・石高一覧」の慶安郷帳（1648年）の項を参考にすると、西木ノ代村の約543石から石井村の約1,913石であり、これら鬼怒川低地の村落は周辺村落よりも高い石高であることが知れる。

これらより、近接して館跡が配置されていることは南及び西方からの防禦ラインの構築と共に、平井城、岡本城以外はいずれも居館・居宅的な館跡であるため、宇都宮氏・上三川氏は鬼怒川低地の農業経営を非常に重要視していた結果ではないかとも考えられる。併せて、鬼怒川の水運利用上も必要な拠点となっていたであろうことも推察される。

他にこの地の城館跡の配置は、当時の耕作面積や石高に合わせた集落の大きさを示すものとしても考えられよう。

- ・ 高島館については、現宇都宮市域と接する上三川地域内であり、宇都宮城、上三川城を守護するよう配



第169図 高島館址の位置と実測図

置されたものであろうが、直接の領主は不明である。一部には高島氏と記される文献も見受けられ、現在も近隣には高島姓の方もおられることを付記しておく。

以上から、高島館址を含めた中世の土豪武士の館は、防衛的な機能も見て取れるが、地域開発の拠点として重要であったのではないかと理解される。また、高島館址は鬼怒川低地の農業経営の地域を中心として、宇都宮氏・上三川氏後も存続したものであろう。

参考文献

- ・ 上三川町史編纂委員会 1979 『上三川町史 資料編 原始・古代・中世』 上三川町
- ・ 上三川町史編纂委員会 1981 『上三川町史 通史編上』 上三川町
- ・ 宇都宮市史編さん委員会 1981 『宇都宮市史 中世通史編』 宇都宮市
- ・ 栃木県教育委員会事務局文化課 1983 『栃木県の中世城館跡』 (財)栃木県文化振興事業団
- ・ 下中直也 1988 『栃木県の地名』日本歴史地名体系第九巻 (株)平凡社
- ・ 宇都宮市教育委員会 1997 『宇都宮市遺跡地図』宇都宮市
- ・ 杉浦昭博 2001 「天正期宇都宮氏の城・館についての一考察」『埋蔵文化財センター創立10周年記念論文集研究紀要第9号 (財)とちぎ生涯学習文化財団埋蔵文化財センター

写 真 图 版



S1-01 完掘状況（南より）



S1-01 貯蔵穴周辺遺物出土状況（北より）



S1-01 北側遺物出土状況（南西より）



S1-01 完掘状況（南より）



B区作業風景（西より）



SI-02 完掘状況（南より）



SI-02 露出土状況（南西より）



SI-02 P6 遺物出土状況（北西より）



SI-02 掘り方検出状況（南より）



SI-03 カマド残し完掘状況（西より）



SI-03 掘り方検出状況（西より）



SI-04 カマド残し完掘状況（南より）



SI-04 遺物出土状況（東より）



S1-04 カマド遺物出土状況（南東より）



S1-04 No. 2・4 遺物出土状況（東より）



S1-04 掘り方検出状況（南より）



S1-05 カマド残り完掘状況（南より）



S1-05 遺物出土状況（南より）



S1-05 カマド遺物出土状況（東より）



S1-06 カマド残り完掘状況（南より）



S1-06 周辺の作業風景（南より）



S1-06 カマド検出状況（南より）



S1-06 掘り方検出状況（南より）



S1-07 完掘状況（南より）



S1-07 遺物出土状況（南より）



S1-07 カマド流出部半載状況（南より）



S1-07 周辺の作業風景（西より）



S1-08 完掘状況（西より）



S1-08 完掘状況（南より）



SI - 501 完掘状況（南より）



SI - 501 遺物出土状況（南より）



SI - 501 1 No. 7 他遺物出土状況（南東より）



SI - 501P2 編物石出土状況（北より）



SI - 501 カマド遺物出土状況（南より）



S1-501 カマド検出状況（南より）



S1-501 掘り方検出状況（東より）



S1-502 完掘状況（東より）



S1-502 遺物出土状況（南より）



S1-502 カマド遺物出土状況（南より）



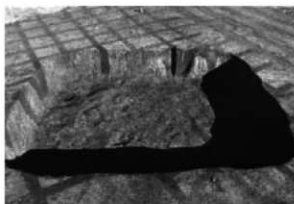
S1-502 カマド検出状況（南東より）



S1-502 完掘状況（南東より）



S1-502 棚状施設検出状況（南より）



SI - 503 完掘状況（南より）



SI - 503 遺物・焼土出土状況（南東より）



SI - 503 掘り方検出状況（南より）



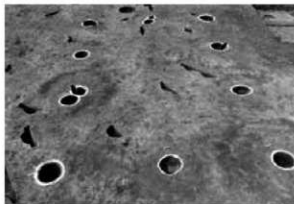
SI - 503 周辺の作業風景（西より）



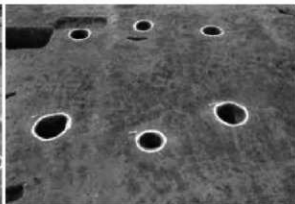
SI - 551 完掘状況（西より）



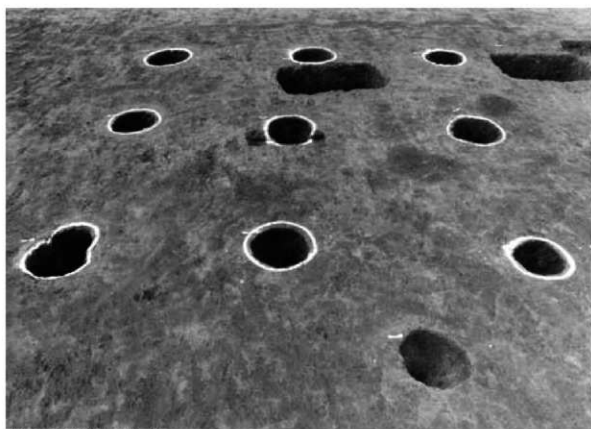
SI - 551 カマド検出状況（南西より）



SB - 163 完掘状況（南より）



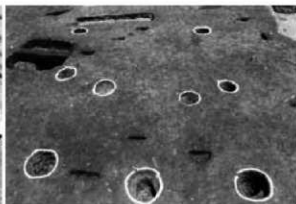
SB - 209 完掘状況（南より）



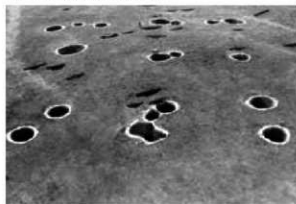
SB - 210 完掘状況（南より）



SB - 210 完掘状況（南より）



SB - 236 完掘状況（南より）



SB - 261 完掘状況（南より）



SB - 315 完掘状況（南より）



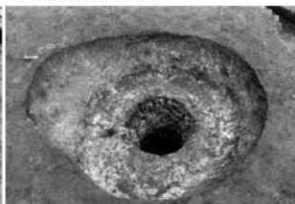
SB - 384 完掘状況（南より）



SB - 386 完掘状況（南より）



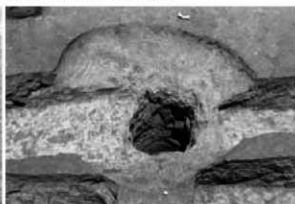
SB - 395 完掘状況（南より）



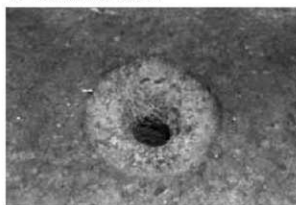
SE - 206 完掘状況（南西より）



SE - 229 完掘状況（南より）



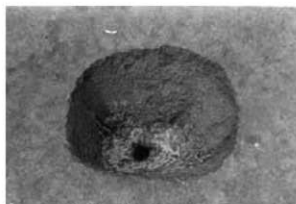
SE - 331 完掘状況（南より）



SE - 400 完掘状況（南より）



SK - 519 周辺の作業風景（東より）



SK-305 完掘状況（東より）



SK-334 完掘状況（南西より）



SK-350 完掘状況（西より）



SK-627 完掘状況（南東より）



SK-678 完掘状況（南より）



SK-11 完掘状況（南より）



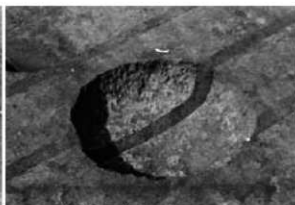
SK-12・13 完掘状況（南より）



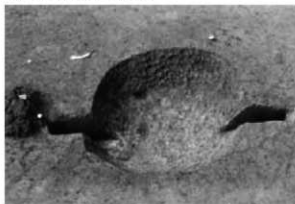
SK-14~21 完掘状況（南より）



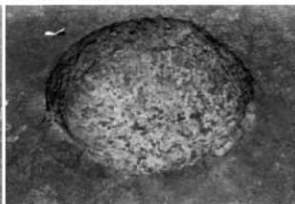
SK - 55 完掘状況（西より）



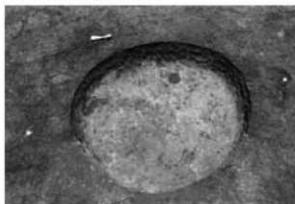
SK - 135 完掘状況（南西より）



SK - 140 完掘状況（南より）



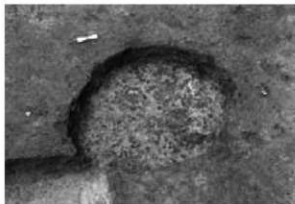
SK - 177 完掘状況（南より）



SK - 257 完掘状況（南より）



SK - 270 完掘状況（南東より）



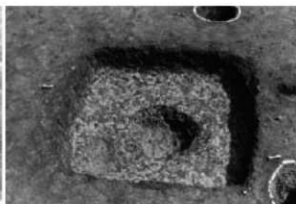
SK - 306 完掘状況（南より）



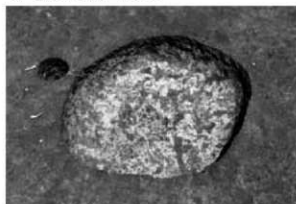
SI - 502 周辺の作業風景（東より）



SK - 308 完掘状況（南より）



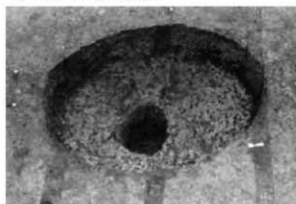
SK - 330 完掘状況（南より）



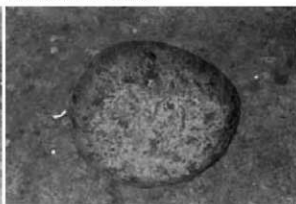
SK - 338 完掘状況（南より）



SK - 382 完掘状況（南より）



SK - 383 完掘状況（南より）



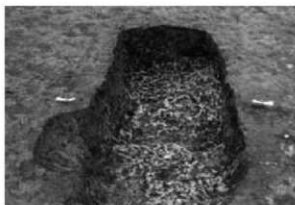
SK - 418 完掘状況（西より）



SK - 507・508 完掘状況（南より）



SK - 642 完掘状況（南より）



SK - 650・651 完掘状況（南より）



SD - 30・31・522 完掘状況（北西より）



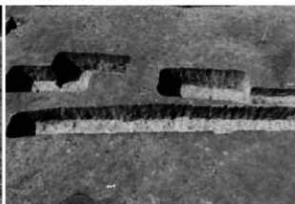
SD - 73・74 完掘状況（南東より）



SD - 242・363 完掘状況（東より）



SD - 601 完掘状況（西より）



SK - 22～26 完掘状況（南より）



C区標準土層



中村東小学校見学風景



高島館址全景（南より）



高島館址台地上調査区全景（南西上空より）



SI - 702 検出状況（西より）



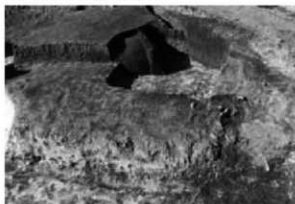
SI - 704 完掘状況（西より）



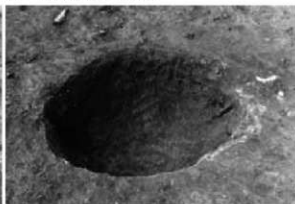
SI - 705 完掘状況（南より）



SI - 707 完掘状況（西より）



SI - 709・710 完掘状況（南より）



SK - 706 完掘状況（南東より）



SK - 708 完掘状況（南より）



SD - 703 完掘状況（東より）



切岸部確認状況（南東より）



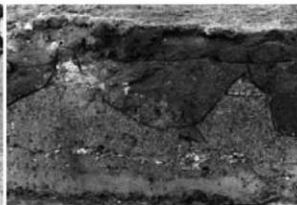
高島館址調査前風景（西より）



旧河道土層（東より）



新河道土層（東より）



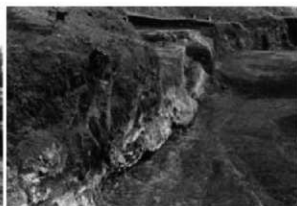
新旧河道の地山残存部分の土層（東より）



切岸部南西部分検出状況（北西より）



高島館址作業開始状況（西より）



切岸部浸食状況（西より）



切岸部浸食状況（西より）



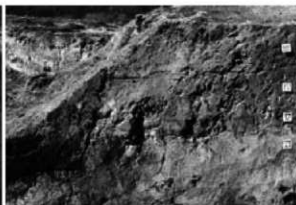
切岸部南側断面状況（北西より）



平坦部造り出し状況（南西より）



平坦部造り出しカッティング状況（東より）



K~K'土層（東より）



平坦部造り出し検出状況（西より）



高島館址作業風景（東より）



SI-01-3



SI-01-14



SI-01-15



SI-01-5



SI-01-19



SI-01-20



SI-01-6



SI-01-19



SI-01-23



SI-01-9



SI-01-22



SI-01-23



SI-01-10



SI-01-22



SI-01-23



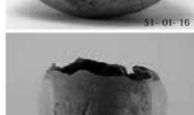
SI-01-16



SI-01-24



SI-01-28



SI-01-17



SI-01-24



SI-01-28



S1-02-1



S1-02-5



S1-02-7



S1-04-2



S1-04-3



S1-04-4



S1-04-5



S1-04-8



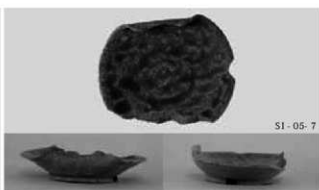
S1-04-7



S1-04-11



S1-04-9





SI-08-3



SI-501-1



SI-501-2



SI-501-4



SI-501-5



SI-501-7



SI-501-8



SI-501-12



SI-501-11



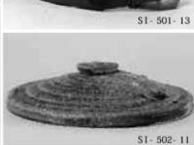
SI-501-10



SI-501-13



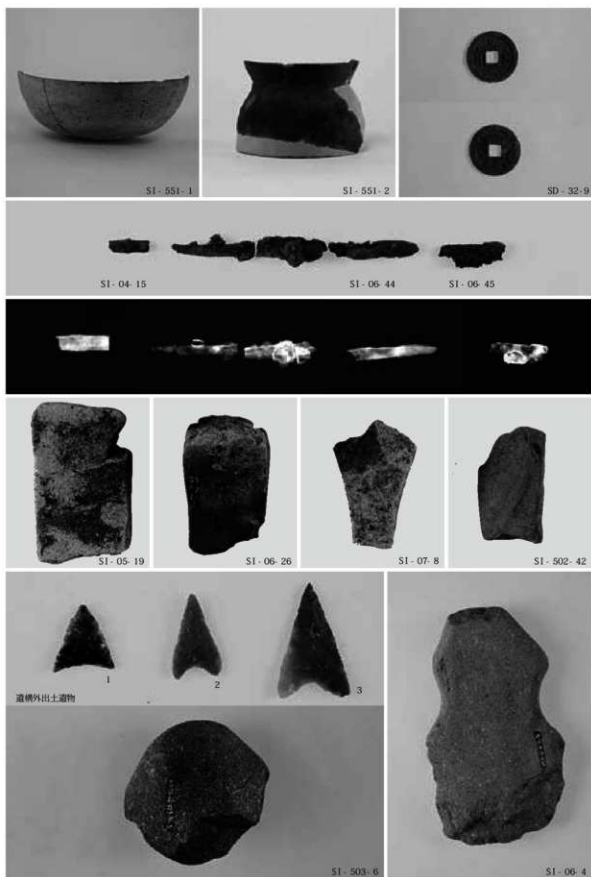
SI-502-4



SI-502-11



SI-502-36





報告書抄録

ふりがな	たかしまいせきぐん
書名	高島遺跡群
副書名	北関東自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告Ⅸ
巻次	9
シリーズ名	栃木県埋蔵文化財調査報告
シリーズ番号	第309集
編著者名	初山孝行
編集機関	財団法人とちぎ生涯学習文化財団 埋蔵文化財センター
所在地	〒329-0418 栃木県下野市紫474番地 TEL 0285-44-8441
発行機関	栃木県教育委員会 財団法人とちぎ生涯学習文化財団
発行年月日	西暦 2008年3月31日 (平成20年3月31日)

所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯 ° ' "	東経 ° ' "	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
		市町村	遺跡番号					
しもこやほらいせき 下小屋原遺跡	かわちぐん 河内郡 かみのかわまち 上三川町 おおあびにしみぞかし 大字西汗	09341		36°29'2"	139°55'26"	20020212～ 20020731 20021202～ 20030331 20030818～ 20030826	12,515	道路(北関東 自動車道)建設
たかしまだてあと 高島館址	同	09341		36°28'58"	139°55'33"			

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
下小屋原遺跡	集落	縄文 古墳～ 平安時代 時期不明	袋状土坑1基 竪穴住居跡12軒 掘立柱建物跡11棟 井戸跡4基 土坑39基(陥穴5基) 溝跡11条 柱穴状ピット103基 近世以降貯蔵穴128基 竪穴住居跡6軒	縄文土器・石器 土師器・須恵器、鉄製品(紡錘車・鎌・刀子など)	古墳～平安時代の集落
高島館址	集落 館址	古墳～ 平安時代 中近世 時期不明	館堀跡(旧河道) 土坑2基 溝跡1	土師器・須恵器、磁器、土師質土器片、古銭	古墳～平安時代の集落 中世後半の館址の一部 旧河道を付け替え掘込 に利用している

要約	高島遺跡群には下小屋原遺跡と高島館址の2遺跡が存在し、鬼怒川低地を望む岡本台地東縁部に位置する。微視的には下小屋原遺跡が南流してくる江川の右岸台地上にあり、高島館址は江川が東方へと流れを変える左岸の台地南端部にそれぞれ立地する。 下小屋原遺跡からは、古墳時代後期～平安時代の住居跡12軒の他、縄文時代の袋状土坑1基と時期不明の掘立柱建物跡11棟・陥穴状土坑5基・土坑45基・井戸跡4基・焼土跡2基・溝11条等が確認された。特に古墳時代～平安時代の住居跡は、西側の西赤堀遺跡で確認された大きな集落の周辺集落と言える。 高島館址は現宇都宮市域と接する上三川地域に位置し、戦国時代には存在が確認される宇都宮氏家臣の居館跡である。館址は台地端部を垂直にカットし、旧江川の自然河道を内側に付け替え掘込に利用していることが確認された。他に古墳時代後期～平安時代の住居跡6軒・土坑2基(方形竪穴遺構1基)・溝跡1条を調査した。
----	---

北関東自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書一覧

(都賀～上三川間)

- I 「一本松遺跡・文珠山遺跡」 栃木県埋蔵文化財調査報告第230集 1999年3月
II 「杉村・磯岡・磯岡北」 栃木県埋蔵文化財調査報告第241集 2000年3月
III 「八剣遺跡」 栃木県埋蔵文化財調査報告第254集 2001年3月
IV 「谷向・国谷馬場・中の内・惣宮・鍋小路」 栃木県埋蔵文化財調査報告第255集 2001年3月
V 「上神主・茂原・茂原向原 北原東」 栃木県埋蔵文化財調査報告第256集 2001年3月
VI 「権現山遺跡・百目鬼遺跡」 栃木県埋蔵文化財調査報告第257集 2001年3月
(上三川～二宮間)

- VII 「西赤堀遺跡」 栃木県埋蔵文化財調査報告第304集 2007年3月
VIII 「峰高前遺跡」 栃木県埋蔵文化財調査報告第308集 2007年9月

栃木県埋蔵文化財調査報告第309集

高 島 遺 跡 群

—北関東自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査区—

発行 栃 木 県 教 育 委 員 会
宇都宮市塚田1-1-20
TEL 028(623)3425

発行 財団法人とちぎ生涯学習文化財団
宇都宮市本町1-8
TEL 028(643)1011

平成20年3月31日発行

編集 財団法人とちぎ生涯学習文化財団
埋蔵文化財センター
下野市紫474
TEL 0285(44)8441

印刷 下 野 印 刷 株 式 会 社
